

柏 崎 市

男女共同参画に関する市民意識調査

報 告 書

令和2年（2020年）2月

柏 崎 市

目次

I	調査概要	1
II	調査結果	
□	回答者ご自身のことについて	
▶	問 1 性別について	3
▶	問 2 年齢について	3
▶	問 3 家族構成について	3
▶	問 4 結婚について	4
▶	問 5 夫婦の働き方について	4
▶	問 6-7 子どもについて	4
▶	問 8-9 職業について	5
□	男女の地位の平等に関する考えについて	
▶	問 10 男女の地位の平等について	6
□	家庭生活などに関する考えについて	
▶	問 11 男女における家庭での役割について	22
▶	問 12 夫婦間での役割分担について	28
□	女性の活躍推進について	
▶	問 13 女性が職業を持つことについて	37
▶	問 14 職場での仕事の内容や待遇面について	40
□	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について	
▶	問 15 優先度について	44
▶	問 16 有給休暇や育児・介護休業について	53
▶	問 17-18 男性の育児休業・介護休業の取得について	63
▶	問 19 仕事と家庭生活の両立について	72
▶	問 20 男性の家事や地域活動等への参加について	76
□	地域活動・社会参画について	
▶	問 21-23 地域活動への参加について	79
▶	問 24 女性の役職への参加について	83
▶	問 25 女性リーダーが少ないことについて	87
□	男女の人権について	
▶	問 26-27 ハラスメントについて	89
▶	問 28-29 ドメスティック・バイオレンスについて	95
▶	問 30 相談窓口について	118
□	男女共同参画に関する取組について	
▶	問 31 政策・方針決定の場における女性の参画について	119
▶	問 32 市が力を入れるべきところについて	121
▶	問 33 法律や用語について	126
▶	問 34 ご意見・ご要望について	129

I 調査概要

1 調査の目的

この調査は、現行「柏崎市男女共同参画基本計画（かしわざき男女共同参画プラン）」の見直しにあたり、「柏崎市男女共同参画推進条例」に基づいて実施し、令和3年度(2021年度)を初年度とする次期計画を策定する基礎資料とするものです。

2 調査内容

- 統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお尋ねします。
 - ▶ 問 1 あなたの性別はどちらですか。
 - ▶ 問 2 あなたの年齢はおいくつですか。
 - ▶ 問 3 あなたが現在生活しているご家庭の家族構成は、次のどれに当たりますか。
 - ▶ 問 4 あなたは結婚されていますか。
 - ▶ 問 5 【問4で「1 結婚している（事実婚を含む。）」と回答した方にお伺いします。】
あなたは共働きをしていますか。それとも夫婦どちらか一方が働いているご家庭ですか。
 - ▶ 問 6 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。
 - ▶ 問 7 【問6で「1 いる」と回答した方にお伺いします。】
あなたの一番下のお子さんは、次のどの項目に該当しますか。
 - ▶ 問 8 あなたのご職業は次のどれに該当しますか。
 - ▶ 問 9 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】
あなたの職場（本社、支店、営業所なども合計した企業全体）の従業員数は、次のどれに該当しますか。

- 男女の地位の平等に関する考えについて
 - ▶ 問 10 あなたは次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。1～8それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。

- 家庭生活などに関する考えについて
 - ▶ 問 11 次の1～2の考え方について、あなたはどう思いますか。1～2それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。
 - ▶ 問 12 【現在、結婚されている（事実婚を含む。）方にお伺いします。】
あなたのご家庭では、次のような家庭内の仕事等を、夫婦の間でどのように行っていますか。1～8それぞれの項目について、当てはまるものを選んでください。

- 女性の活躍推進について
 - ▶ 問 13 あなたは、「女性が職業を持つ」ことについて、どのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものに○を付けてください。
 - ▶ 問 14 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】
あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、次のようなことがあると思いますか。

- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について
 - ▶ 問 15 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお伺いします。
まず、あなたの希望に最も近いものをこの中から1つだけ選んでください。
(付問) それでは、あなたの現実（現状）に最も近いものをこの中から1つだけ選んでください。
 - ▶ 問 16 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】
あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。
 - ▶ 問 17 あなたは、男性が育児休業・介護休業を取ることにどう思いますか。1～2の項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。
 - ▶ 問 18 【問17で「2 男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」と回答した方にお伺いします。】
その理由は何だと思えますか。
 - ▶ 問 19 あなたは、男性と女性がともに仕事と家庭生活を両立させていく環境をつくるためにはどのようなことが必要だと思えますか。
 - ▶ 問 20 あなたは、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思えますか。

- 地域活動・社会参画について
 - ▶ 問 21 あなたは現在、町内会やボランティアなどの地域活動に参加していますか。
 - ▶ 問 22 【問21で「1 参加している」と回答した方にお伺いします。】
それはどのような活動ですか。参加しているものを全て選んでください。
 - ▶ 問 23 【問21で「2 参加していない」と回答した方にお伺いします。】
それはなぜですか。主なものを1つ選んでください。
 - ▶ 問 24 あなたが女性の場合はあなたが、あなたが男性の場合は妻・母親など身近な女性が、もし次のような役職を依頼された場合、どうしますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください。
 - ▶ 問 25 現在柏崎市では、町内会などの地域団体において、会長などの役員に女性が少ないのが現状です。
あなたは、地域における活動に女性のリーダーが少ない理由はなぜだと思いますか。
あなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。
- 男女の人権について
 - ▶ 問 26 あなたは、身近でセクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）やパワーハラスメント（権力や地位を利用した嫌がらせ）などのハラスメントを見たり聞いたりしたこと、あるいは自分自身が受けたことやしたことがありますか。
 - ▶ 問 27 【問26で「1 見たり聞いたりしたことがある」「2 受けたことがある」「3 したことがある」と回答した方にお伺いします。】
それはどのような内容でしたか。
 - ▶ 問 28 配偶者（事実婚や元配偶者を含む。）や恋人などから受ける暴力をドメスティック・バイオレンス（DV）といいます。配偶者や恋人との間で1～11のようなことが行われた場合、それをDVだと思えますか。また、あなたの配偶者や恋人から次のようなことをされた経験がありますか。
 - ▶ 問 29 【問28の「経験がありますか」で1つでも「何度もあった」「1、2度あった」と回答した方にお伺いします。】
あなたは、配偶者や恋人からそのような行為をされたとき、どのように行動しましたか。
 - ▶ 問 30 あなたは、配偶者や恋人からの暴力について、相談できる窓口としてどのようなところを知っていますか。
- 男女共同参画に関する取組について
 - ▶ 問 31 審議会の委員など、政策・方針決定の場に女性が参画することについて、あなたはどのように思いますか。
 - ▶ 問 32 あなたは、男女共同参画社会を実現するために、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。
 - ▶ 問 33 あなたは、次に挙げる法律や用語などについて知っていますか。
 - ▶ 問 34 男女共同参画社会を進めていくに当たって、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。

3 調査の設計

- ❖ 調査対象 : 柏崎市に居住する20歳以上の男女
- ❖ 調査方法 : 郵送による配布、郵送回収
- ❖ 標本数 : 2,000人
- ❖ 抽出方法 : 無作為抽出法（系統抽出法）
- ❖ 調査期間 : 令和元年(2019年) 8月27日～9月17日

4 回収結果

- ❖ 配布数 : 2,000人
- ❖ 有効回収数 : 769人
- ❖ 回収率 : 38.5%

5 集計結果の見方

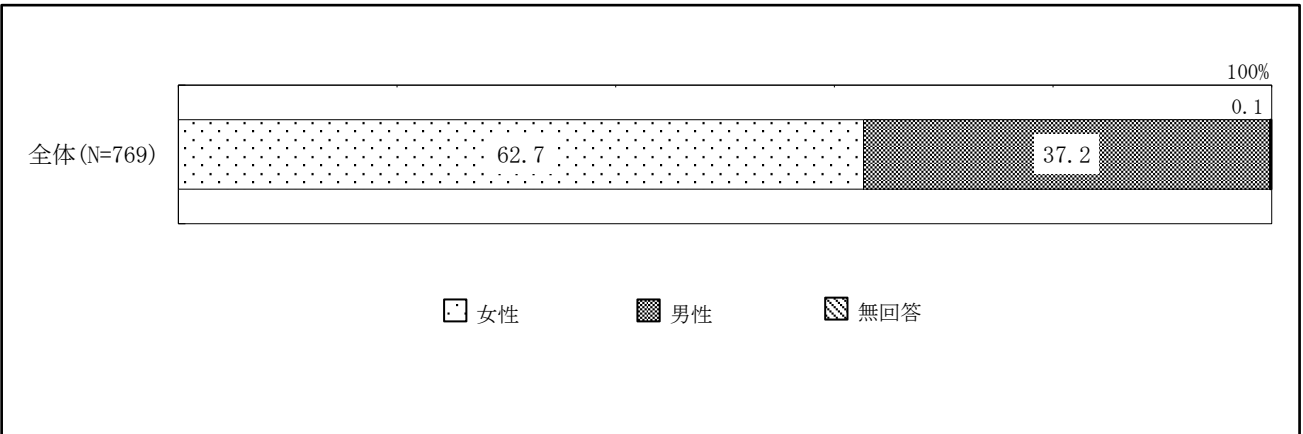
- ❖ 百分率(%)は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。したがって、回答率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- ❖ 複数回答(2つ以上選んでよい問)については、回答率の合計が100%を超える場合があります。
- ❖ 図表中に示すN、nは、回答率算出上の基数(標本数)です。標本全数を「N」、該当数を「n」で表記しています。
- ❖ 前回比較とは、平成16年(2004年)、平成22年(2010年)及び平成26年(2014年)に同様の調査を行ったものと比較したものです。
- ❖ 本文・表・グラフは、表示の都合上調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

Ⅱ 調査結果

□ 統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお尋ねします。

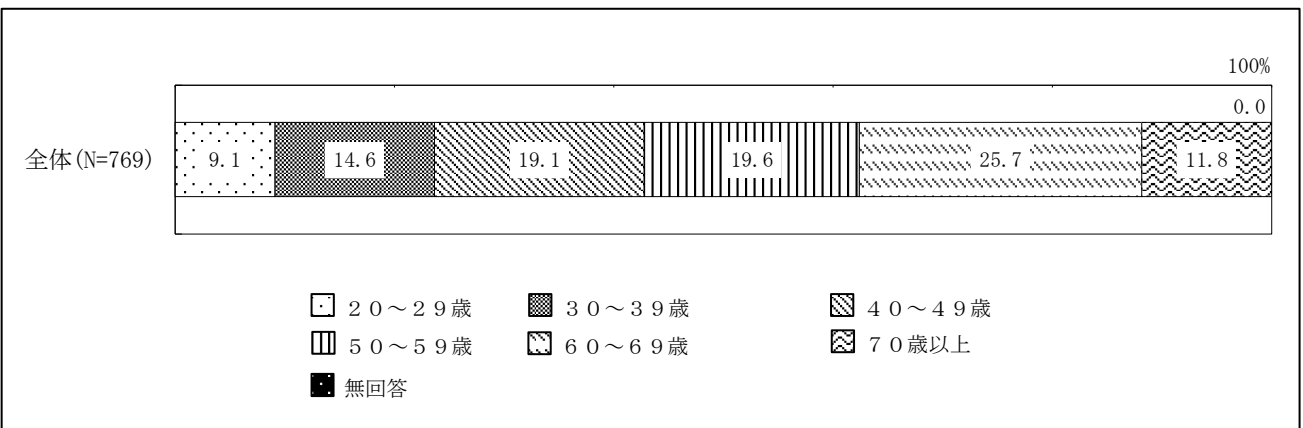
問 1

あなたの性別はどちらですか（○は1つだけ）。



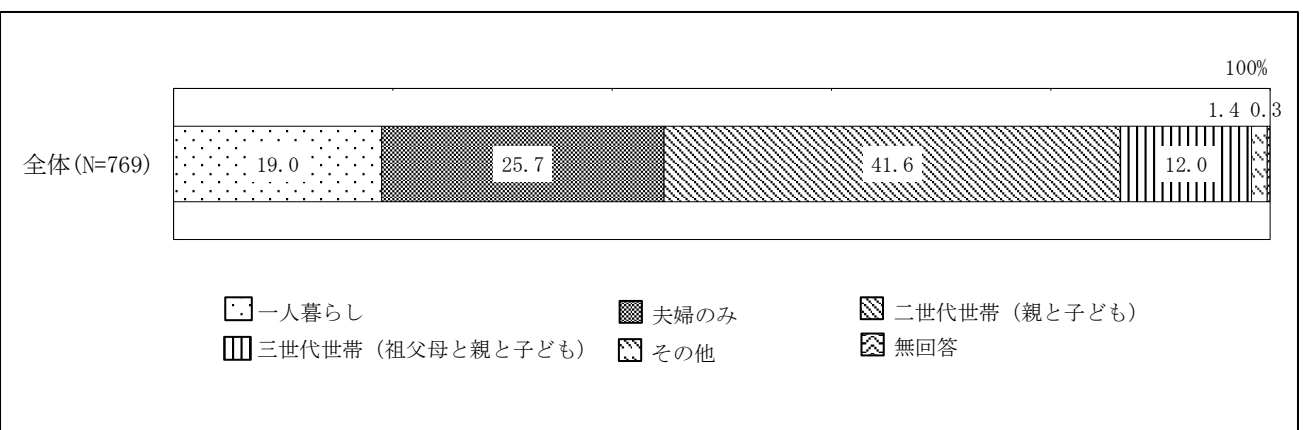
問 2

あなたの年齢はおいくつですか（○は1つだけ）。

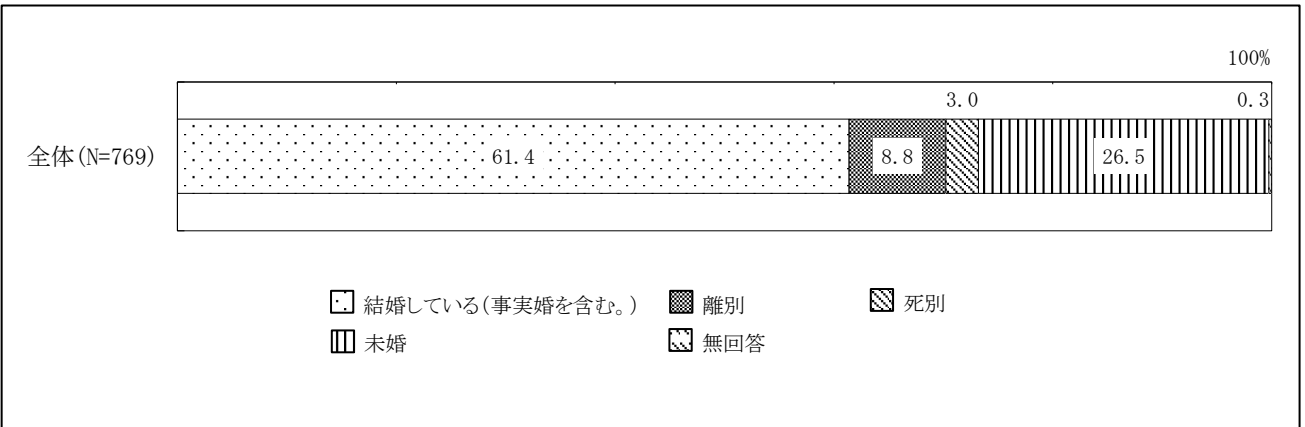


問 3

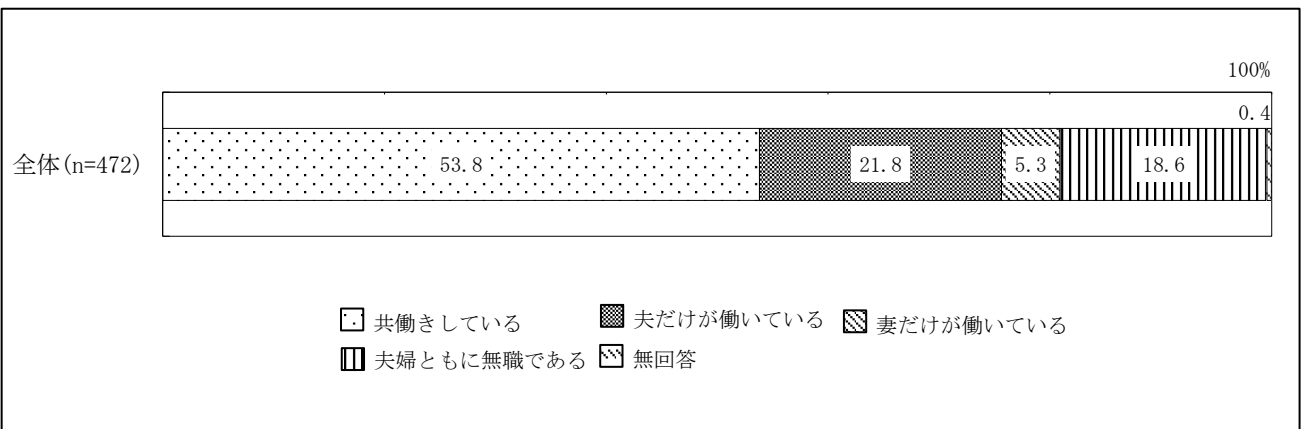
あなたが現在生活しているご家庭の家族構成は、次のどれに当たりますか（○は1つだけ）。



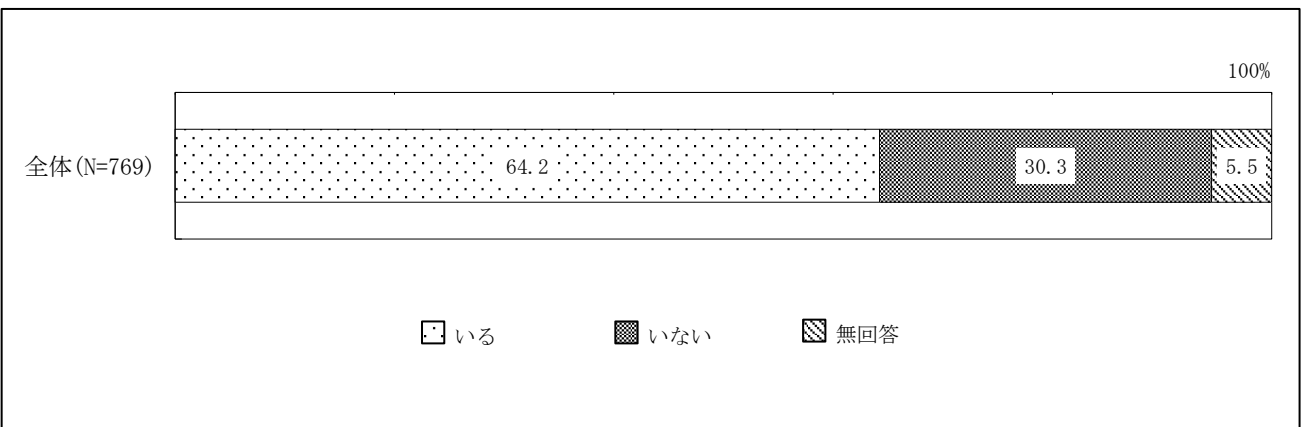
問4
あなたは結婚されていますか（○は1つだけ）。



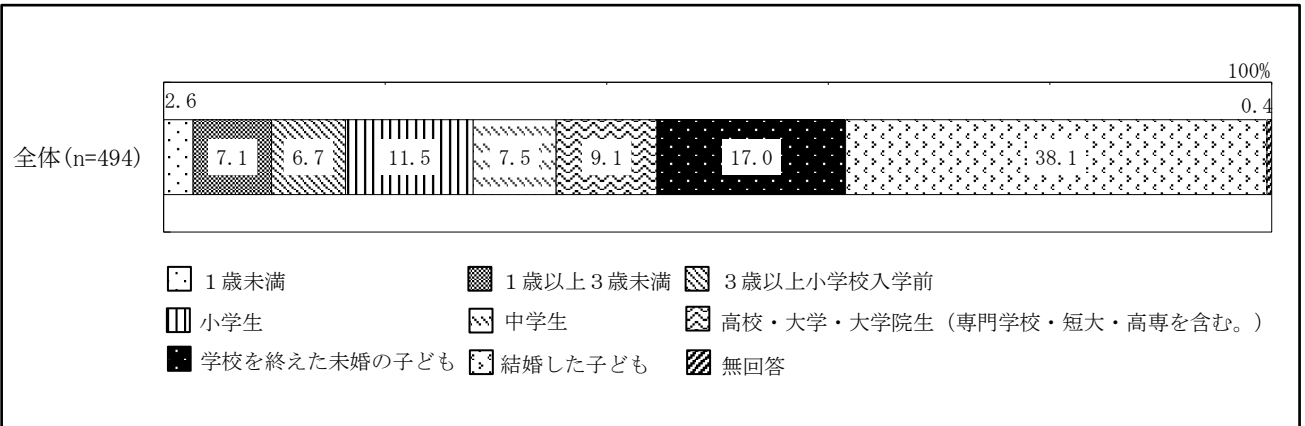
問5 【問4で「1 結婚している（事実婚を含む。）」と回答した方にお伺いします。】
あなたは共働きをしていますか。それとも夫婦どちらか一方が働いているご家庭ですか（○は1つだけ）。



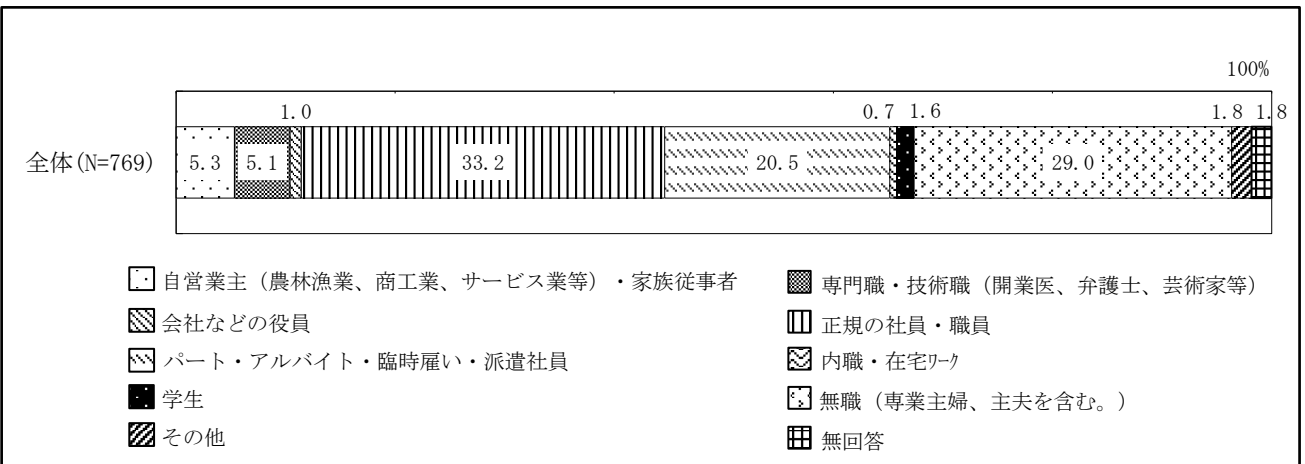
問6
あなたにはお子さんがいらっしゃいますか（○は1つだけ）。



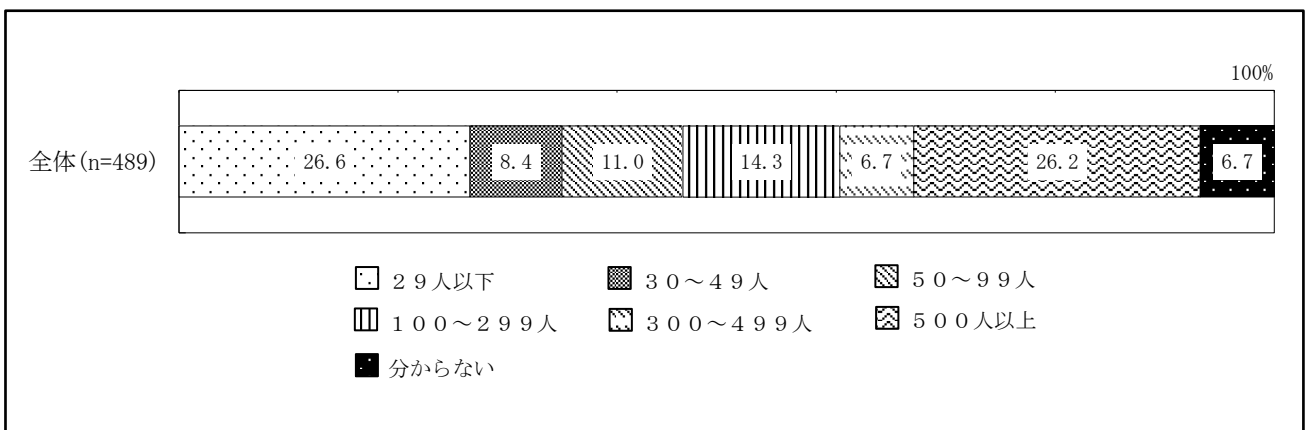
問7 【問6で「1 いる」と回答した方にお伺いします。】
 あなたの一番下のお子さんは、次のどの項目に該当しますか（○は1つだけ）。



問8
 あなたのご職業は次のどれに該当しますか（○は1つだけ）。



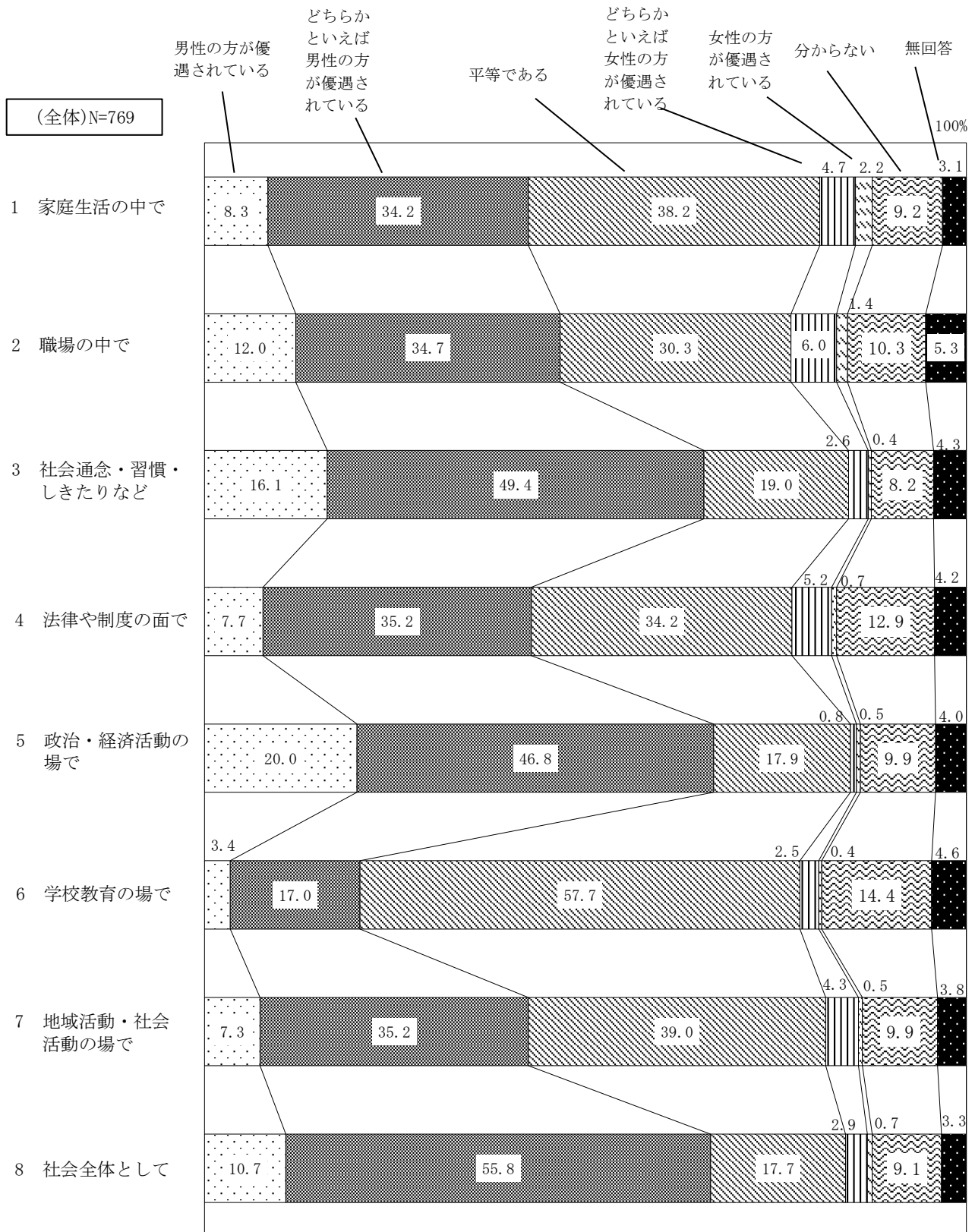
問9 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】
 あなたの職場（本社、支店、営業所なども合計した企業全体）の従業員数は、次のどれに該当しますか（○は1つだけ）。



□ 男女の地位の平等に関する考えについてお尋ねします

問10

あなたは次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。1～8それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。



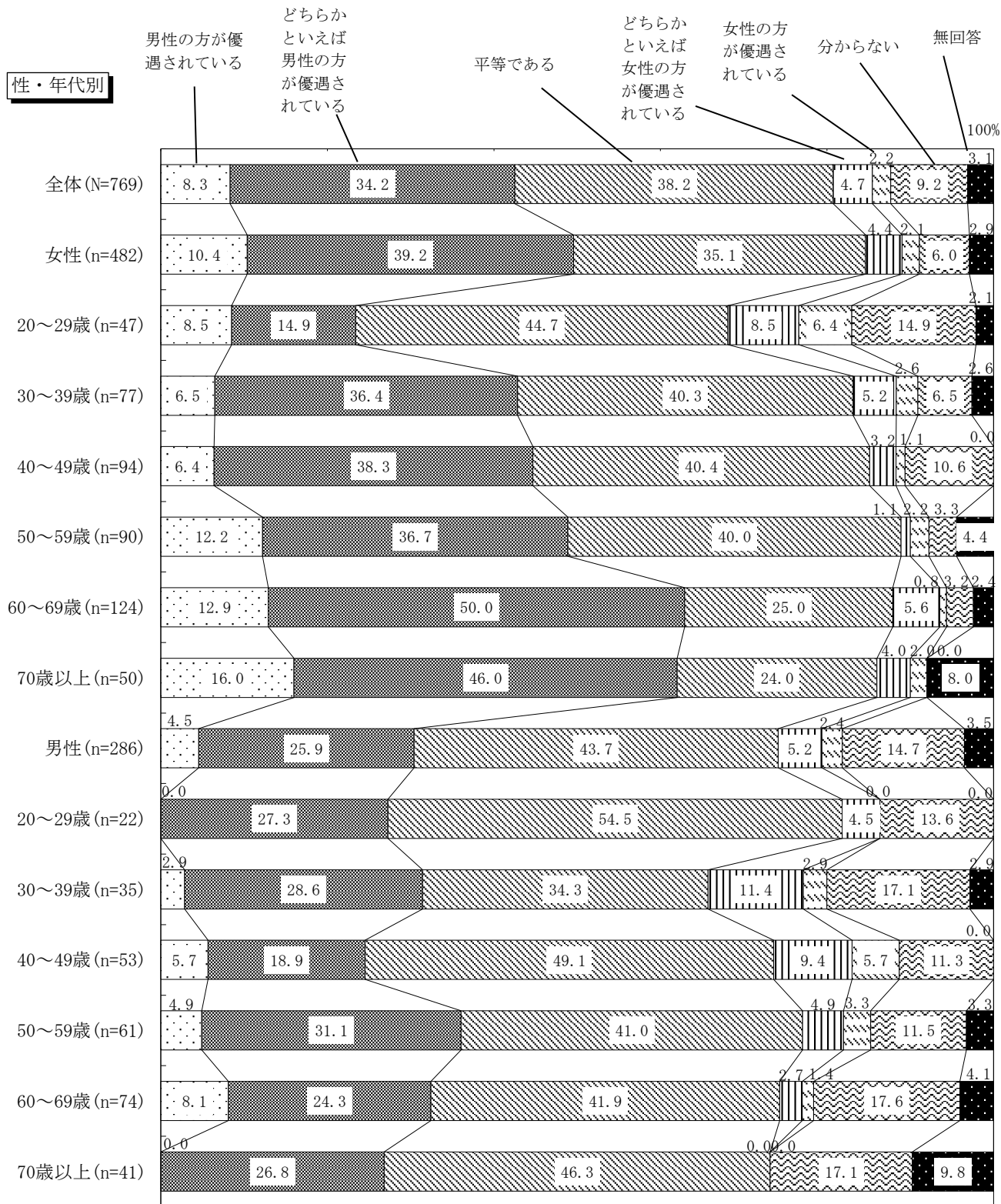
様々な分野の男女の地位の平等感については、「平等」が半数を超えているのは「学校教育の場で」のみとなっている。その他の分野ではいずれも『男性優遇』（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）が「平等」を上回っている。『男性優遇』の割合が最も高いのは「政治・経済活動の場で」（66.8%）、次いで「社会通念・習慣・しきたりなど」（65.5%）、「職場の中で」（46.7%）の順となっている。なお、「社会全体として」の男女の地位の平等感については、『男性優遇』が66.5%となっており、「平等」は17.7%にとどまっている。

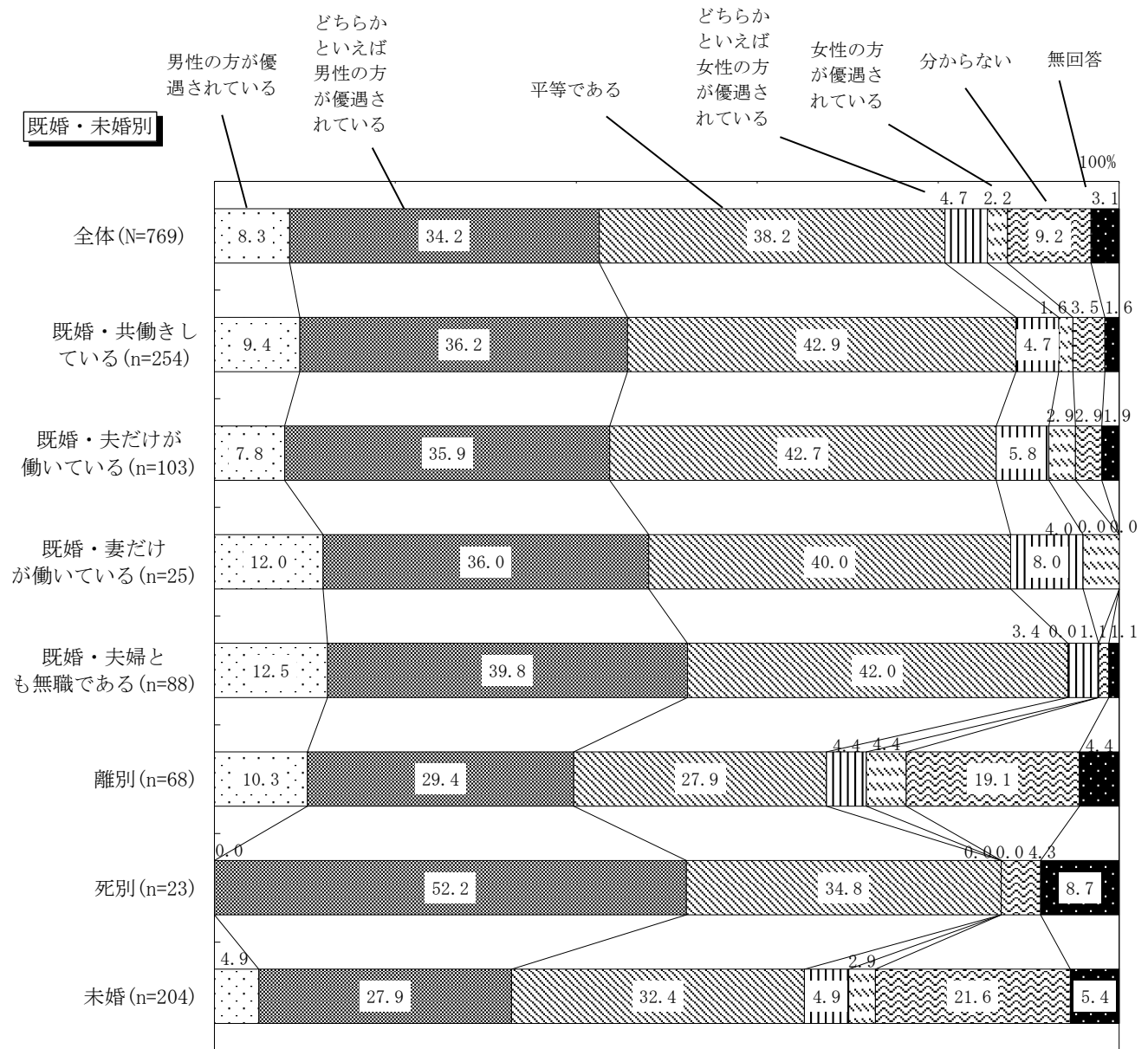
□ 男女の地位の平等に関する考えについてお尋ねします

問10

あなたは次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。1～8それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1ずつ）。

1 家庭生活の中で





家庭生活の中での男女の地位の平等感について性別にみると、女性は『男性優遇』が49.6%に対して「平等」は35.1%となっている。一方、男性は『男性優遇』が30.4%に対して「平等」43.7%となっており、女性の方が男性よりも『男性優遇』との考えが強い傾向がみられる。

年代別にみると、女性60代、女性70歳以上で『男性優遇』が6割を超え、他の年代よりも高くなっている。なお、「平等」は男性20代（54.5%）、男性40代（49.1%）、男性70代（46.3%）で高くなっている。

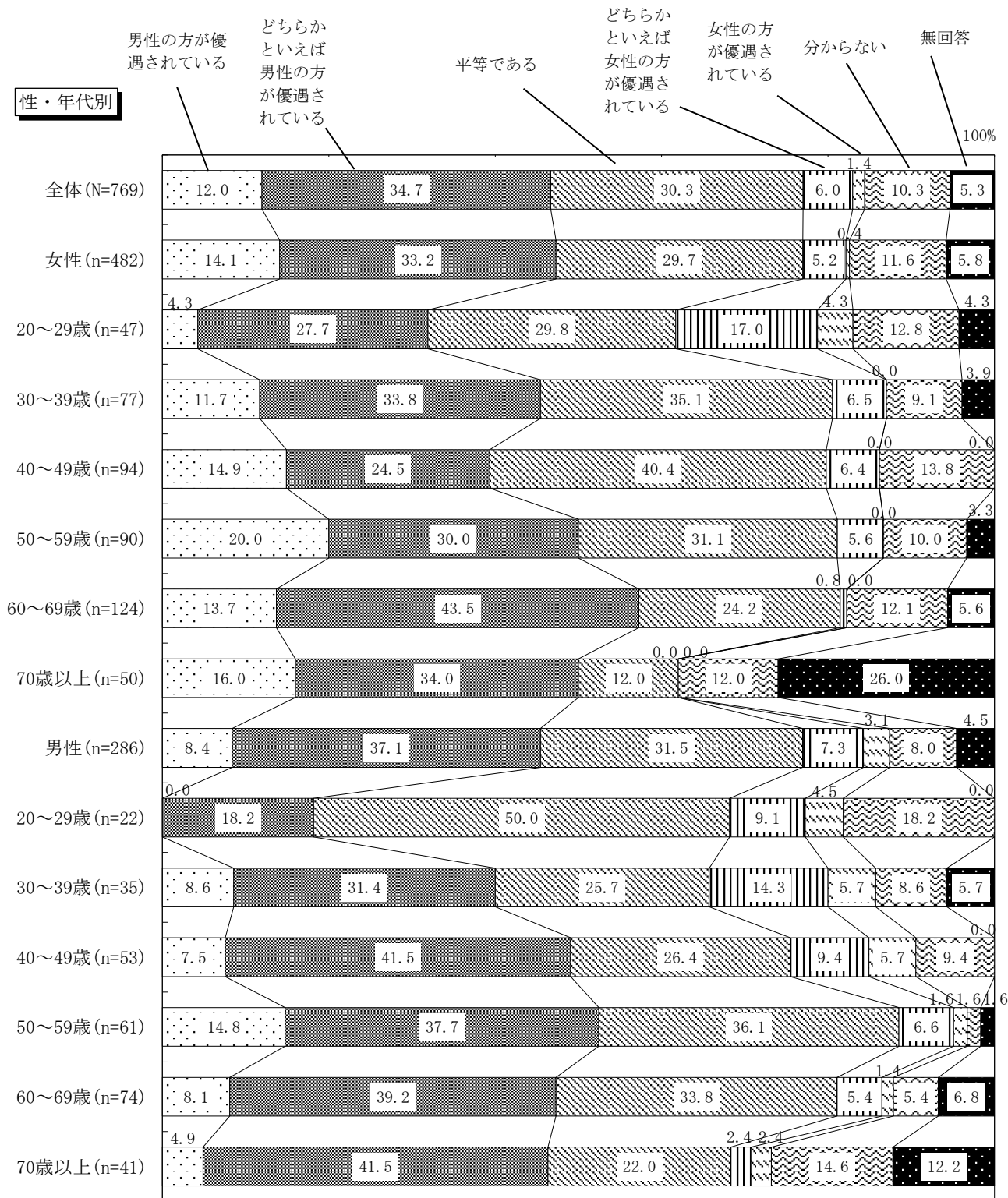
配偶関係別にみると、既婚（夫婦とも無職）と死別で『男性優遇』が5割を超えている。

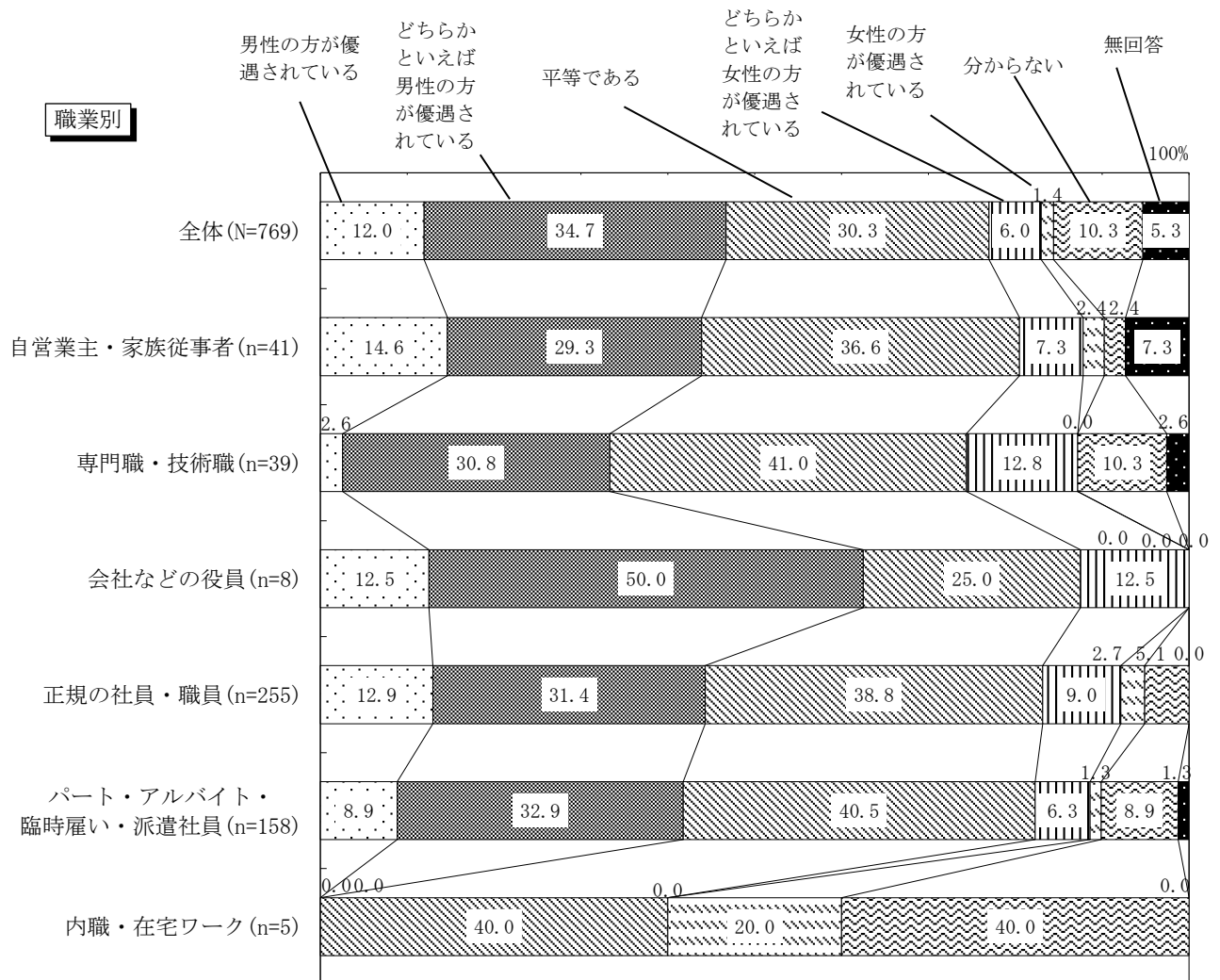
□ 男女の地位の平等に関する考えについてお尋ねします

問 1 0

あなたは次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。1～8それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

2 職場の中で





職場の中での男女の地位の平等感について性別にみると、女性は『男性優遇』が47.3%に対して「平等」は29.7%となっている。一方、男性は『男性優遇』が45.5%に対して「平等」31.5%となっており、女性の方が男性よりも『男性優遇』との考えが強い傾向がみられる。

年代別にみると、『男性優遇』が最も割合が高いのは女性60代（57.2%）、次いで男性50代（52.5%）である。「平等」は男性20代（50.0%）、女性40代（40.4%）で他の年代よりも高くなっている。また、男性20代、女性40代は『男性優遇』よりも「平等」の方が高くなっている。

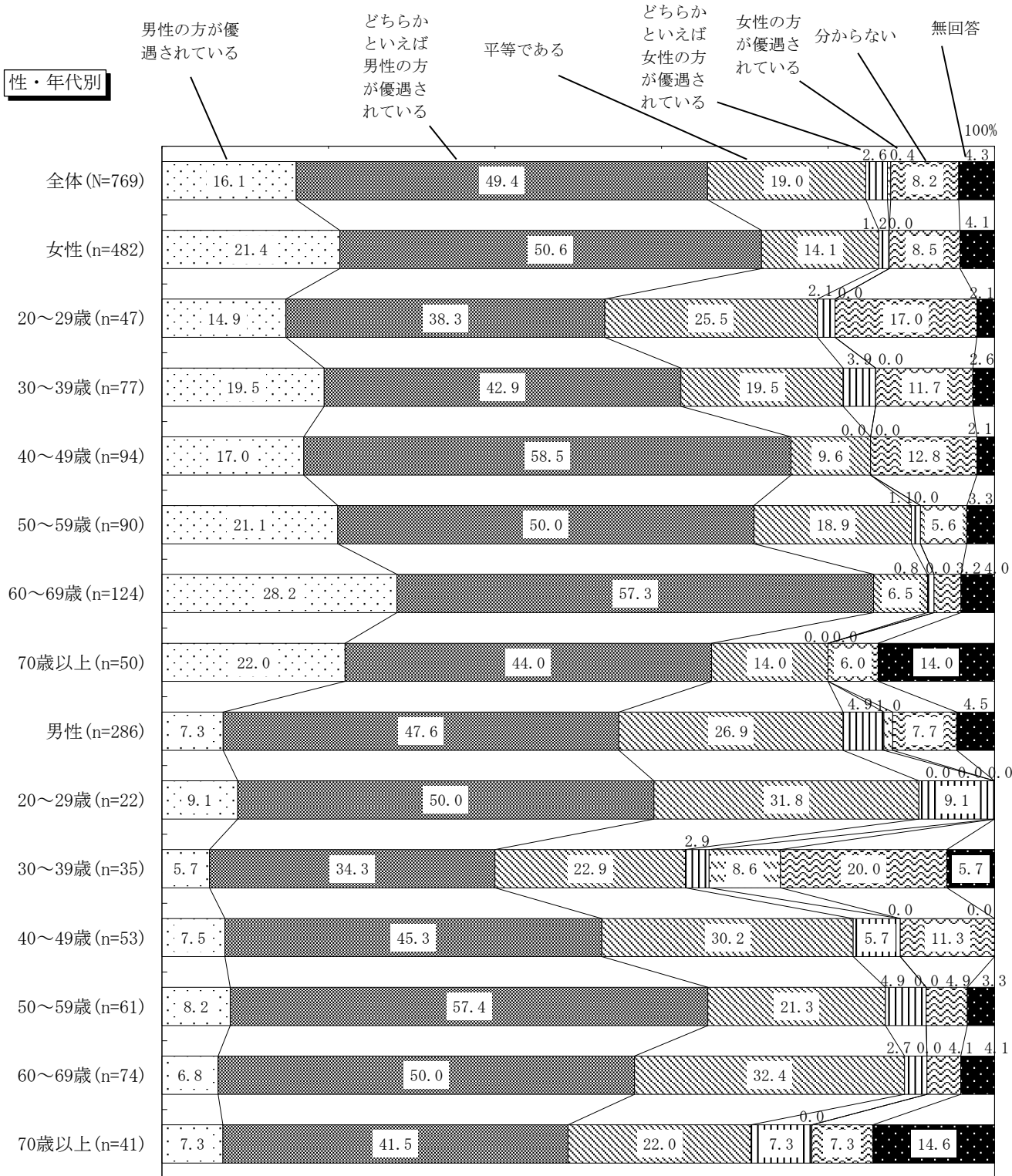
職業別にみると、『男性優遇』が最も割合が高いのは「会社などの役員」（62.5%）となっており、「平等」が割合が最も高いのは「専門職・技術職」（41.0%）となっている。

□ 男女の地位の平等に関する考えについてお尋ねします

問 1 0

あなたは次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。1～8それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つつ）。

3 社会通念・慣習・しきたりなど



社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位の平等感について性別にみると、女性は『男性優遇』が72.0%に対して「平等」は14.1%となっている。男性は『男性優遇』が54.9%に対して「平等」26.9%となっており、男女ともに『男性優遇』との考えが強く、女性はその傾向が男性よりも強い。

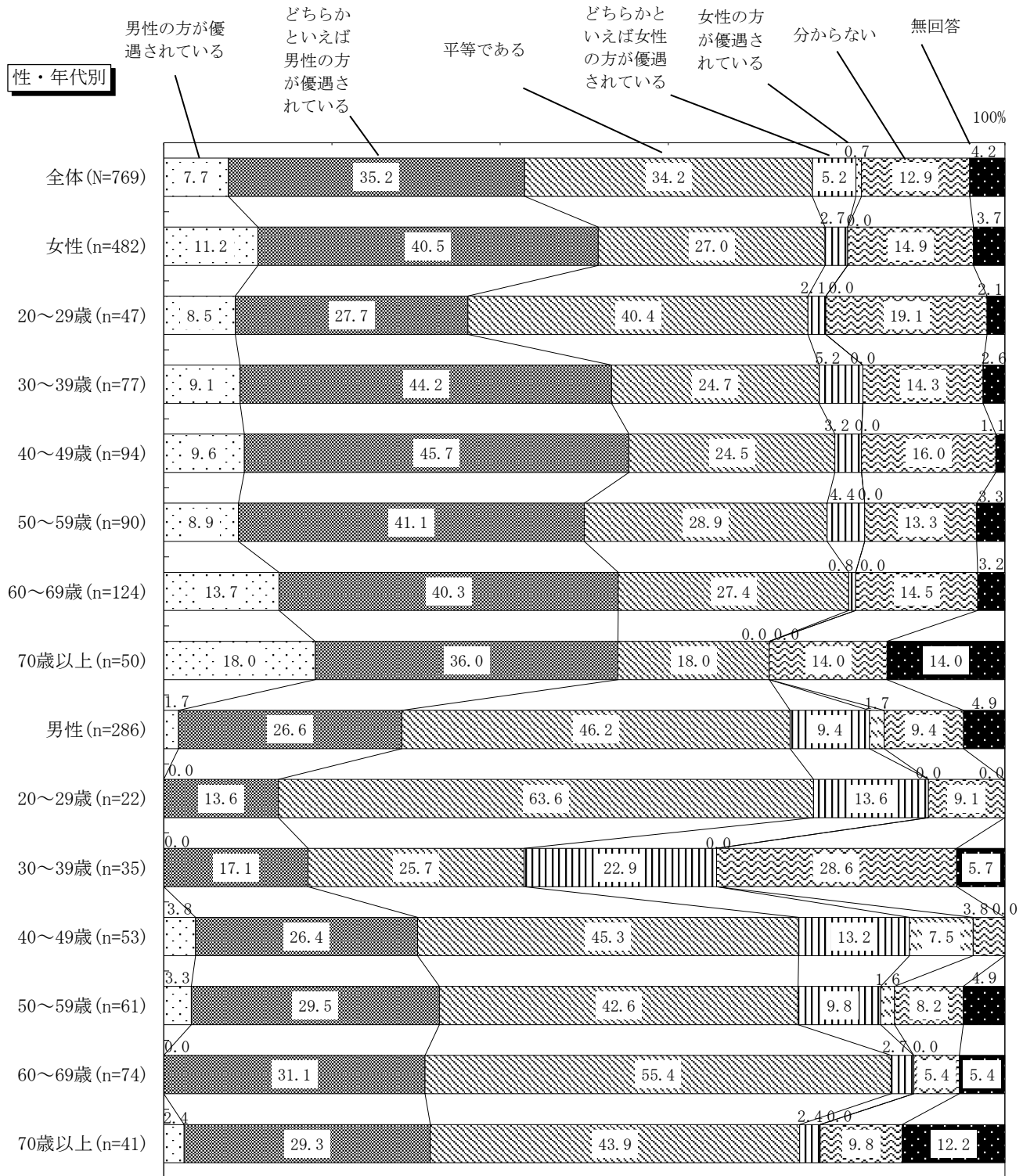
年代別にみると、いずれの年代でも『男性優遇』との考えが強く、20代は男性の割合が女性を上回っているが、30代以上では女性の割合が男性を上回っている。なお、「平等」は、男性60代（32.4%）、男性20代（31.8%）、男性40代（30.2%）で他の年代よりも高くなっている。

□ 男女の地位の平等に関する考えについてお尋ねします

問 10

あなたは次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。1～8それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

4 法律や制度の面で



法律や制度の面での男女の地位の平等感について性別にみると、女性は『男性優遇』が51.7%に対して「平等」は27.0%となっている。一方、男性は『男性優遇』が28.3%に対して「平等」46.2%となっており、女性は『男性優遇』との考えが強いのにに対して、男性は「平等」との考えが強い傾向がみられる。

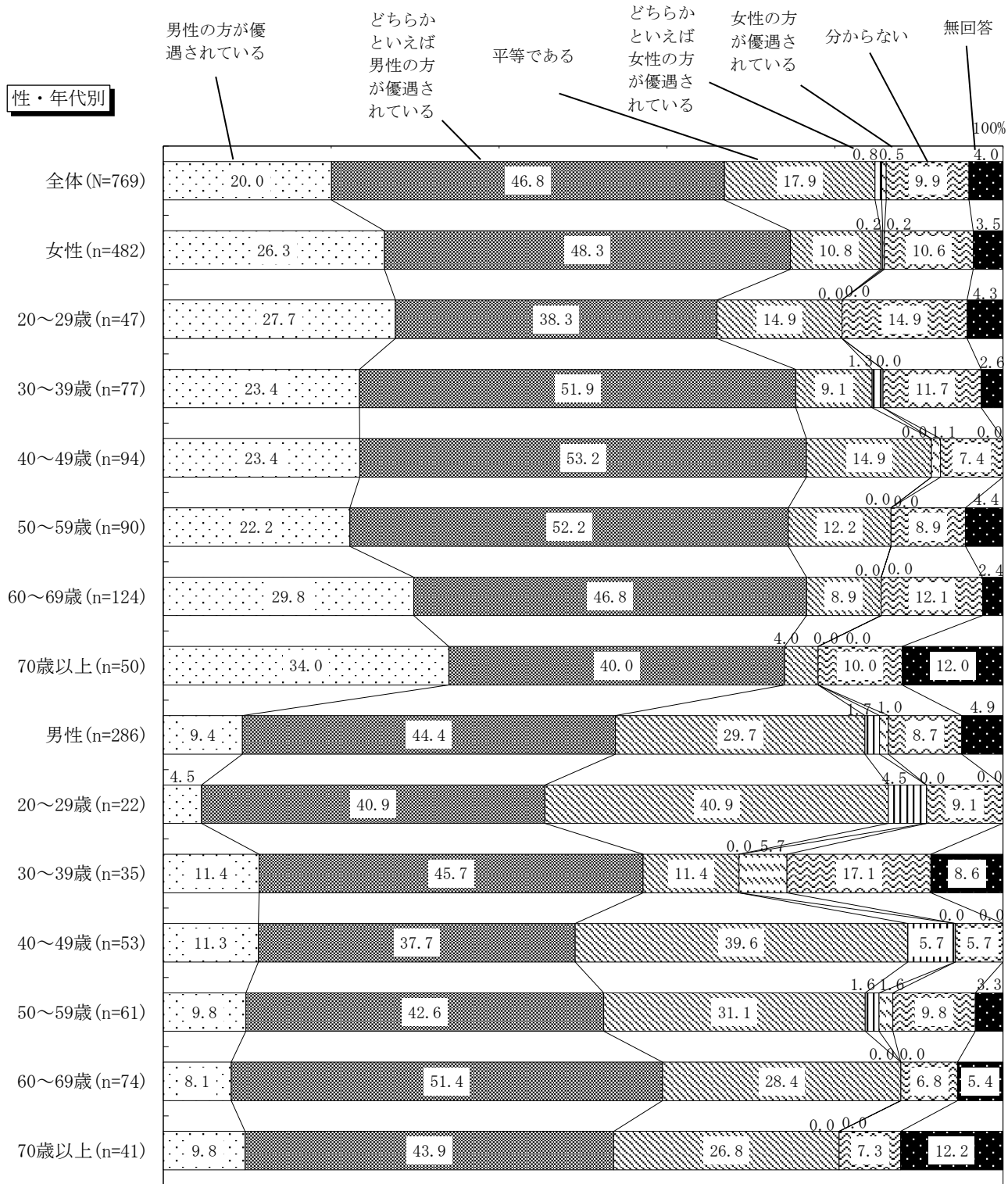
年代別にみると、女性は20代で「平等」（40.4%）が最も高くなっているが、30代以上では『男性優遇』との考えが強くなっている。男性は、30代では「分からない」（28.6%）が最も高くなっているが、他の年代は「平等」が最も割合が高くなっている。

□ 男女の地位の平等に関する考えについてお尋ねします

問 10

あなたは次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。1～8それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1ずつ）。

5 政治・経済活動の場で



政治・経済活動の場での男女の地位の平等感について性別にみると、女性は『男性優遇』が74.6%に対して「平等」は10.8%となっている。一方、男性は『男性優遇』が53.8%に対して「平等」29.7%となっており、女性の方が男性よりも『男性優遇』との考えが強く傾向がみられる。

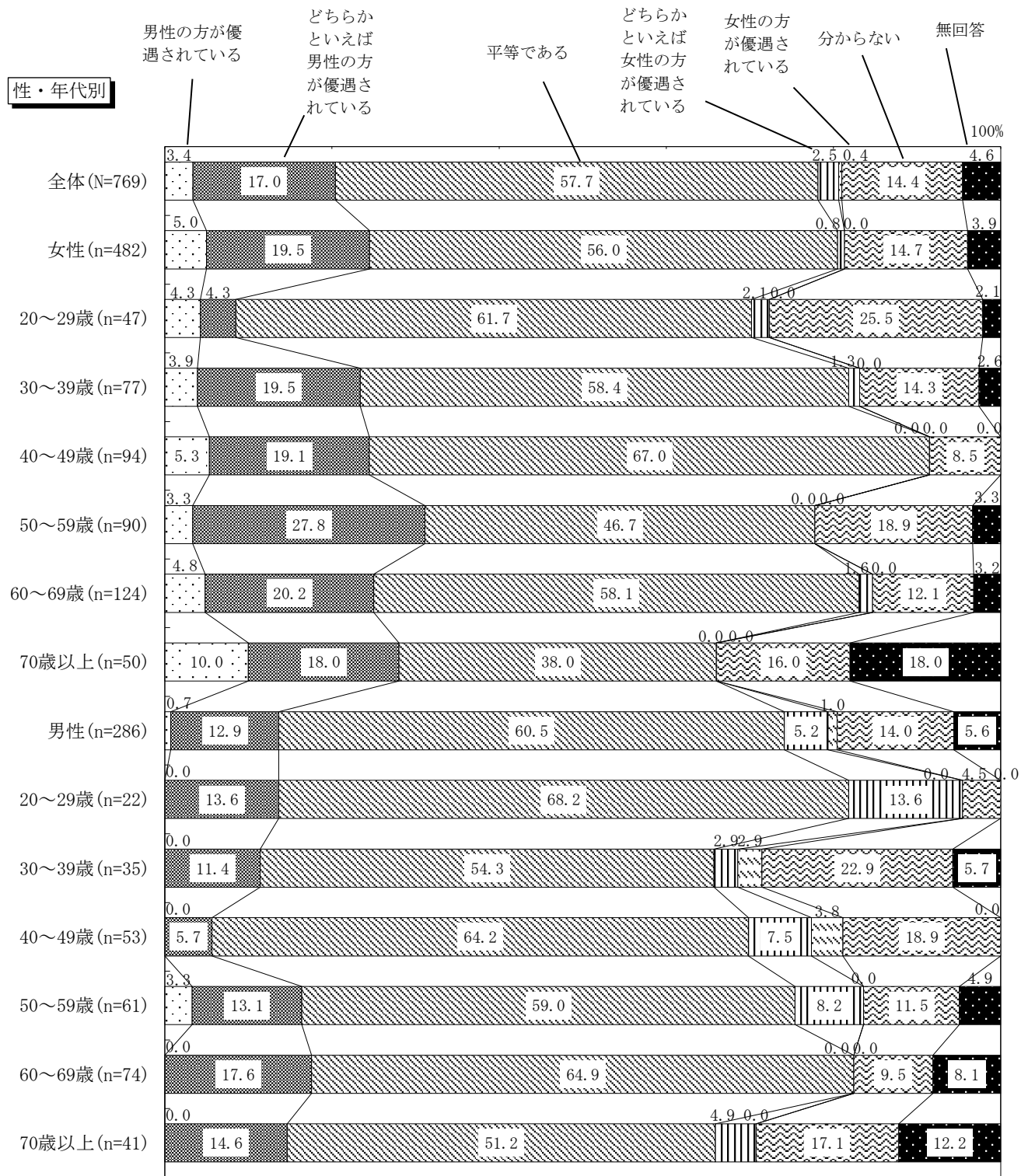
年代別にみると、いずれの年代においても『男性優遇』との考えが強く、女性の割合が男性の割合を上回っている。

□ 男女の地位の平等に関する考えについてお尋ねします

問 10

あなたは次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。1～8それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

6 学校教育の場で



学校教育の場での男女の地位の平等感について性別にみると、男女ともに「平等」が最も割合が高く、女性56.0%、男性60.5%となっており、男性の方が高くなっている。

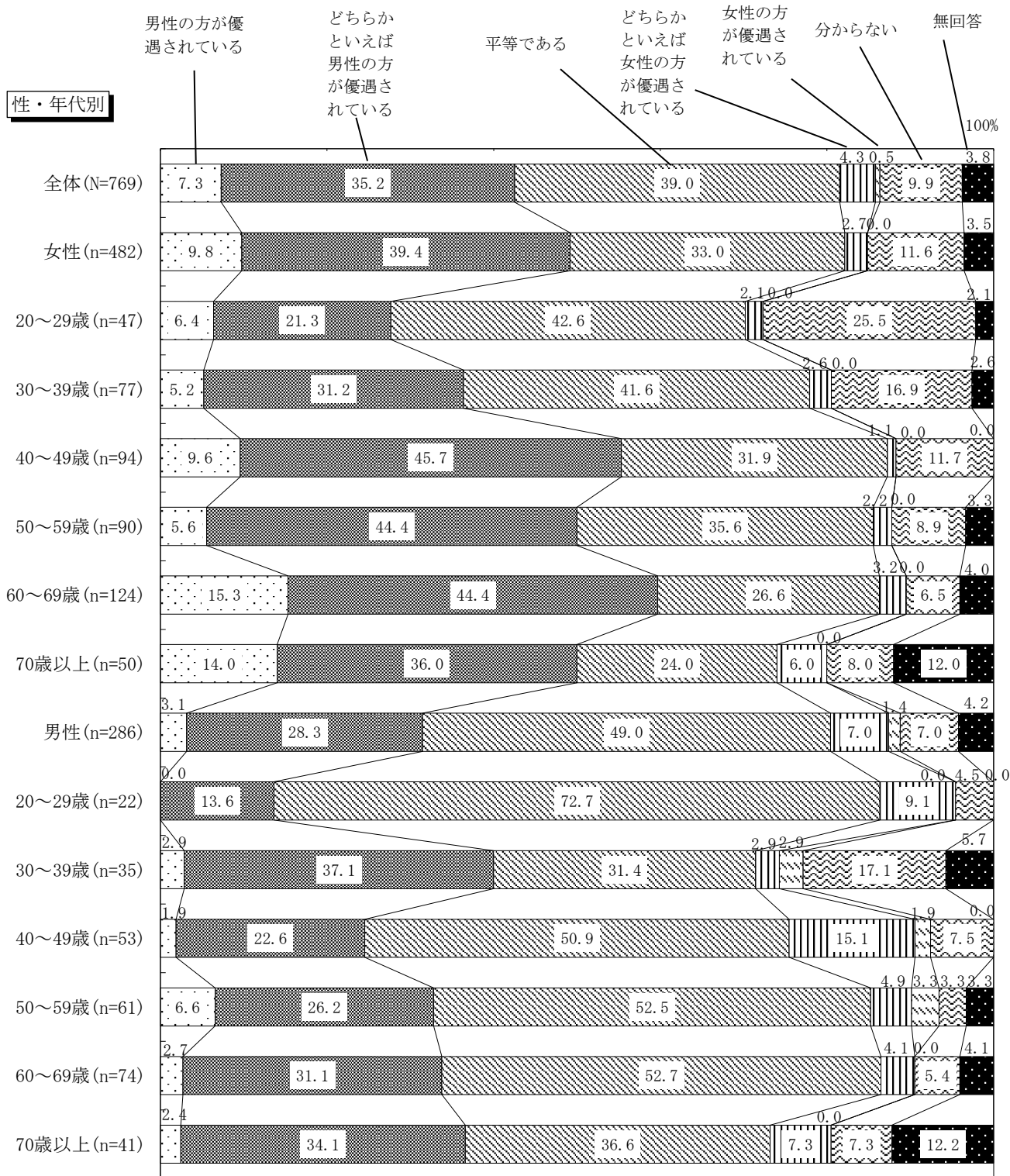
年代別にみると、いずれの年代も「平等」の割合が最も高くなっている。

□ 男女の地位の平等に関する考えについてお尋ねします

問 10

あなたは次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。1～8それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

7 地域活動・社会活動の場で



地域活動・社会活動の場での男女の地位の平等感について性別にみると、女性は『男性優遇』が49.2%に対して「平等」は33.0%となっている。一方、男性は『男性優遇』が31.4%に対して「平等」49.0%となっており、女性は『男性優遇』との考えが強いのにに対して、男性は「平等」との考えが強い傾向がみられる。

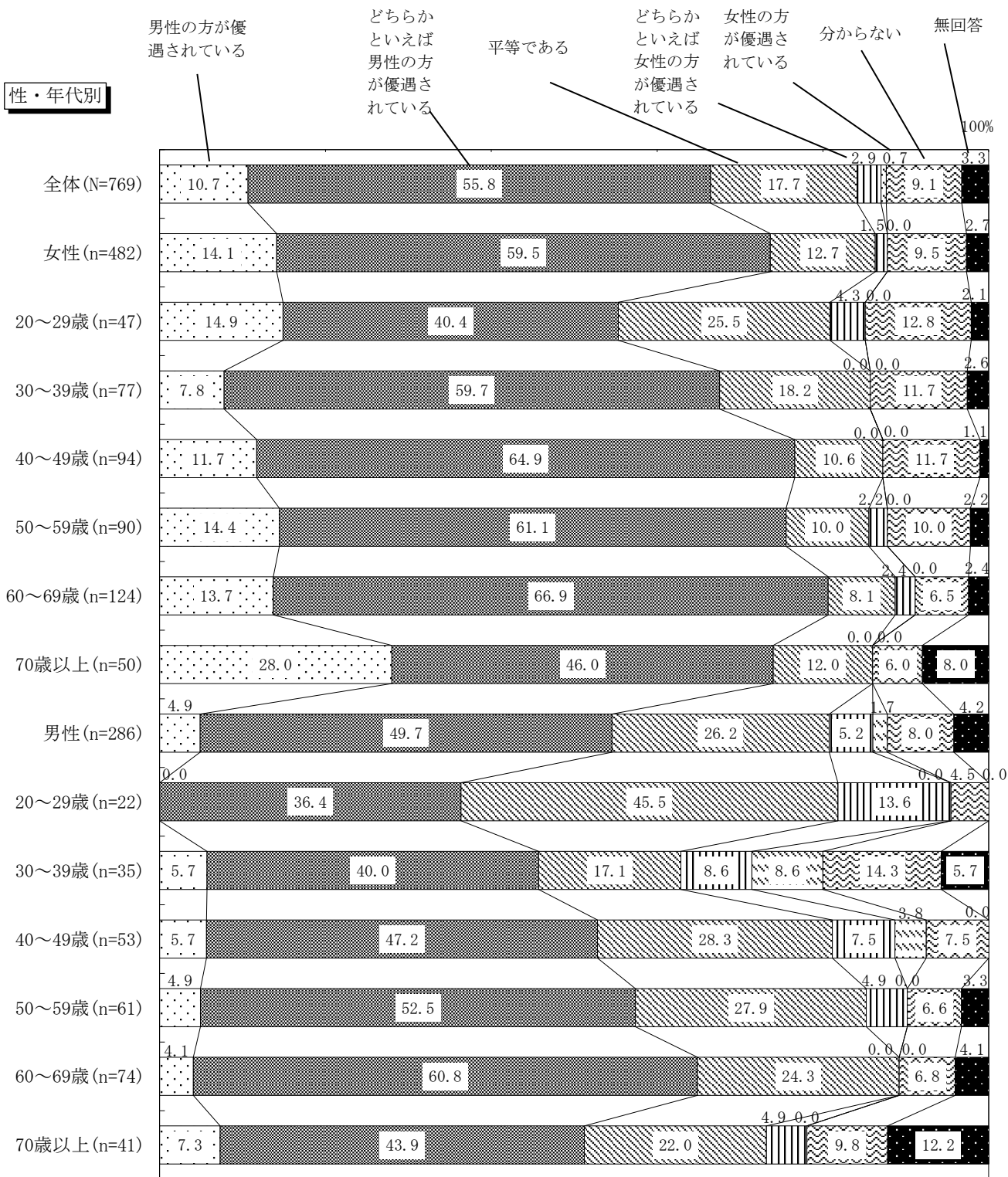
年代別にみると、「平等」は男女ともに20代で最も高くなっており、特に男性20代（72.7%）で高くなっている。

□ 男女の地位の平等に関する考えについてお尋ねします

問 1 0

あなたは次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。1～8それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

8 社会全体として



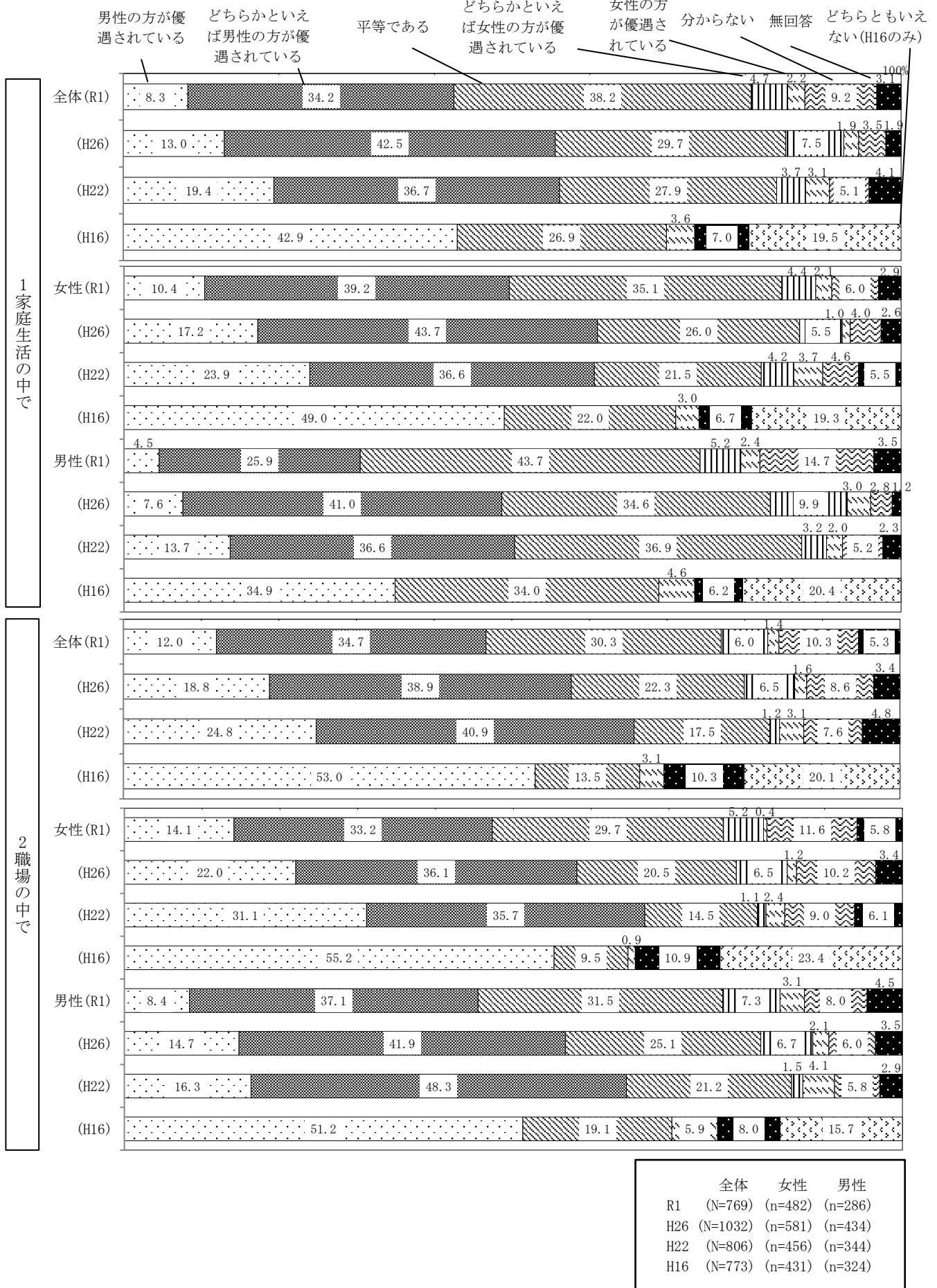
社会全体としてみた場合の男女の地位の平等感について性別にみると、女性は『男性優遇』が73.6%に対して「平等」は12.7%となっている。一方、男性は『男性優遇』が54.6%に対して「平等」26.2%となっており、男女ともに『男性優遇』との考えが強く、女性はその傾向が男性よりも強い。

年代別にみると、男性20代は「平等」の割合が最も高いが、他の年代では『男性優遇』の割合が最も高くなっている。また、いずれの年代も『男性優遇』の割合は男性より女性の方が高くなっている。

□ 男女の地位の平等に関する考えについてお尋ねします

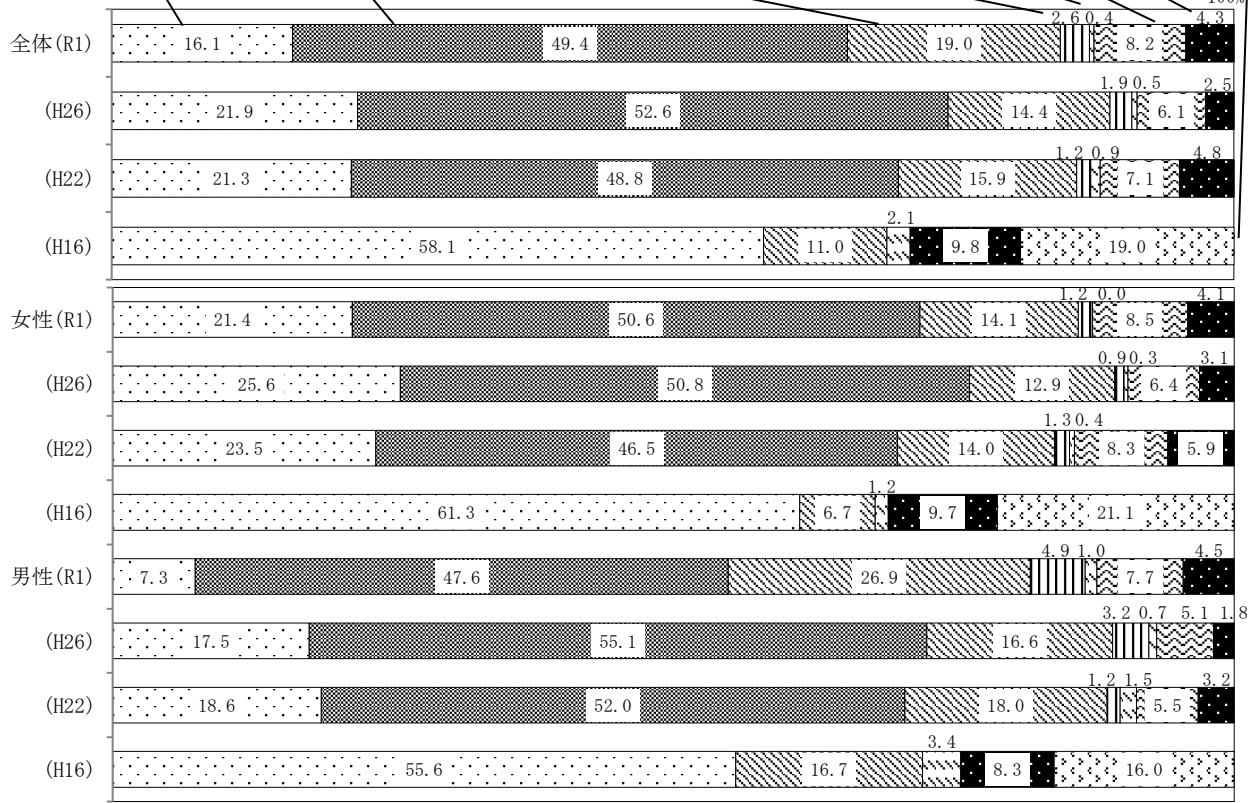
問 10

あなたは次の分野において、男女の地位が平等になっていると思いますか。1～8それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

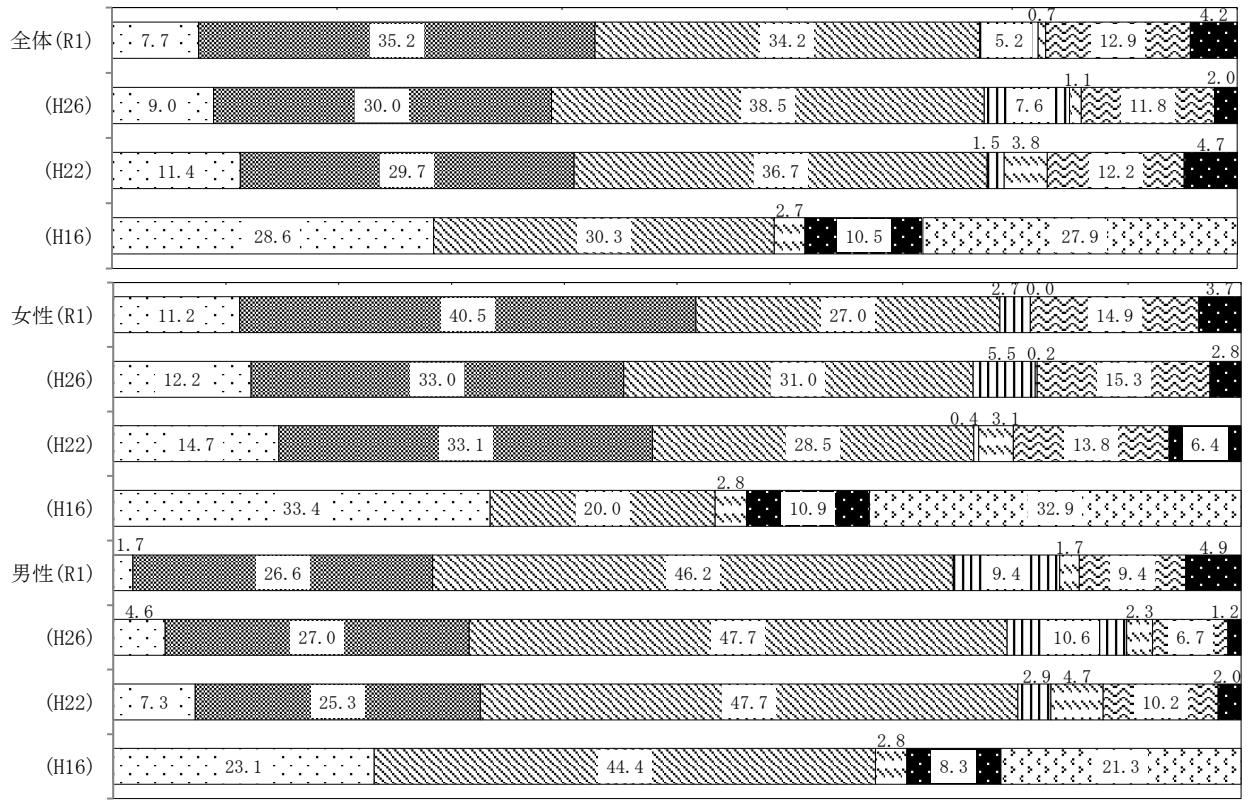


男性の方が優遇されている
 どちらかといえば男性の方が優遇されている
 平等である
 どちらかといえば女性の方が優遇されている
 女性の方が優遇されている
 分からない
 無回答
 どちらともいえない(H16のみ)

3 社会通念・慣習・しきたりなど



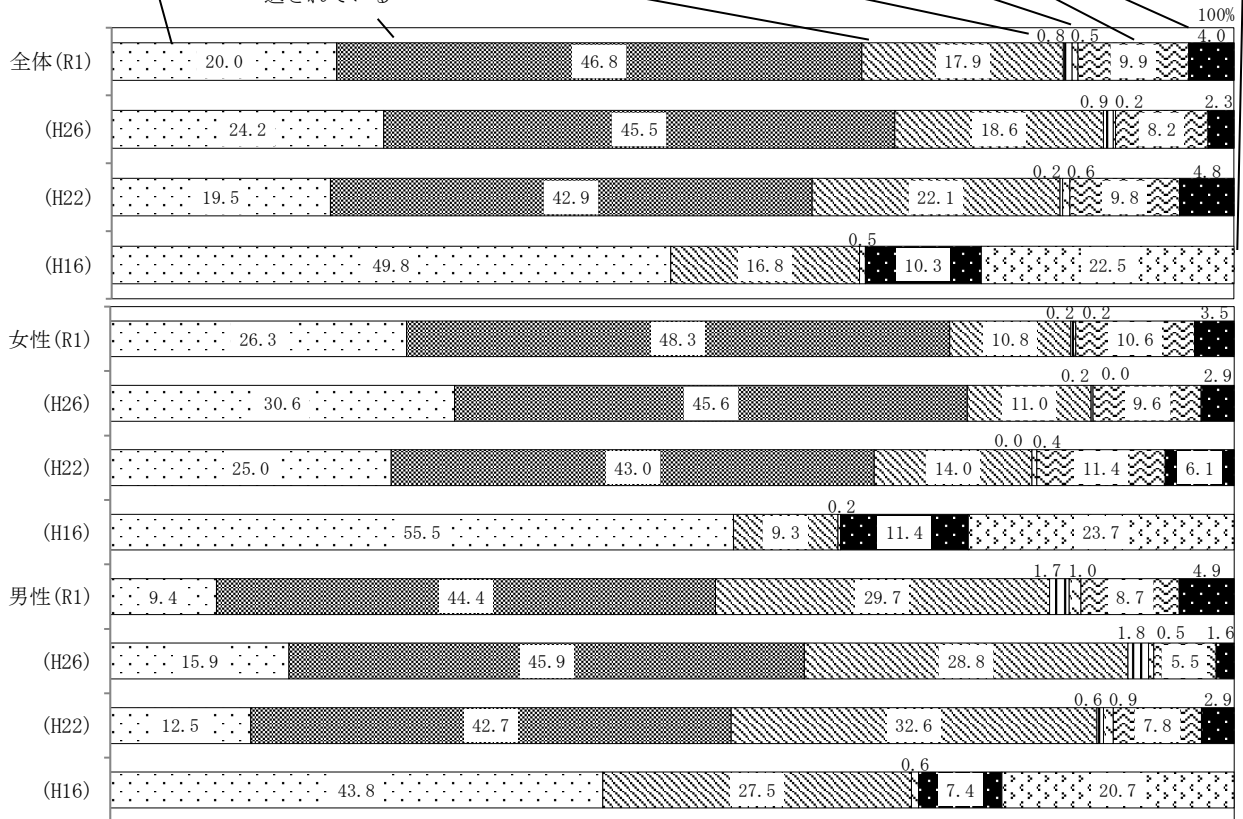
4 法律や制度の面で



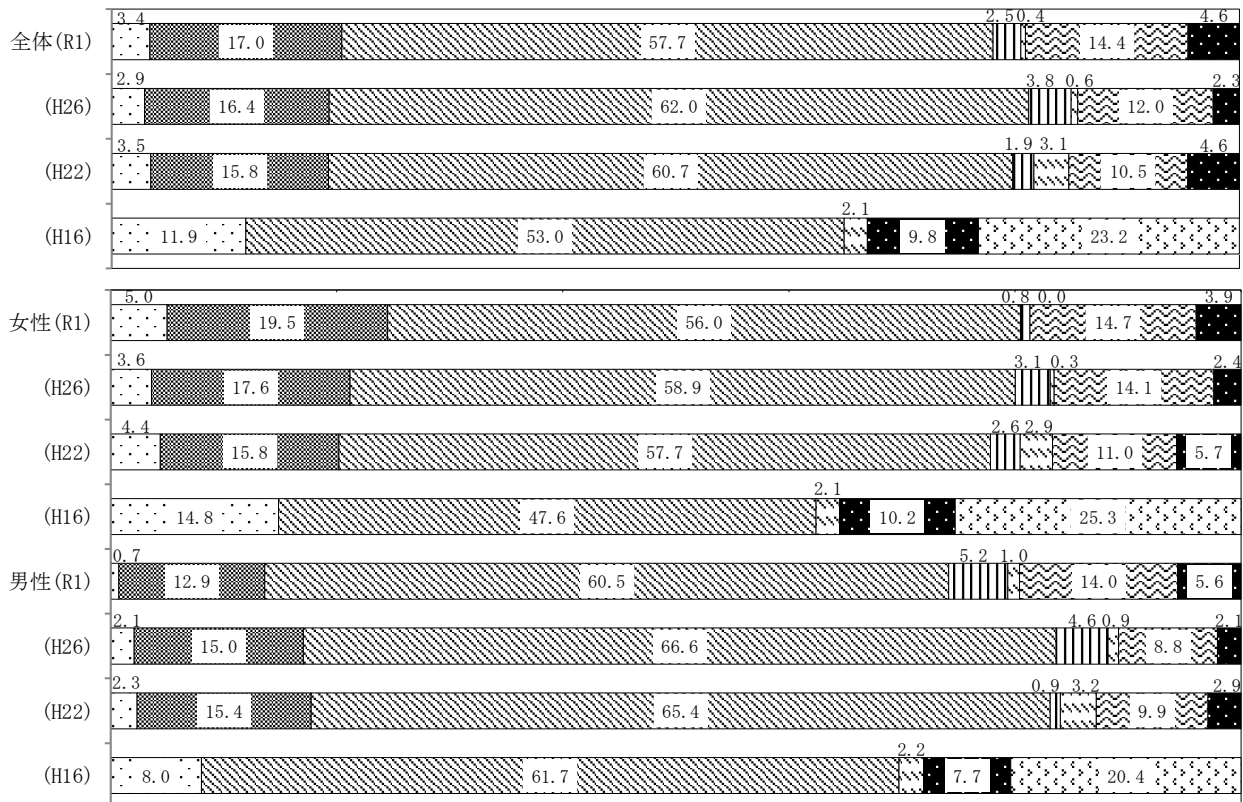
	全体	女性	男性
R1	(N=769)	(n=482)	(n=286)
H26	(N=1032)	(n=581)	(n=434)
H22	(N=806)	(n=456)	(n=344)
H16	(N=773)	(n=431)	(n=324)

男性の方が優遇されている どちらかといえば男性の方が優遇されている 平等である どちらかといえば女性の方が優遇されている 女性の方が優遇されている 分からない無回答 どちらともいえない(H16のみ)

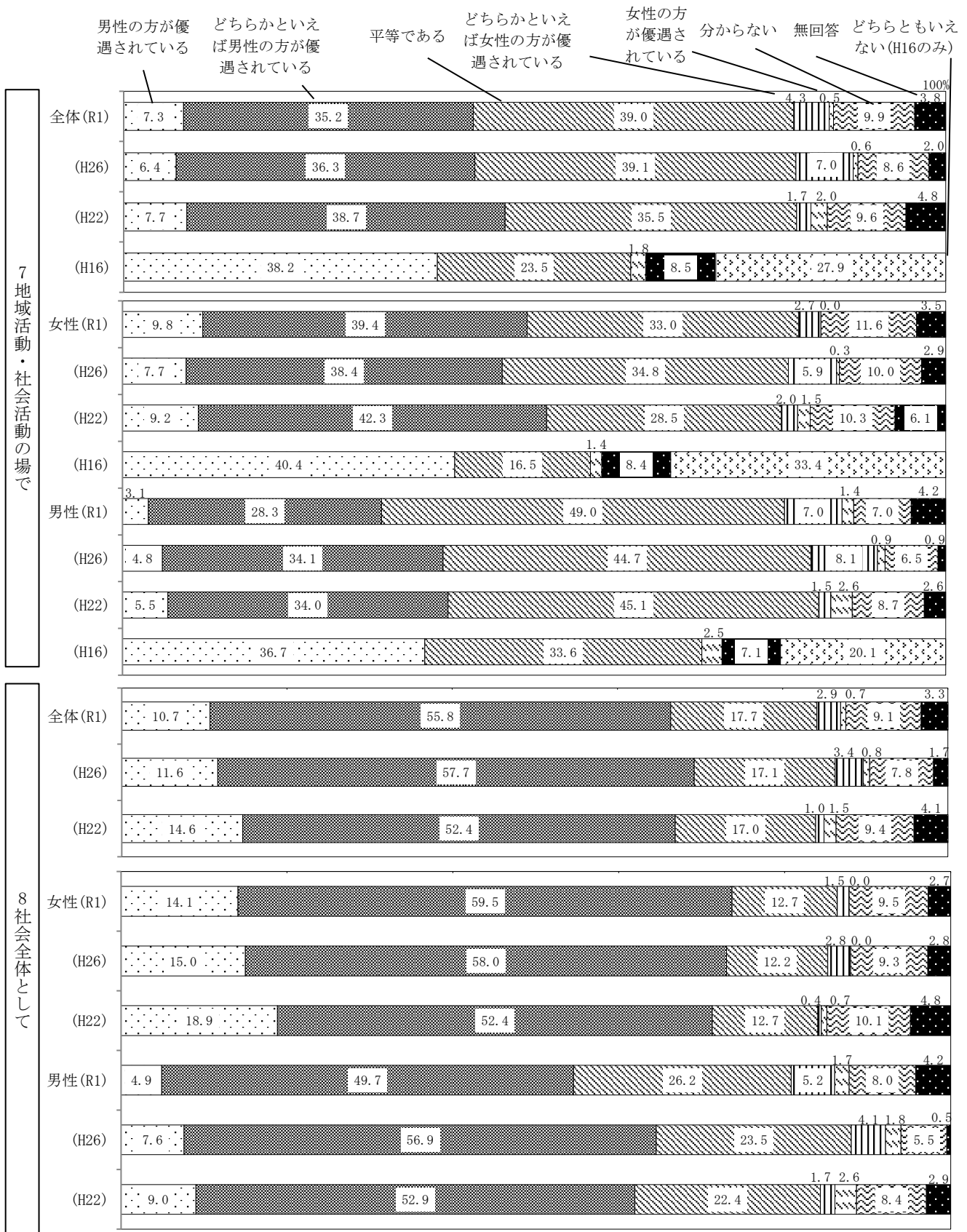
5 政治・経済活動の場で



6 学校教育の場で



	全体	女性	男性
R1	(N=769)	(n=482)	(n=286)
H26	(N=1032)	(n=581)	(n=434)
H22	(N=806)	(n=456)	(n=344)
H16	(N=773)	(n=431)	(n=324)



※設問「8 社会全体として」は平成22年度実施時からの項目であるため、平成16年度データなし

	全体	女性	男性
R1	(N=769)	(n=482)	(n=286)
H26	(N=1032)	(n=581)	(n=434)
H22	(N=806)	(n=456)	(n=344)
H16	(N=773)	(n=431)	(n=324)

前回の調査結果と比較すると、「家庭生活の中で」、「職場の中で」、「社会通念・慣習・しきたりなど」においては男女ともに『男性優遇』が減少し、「平等」が増加している。「法律や制度の面で」、「政治・経済活動の場で」、「学校教育の場で」、「地域活動・社会活動の場で」においては、「平等」の割合がやや減少している。

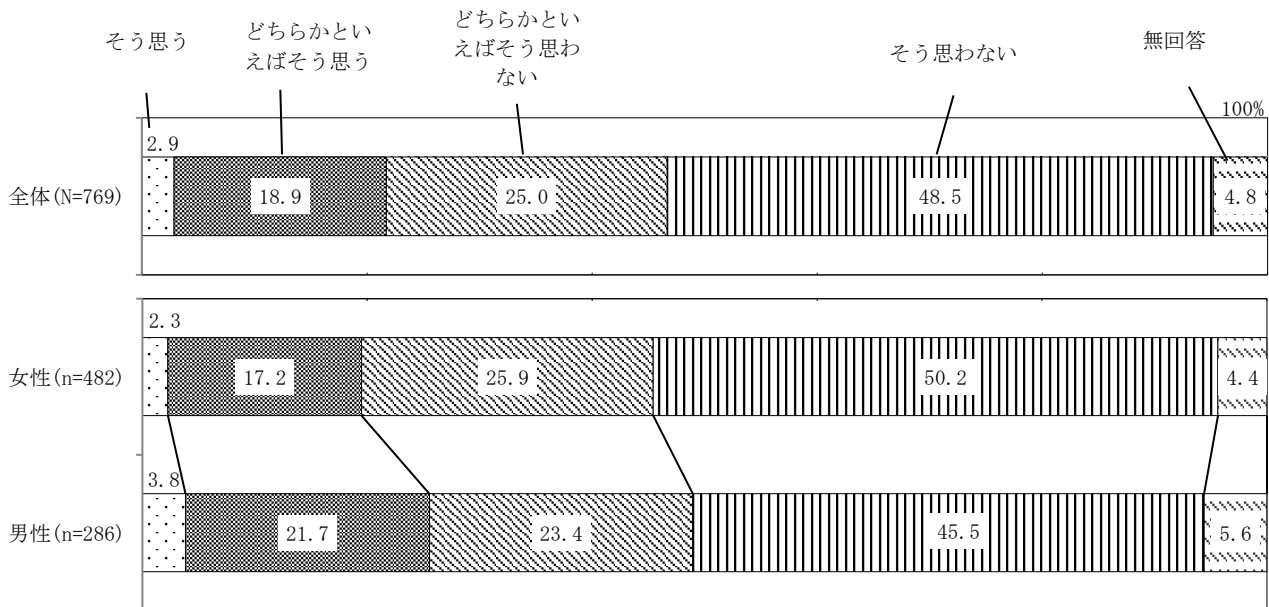
「社会全体として」は「平等」の割合がやや増加している。

□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

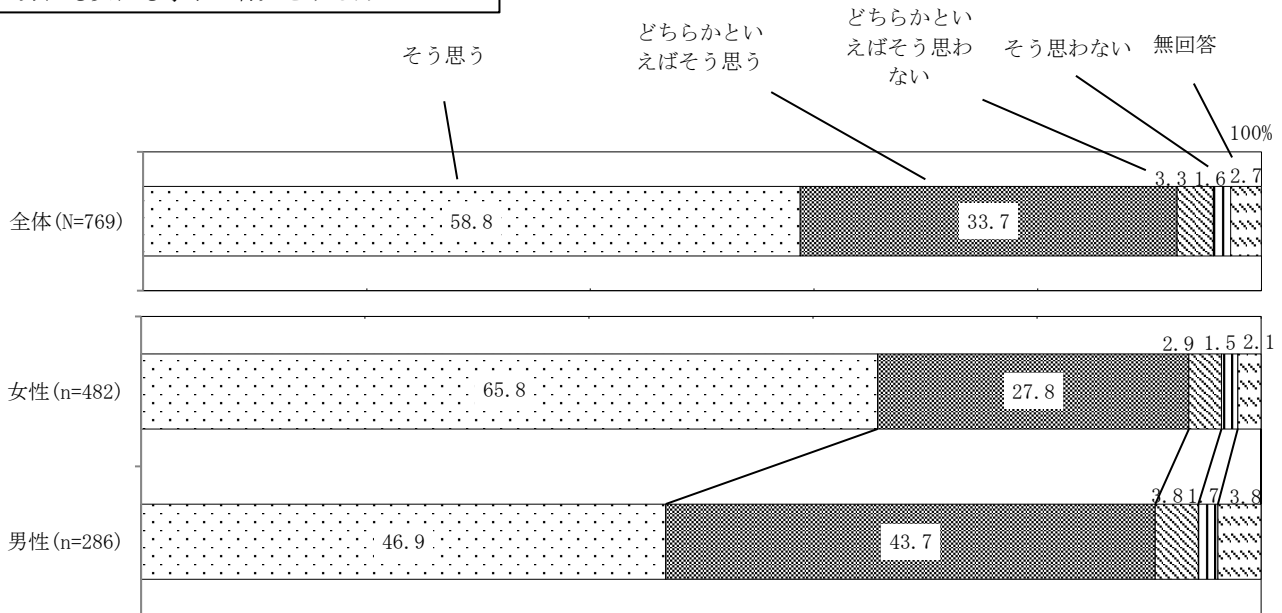
問 1 1

次の1～2の考え方について、あなたはどのように思いますか。1～2それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

1 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである



2 男性も女性も家事・育児をする方がよい



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「そう思わない」（48.5%）、「どちらかといえばそう思わない」（25.0%）を合わせた『そう思わない』人の割合は73.5%で、「そう思う」（2.9%）「どちらかといえばそう思う」（18.9%）を合わせた『そう思う』人の割合21.8%を51.7ポイント上回っている。

性別にみると、『そう思わない』人の割合は、女性76.1%、男性68.9%で女性の方が高くなっている。

「男性も女性も家事・育児をする方がよい」という考え方について、「そう思う」（58.8%）「どちらかといえばそう思う」（33.7%）を合わせた『そう思う』人の割合は92.5%で、「そう思わない」（1.6%）「どちらかといえばそう思わない」（3.3%）を合わせた『そう思わない』人の割合4.9%を大きく上回っている。

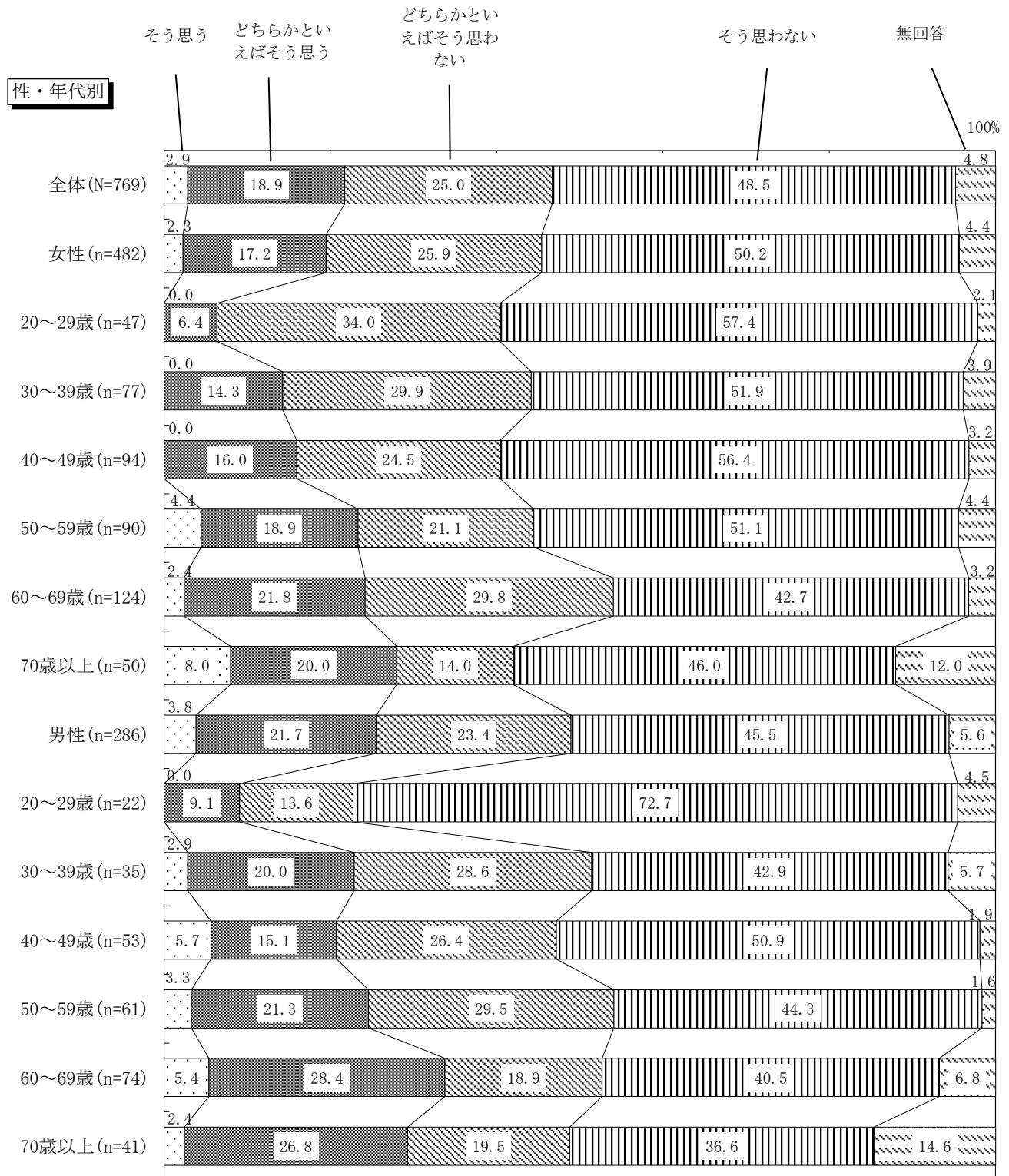
性別にみると、『そう思う』人の割合は、女性93.6%、男性90.6%で女性の方が高くなっている。

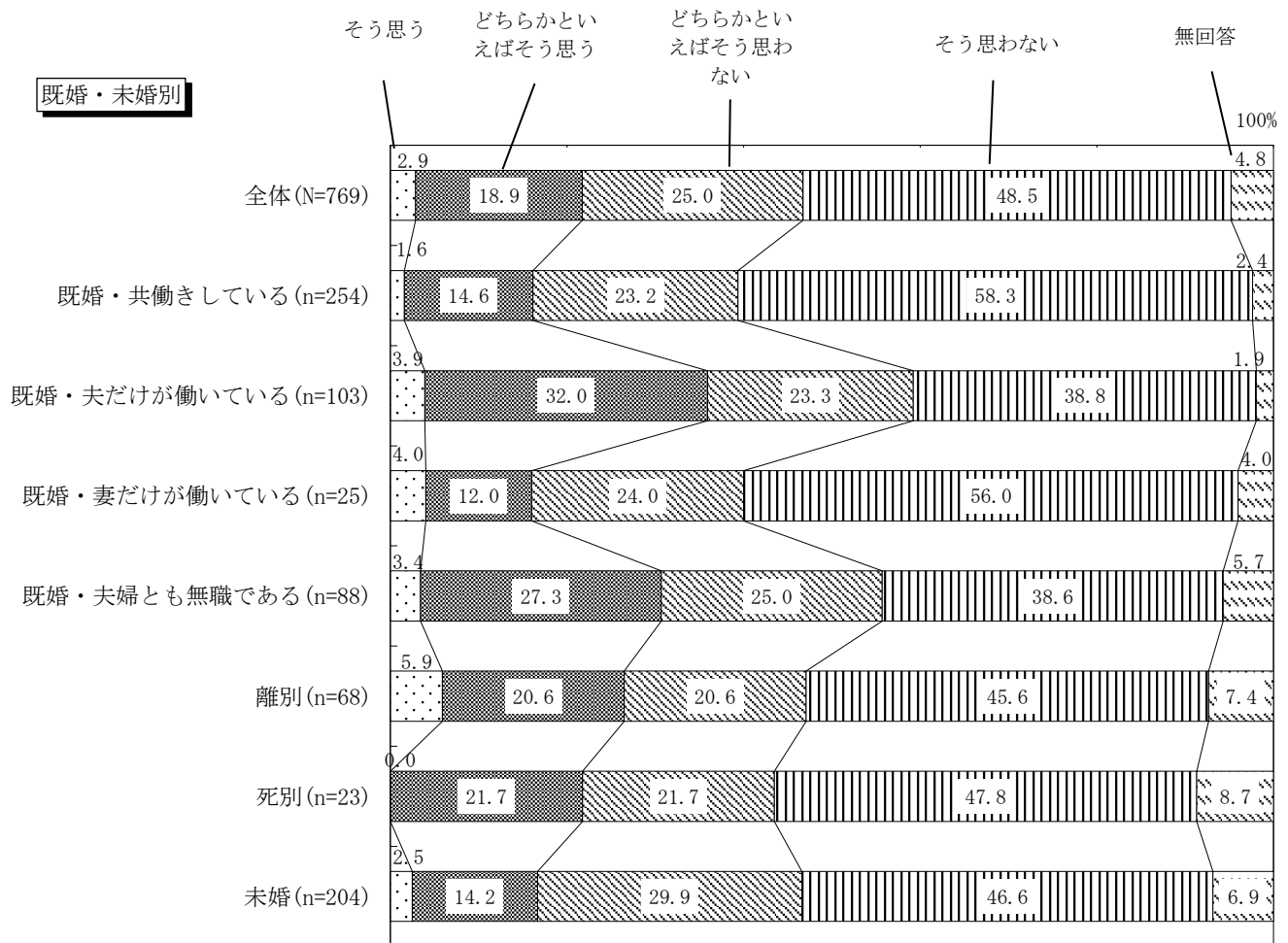
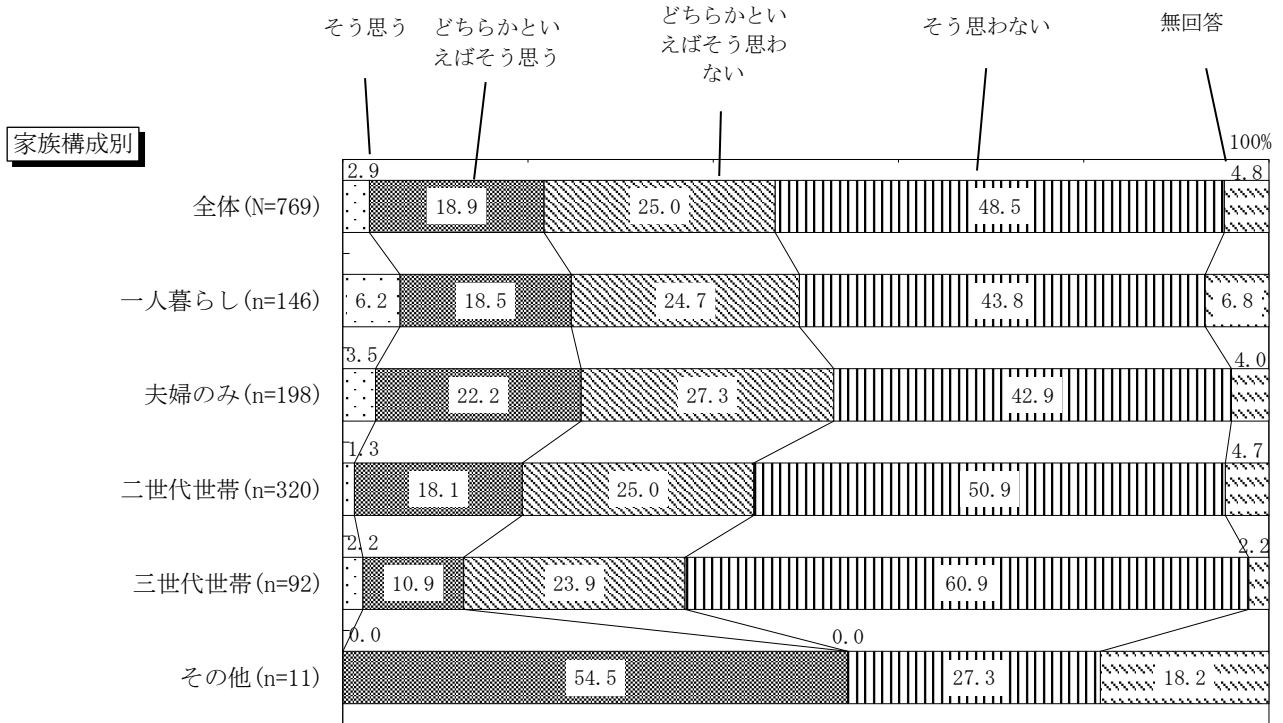
□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

問1 1

次の1～2の考え方について、あなたはどのように思いますか。1～2それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

1 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである





年代別にみると、『そう思わない』人の割合は、女性20代（91.4%）、男性20代（86.3%）で高くなっている。『そう思う』人の割合は、男性60代（33.8%）、男性70歳以上（29.2%）、女性70歳以上（28.0%）で高くなっている。男女ともに全ての年代で『そう思わない』が『そう思う』を上回っている。

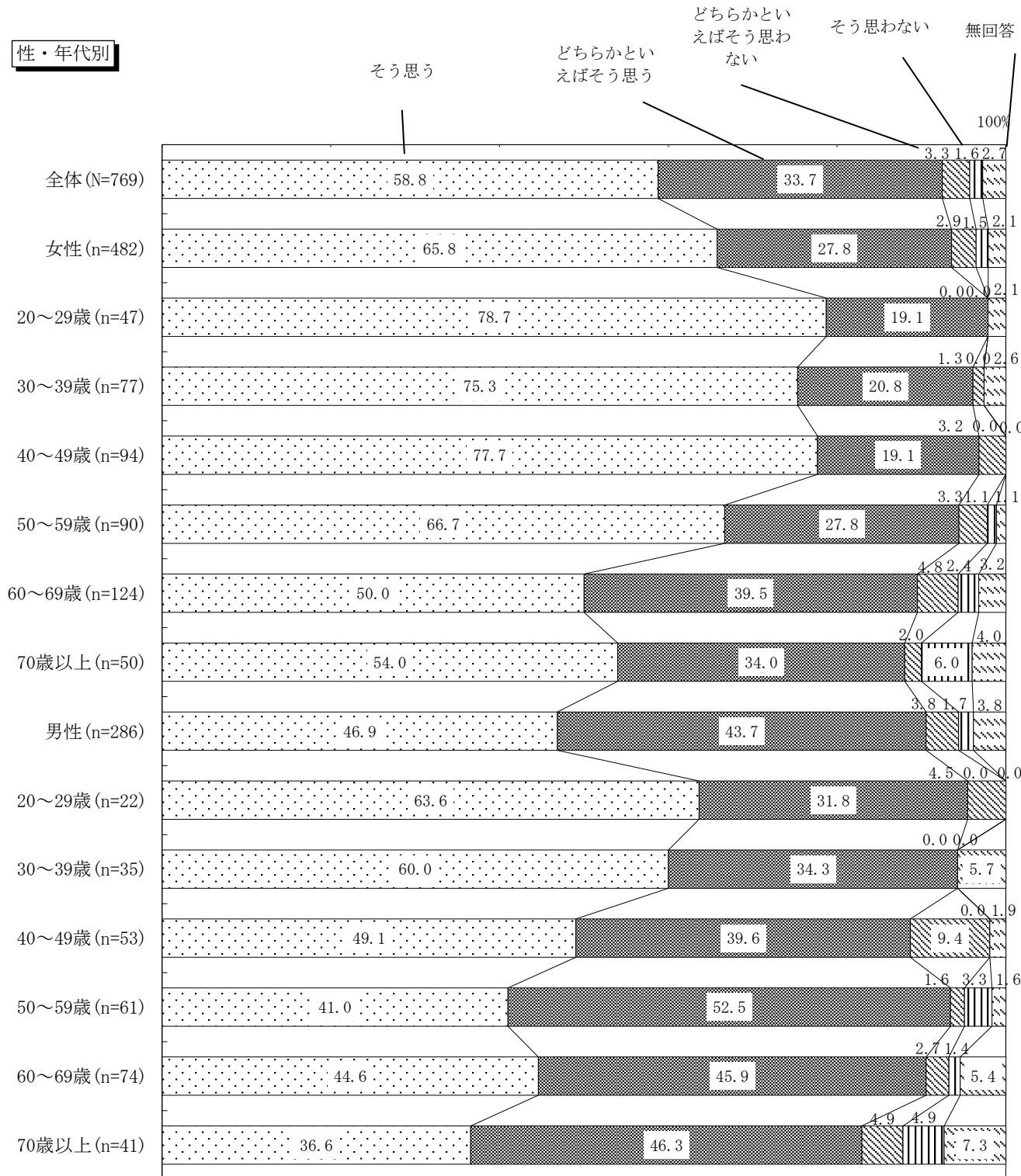
家族構成別にみると、『そう思わない』人の割合は三世帯世帯（84.8%）が最も高く、一人暮らしの世帯（68.5%）が最も低くなっている。

配偶関係別でみると、『そう思わない』人の割合は既婚（共働き）（81.5%）、既婚（妻のみ就労）（80.0%）で高く、既婚（夫のみ就労）（62.1%）で最も低くなっている。

前回の調査結果と比較すると、男女ともに『そう思う』人の割合が減少し、『そう思わない』人の割合が増加している。

□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

問1 1
 次の1～2の考え方について、あなたはどのように思いますか。1～2それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。
 2 男性も女性も家事・育児をする方がよい



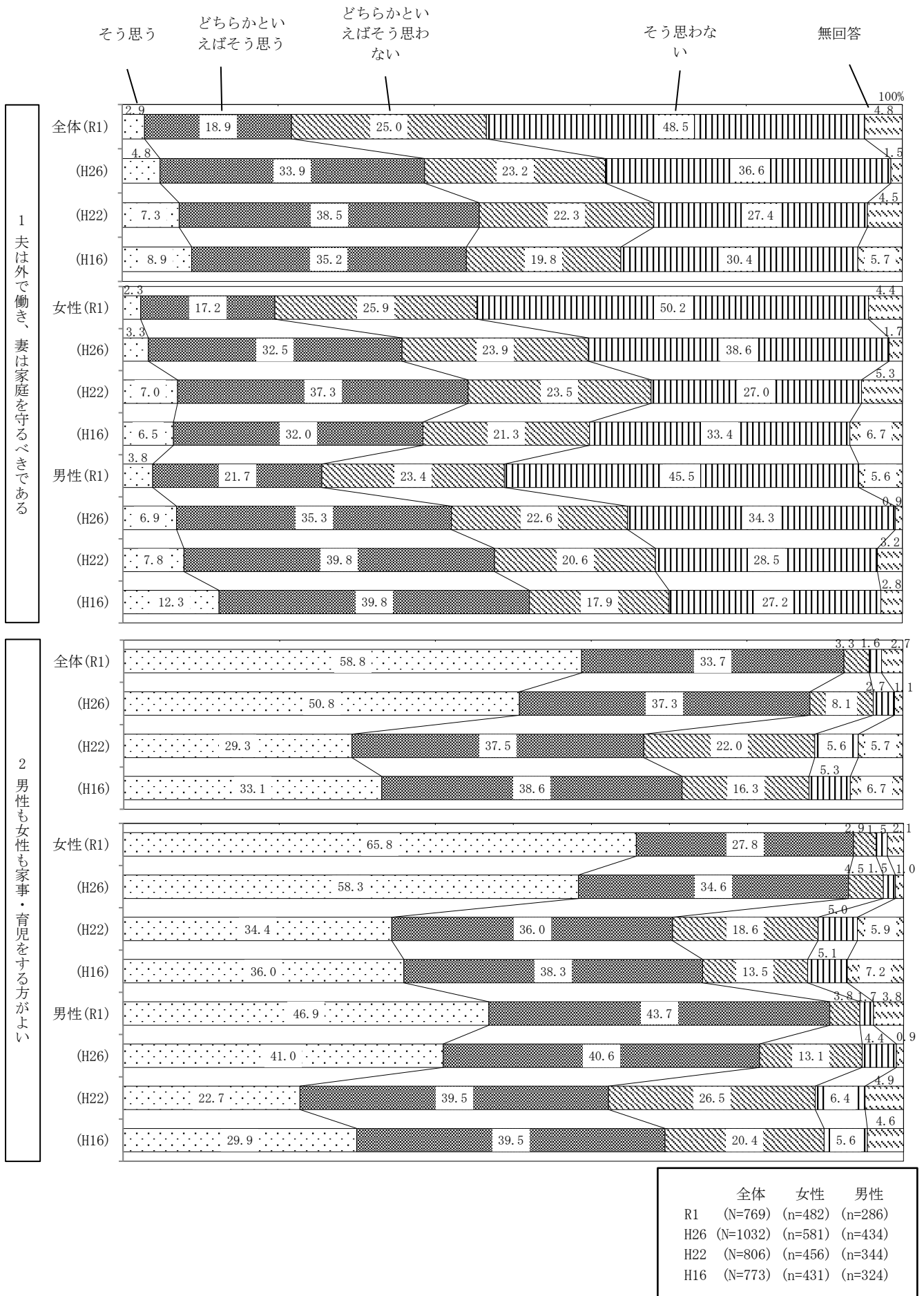
年代別にみると、『そう思う』人の割合は、女性20歳代（97.8%）、女性40代（96.8%）、女性30代（96.1%）で高くなっている。

前回の調査結果と比較すると、男女ともに『そう思う』人の割合が増加し、『そう思わない』人の割合が減少している。

□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

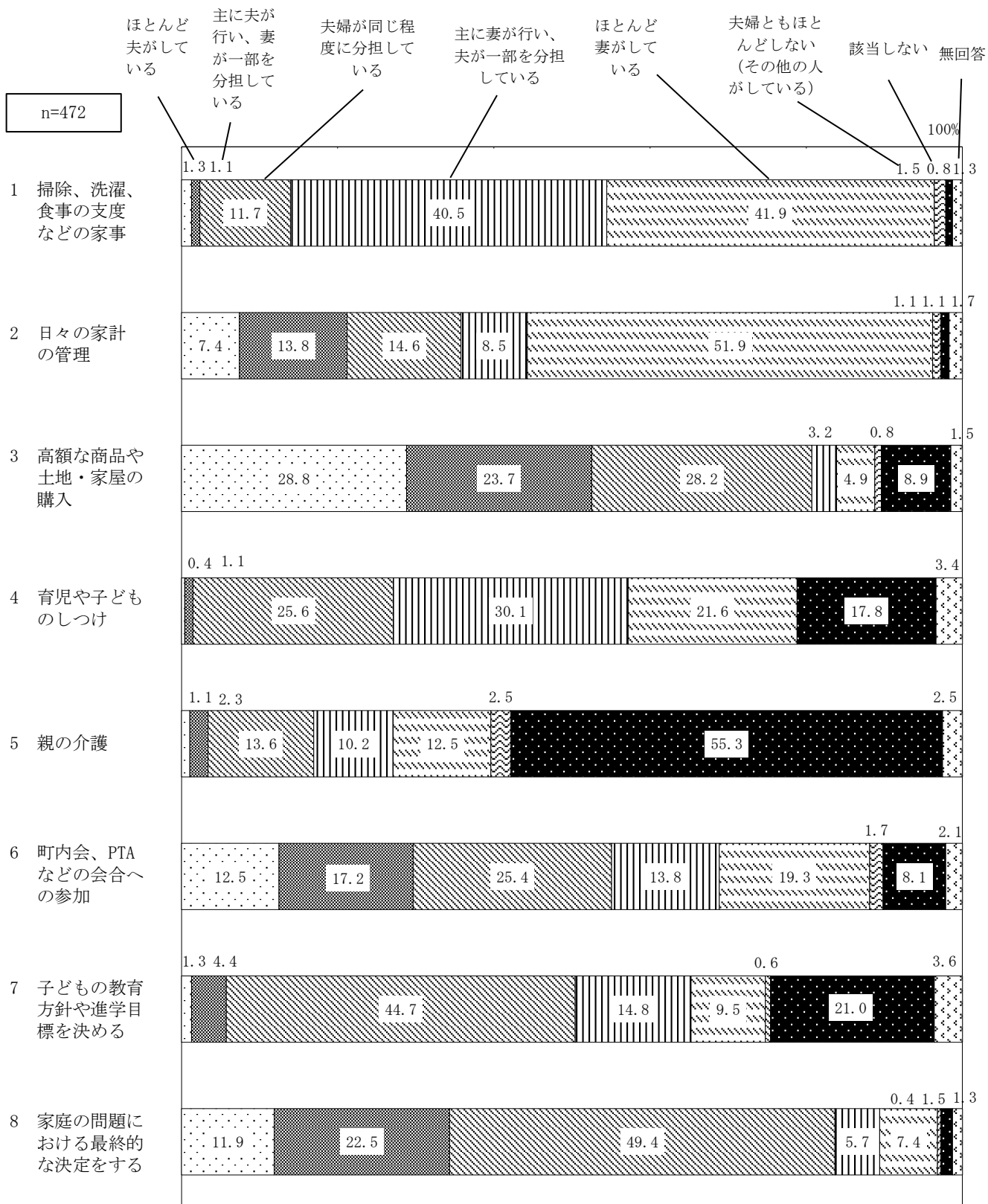
問 1 1

次の1～2の考え方について、あなたはどのように思いますか。1～2それぞれの項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。



□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

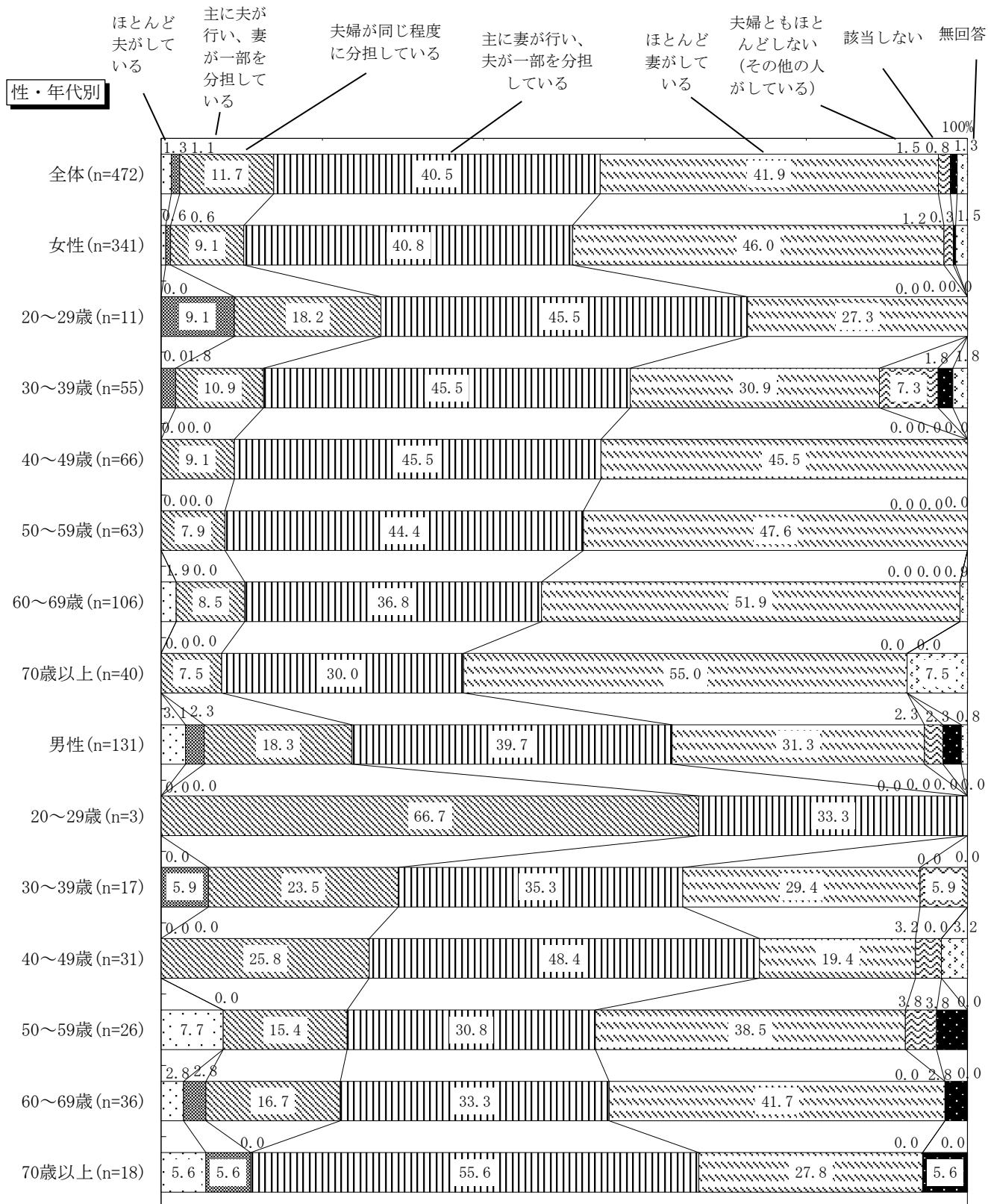
問12 【現在、結婚されている（事実婚を含む。）方にお伺いします。】
 あなたのご家庭では、次のような家庭内の仕事等を、夫婦の間でどのように行っていますか。1～8それぞれの項目について、当てはまるものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。



「掃除、洗濯、食事の支度などの家事」、「日々の家計の管理」、「育児や子どものしつけ」は『妻』（「ほとんど妻がしている」＋「主に妻が行い、夫が一部を分担している」）が占める割合が高くなっている。「高額な商品や土地・家屋の購入」は『夫』（「ほとんど夫がしている」＋「主に夫が行い、妻が一部を分担している」）が高くなっている。「子どもの教育方針や進学目標を決める」、「家庭問題における最終的な決定をする」は「夫婦が同じ程度に分担している」が最も高くなっている。

□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

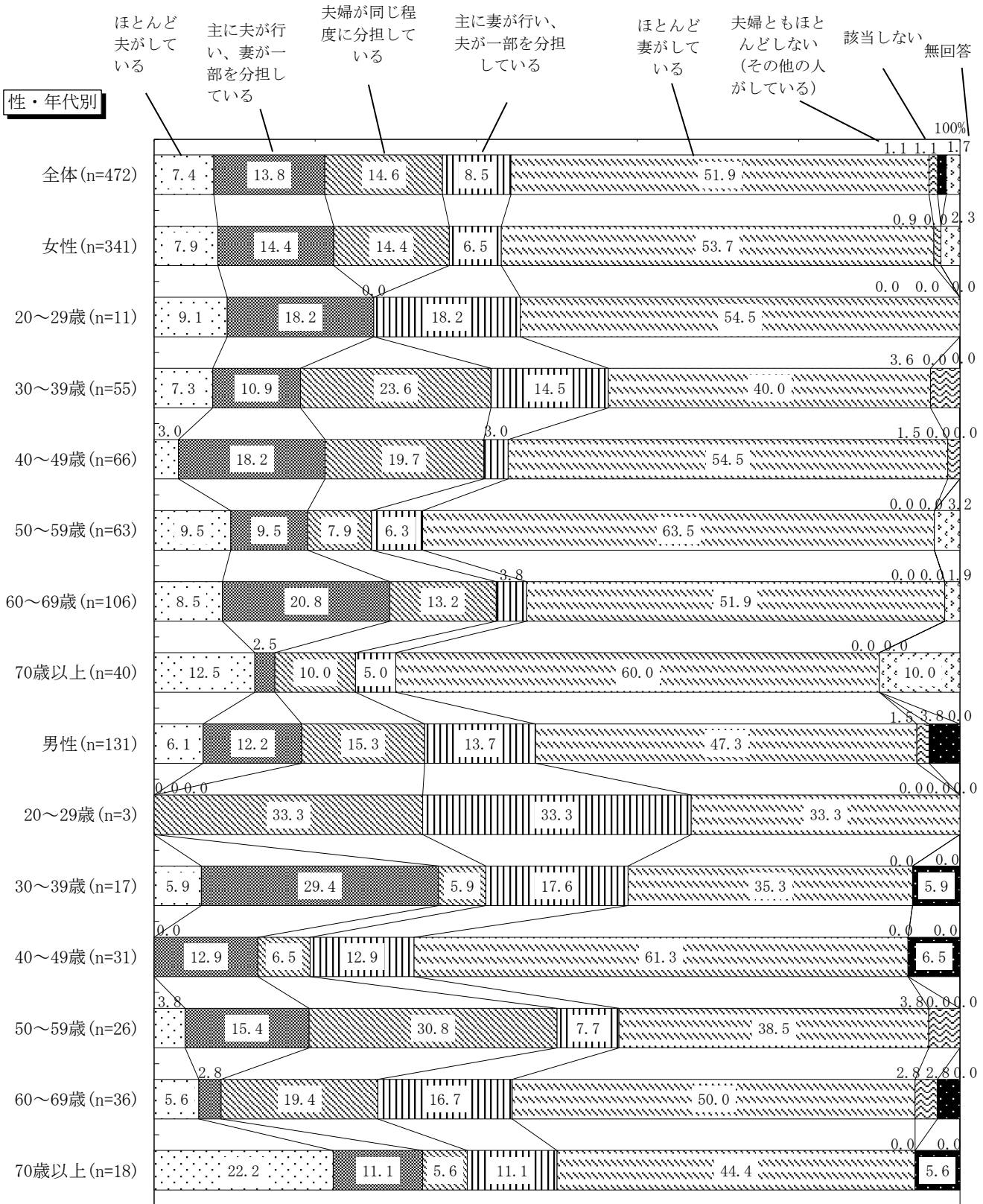
問1 2 【現在、結婚されている（事実婚を含む。）方にお伺いします。】
 あなたのご家庭では、次のような家庭内の仕事等を、夫婦の間でどのように行っていますか。1～8それぞれの項目について、当てはまるものを選んでください（○はそれぞれ1つつつ）。
 1 掃除、洗濯、食事の支度などの家事



「掃除、洗濯、食事の支度などの家事」について年代別にみると、男性20代は「夫婦が同じ程度に分担している」が他の年代よりも高くなっている。

□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

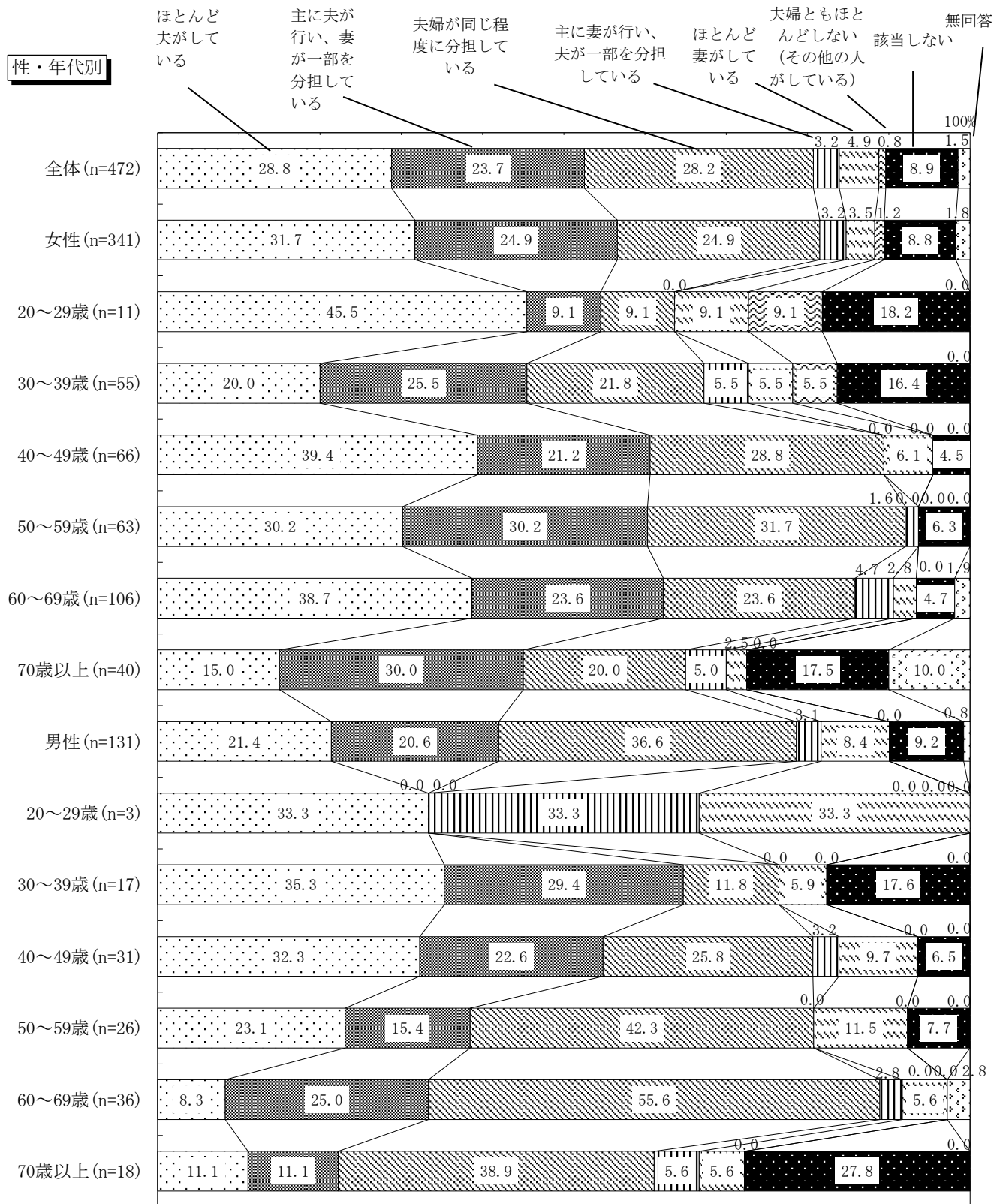
問12 【現在、結婚されている（事実婚を含む。）方にお伺いします。】
 あなたのご家庭では、次のような家庭内の仕事等を、夫婦の間でどのように行っていますか。1～8それぞれの項目について、当てはまるものを選んでください（○はそれぞれ1つつつ）。
 2 日々の家計の管理



「日々の家計の管理」について年代別にみると、男性70歳以上で「ほとんど夫がしている」が他の年代より高くなっている。

□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

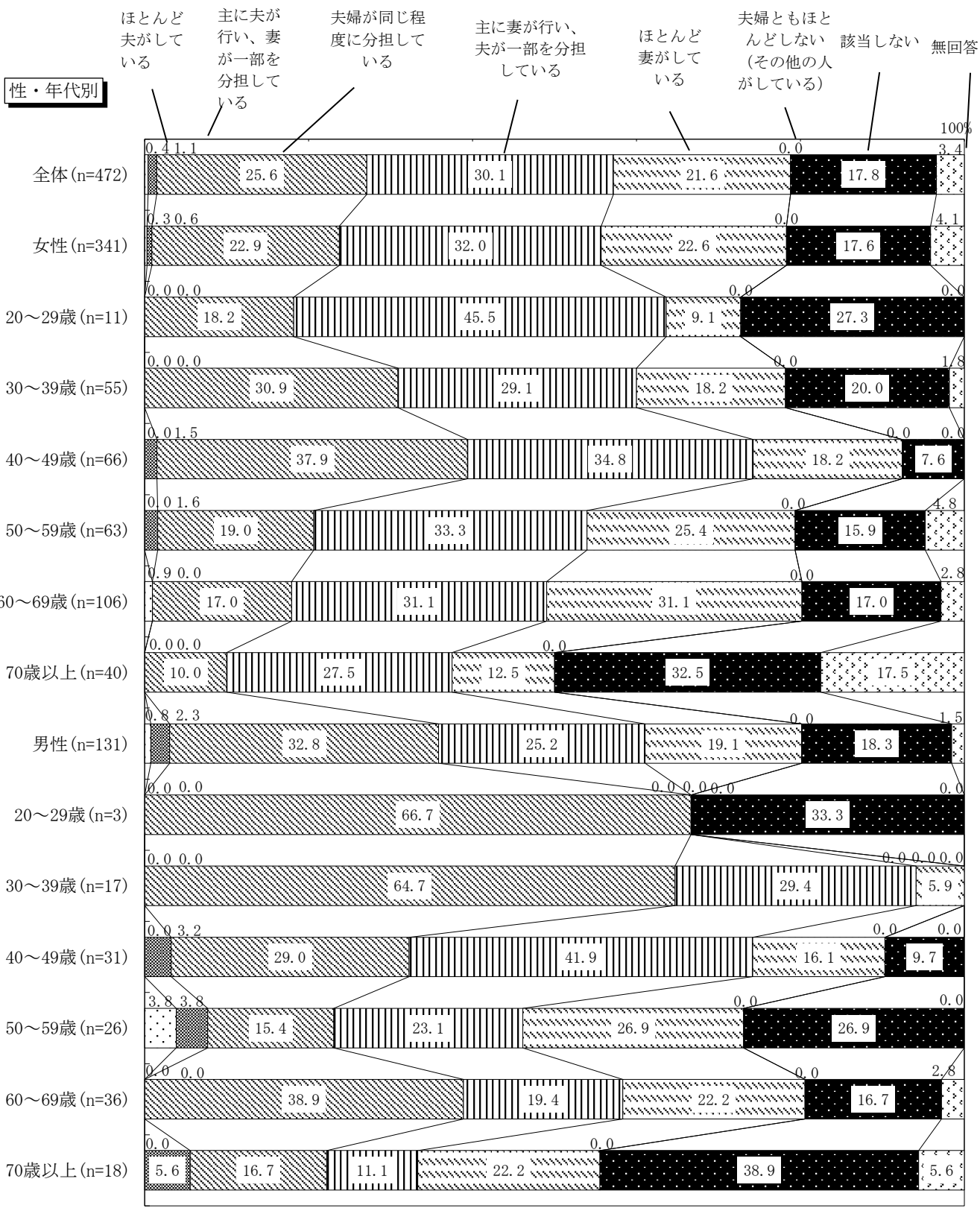
問1 2 【現在、結婚されている（事実婚を含む。）方にお伺いします。】
 あなたの家庭では、次のような家庭内の仕事等を、夫婦の間でどのように行っていますか。1～8それぞれの項目について、当てはまるものを選んでください（○はそれぞれ1ずつ）。
 3 高額な商品や土地・家屋の購入



「高額な商品や土地・家屋の購入」について年代別にみると、男性60代で「夫婦が同じ程度に分担している」が他の年代より高くなっている。

□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

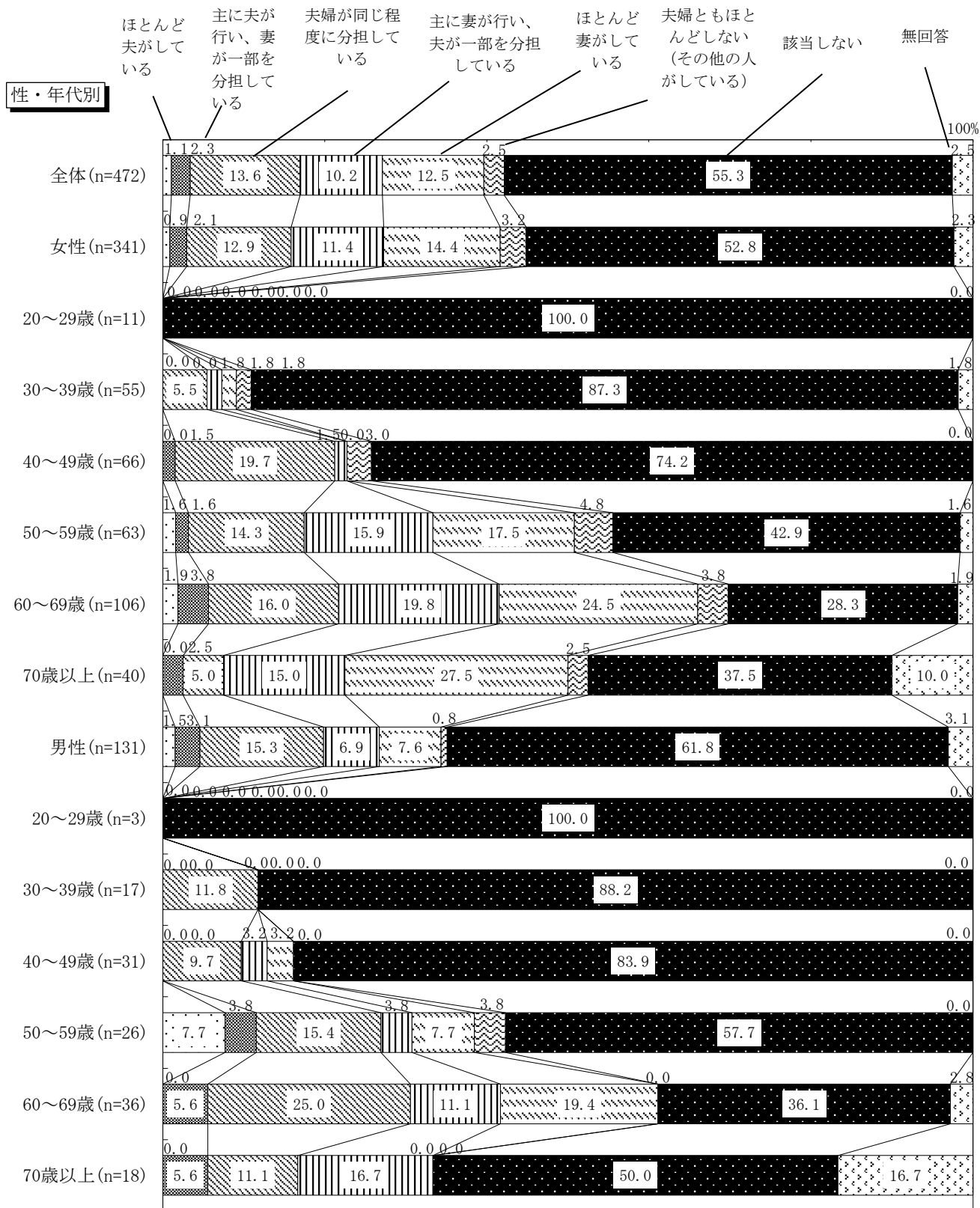
問12 【現在、結婚されている（事実婚を含む。）方にお伺いします。】
 あなたのご家庭では、次のような家庭内の仕事等を、夫婦の間でどのように行っていますか。1～8それぞれの項目について、当てはまるものを選んでください（○はそれぞれ1つつ）。



「育児や子どものしつけ」について年代別にみると、男性20代、男性30代で「夫婦が同じ程度に分担している」が他の年代より高くなっている。

□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

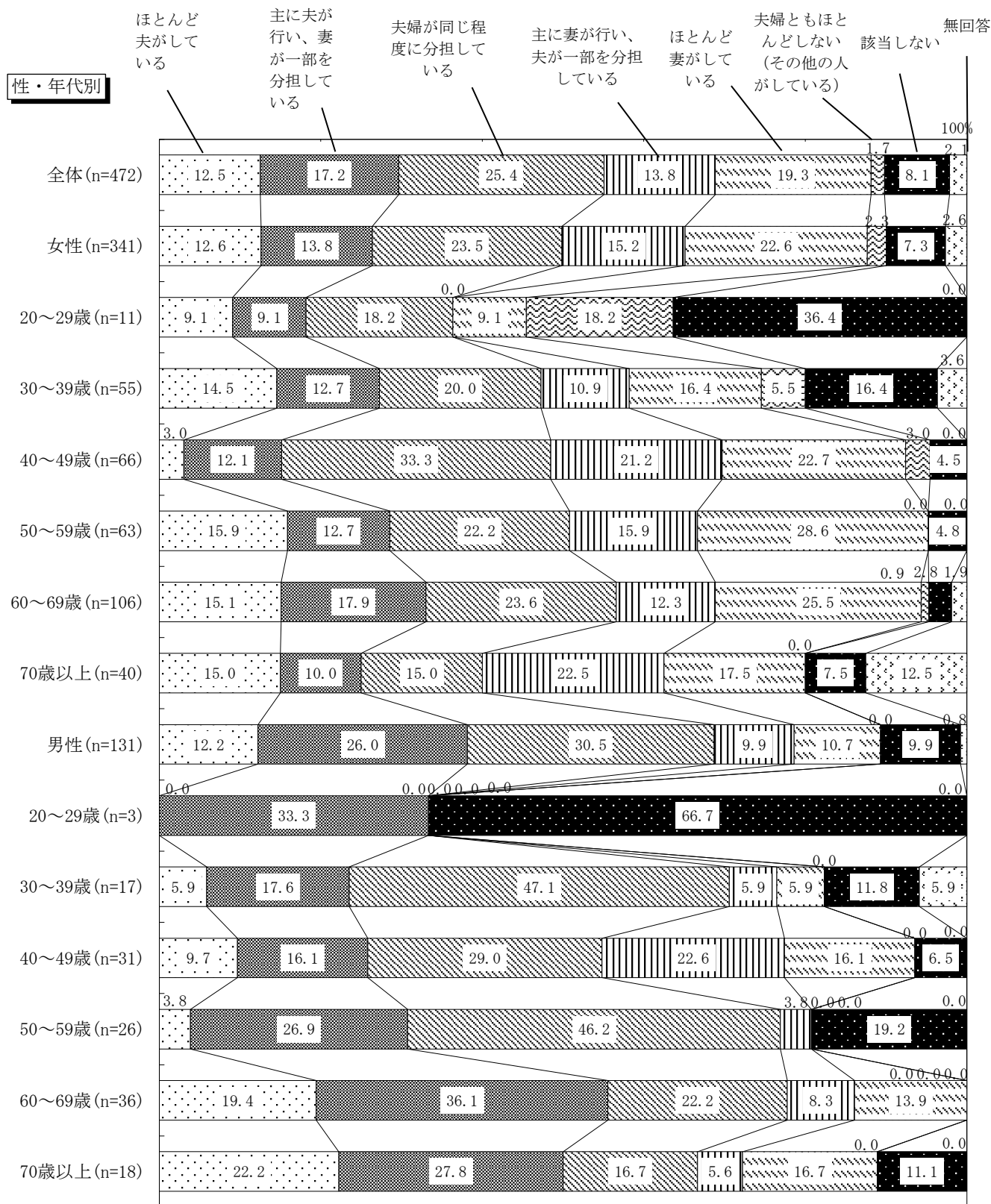
問12 【現在、結婚されている（事実婚を含む。）方にお伺いします。】
 あなたのご家庭では、次のような家庭内の仕事等を、夫婦の間でどのように行っていますか。1～8それぞれの項目について、当てはまるものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。
 5 親の介護



「親の介護」について年代別にみると、女性50代以上、男性60代以上で『妻』の割合が高くなっている。女性30代、女性40代、男性30代から50代では「夫婦が同じ程度に分担している」の割合が高くなっている。

□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

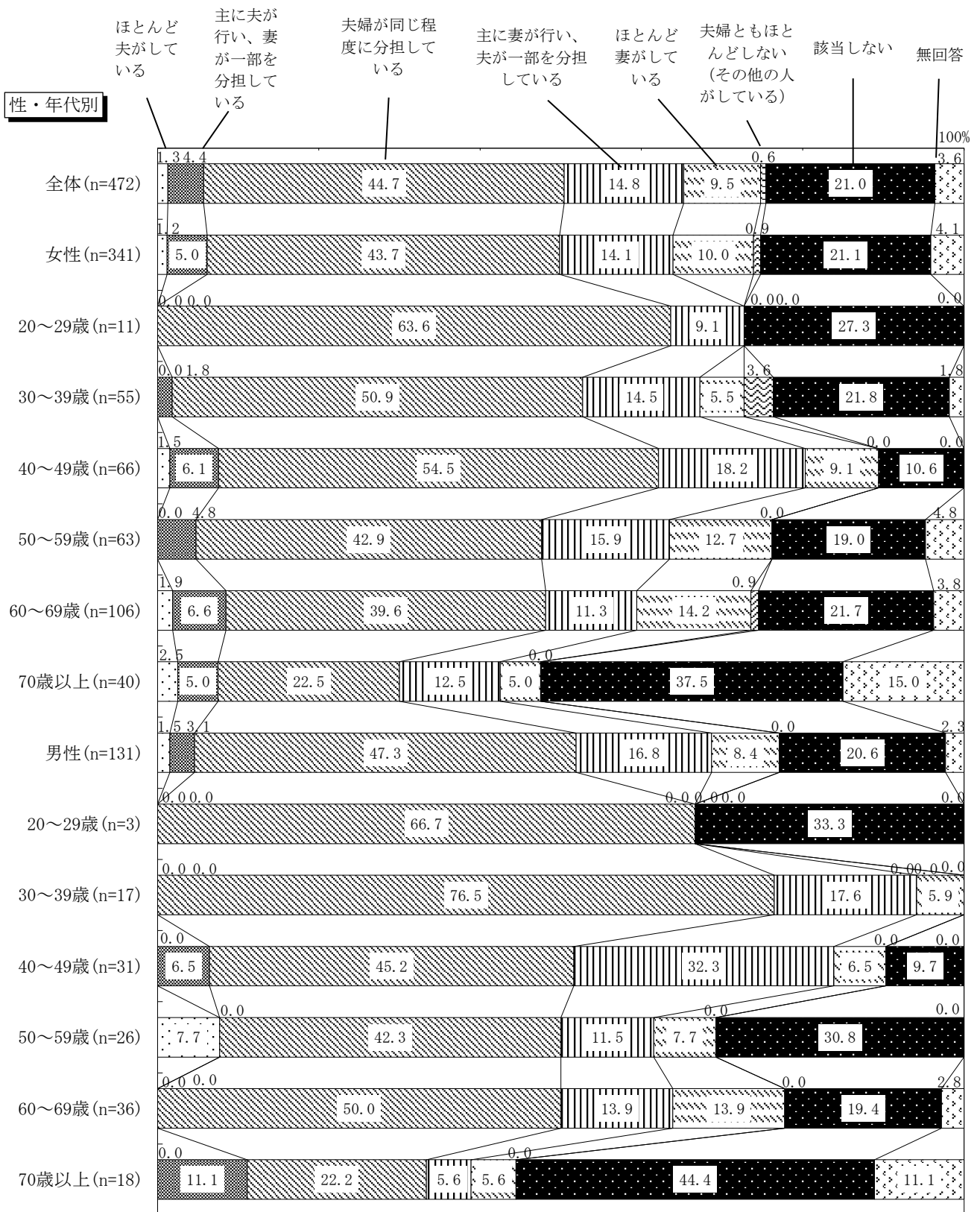
問12 【現在、結婚されている（事実婚を含む。）方にお伺いします。】
 あなたのご家庭では、次のような家庭内の仕事等を、夫婦の間でどのように行っていますか。1～8それぞれの項目について、当てはまるものを選んでください（○はそれぞれ1ずつ）。
 6 町内会、PTAなどの会合への参加



「町内会、PTAなどの会合への参加」について年代別にみると、男性60代以上では『夫』の割合が他の年代に比べて高くなっている。男性30代、男性50代では「夫婦が同じ程度に分担している」が他の年代に比べて高くなっている。

□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

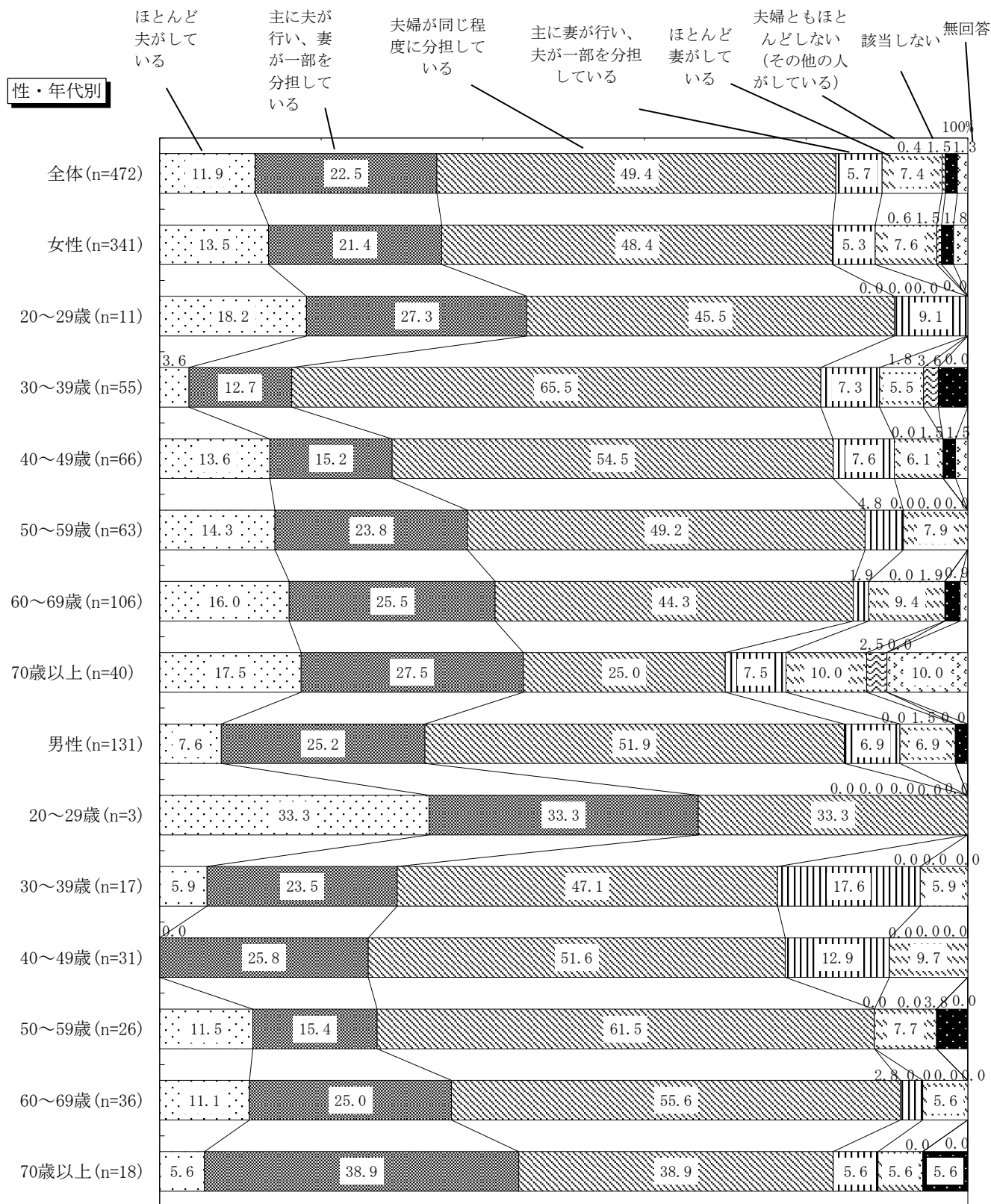
問12 【現在、結婚されている（事実婚を含む。）方にお伺いします。】
 あなたのご家庭では、次のような家庭内の仕事等を、夫婦の間でどのように行っていますか。1～8それぞれの項目について、当てはまるものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。
 7 子どもの教育方針や進学目標を決める



「子どもの教育方針や進学目標を決める」について年代別にみると、男性30代、男性20代、女性20代では「夫婦が同じ程度に分担している」の割合が他の年代に比べて高くなっている。男女ともに70歳以上では「夫婦が同じ程度に分担している」の割合が他の年代に比べて低くなっている。

□ 家庭生活などに関する考えについてお尋ねします

問12 【現在、結婚されている（事実婚を含む。）方にお伺いします。】
 あなたのご家庭では、次のような家庭内の仕事等を、夫婦の間でどのように行っていますか。1～8それぞれの項目について、当てはまるものを選んでください（○はそれぞれ1つつ）。
 8 家庭の問題における最終的な決定をする

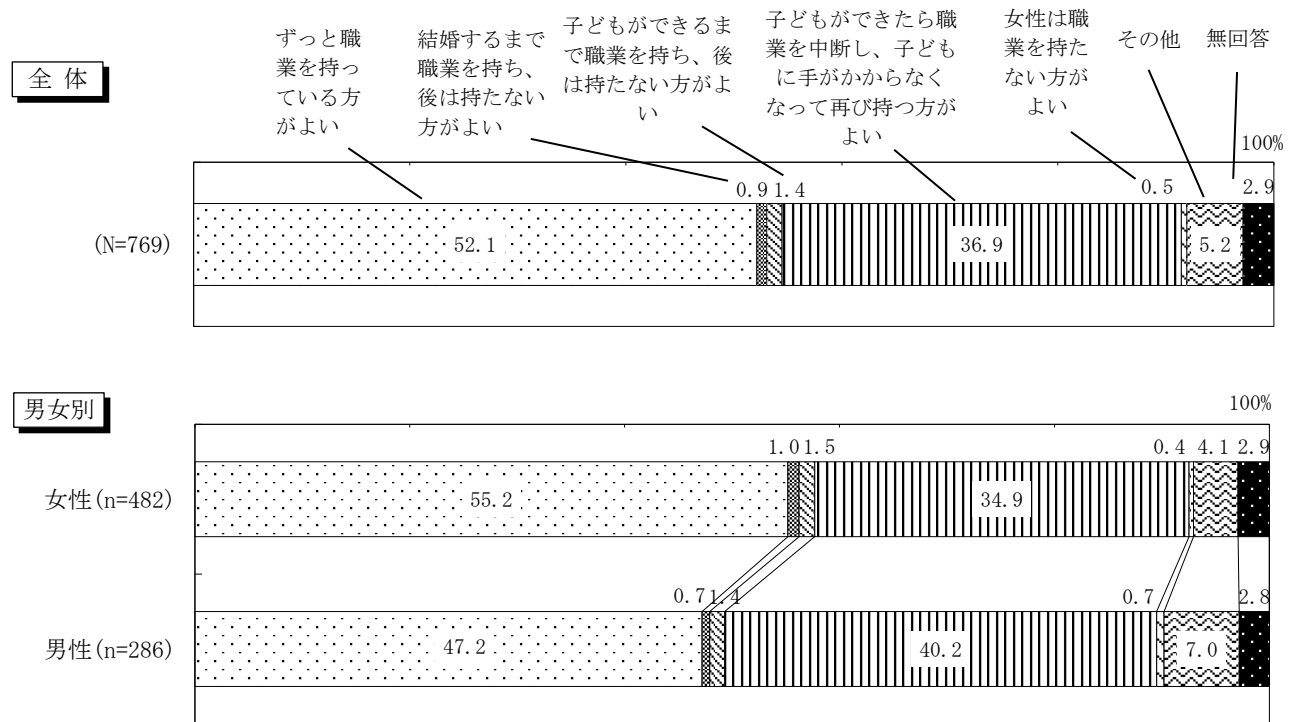


「家庭の問題の最終決定」について年代別にみると、女性30代、男性50代では「夫婦が同じ程度に分担している」が6割以上みられる。男性20代では『夫』が6割以上みられる。

□ 女性の活躍推進についてお尋ねします

問13

あなたは、「女性が職業を持つ」ことについて、どのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものに○を付けてください（○は1つだけ）。

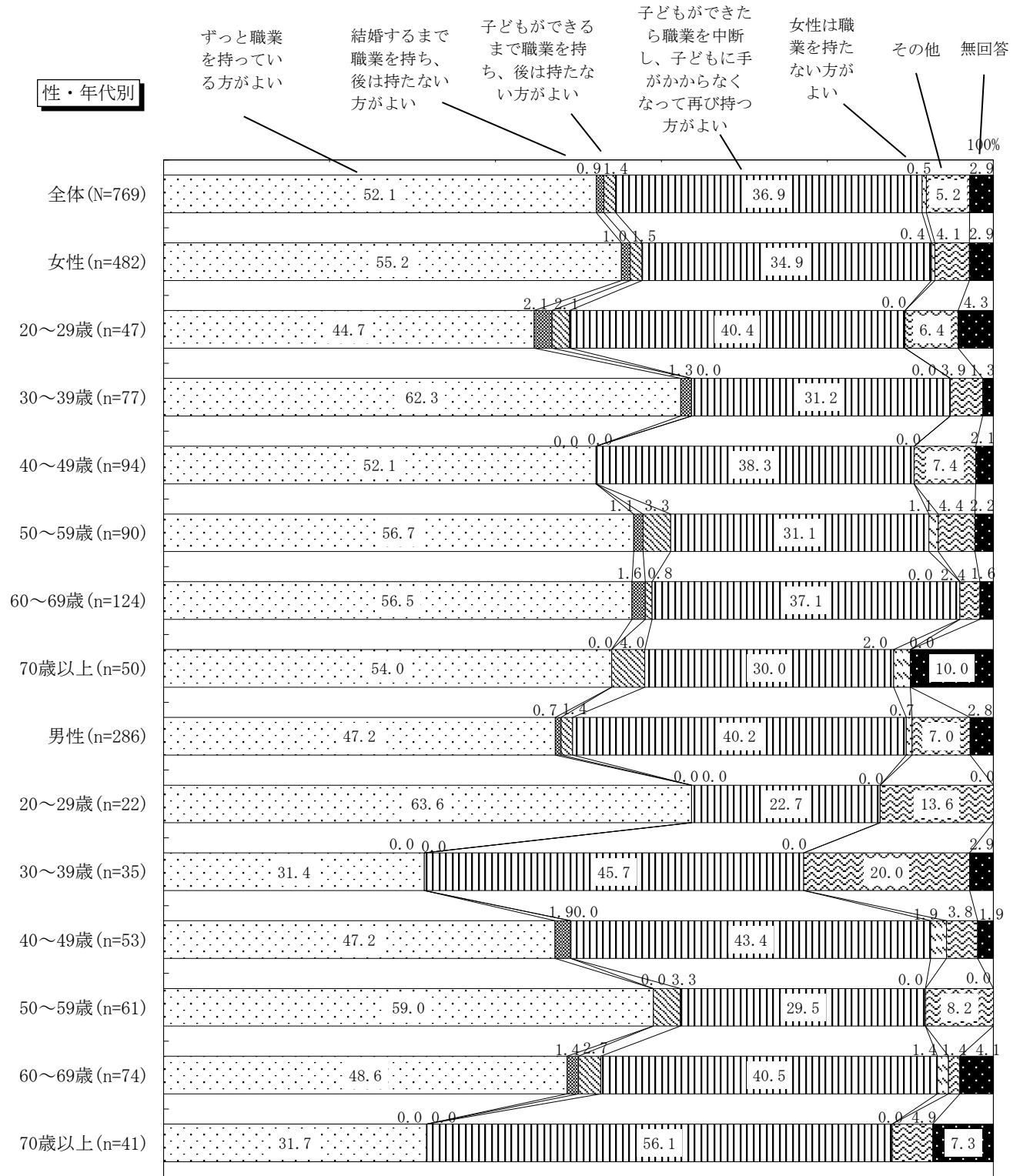


「女性が職業を持つ」ことについて性別にみると、男女ともに「ずっと職業を持っている方がよい」（女性55.2%、男性47.2%）が最も高くなっており、次いで「子どもができたら職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再び持つ方がよい」（女性34.9%、男性40.2%）となっている。

□ 女性の活躍推進についてお尋ねします

問 1 3

あなたは、「女性が職業を持つ」ことについて、どのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものに○を付けてください（○は1つだけ）。

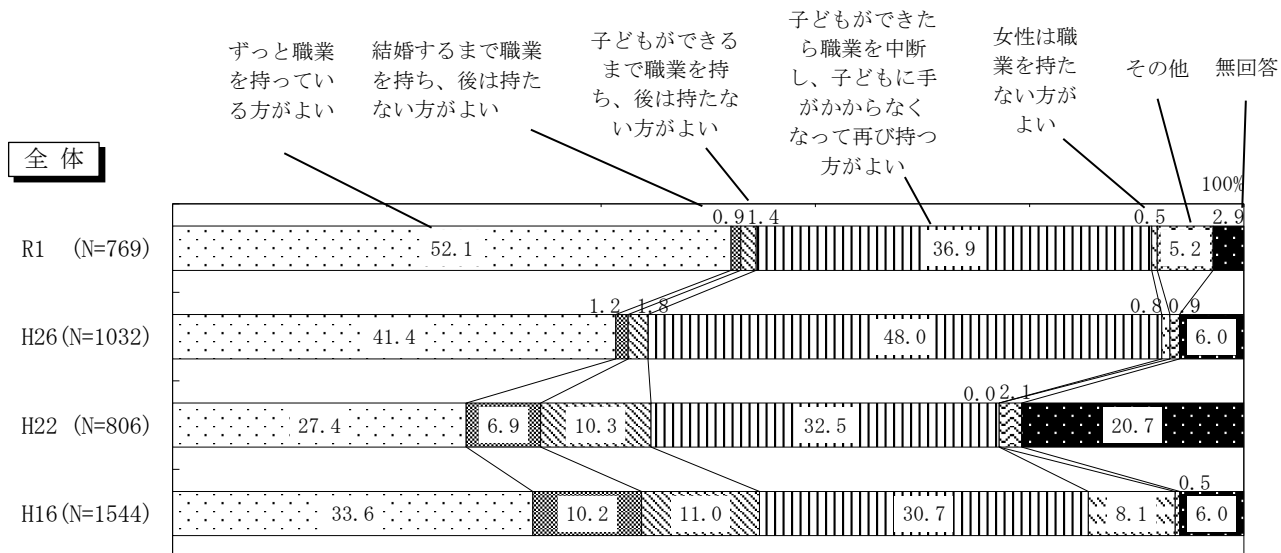


年代別にみると、男性30代、男性70歳以上を除いて、「ずっと職業を持っている方がよい」の割合が最も高くなっている。男性30代、男性70歳以上では「子どもができたから職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再び持つ方がよい」が最も高くなっている。

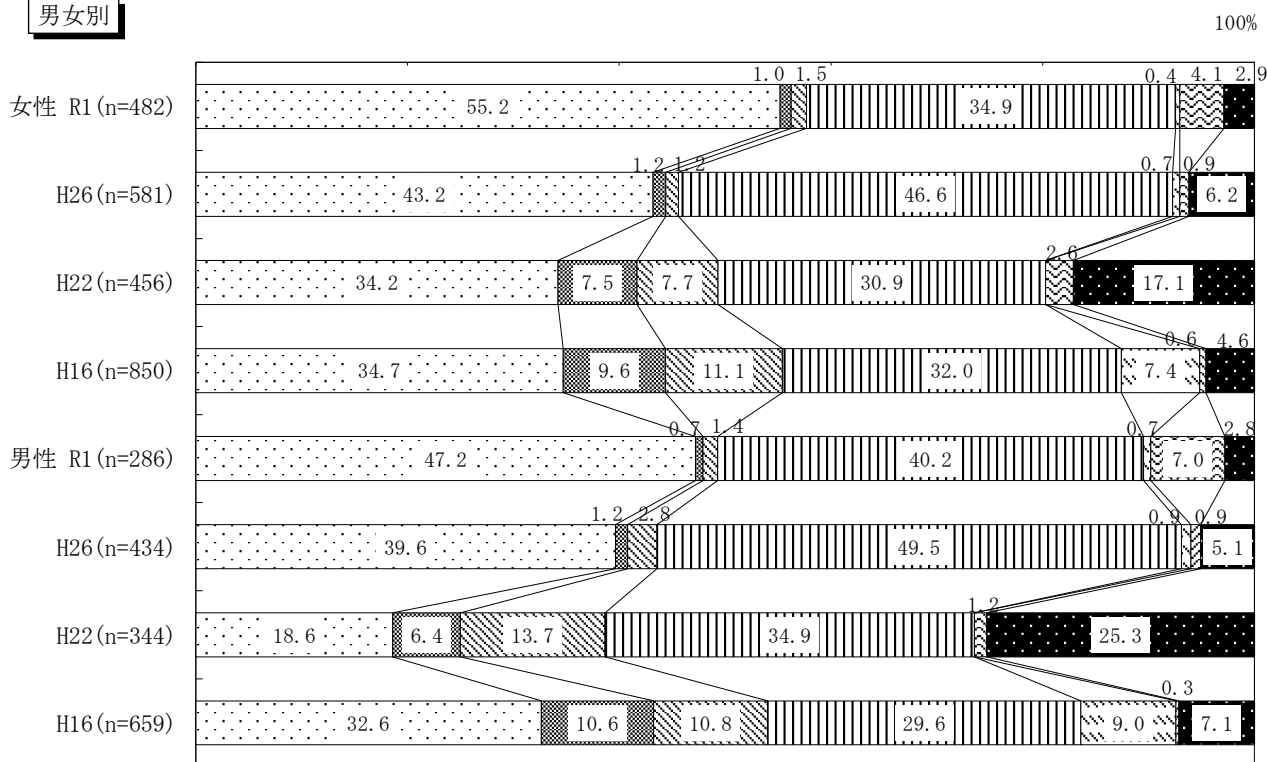
□ 女性の活躍推進についてお尋ねします

問 1 3

あなたは、「女性が職業を持つ」ことについて、どのように考えますか。あなたのお考えに最も近いものに○を付けてください（○は1つだけ）。



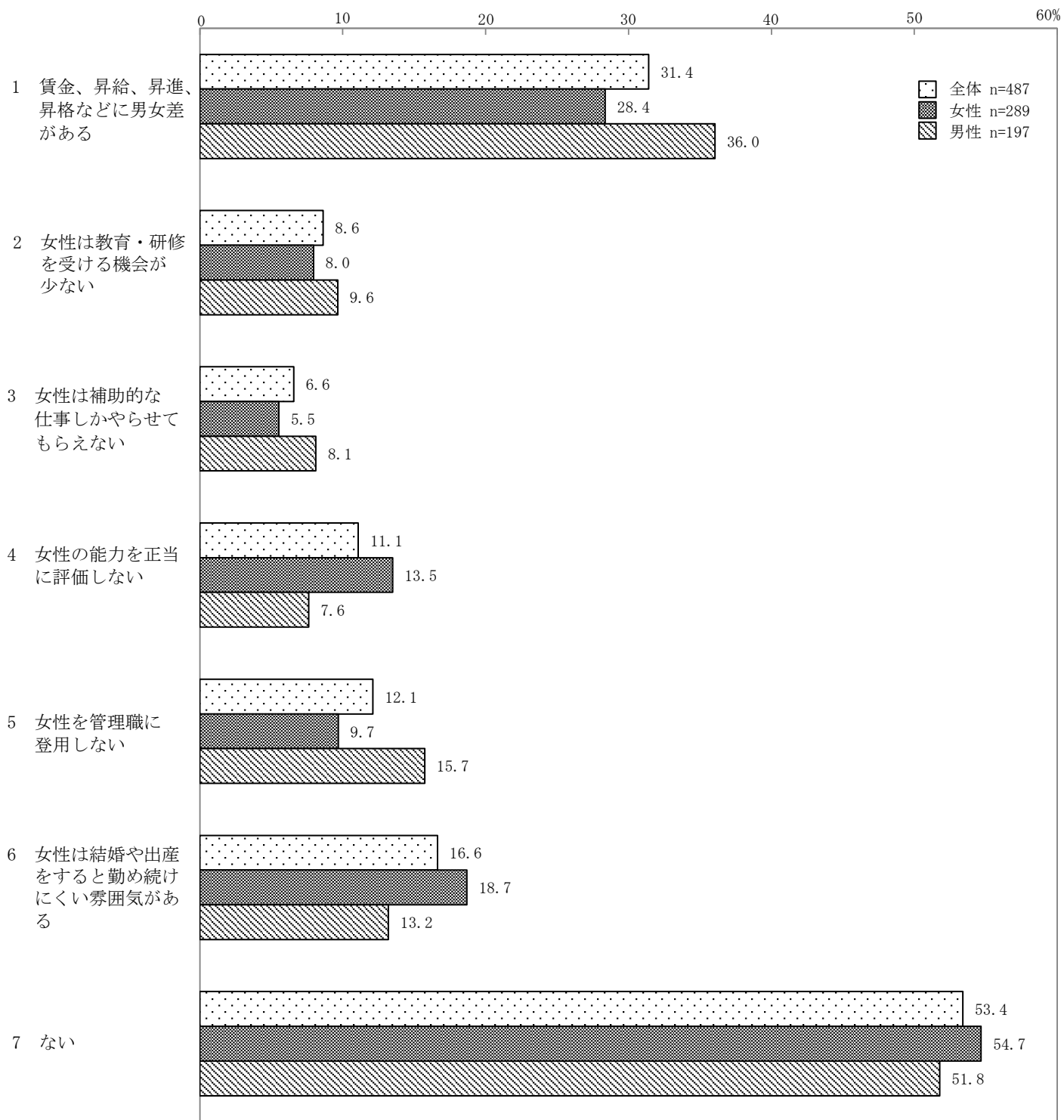
男女別



前回の調査結果と比較すると、男女とも「ずっと職業を持っている方がよい」が増加し、「子どもができたから職業を中断し、子どもに手がかからなくなって再び持つ方がよい」は減少している。

□ 女性の活躍推進についてお尋ねします

問14 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】
 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、次のようなことがあると思いますか（○は当てはまるもの全て）。



職場における男女差別の内容についてみると、「ない」（男女差別があると感じていない人）が53.4%で最も多く、男女とも5割以上となっている。次いで多いのは「賃金、昇給、昇進、昇格などに男女差がある」（31.4%）で、女性（28.4%）、男性（36.0%）と男性の方が7.6ポイント上回っている。

※問14 項目集計表(性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	賃金、昇給、昇格などによる昇給がある	女性に教育・研修の機会が少ない	女性に補助的な仕事や役割がない	女性の能力を正当に評価しない	女性を管理職に登用しない	女性に結婚や出産の雰囲気がない	ない
【全体】 n=487	31.4 (153)	8.6 (42)	6.6 (32)	11.1 (54)	12.1 (59)	16.6 (81)	53.4 (260)
【女性】 n=289	28.4 (82)	8.0 (23)	5.5 (16)	13.5 (39)	9.7 (28)	18.7 (54)	54.7 (158)
【男性】 n=197	36.0 (71)	9.6 (19)	8.1 (16)	7.6 (15)	15.7 (31)	13.2 (26)	51.8 (102)
女性【20～29歳】 n=34	20.6 (7)	2.9 (1)	5.9 (2)	5.9 (2)	2.9 (1)	17.6 (6)	61.8 (21)
【30～39歳】 n=62	24.2 (15)	6.5 (4)	1.6 (1)	14.5 (9)	11.3 (7)	32.3 (20)	46.8 (29)
【40～49歳】 n=82	30.5 (25)	9.8 (8)	4.9 (4)	11.0 (9)	12.2 (10)	14.6 (12)	59.8 (49)
【50～59歳】 n=62	37.1 (23)	9.7 (6)	9.7 (6)	17.7 (11)	11.3 (7)	14.5 (9)	48.4 (30)
【60～69歳】 n=39	20.5 (8)	10.3 (4)	5.1 (2)	15.4 (6)	7.7 (3)	7.7 (3)	66.7 (26)
【70歳以上】 n=10	40.0 (4)	0.0 (0)	10.0 (1)	20.0 (2)	0.0 (0)	40.0 (4)	30.0 (3)
男性【20～29歳】 n=14	28.6 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	7.1 (1)	14.3 (2)	64.3 (9)
【30～39歳】 n=28	39.3 (11)	3.6 (1)	3.6 (1)	7.1 (2)	7.1 (2)	7.1 (2)	57.1 (16)
【40～49歳】 n=48	35.4 (17)	6.3 (3)	10.4 (5)	8.3 (4)	27.1 (13)	10.4 (5)	50.0 (24)
【50～59歳】 n=49	38.8 (19)	18.4 (9)	8.2 (4)	6.1 (3)	12.2 (6)	10.2 (5)	49.0 (24)
【60～69歳】 n=44	36.4 (16)	6.8 (3)	4.5 (2)	11.4 (5)	15.9 (7)	22.7 (10)	47.7 (21)
【70歳以上】 n=14	28.6 (4)	21.4 (3)	28.6 (4)	7.1 (1)	14.3 (2)	14.3 (2)	57.1 (8)

※問14 項目集計表(職業別) [構成比(%) / 人数(人)]

	賃金、昇給、昇格などによる昇給がある	女性に教育・研修の機会が少ない	女性に補助的な仕事や役割がない	女性の能力を正当に評価しない	女性を管理職に登用しない	女性に結婚や出産の雰囲気がない	ない
【全体】 n=487	31.4 (153)	8.6 (42)	6.6 (32)	11.1 (54)	12.1 (59)	16.6 (81)	53.4 (260)
【自営業主・家族従事者】 n=34	26.5 (9)	8.8 (3)	11.8 (4)	2.9 (1)	5.9 (2)	20.6 (7)	64.7 (22)
【専門職・技術職】 n=35	14.3 (5)	2.9 (1)	5.7 (2)	5.7 (2)	8.6 (3)	14.3 (5)	62.9 (22)
【会社などの役員】 n=8	37.5 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	12.5 (1)	0.0 (0)	12.5 (1)	50.0 (4)
【正規の社員・職員】 n=247	37.2 (92)	10.1 (25)	6.5 (16)	10.5 (26)	15.0 (37)	14.6 (36)	50.2 (124)
【パート・アルバイト・臨時雇い・派遣社員】 n=146	27.4 (40)	6.8 (10)	5.5 (8)	15.1 (22)	8.9 (13)	19.2 (28)	53.4 (78)
【内職・在宅ワーク】 n=3	33.3 (1)	66.7 (2)	33.3 (1)	33.3 (1)	33.3 (1)	0.0 (0)	33.3 (1)

※問14 項目集計表 (従業員数別) [構成比(%) / 人数(人)]

	賃金、昇給、昇進、昇格などに男女差がある	女性には教育・研修を受ける機会が少ない	女性には補助的な仕事や補償がない	女性の能力を正当に評価しない	女性を管理職に登用しない	女性は結婚や出産を続けると働きにくい雰囲気がある	ない
【全体】 n=487	31.4 (153)	8.6 (42)	6.6 (32)	11.1 (54)	12.1 (59)	16.6 (81)	53.4 (260)
【29人以下】 n=127	30.7 (39)	8.7 (11)	7.1 (9)	12.6 (16)	9.4 (12)	18.1 (23)	56.7 (72)
【30～49人】 n=41	19.5 (8)	2.4 (1)	4.9 (2)	9.8 (4)	0.0 (0)	17.1 (7)	65.9 (27)
【50～99人】 n=53	47.2 (25)	17.0 (9)	9.4 (5)	24.5 (13)	17.0 (9)	24.5 (13)	32.1 (17)
【100～299人】 n=66	40.9 (27)	16.7 (11)	9.1 (6)	7.6 (5)	22.7 (15)	9.1 (6)	48.5 (32)
【300～499人】 n=31	19.4 (6)	3.2 (1)	3.2 (1)	3.2 (1)	6.5 (2)	12.9 (4)	71.0 (22)
【500人以上】 n=123	32.5 (40)	4.1 (5)	4.1 (5)	8.9 (11)	12.2 (15)	13.8 (17)	52.0 (64)
【分からない】 n=30	10.0 (3)	3.3 (1)	3.3 (1)	3.3 (1)	6.7 (2)	13.3 (4)	66.7 (20)

年代別にみると、女性70歳以上を除いて、「ない」（男女差別があると感じていない人）が最も多くなっている。女性70歳以上は「賃金、昇給、昇進、昇格などに男女差がある」「女性は結婚や出産をすると働き続けにくい雰囲気がある」（40.0%）が同率となっている。

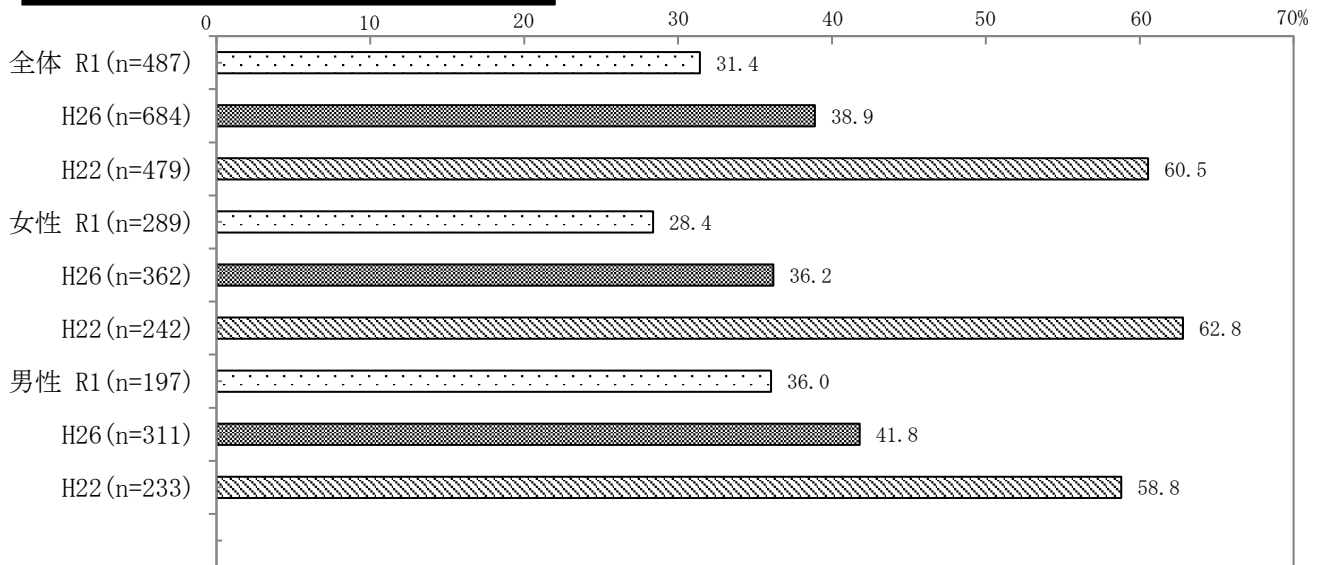
職業別にみると、「内職・在宅ワーク」では「女性は教育・研修を受ける機会が少ない」が最も多く、その他の職業では、「ない」が最も多くなっている。

従業員数別にみると、50～99人は「賃金、昇給、昇進、昇格などに男女差がある」が最も多くなっている。その他のグループでは「ない」が最も多くなっている。

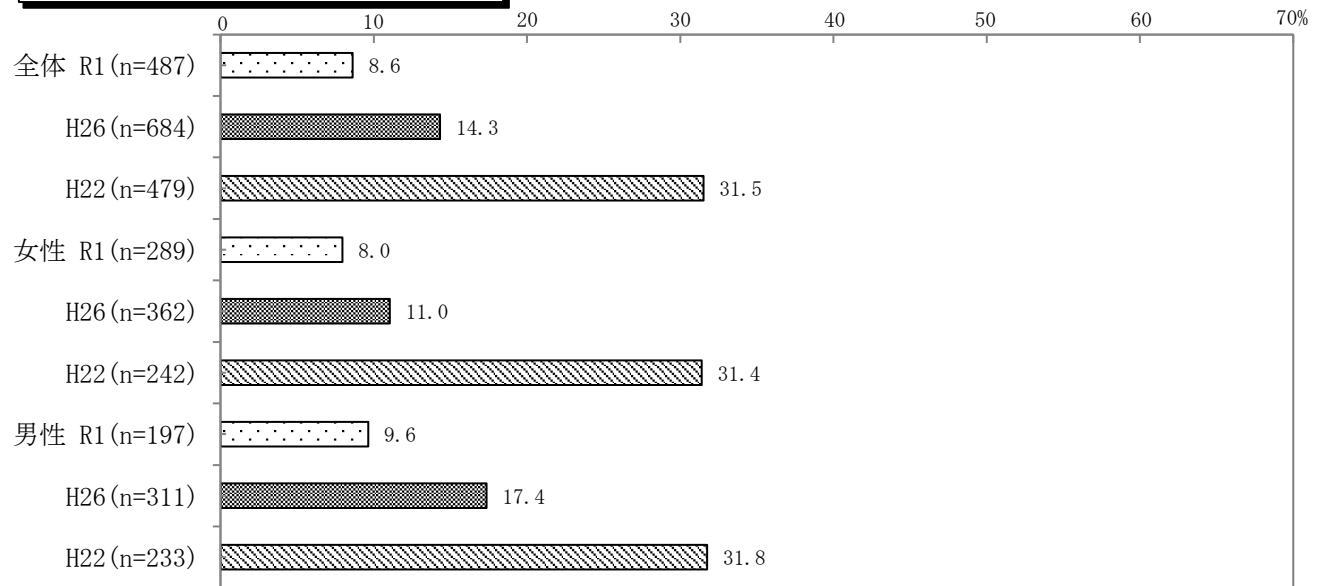
□ 女性の活躍推進についてお尋ねします

問14 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】
あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、次のようなことがありますか（○は当てはまるもの全て）。

1 賃金、昇給、昇進、昇格などに男女差がある



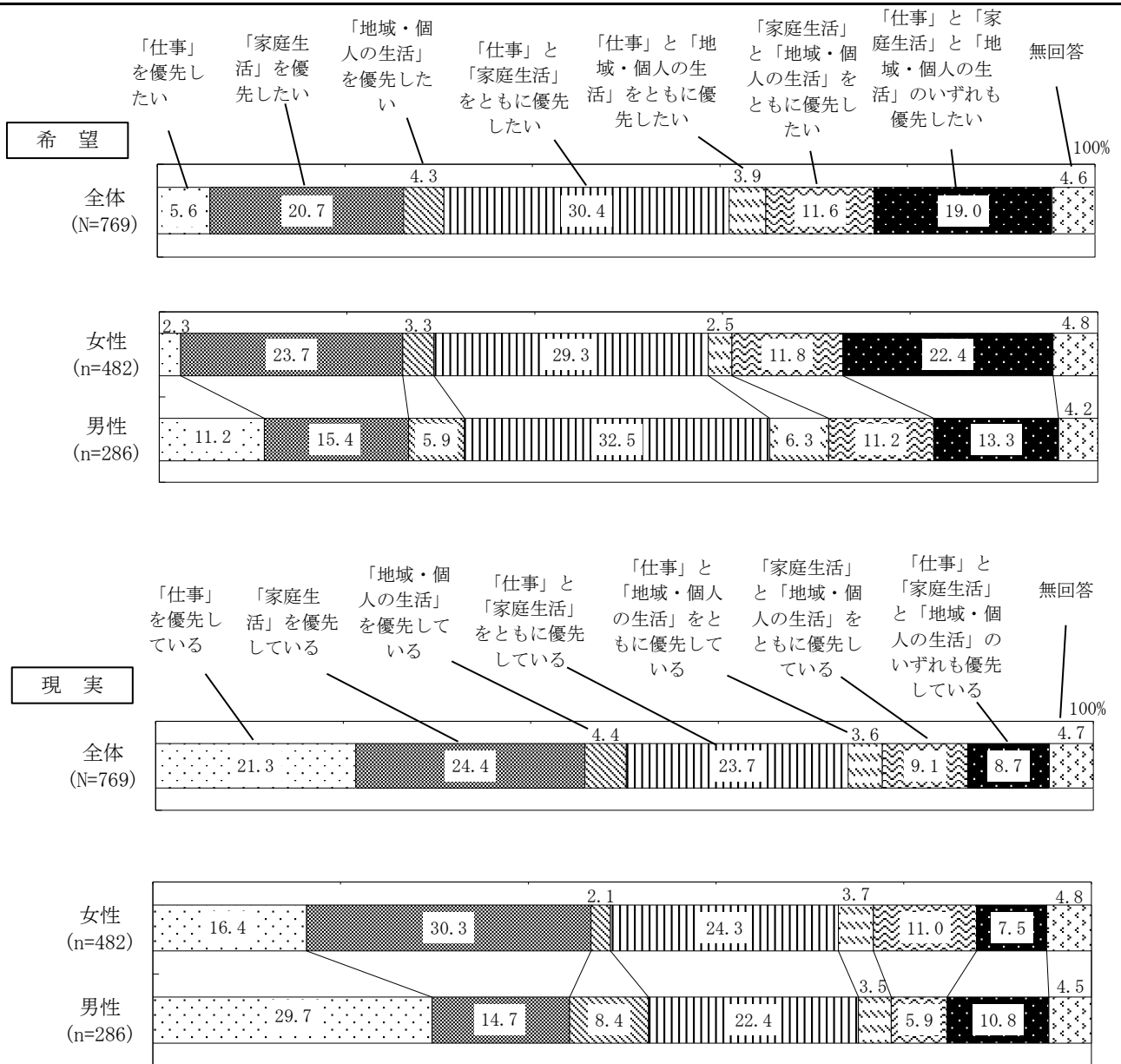
2 女性は教育・研修を受ける機会が少ない



前回の調査結果と比較すると、「賃金、昇給、昇進、昇格などに男女差がある」「女性は教育・研修を受ける機会が少ない」のいずれにおいても男女ともに減少している。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問15 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお伺いします。

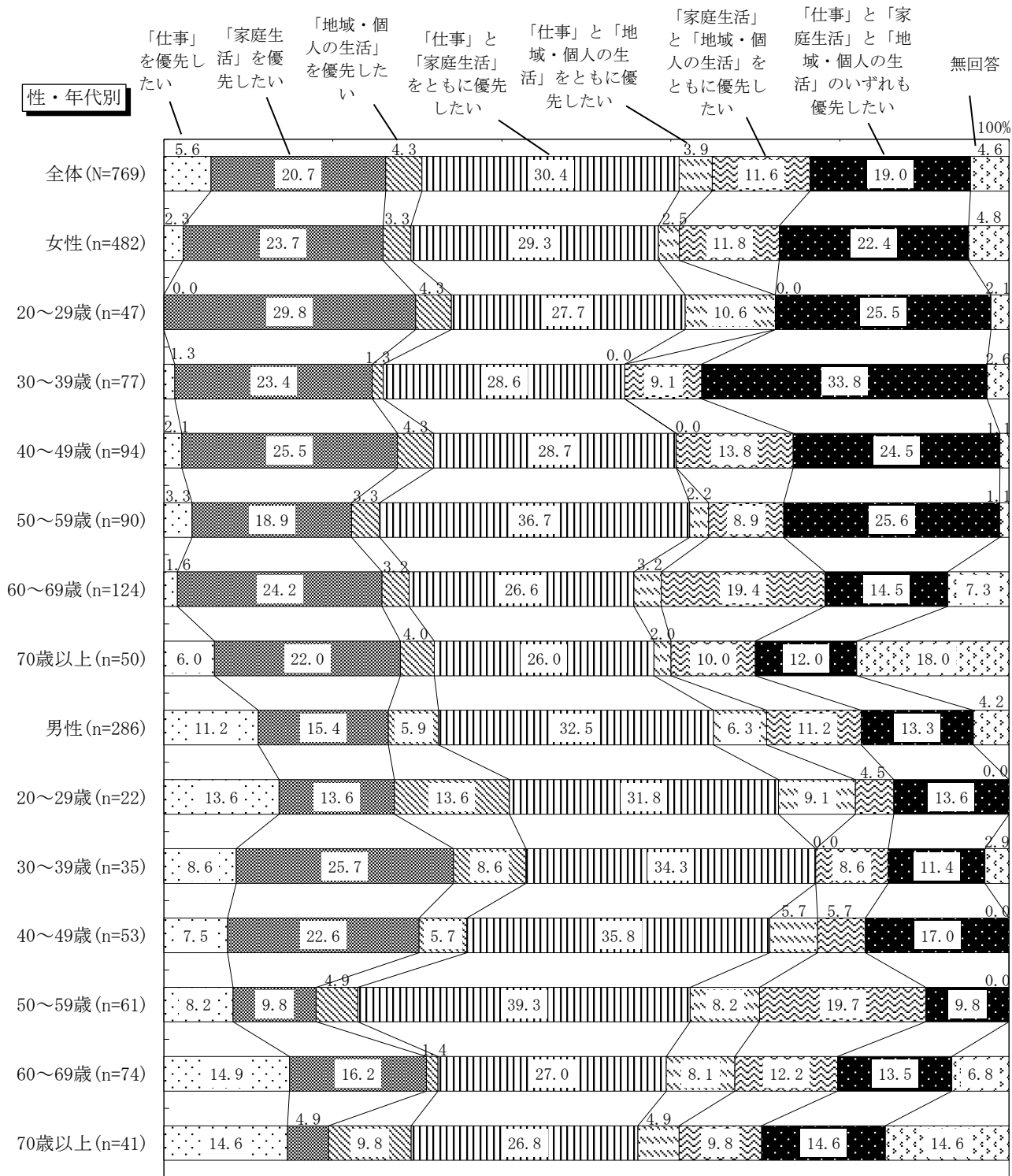


生活における優先度についてみると、希望は、男女ともに「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」（女性29.3%、男性32.5%）が最も多く、次いで「「家庭生活」を優先したい」（女性23.7%、男性15.4%）となっている。

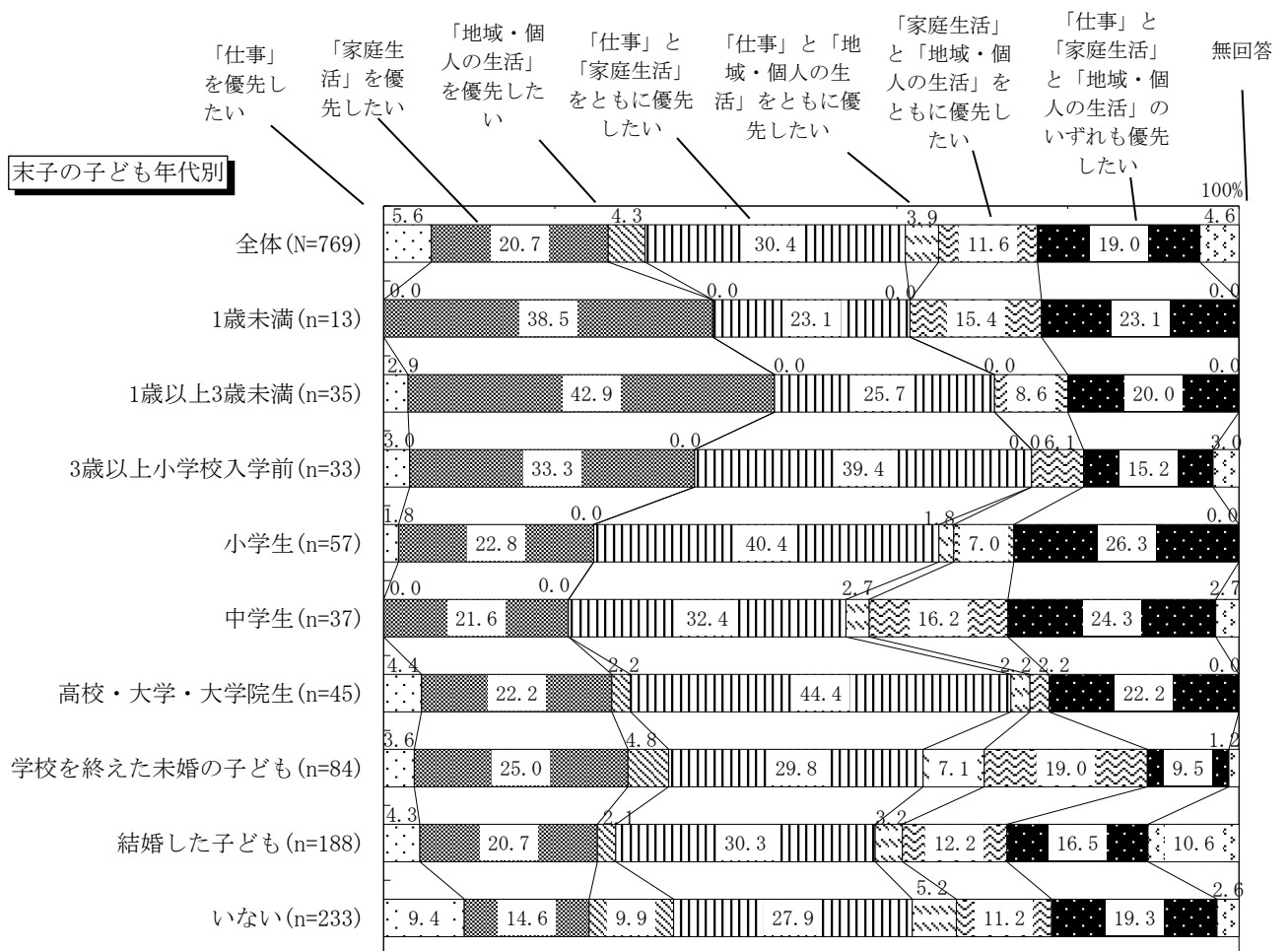
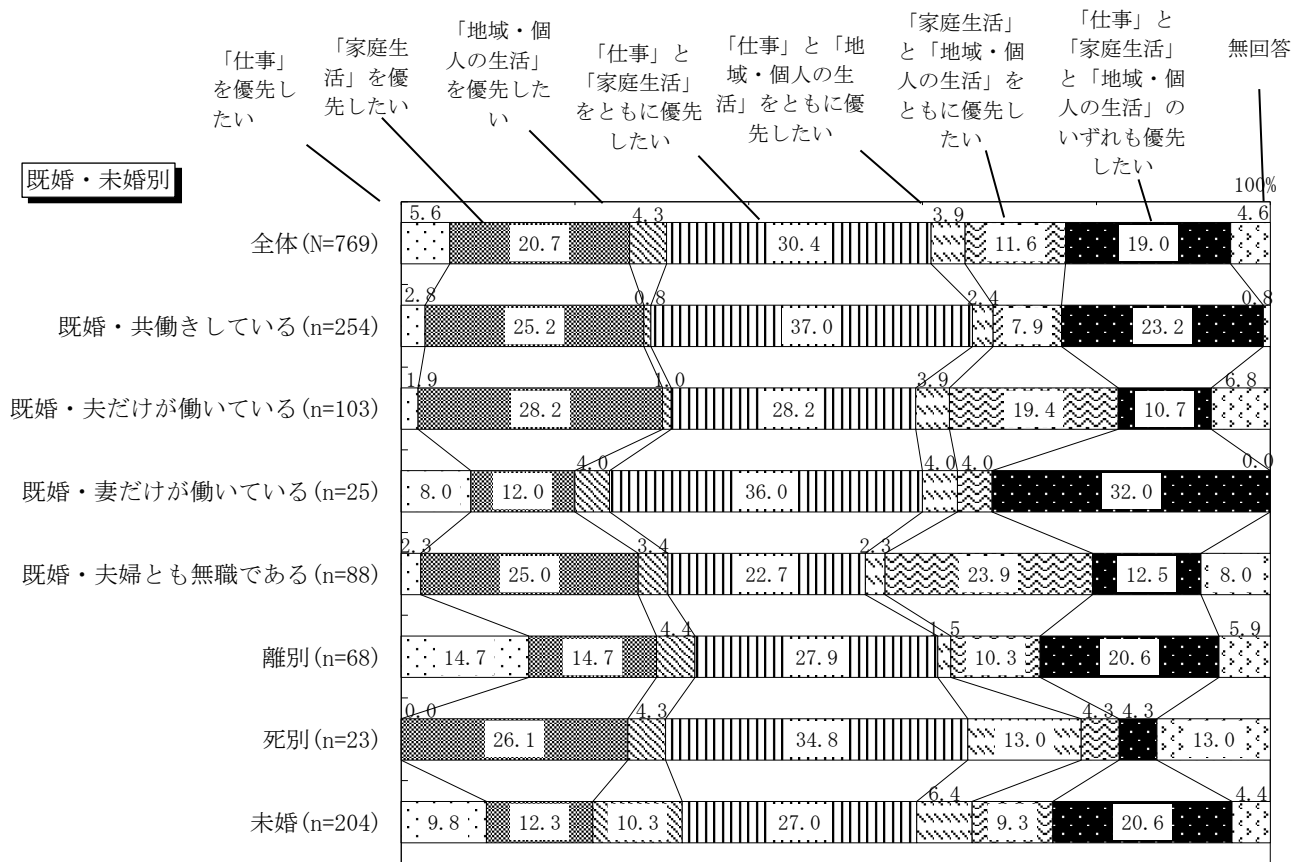
現実（現状）は、女性は「「家庭生活」を優先している」（30.3%）が最も高く、次いで「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（24.3%）となっている。一方、男性は「「仕事」を優先している」（29.7%）が最も高く、次いで「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（22.4%）となっている。

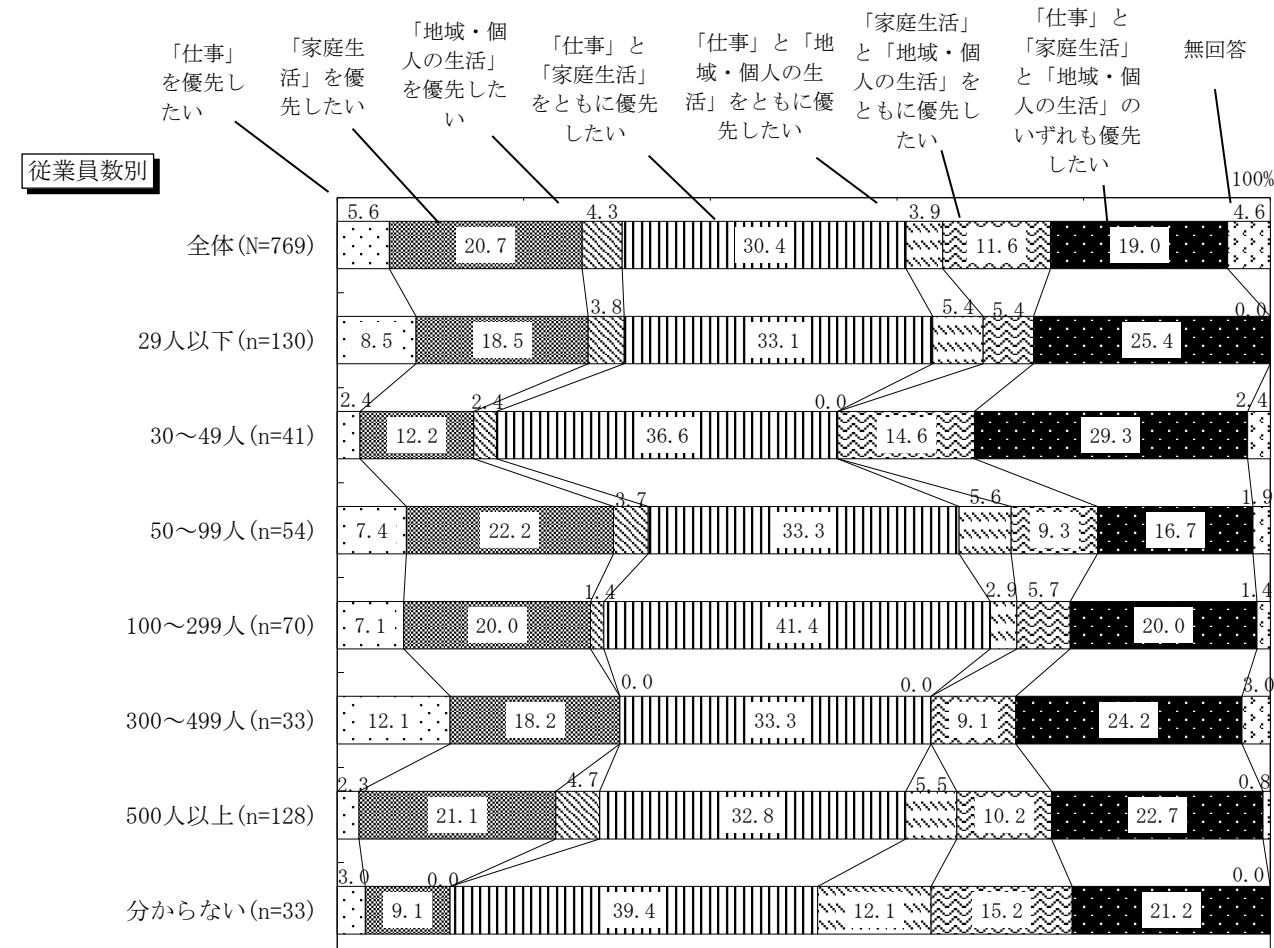
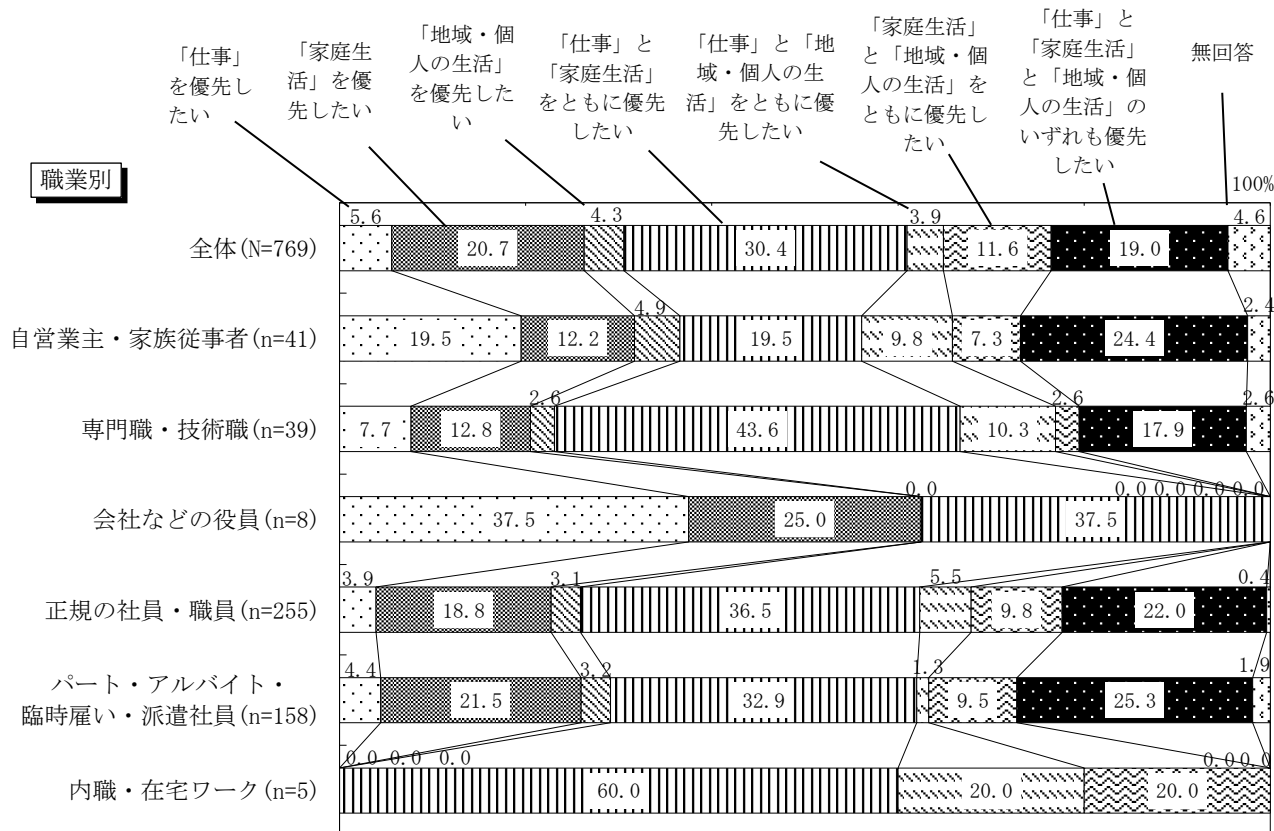
□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問15
「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお伺いします。まず、あなたの希望に最も近いものをこの中から1つだけ選んでください（○は1つだけ）。



年代別にみると、女性は40代以上で「「仕事」と「家庭生活」ともに優先したい」が最も高くなっている。女性20代は「「家庭生活」を優先したい」（29.8%）が最も高く、女性30代は「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のいずれも優先したい」（33.8%）が最も高くなっている。一方、男性はいずれの年代も「「仕事」と「家庭生活」ともに優先したい」が最も高くなっている。





配偶関係別にみると、「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も高くなっているのは、既婚（共働き）（37.0%）、次いで既婚（妻のみ就労）（36.0%）の順となっている。既婚（夫婦とも無職）は「「家庭生活」を優先したい」（25.0%）が最も高くなっている。

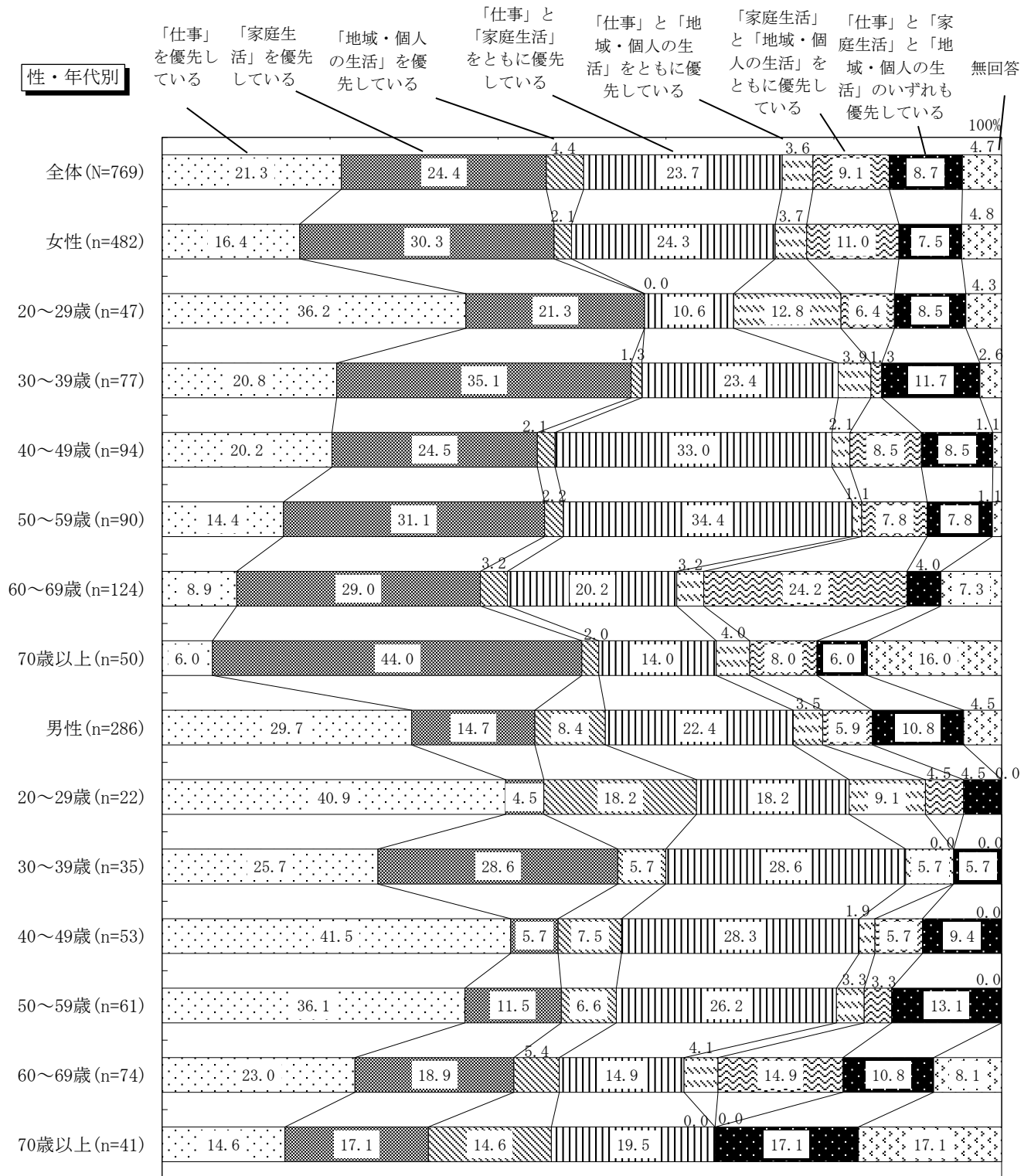
末子の子どもの年代別にみると、子どもが3歳になるまでは「「家庭生活」を優先したい」が最も高く、子どもが3歳になると「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も高くなっている。

職業別にみると、自営業主・家族従事者では「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」のいずれも優先したい」が最も高く、会社などの役員では、「「仕事」を優先したい」「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が同率で高くなっている。他の職業は「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も高く、特に内職・在宅ワーク（60.0%）で高くなっている。

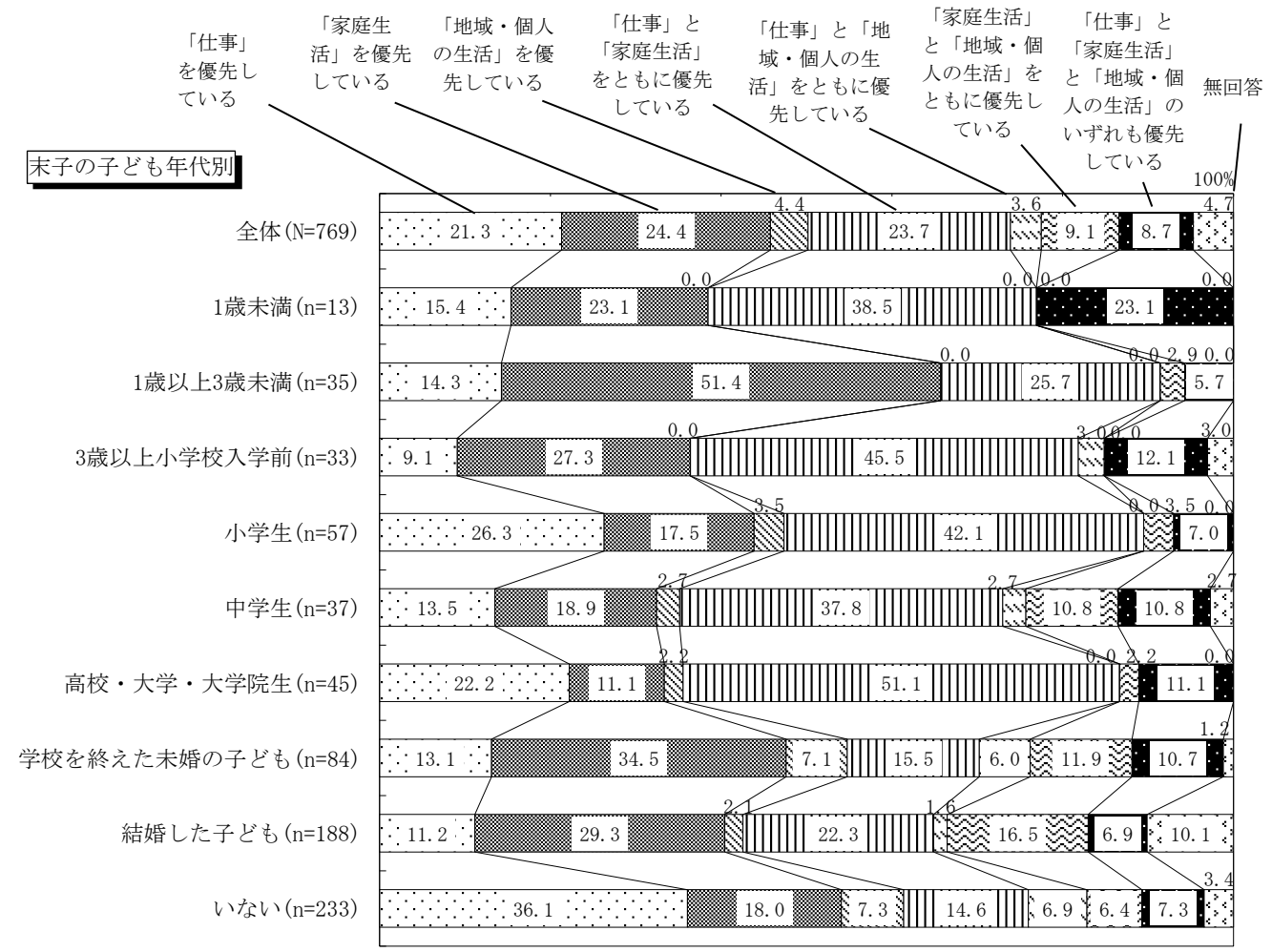
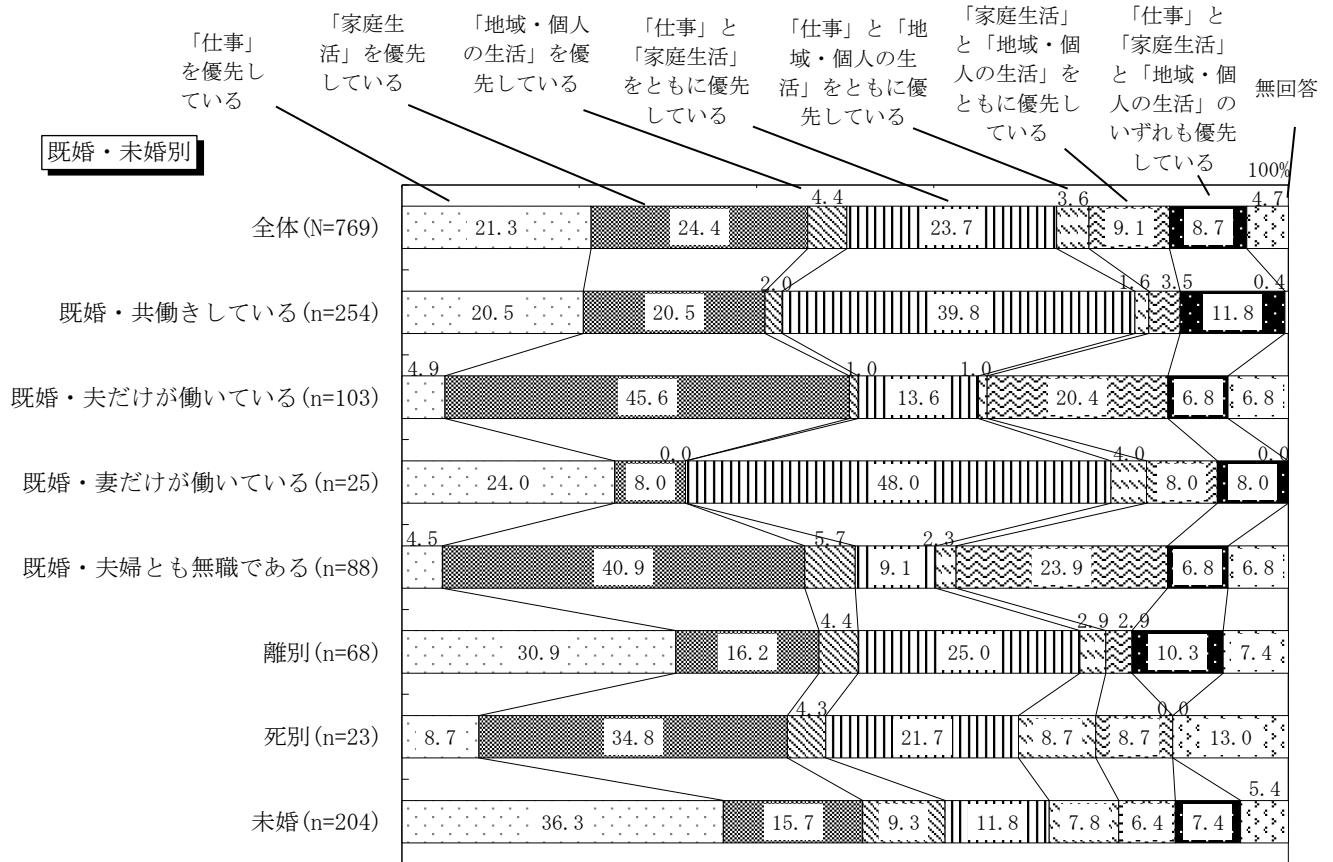
従業員数別にみると、いずれのグループでも「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も高くなっている。

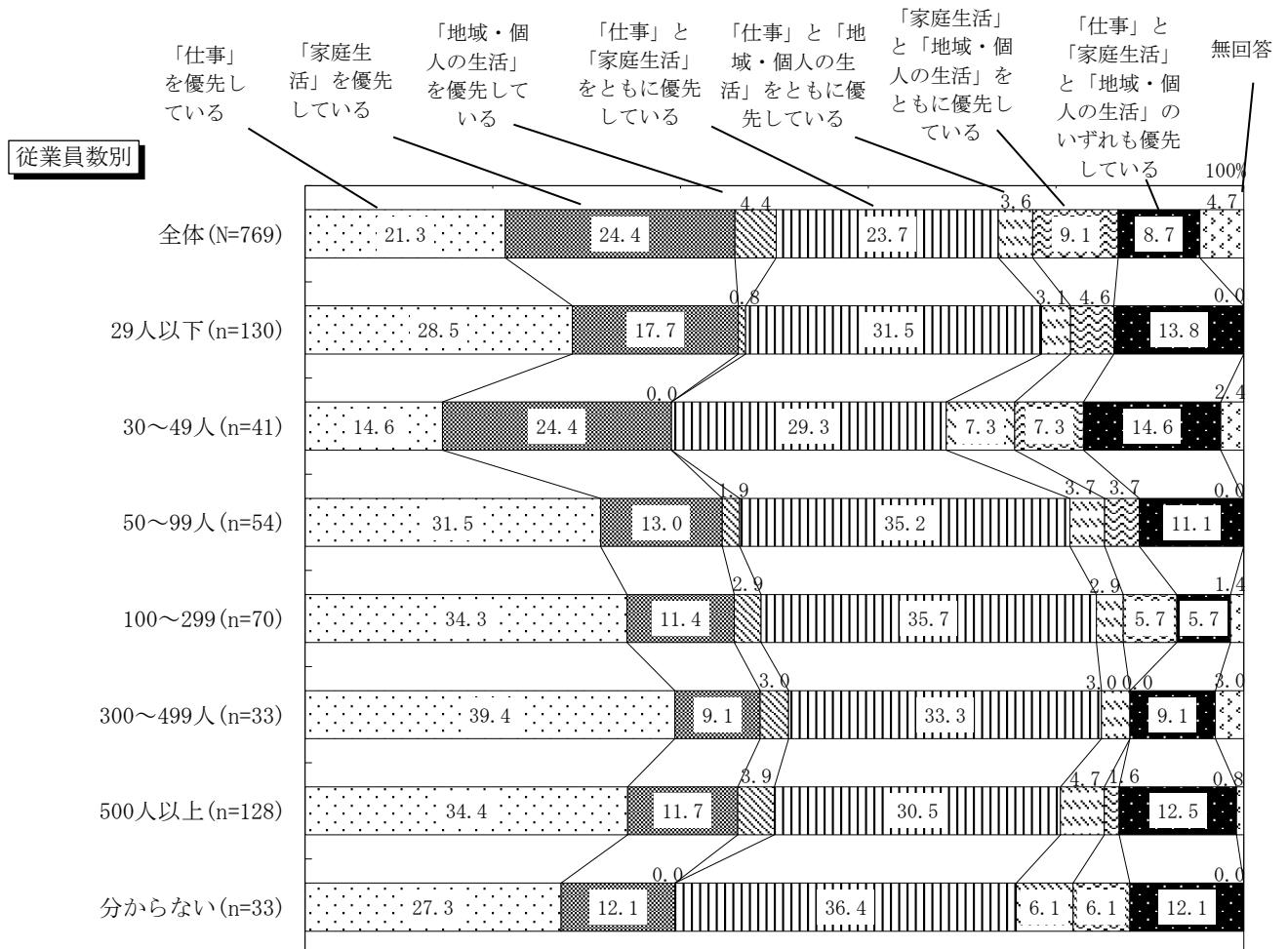
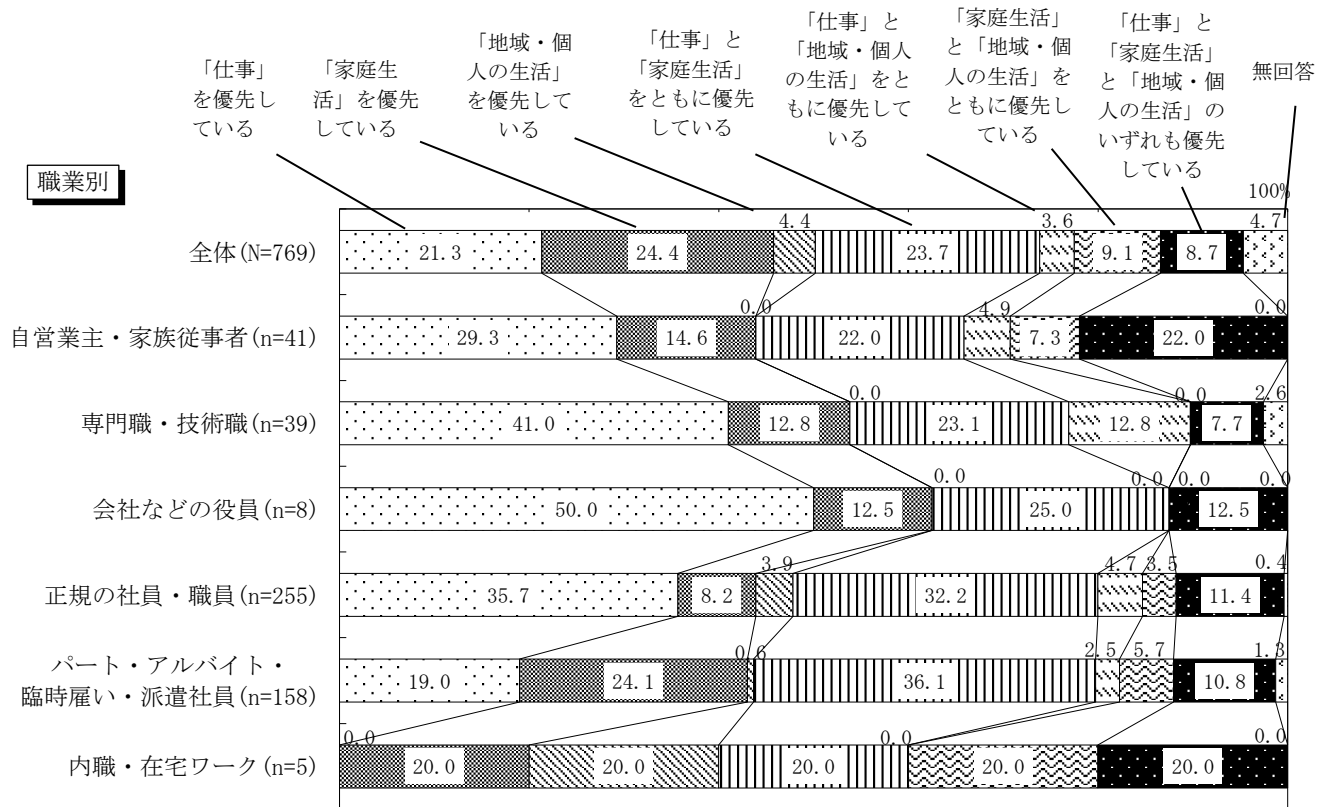
□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問15(付問)
 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお伺いします。それでは、あなたの現実（現状）に最も近いものをこの中から1つだけ選んでください。（○は1つだけ）



年代別にみると、女性は20代で「「仕事」を優先している」（36.2%）が最も高く、30代（35.1%）、60代（29.0%）、70歳以上（44.0%）では「「家庭生活」を優先している」が最も高く、40代（33.0%）、50代（34.4%）は「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」が最も高くなっている。一方、男性は20代（40.9%）、40代（41.5%）、50代（36.1%）、60代（23.0%）で「「仕事」を優先している」が最も高く、70歳以上では「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（19.5%）が最も高くなっている。30代では「「家庭生活」を優先している」「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（28.6%）が同率となっている。





配偶関係別にみると、既婚（妻のみ就労）（48.0%）、既婚（共働き）（39.8%）では「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」が最も高く、既婚（夫のみ就労）（45.6%）、既婚（夫婦とも無職）（40.9%）、死別（34.8%）は「「家庭生活」を優先している」が最も高く、離別（30.9%）、未婚（36.3%）では「「仕事」を優先している」が最も高くなっている。

末子の子どもの年代別にみると、1歳以上3歳未満（51.4%）、学校を終えた未婚の子ども（34.5%）、結婚した子ども（29.3%）では「「家庭生活」を優先している」が最も高くなっている。1歳未満、3歳以上から学校を終えるまでは「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」が最も高く、子どもがいない方は「「仕事」を優先している」（36.1%）が最も高くなっている。

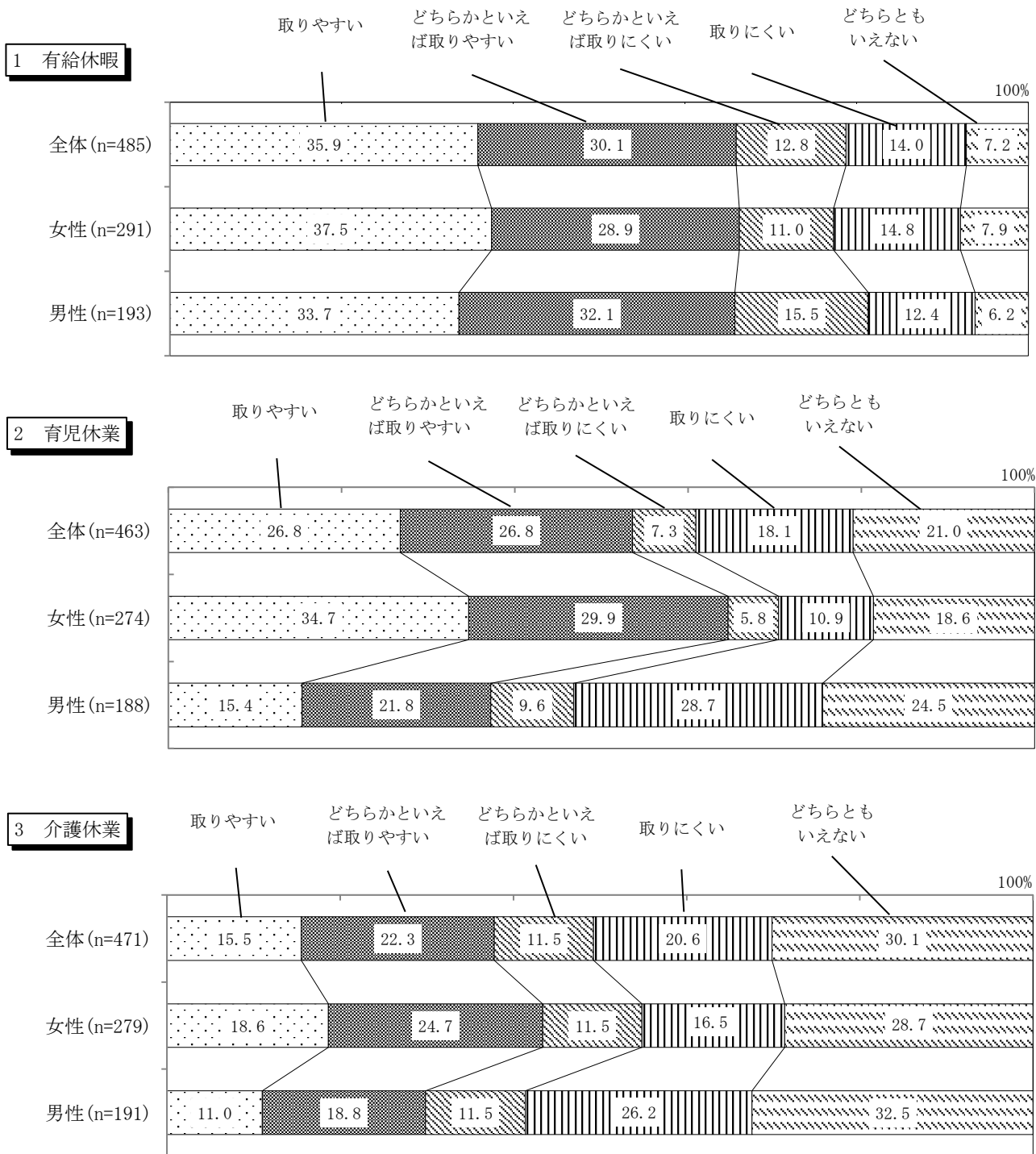
職業別にみると、会社などの役員（50.0%）、専門職・技術職（41.0%）、正規の社員・職員（35.7%）、自営業主・家族従事者（29.3%）で「「仕事」を優先している」が最も高く、パート・アルバイト・臨時雇い・派遣社員では「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（36.1%）が最も高くなっている。

従業員数別にみると、300～499人と500人以上は「「仕事」を優先している」が最も高く、他のグループでは「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」が最も高くなっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問16 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】

あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。



休みの取りやすさについてみると、有給休暇は、『取りやすい』（「取りやすい」＋「どちらかといえば取りやすい」）は女性（66.4%）、男性（65.8%）とあまり差がみられない。

育児休業は、『取りやすい』は女性（64.6%）に対して男性（37.2%）と大きな差がみられる。

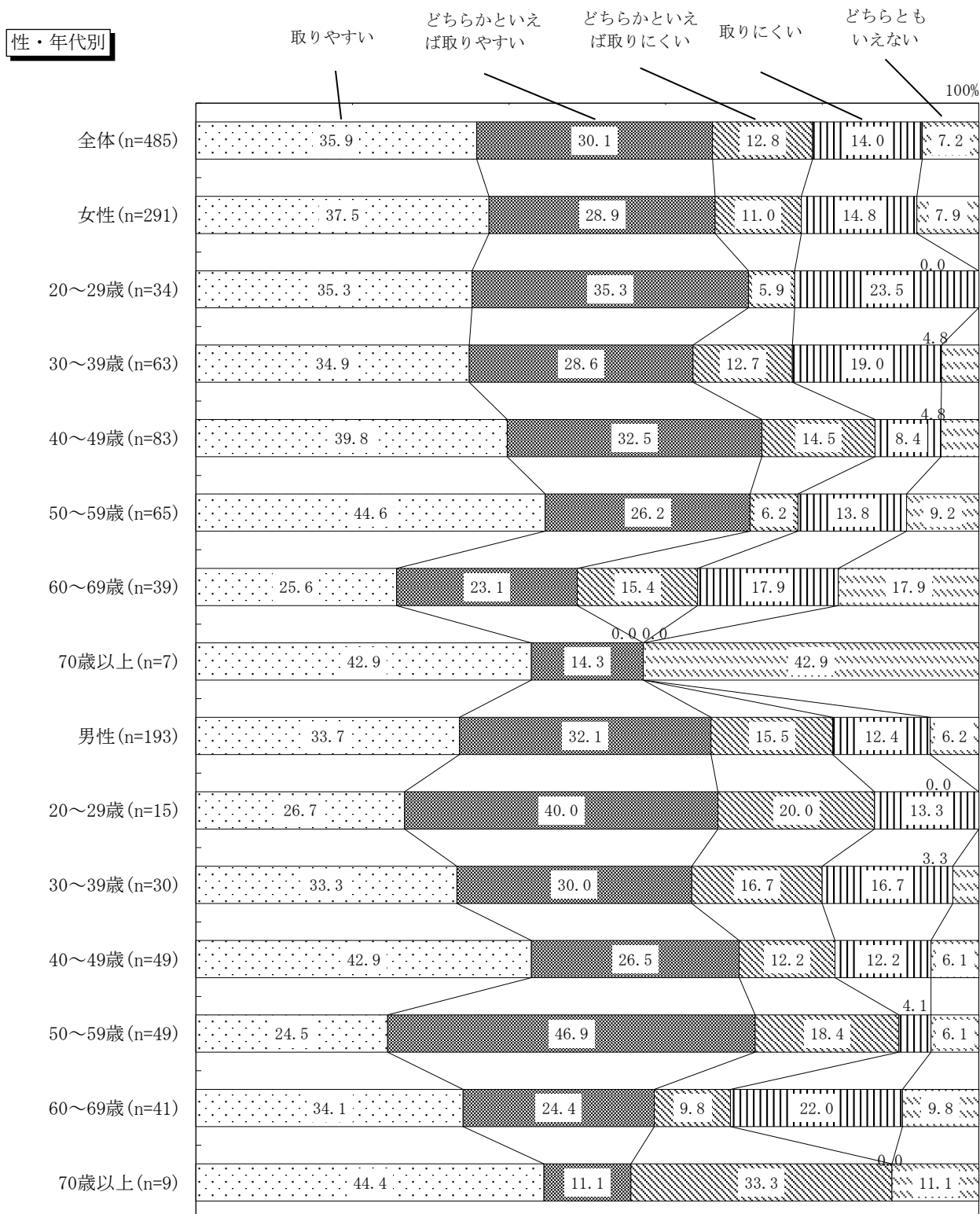
介護休業は、『取りやすい』は女性（43.3%）に対して男性（29.8%）と男性の方が13.5ポイント下回っている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

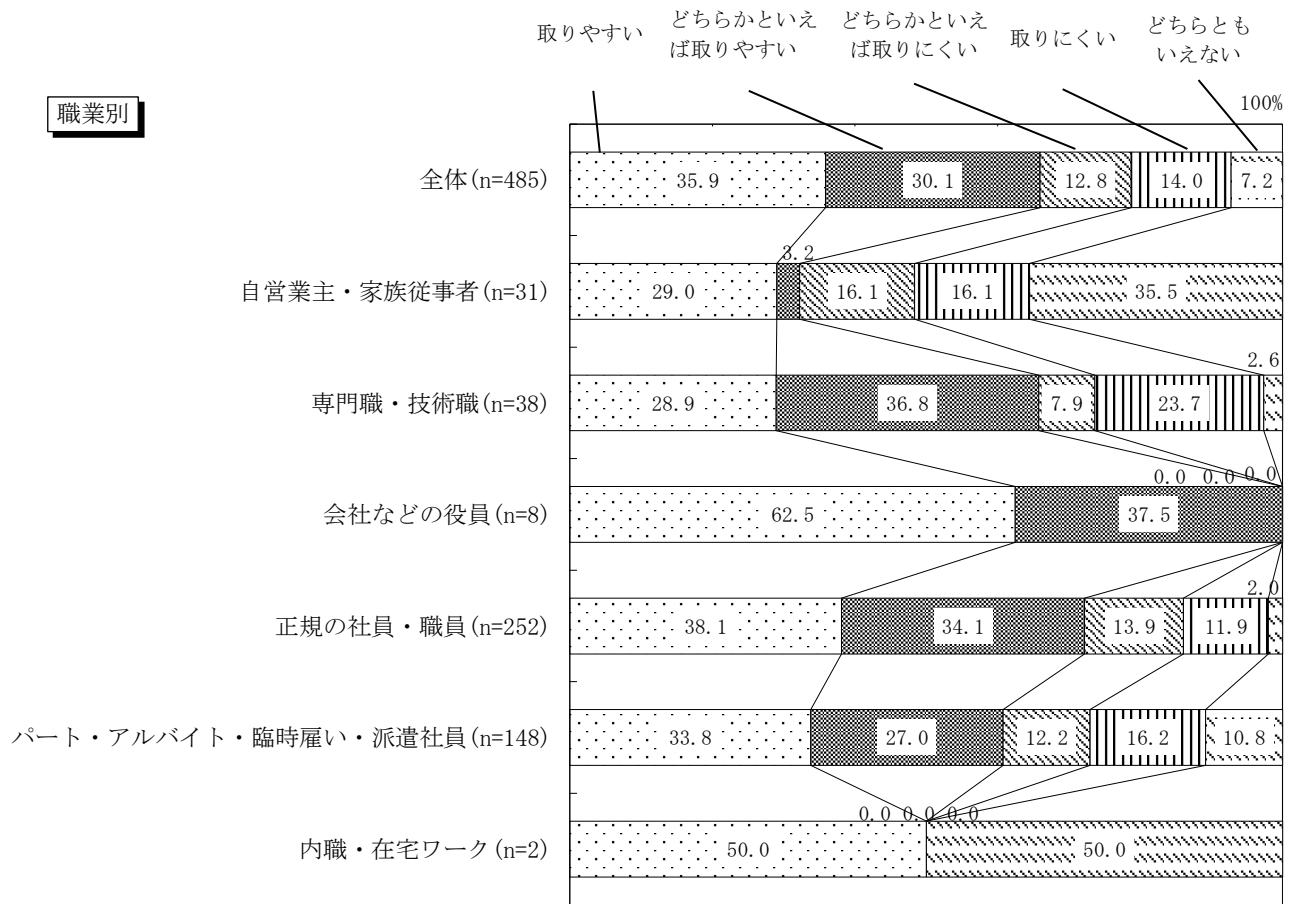
問16 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】

あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

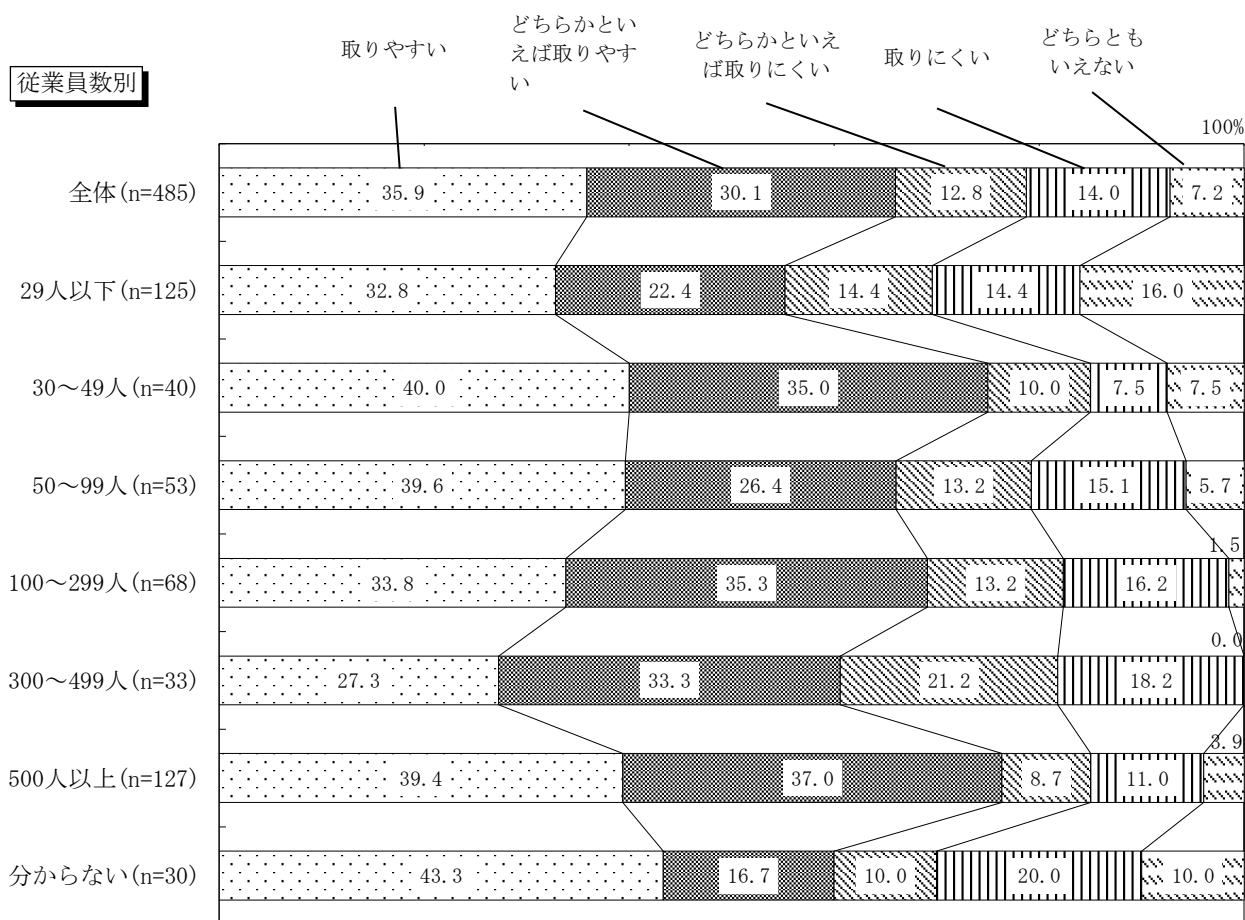
1 有給休暇



年代別にみると、全ての年代において『取りやすい』が『取りにくい』（「取りにくい」＋「どちらかといえば取りにくい」）を上回っている。男女ともに60代以上では『取りやすい』が他の年代に比べて低くなっている。



職業別にみると、会社などの役員は『取りやすい』が100%となっている。自営業主・家族従事者は『取りやすい』と『取りにくい』が同率で32.2%となっている。



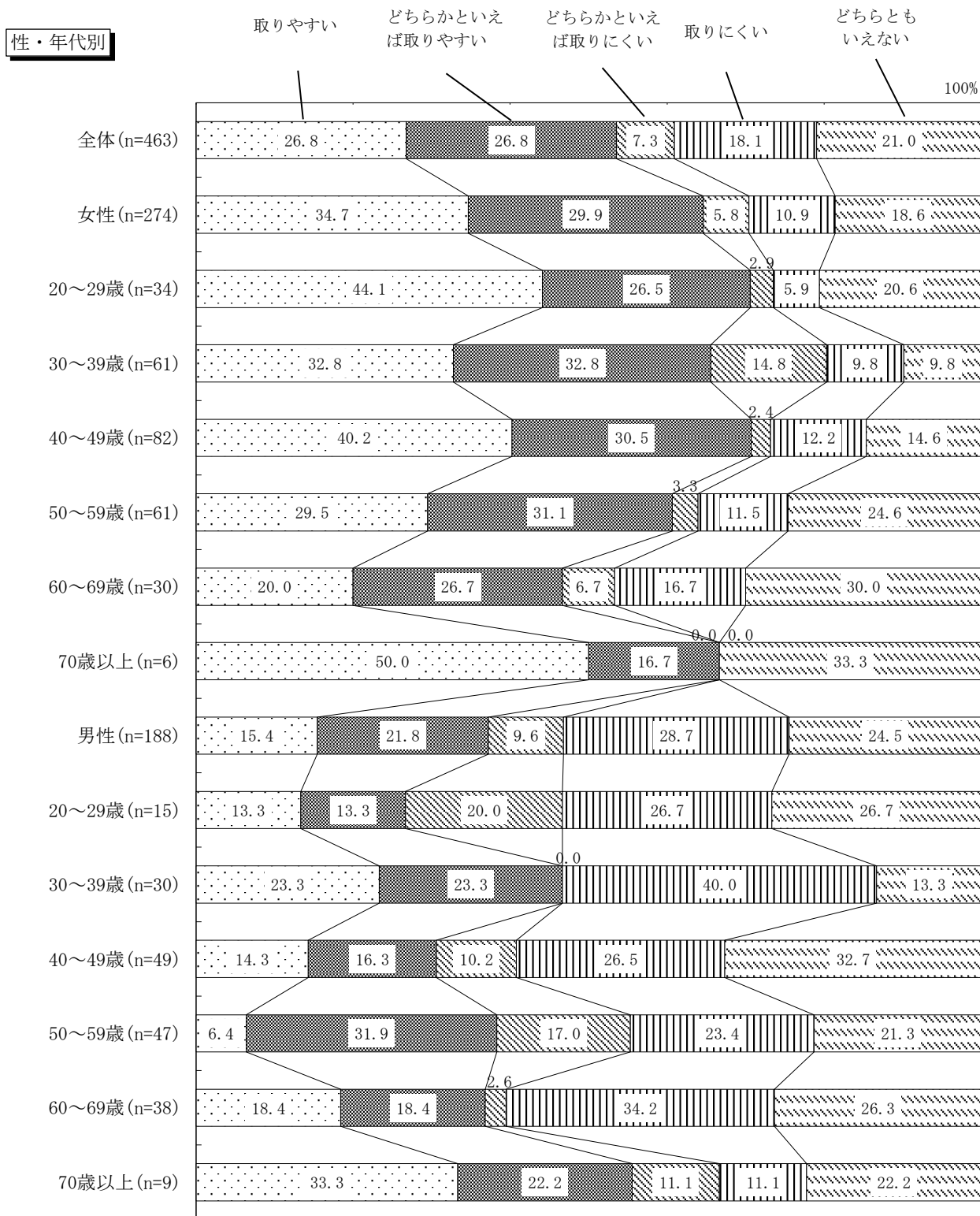
従業員数別にみると、『取りやすい』は500人以上（76.4%）が最も高く、次いで30～49人（75.0%）となっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

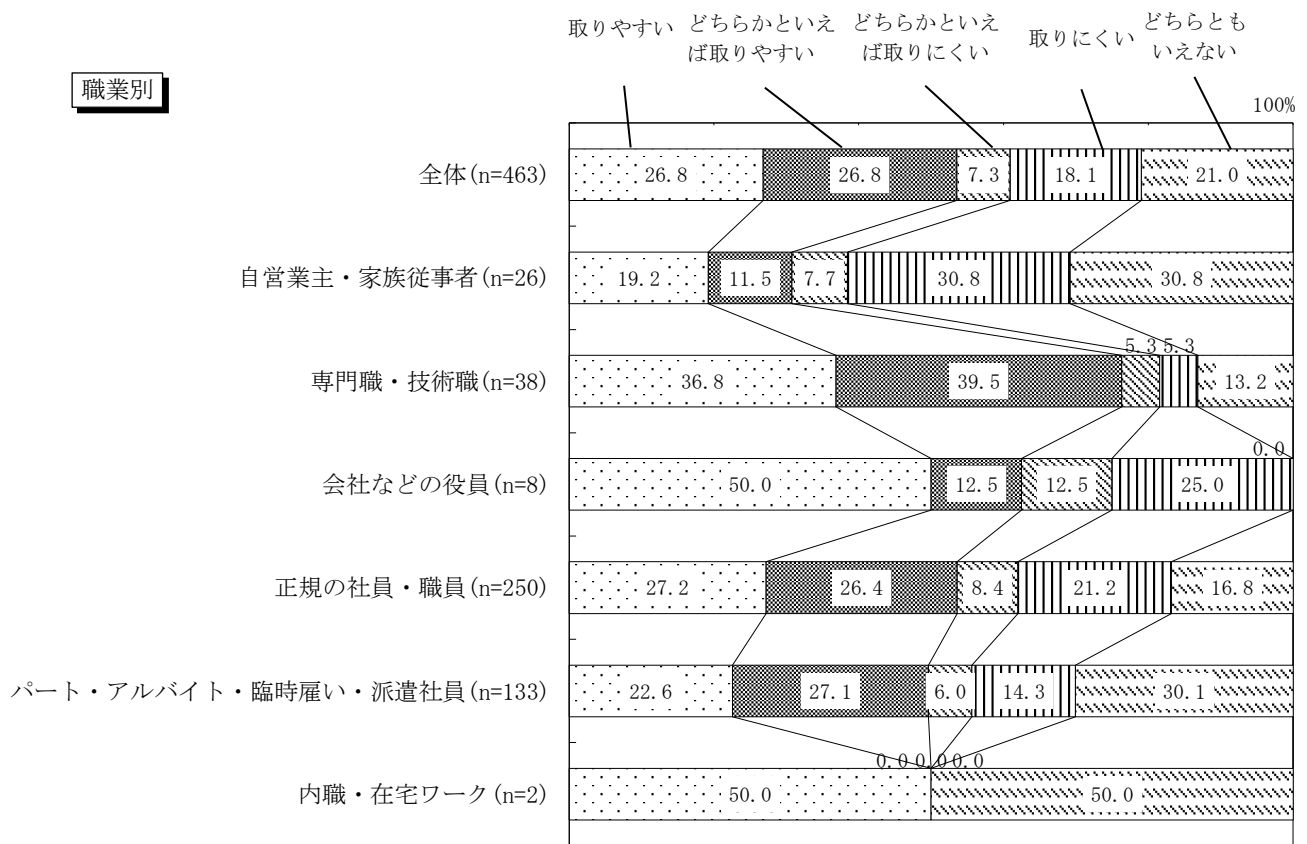
問16 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】

あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

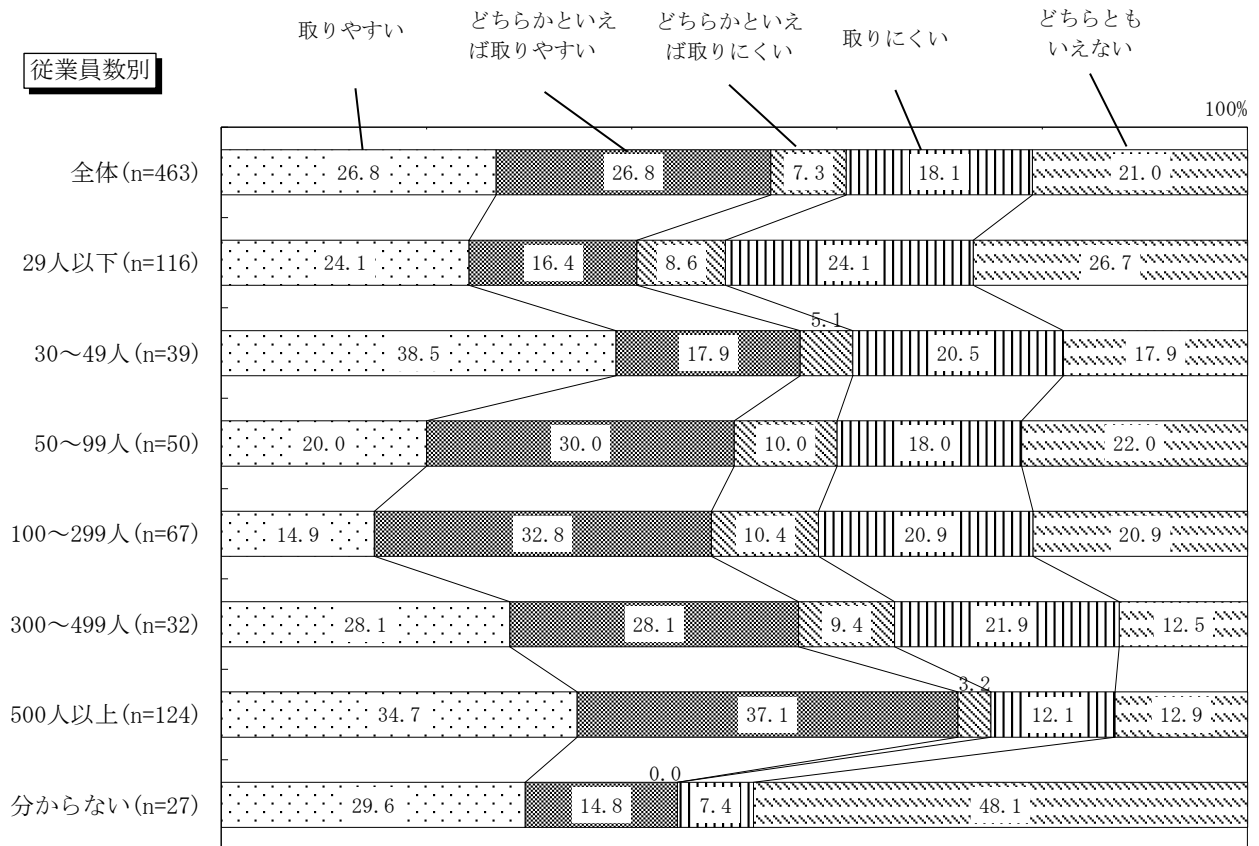
2 育児休業



年代別にみると、『取りやすい』は女性40代（70.7%）、女性20代（70.6%）で高くなっている。『取りにくい』は男性20代（46.7%）、男性50代（40.4%）で高くなっており、『取りやすい』（男性20代26.6%、男性50代38.3%）を上回っている。



職業別にみると、『取りやすい』は専門職・技術職（76.3%）で最も高く、次いで会社などの役員（62.5%）となっている。



従業員数別にみると、500人以上では、他の規模に比べて『取りやすい』（71.8%）が高くなっている。

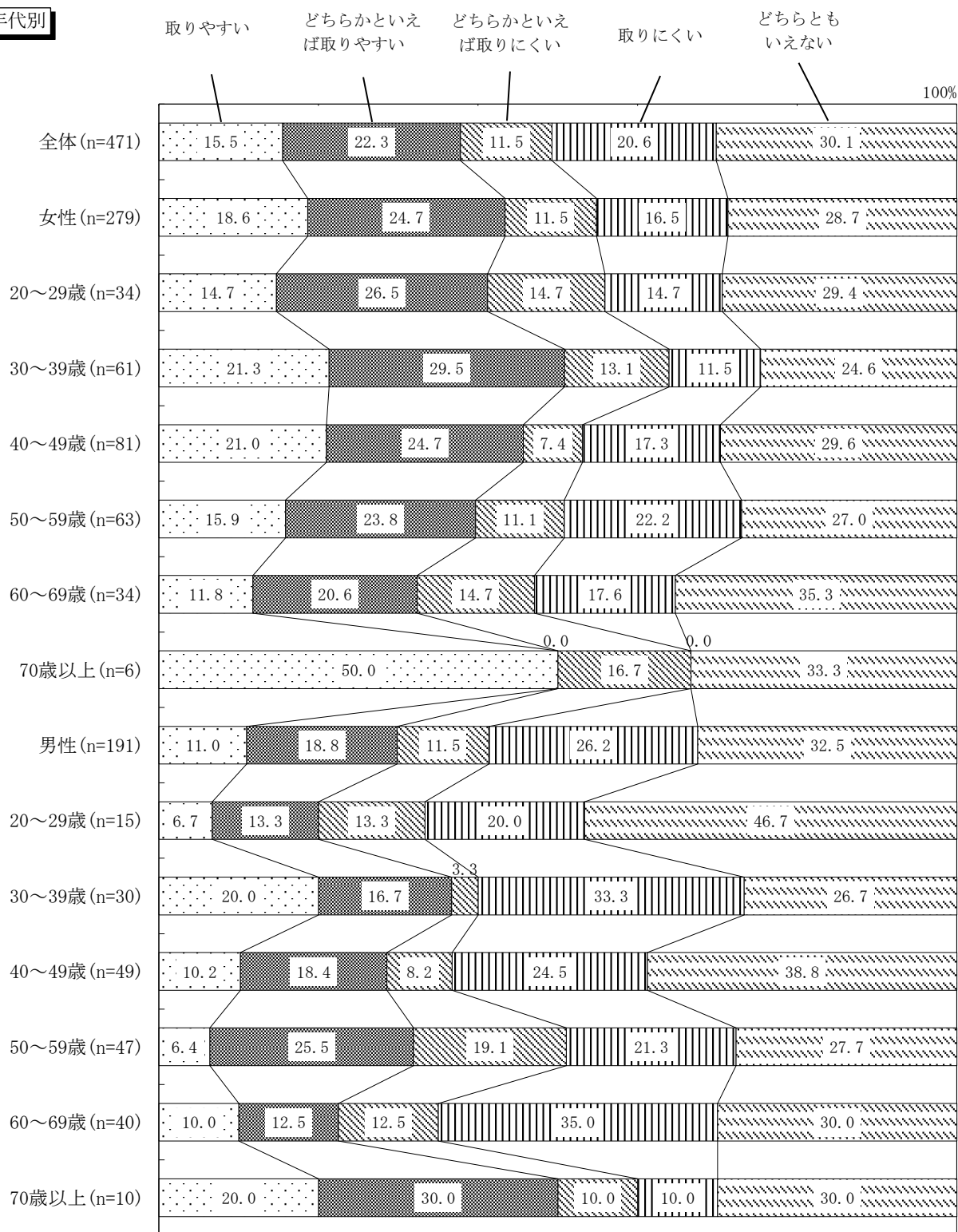
□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問16 【現在、職業を持っている方にお伺いします。】

あなたの職場では、有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

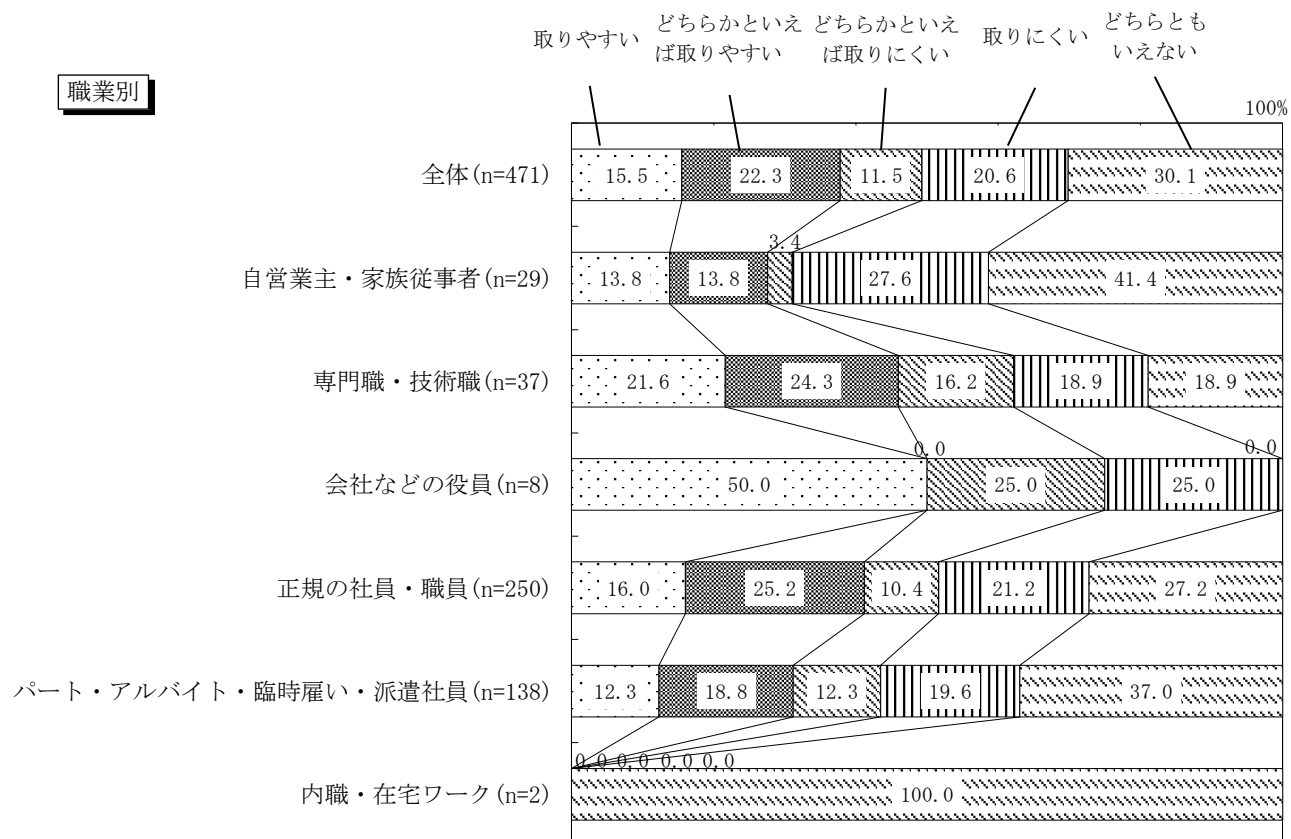
3 介護休業

性・年代別



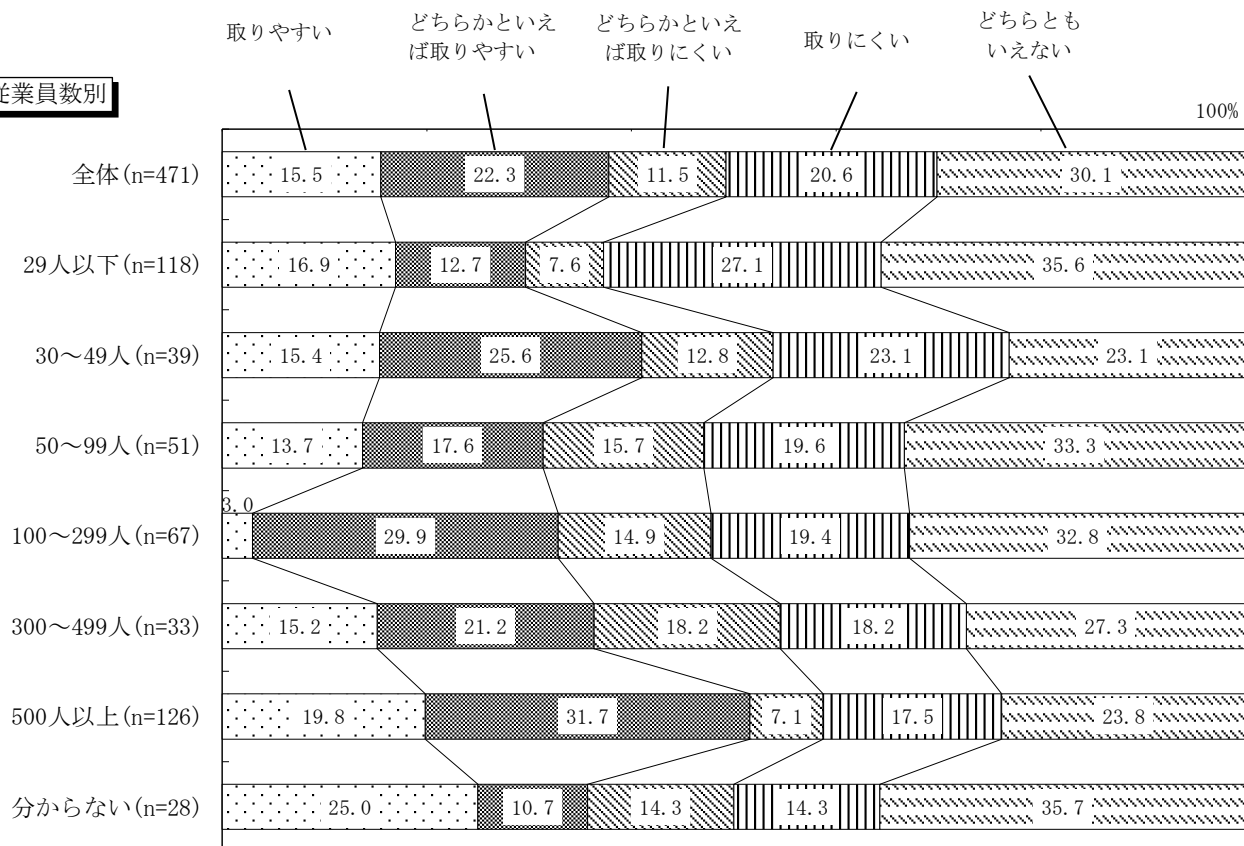
年代別にみると、男性20代、男性40代、男性50代、男性60代では『取りにくい』が『取りやすい』を上回っている。女性60代と男性30代では『取りやすい』と『取りにくい』がほぼ同率である。

職業別



職業別にみると、会社などの役員は『取りやすい』と『取りにくい』が50%で同率である。自営業主・家族従事者とパート・アルバイト・臨時雇い・派遣社員では『取りにくい』が『取りやすい』を上回っている。

従業員数別



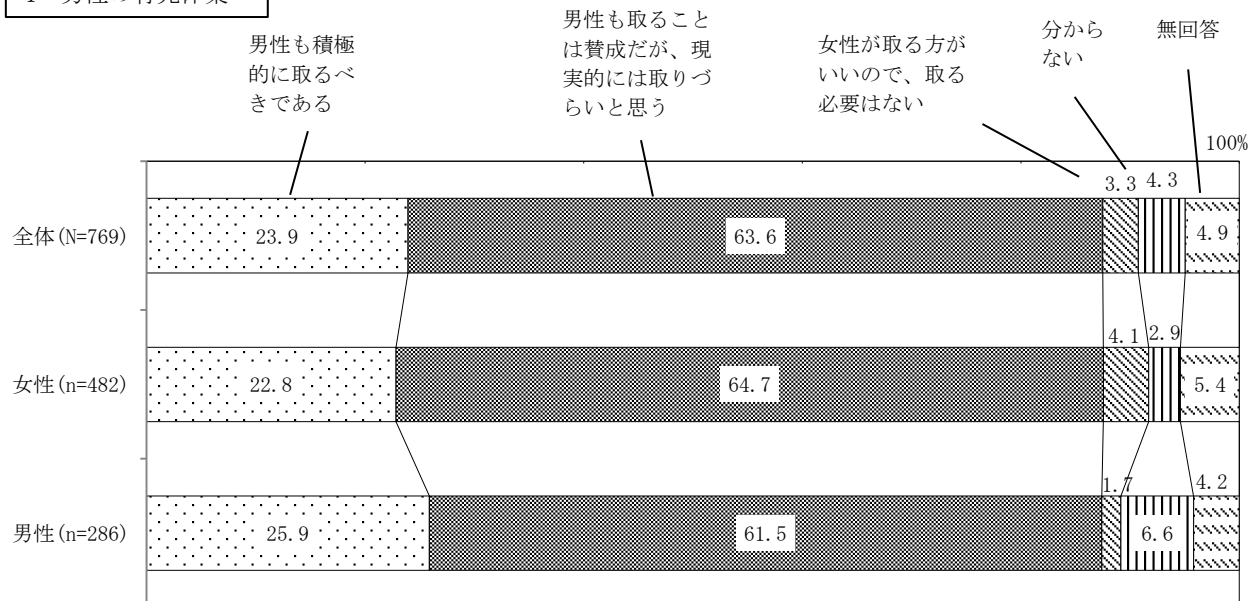
従業員数別にみると、『取りやすい』は500人以上（51.5%）が最も高く、次いで30～49人（41.0%）となっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

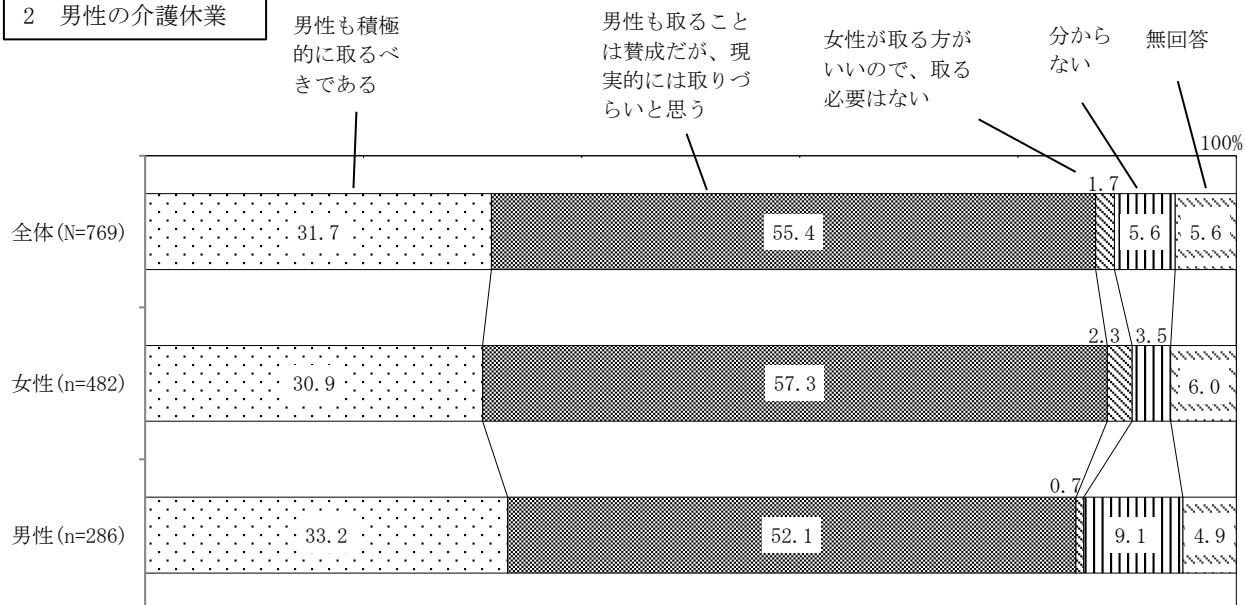
問 1 7

あなたは、男性が育児休業・介護休業を取ることにどう思いますか。1～2の項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（○は1つずつ）。

1 男性の育児休業



2 男性の介護休業



男性が育児休業を取ることに性別にみると、男女ともに「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高くなっている（女性64.7%、男性61.5%）。「男性も積極的に取るべきである」は男性（25.9%）が女性（22.8%）をやや上回っている。

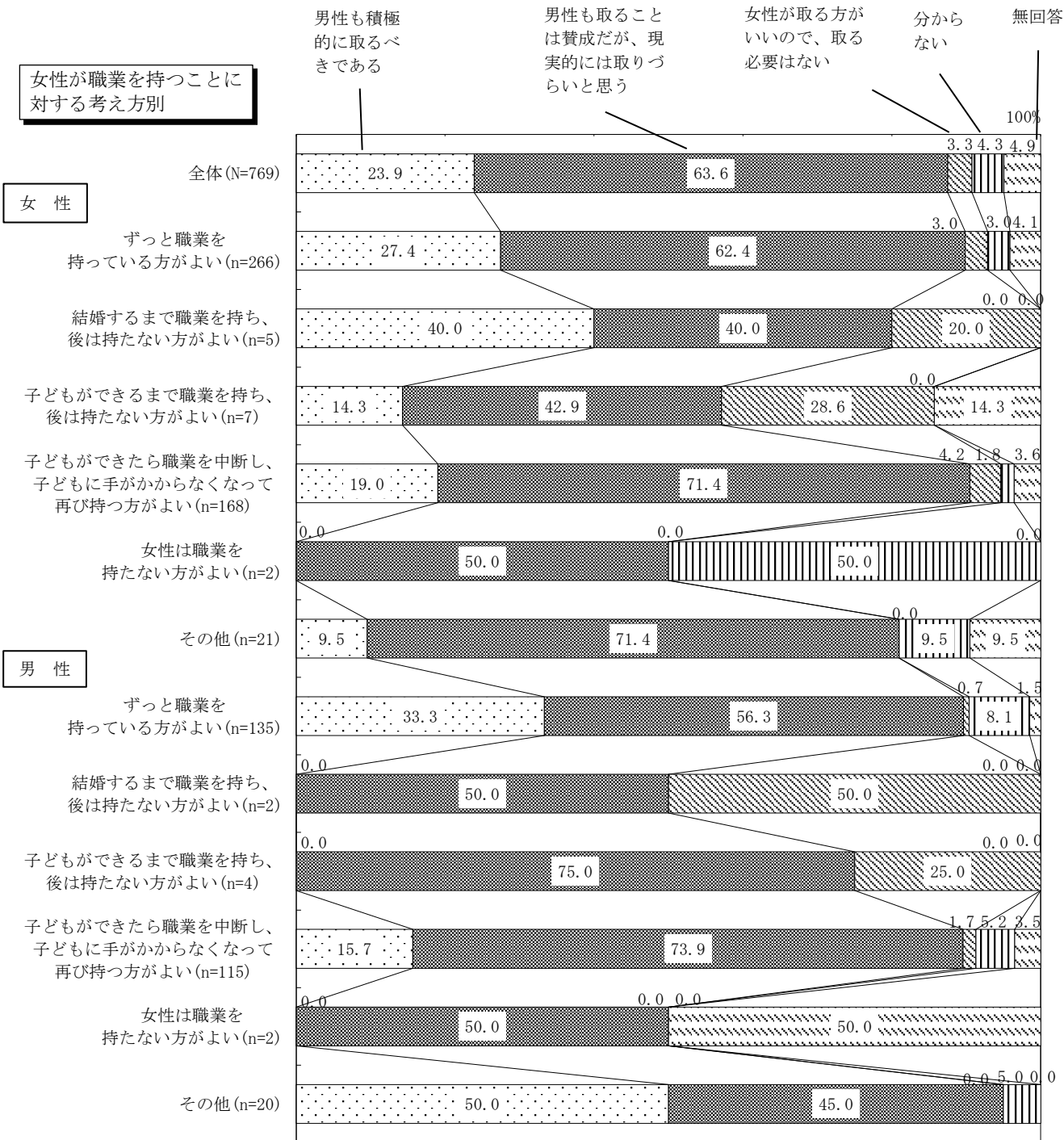
男性が介護休業を取ることに性別にみると、男女ともに「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高くなっている（女性57.3%、男性52.1%）。「男性も積極的に取るべきである」は男性（33.2%）が女性（30.9%）をやや上回っている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問 1 7

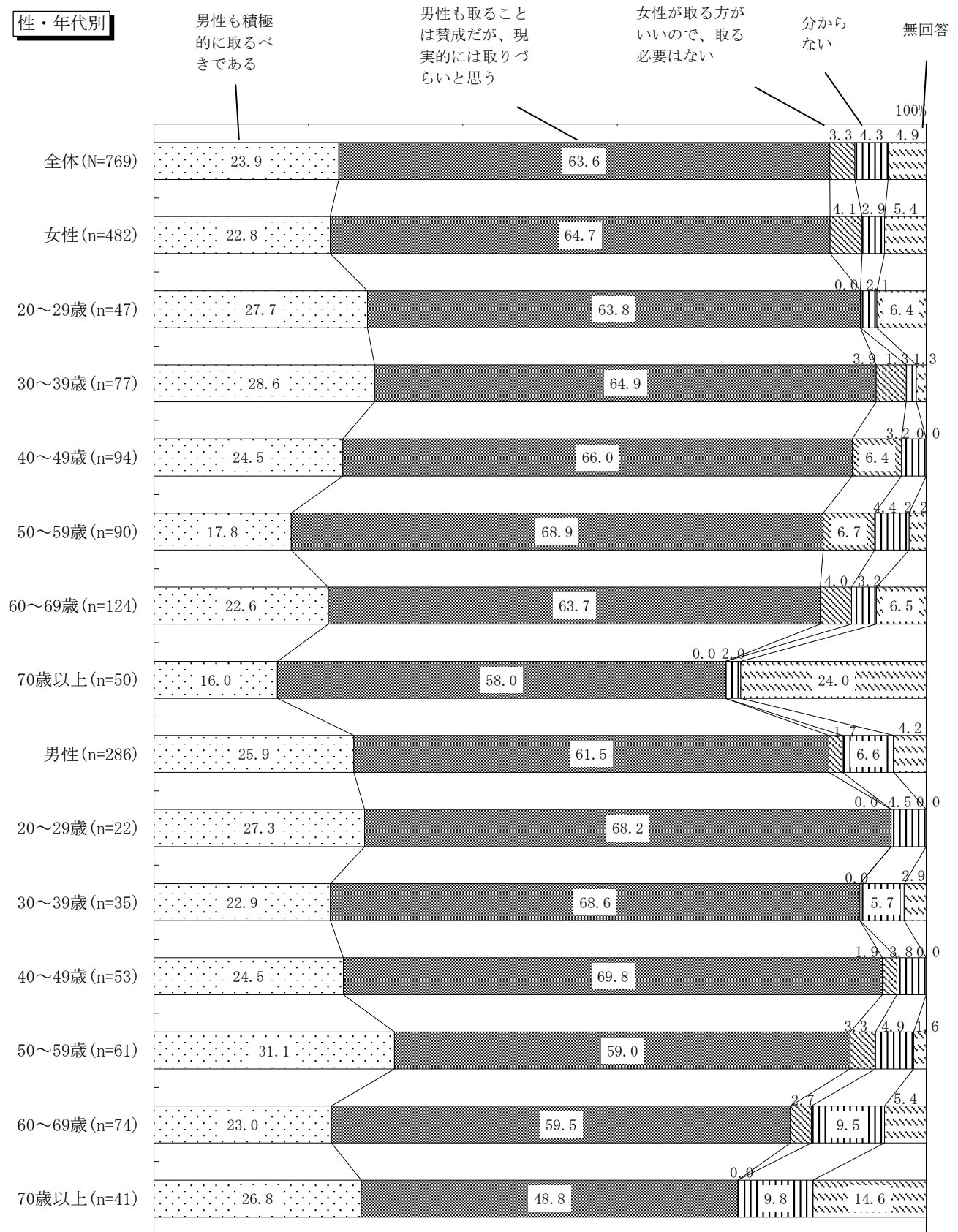
あなたは、男性が育児休業・介護休業をすることについてどう思いますか。1～2の項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（○は1つずつ）。

1 男性の育児休業



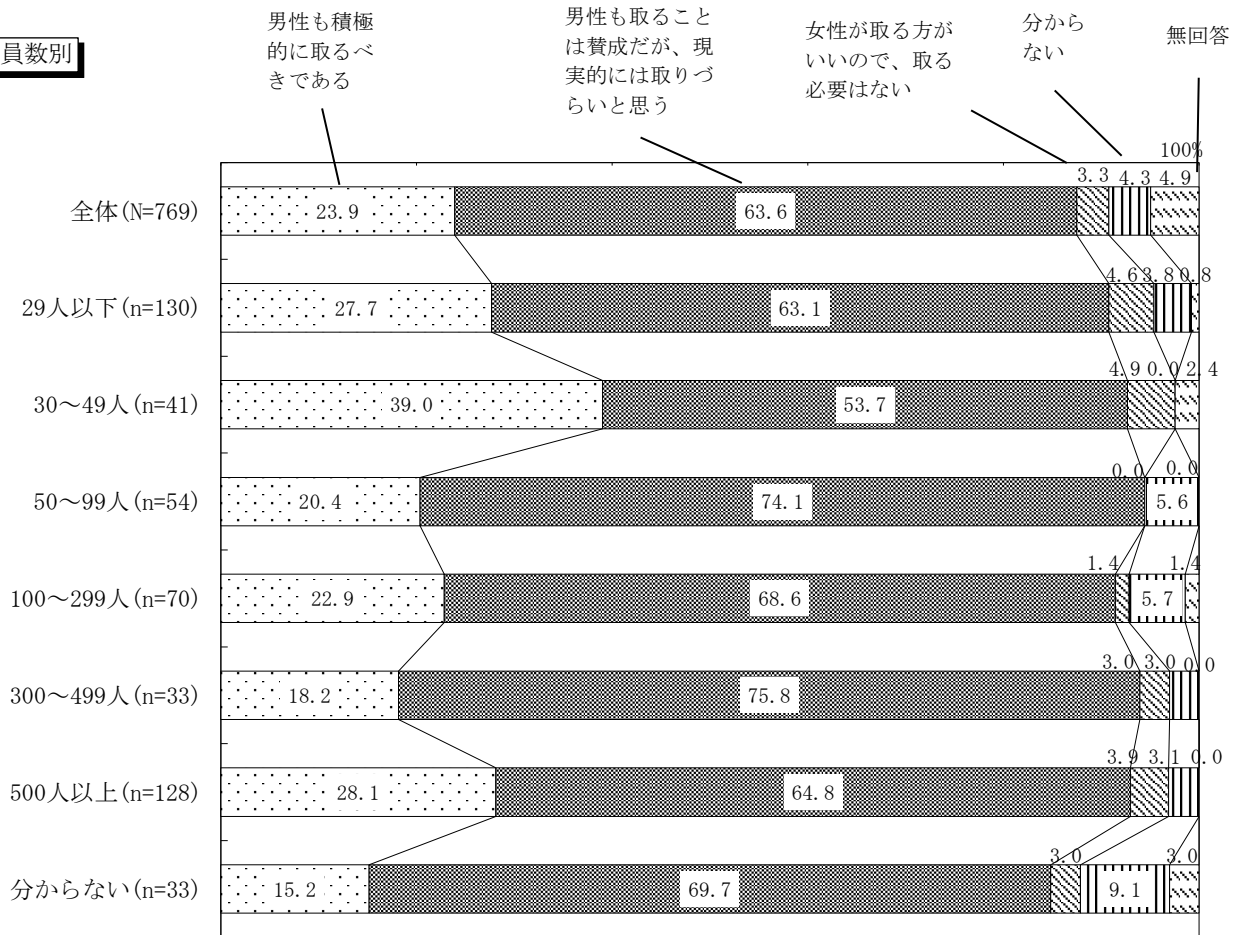
女性が職業を持つことに対する考え方別にみると、「男性も積極的に取るべきである」の割合が最も高いのは、「結婚するまで職業を持ち、後は持たない方がよい」（40.0%）と考える女性のグループである。「男性も取るとは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」の割合は、「子どもができるまで職業を持ち、後は持たない方がよい」（75.0%）と考える男性グループが最も高くなっている。

性・年代別



年代別にみると、いずれの年代も「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高くなっている。女性20代、女性70歳以上、男性20代、男性30代、男性70歳以上は「女性が取る方がいいので、取る必要はない」と回答した人はいなかった。

従業員数別



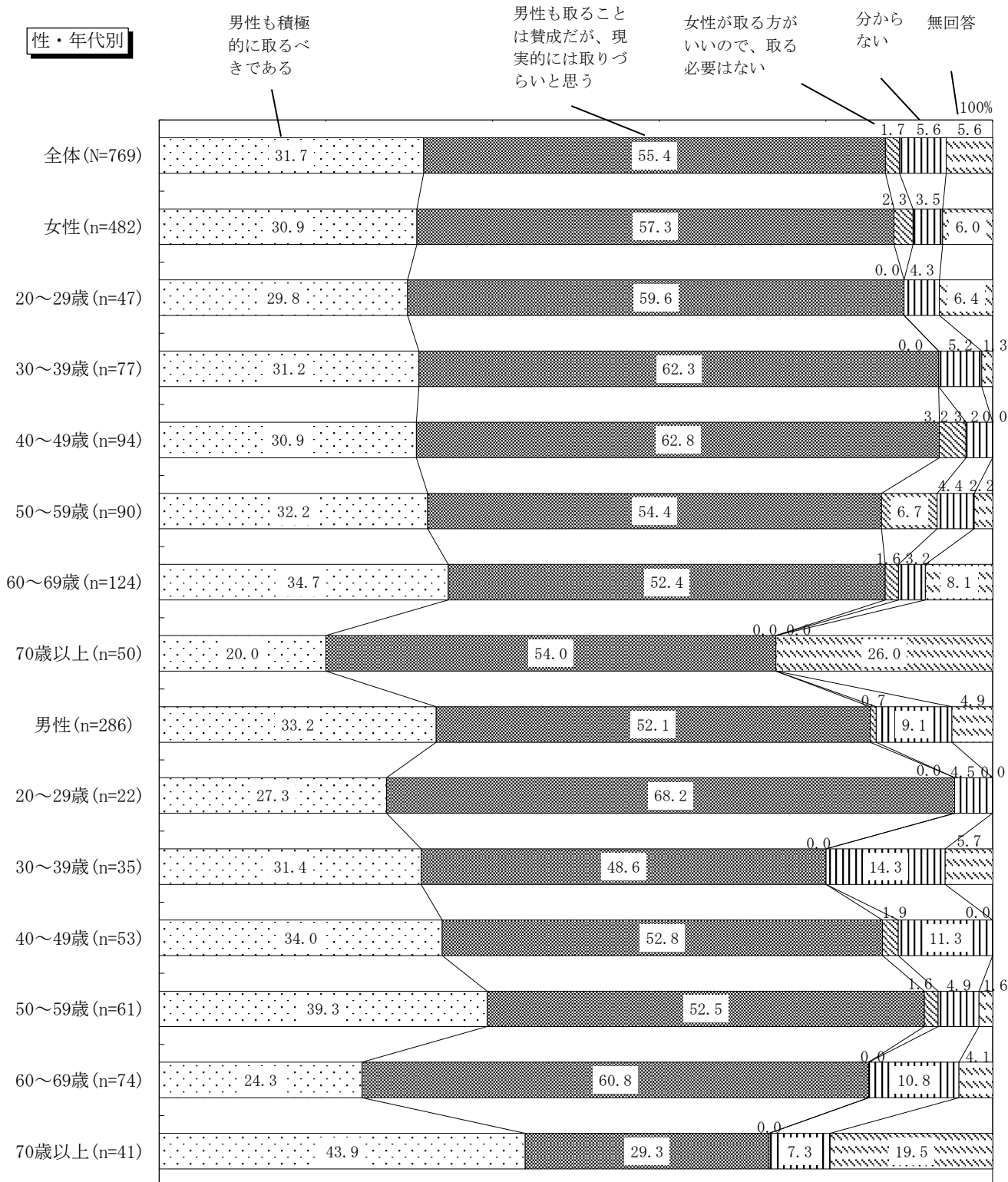
従業員数別にみると、いずれのグループでも「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高くなっている。「男性も積極的に取るべきである」は30~49人(39.0%)で他のグループに比べて高くなっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問 1 7

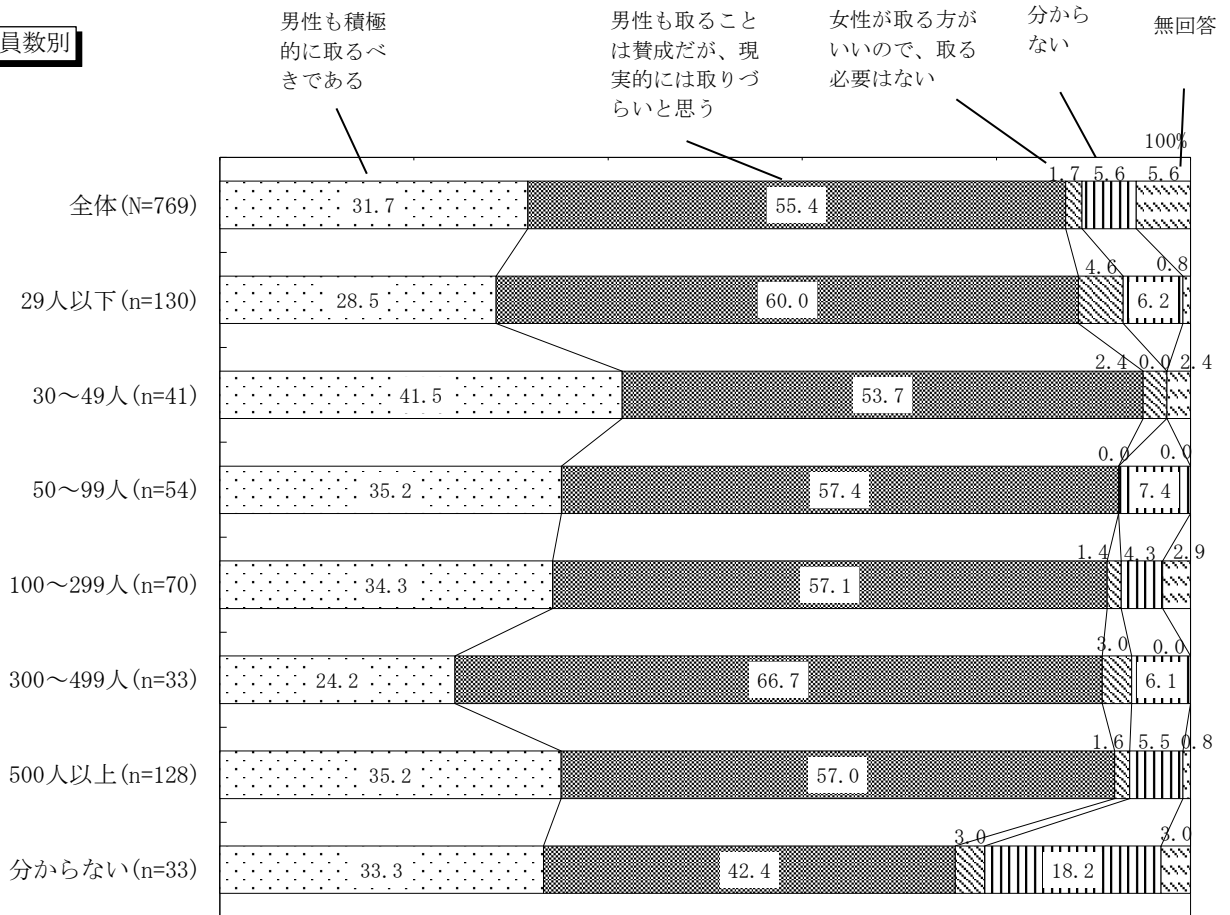
あなたは、男性が育児休業・介護休業をすることについてどう思いますか。1～2の項目について、あなたのお考えに最も近いものを選んでください（○は1つずつ）。

2 男性の介護休業



年代別にみると、いずれの年代も「男性も取るとは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高くなっている。「男性も積極的に取るべきである」は男性70歳以上（43.9%）が最も高く、次いで男性50代（39.3%）となっている。男性60代と男女ともに20代、30代、70歳以上は「女性が取る方がいいので、取る必要はない」と回答した人はいなかった。

従業員数別

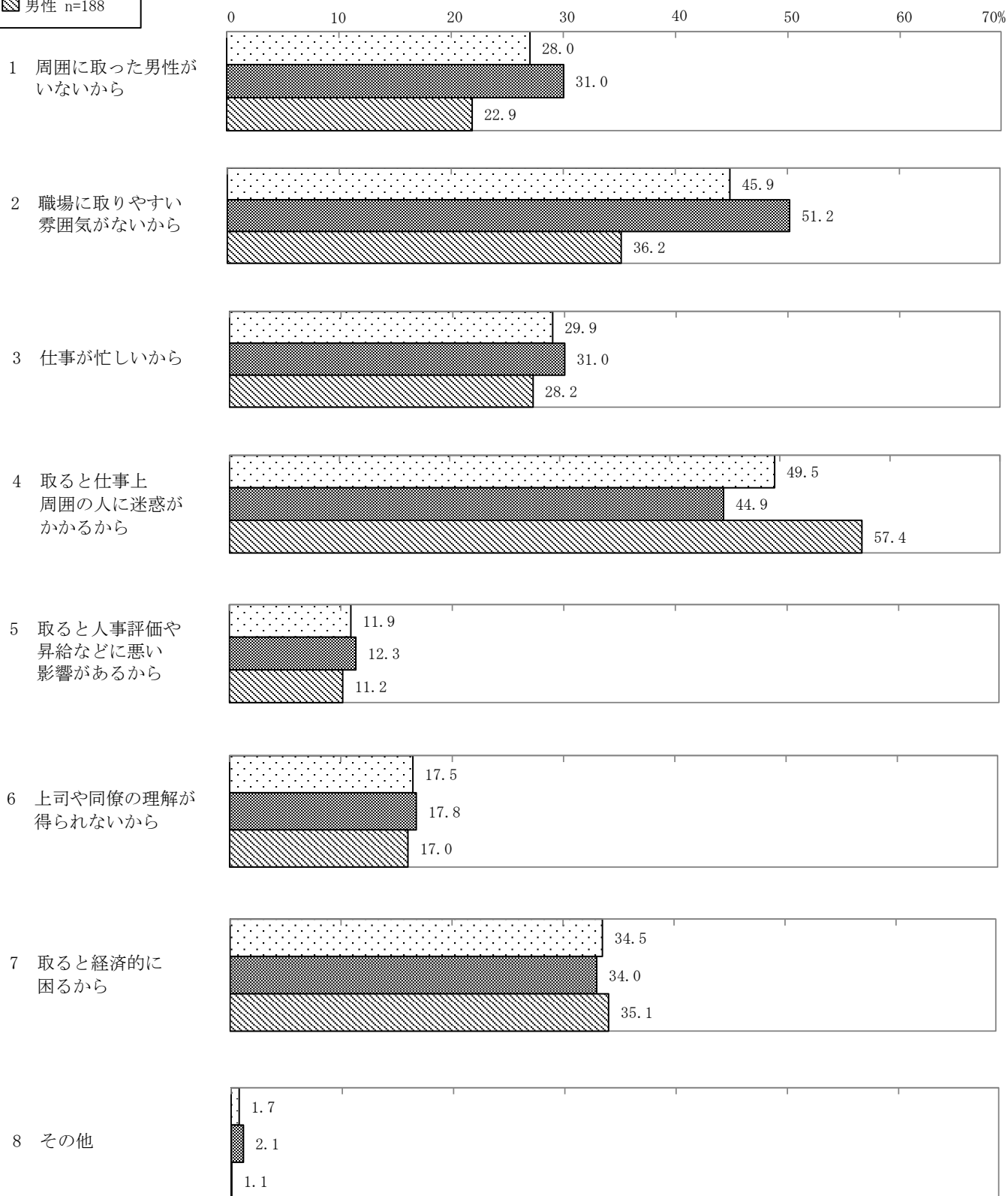
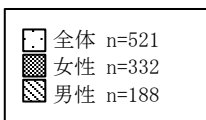


従業員数別にみると、いずれのグループでも「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が最も高くなっている。「男性も積極的に取るべきである」は30~49人（41.5%）が最も高くなっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問18【問17で「2 男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」と回答した方にお伺いします。】

その理由は何だと思えますか（〇は3つまで）。



「男性も取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」理由についてみると、「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」（49.5%）が最も多く、次いで「職場に取りやすい雰囲気がないから」（45.9%）となっている。「職場に取りやすい雰囲気がないから」は女性（51.2%）が男性（36.2%）より15.0ポイント上回っており、「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」では男性（57.4%）が女性（44.9%）より12.5ポイント上回っている。

※問18 項目集計表（性・年代別） [構成比(%)／人数(人)]

	い 周 な い に か ら 取 つ た 男 性 が	困 職 場 に 取 り や す い 雰 囲 気 が な い か ら	仕 事 が 忙 し い か ら	ら 人 取 る に 迷 と 惑 が 事 か 上 か 周 る 困 か の	あ 給 取 る な ど に 人 悪 事 評 価 や 昇 給 に 影 響 が	得 上 司 や 同 僚 の 理 解 が	か 取 ら と 経 済 的 に 困 る	そ の 他	無 回 答
【全体】 n=521	28.0 (146)	45.9 (239)	29.9 (156)	49.5 (258)	11.9 (62)	17.5 (91)	34.5 (180)	1.7 (9)	3.6 (19)
【女性】 n=332	31.0 (103)	51.2 (170)	31.0 (103)	44.9 (149)	12.3 (41)	17.8 (59)	34.0 (113)	2.1 (7)	3.6 (12)
【男性】 n=188	22.9 (43)	36.2 (68)	28.2 (53)	57.4 (108)	11.2 (21)	17.0 (32)	35.1 (66)	1.1 (2)	3.7 (7)
女性【20～29歳】 n=31	35.5 (11)	58.1 (18)	38.7 (12)	32.3 (10)	3.2 (1)	12.9 (4)	25.8 (8)	6.5 (2)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=55	50.9 (28)	49.1 (27)	30.9 (17)	34.5 (19)	25.5 (14)	12.7 (7)	40.0 (22)	0.0 (0)	1.8 (1)
【40～49歳】 n=65	29.2 (19)	52.3 (34)	46.2 (30)	53.8 (35)	10.8 (7)	23.1 (15)	27.7 (18)	1.5 (1)	1.5 (1)
【50～59歳】 n=62	27.4 (17)	45.2 (28)	30.6 (19)	48.4 (30)	12.9 (8)	22.6 (14)	43.5 (27)	1.6 (1)	3.2 (2)
【60～69歳】 n=87	26.4 (23)	56.3 (49)	24.1 (21)	44.8 (39)	10.3 (9)	13.8 (12)	33.3 (29)	2.3 (2)	8.0 (7)
【70歳以上】 n=32	15.6 (5)	43.8 (14)	12.5 (4)	50.0 (16)	6.3 (2)	21.9 (7)	28.1 (9)	3.1 (1)	3.1 (1)
男性【20～29歳】 n=16	25.0 (4)	43.8 (7)	12.5 (2)	56.3 (9)	12.5 (2)	18.8 (3)	43.8 (7)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=24	20.8 (5)	33.3 (8)	33.3 (8)	45.8 (11)	4.2 (1)	41.7 (10)	41.7 (10)	0.0 (0)	0.0 (0)
【40～49歳】 n=39	38.5 (15)	25.6 (10)	33.3 (13)	46.2 (18)	7.7 (3)	2.6 (1)	30.8 (12)	2.6 (1)	5.1 (2)
【50～59歳】 n=39	30.8 (12)	30.8 (12)	20.5 (8)	53.8 (21)	7.7 (3)	10.3 (4)	48.7 (19)	0.0 (0)	5.1 (2)
【60～69歳】 n=49	14.3 (7)	44.9 (22)	30.6 (15)	69.4 (34)	16.3 (8)	16.3 (8)	32.7 (16)	0.0 (0)	2.0 (1)
【70歳以上】 n=21	0.0 (0)	42.9 (9)	33.3 (7)	71.4 (15)	19.0 (4)	28.6 (6)	9.5 (2)	4.8 (1)	9.5 (2)

年代別にみると、女性は20代（58.1%）、60代（56.3%）で「職場に取りやすい雰囲気がないから」、30代は「周囲に取った男性がいないから」（50.9%）、40代、50代、70歳以上では「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」が最も多くなっている。一方、男性はいずれの年代も「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」が最も多く、60代以上が他の年代よりも多くなっている。

※問18 項目集計表（従業員数別） [構成比(%)／人数(人)]

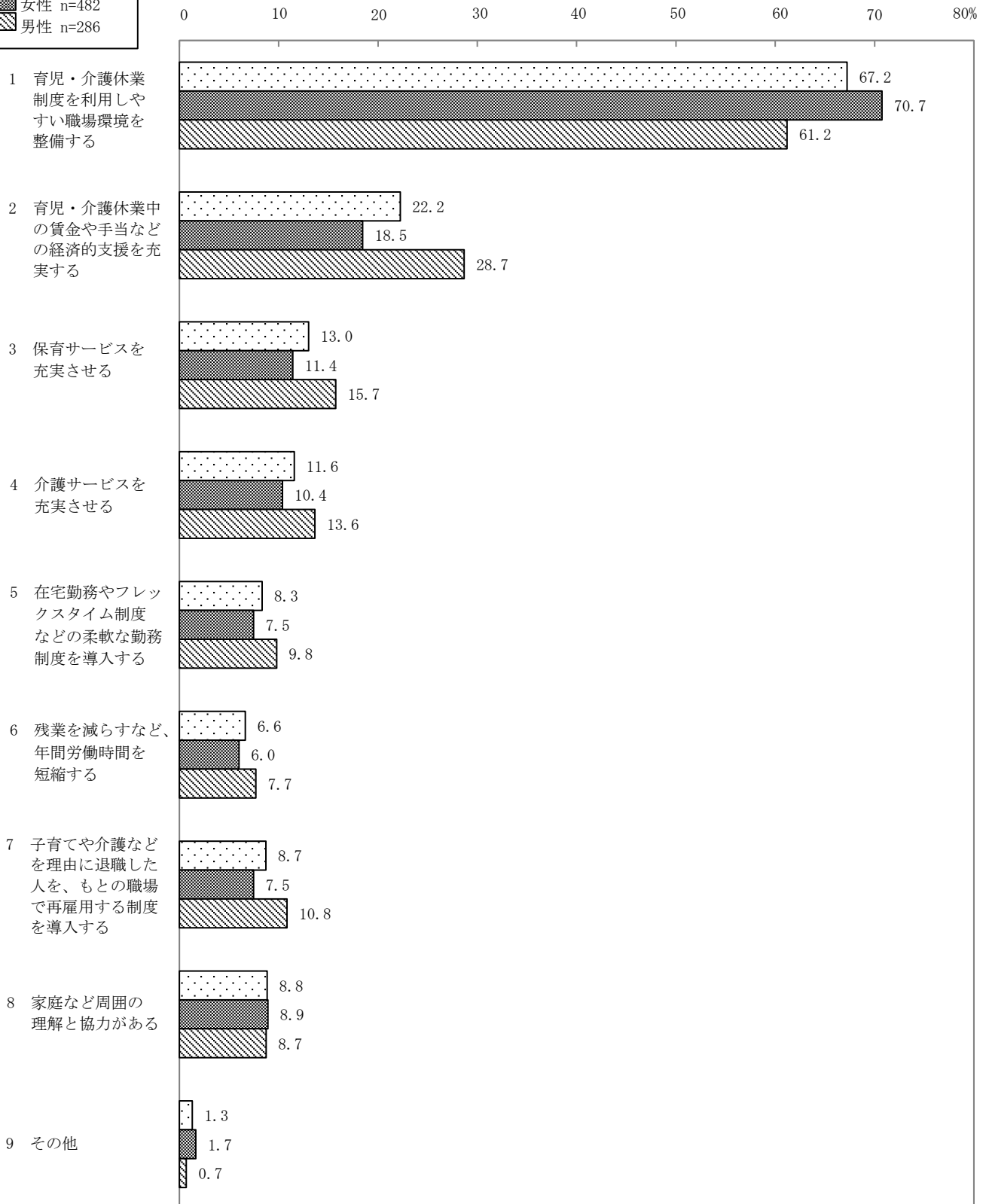
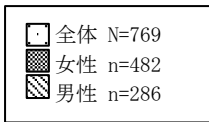
	い 周 な い か ら 取 つ た 男 性 が	困 職 場 に 取 り や す い 雰 囲 気 が な い か ら	仕 事 が 忙 し い か ら	ら 人 取 る に 迷 と 惑 が 事 か 上 か 周 る 困 か	あ 給 取 る な ど に 人 事 評 価 や 昇 給 に 影 響 が	得 上 り や 同 僚 の 理 解 が	か 取 ら と 経 済 的 に 困 る	そ の 他	無 回 答
【全体】 n=521	28.0 (146)	45.9 (239)	29.9 (156)	49.5 (258)	11.9 (62)	17.5 (91)	34.5 (180)	1.7 (9)	3.6 (19)
【29人以下】 n=85	27.1 (23)	41.2 (35)	42.4 (36)	55.3 (47)	14.1 (12)	17.6 (15)	43.5 (37)	0.0 (0)	1.2 (1)
【30～49人】 n=23	30.4 (7)	34.8 (8)	47.8 (11)	43.5 (10)	4.3 (1)	26.1 (6)	47.8 (11)	8.7 (2)	0.0 (0)
【50～99人】 n=42	26.2 (11)	50.0 (21)	21.4 (9)	52.4 (22)	4.8 (2)	16.7 (7)	35.7 (15)	0.0 (0)	4.8 (2)
【100～299人】 n=50	44.0 (22)	42.0 (21)	34.0 (17)	46.0 (23)	8.0 (4)	10.0 (5)	28.0 (14)	2.0 (1)	2.0 (1)
【300～499人】 n=27	29.6 (8)	37.0 (10)	33.3 (9)	29.6 (8)	3.7 (1)	14.8 (4)	29.6 (8)	0.0 (0)	3.7 (1)
【500人以上】 n=88	34.1 (30)	45.5 (40)	36.4 (32)	51.1 (45)	11.4 (10)	8.0 (7)	31.8 (28)	1.1 (1)	2.3 (2)
【分からない】 n=24	29.2 (7)	37.5 (9)	4.2 (1)	41.7 (10)	4.2 (1)	8.3 (2)	33.3 (8)	4.2 (1)	12.5 (3)

従業員数別にみると、30～49人では「仕事が忙しいから」、300～499人では「職場に取りやすい雰囲気がないから」が最も多く、他のグループでは「取ると仕事上周囲の人に迷惑がかかるから」が最も多くなっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問 1 9

あなたは、男性と女性がともに仕事と家庭生活を両立させていく環境をつくるためにはどのようなことが必要だと思いますか（○は当てはまるもの全て）。



男女がともに仕事と家庭生活を両立させるために必要なことについて性別にみると、男女ともに「育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備する」（女性70.7%、男性61.2%）が最も多くなっている。次いで「育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援を充実する」（女性18.5%、男性28.7%）となっている。

※問 19 項目集計表 (女性就労別) [構成比(%) / 人数(人)]

	備用育 すし や・ すい 職休 場業 環制 境度 を 整利	を 充 実 す る や 育 児 ・ 介 護 の 経 済 的 支 援 金	る 保 育 サ ー ビ ス を 充 実 さ せ	る 介 護 サ ー ビ ス を 充 実 さ せ	務 イ ム 制 度 を 導 入 す る 在 宅 勤 務 や フ レ ッ ク ス タ の 柔 軟 な 勤	勞 働 時 間 を 減 ら す な ど 、 年 間 残 業 を 短 縮 す る	導 入 す る 職 に 再 雇 用 す る 制 度 を 子 育 て や 介 護 な ど を 理 由 に 退 職 し た 人 を 、 も と の 職 場 で 再 雇 用 す る 制 度 を	力 が あ る 家 庭 な ど 周 圍 の 理 解 と 協	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=769	67.2 (517)	22.2 (171)	13.0 (100)	11.6 (89)	8.3 (64)	6.6 (51)	8.7 (67)	8.8 (68)	1.3 (10)	4.6 (35)
【ずっと職業を持っている方がよい】 n=401	67.6 (271)	21.9 (88)	13.7 (55)	11.0 (44)	8.2 (33)	5.7 (23)	5.5 (22)	6.7 (27)	1.2 (5)	3.5 (14)
【結婚するまで職業を持ち、後は持たない方がよい】 n=7	42.9 (3)	14.3 (1)	28.6 (2)	0.0 (0)	14.3 (1)	14.3 (1)	28.6 (2)	14.3 (1)	14.3 (1)	0.0 (0)
【子どもができるまで職業を持ち、後は持たない方がよい】 n=11	63.6 (7)	0.0 (0)	18.2 (2)	18.2 (2)	9.1 (1)	0.0 (0)	9.1 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	9.1 (1)
【子どもができたなら職業を中断し、子どもに手がからなくなって再び持つ方がよい】 n=284	69.0 (196)	25.0 (71)	12.7 (36)	13.7 (39)	8.5 (24)	8.1 (23)	13.0 (37)	11.3 (32)	0.7 (2)	1.8 (5)
【女性は職業を持たない方がよい】 n=4	25.0 (1)	25.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	50.0 (2)
【その他】 n=41	78.0 (32)	19.5 (8)	12.2 (5)	9.8 (4)	12.2 (5)	9.8 (4)	9.8 (4)	14.6 (6)	4.9 (2)	4.9 (2)

※問 19 項目集計表 (既婚・未婚別) [構成比(%) / 人数(人)]

	備用育 すし や・ すい 職休 場業 環制 境度 を 整利	を 充 実 す る や 育 児 ・ 介 護 の 経 済 的 支 援 金	る 保 育 サ ー ビ ス を 充 実 さ せ	る 介 護 サ ー ビ ス を 充 実 さ せ	務 イ ム 制 度 を 導 入 す る 在 宅 勤 務 や フ レ ッ ク ス タ の 柔 軟 な 勤	勞 働 時 間 を 減 ら す な ど 、 年 間 残 業 を 短 縮 す る	導 入 す る 職 に 再 雇 用 す る 制 度 を 子 育 て や 介 護 な ど を 理 由 に 退 職 し た 人 を 、 も と の 職 場 で 再 雇 用 す る 制 度 を	力 が あ る 家 庭 な ど 周 圍 の 理 解 と 協	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=769	67.2 (517)	22.2 (171)	13.0 (100)	11.6 (89)	8.3 (64)	6.6 (51)	8.7 (67)	8.8 (68)	1.3 (10)	4.6 (35)
【既婚・共働きしている】 n=254	69.7 (177)	23.6 (60)	11.8 (30)	8.3 (21)	7.9 (20)	5.9 (15)	6.3 (16)	8.7 (22)	2.0 (5)	0.8 (2)
【既婚・夫だけが働いている】 n=103	68.0 (70)	20.4 (21)	9.7 (10)	8.7 (9)	5.8 (6)	2.9 (3)	7.8 (8)	5.8 (6)	1.0 (1)	5.8 (6)
【既婚・妻だけが働いている】 n=25	64.0 (16)	28.0 (7)	8.0 (2)	16.0 (4)	20.0 (5)	12.0 (3)	20.0 (5)	16.0 (4)	0.0 (0)	4.0 (1)
【既婚・夫婦とも無職である】 n=88	65.9 (58)	18.2 (16)	10.2 (9)	12.5 (11)	3.4 (3)	3.4 (3)	9.1 (8)	8.0 (7)	0.0 (0)	9.1 (8)
【離別】 n=68	55.9 (38)	30.9 (21)	19.1 (13)	20.6 (14)	10.3 (7)	7.4 (5)	10.3 (7)	8.8 (6)	0.0 (0)	8.8 (6)
【死別】 n=23	60.9 (14)	17.4 (4)	21.7 (5)	26.1 (6)	4.3 (1)	4.3 (1)	8.7 (2)	13.0 (3)	0.0 (0)	13.0 (3)
【未婚】 n=204	69.6 (142)	20.1 (41)	14.7 (30)	11.3 (23)	10.8 (22)	10.3 (21)	10.3 (21)	9.8 (20)	1.5 (3)	3.9 (8)

※問 19 項目集計表 (末子の子どもの年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	を利育 整用児 備し・ すや介 すす護 い休 職業 場制 環度 境を	支金育 援や手・ 充実な介 すす護 い休 職業 場制 環度 境を	せ保 育サ ービ スを 充実 さ	せ介 護サ ービ スを 充実 さ	なタ イム 制制 度度 をを 導導 入入 すす るる	在 宅 勤 務 制 度 を 導 入 す る	間残 働業 時を 間を 短縮 す る	制由 度の 職退 場職 でし 再た 雇人 用を すも る理	協家 力庭 がな あど る周 圍の 理 解と	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=769	67.2 (517)	22.2 (171)	13.0 (100)	11.6 (89)	8.3 (64)	6.6 (51)	8.7 (67)	8.8 (68)	1.3 (10)	4.6 (35)	
【1歳未満】 n=13	76.9 (10)	46.2 (6)	15.4 (2)	7.7 (1)	7.7 (1)	0.0 (0)	23.1 (3)	23.1 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	
【1歳以上3歳未満】 n=35	80.0 (28)	14.3 (5)	8.6 (3)	2.9 (1)	8.6 (3)	2.9 (1)	0.0 (0)	5.7 (2)	5.7 (2)	2.9 (1)	
【3歳以上小学校入学前】 n=33	84.8 (28)	18.2 (6)	12.1 (4)	9.1 (3)	6.1 (2)	3.0 (1)	6.1 (2)	12.1 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)	
【小学生】 n=57	59.6 (34)	35.1 (20)	8.8 (5)	10.5 (6)	3.5 (2)	10.5 (6)	10.5 (6)	10.5 (6)	1.8 (1)	0.0 (0)	
【中学生】 n=37	54.1 (20)	27.0 (10)	16.2 (6)	10.8 (4)	8.1 (3)	8.1 (3)	8.1 (3)	10.8 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)	
【高校・大学・大学院 生】 n=45	68.9 (31)	24.4 (11)	17.8 (8)	15.6 (7)	11.1 (5)	0.0 (0)	4.4 (2)	11.1 (5)	4.4 (2)	0.0 (0)	
【学校を終えた未婚の子 ども】 n=84	67.9 (57)	23.8 (20)	11.9 (10)	10.7 (9)	9.5 (8)	4.8 (4)	8.3 (7)	8.3 (7)	0.0 (0)	3.6 (3)	
【結婚した子ども】 n=188	61.7 (116)	19.7 (37)	13.8 (26)	15.4 (29)	5.3 (10)	5.9 (11)	10.6 (20)	8.0 (15)	0.5 (1)	10.1 (19)	
【いない】 n=233	71.2 (166)	20.6 (48)	13.3 (31)	10.7 (25)	11.6 (27)	9.0 (21)	9.0 (21)	8.6 (20)	1.3 (3)	3.9 (9)	

※問 19 項目集計表 (職業別) [構成比(%) / 人数(人)]

	を利育 整用児 備し・ すや介 すす護 い休 職業 場制 環度 境を	支金育 援や手・ 充実な介 すす護 い休 職業 場制 環度 境を	せ保 育サ ービ スを 充実 さ	せ介 護サ ービ スを 充実 さ	なタ イム 制制 度度 をを 導導 入入 すす るる	在 宅 勤 務 制 度 を 導 入 す る	間残 働業 時を 間を 短縮 す る	制由 度の 職退 場職 でし 再た 雇人 用を すも る理	協家 力庭 がな あど る周 圍の 理 解と	そ の 他	無 回 答
【全体】 N=769	67.2 (517)	22.2 (171)	13.0 (100)	11.6 (89)	8.3 (64)	6.6 (51)	8.7 (67)	8.8 (68)	1.3 (10)	4.6 (35)	
【自営業主・家族従事 者】 n=41	61.0 (25)	12.2 (5)	17.1 (7)	9.8 (4)	4.9 (2)	7.3 (3)	12.2 (5)	4.9 (2)	0.0 (0)	7.3 (3)	
【専門職・技術職】 n=39	69.2 (27)	23.1 (9)	10.3 (4)	7.7 (3)	15.4 (6)	10.3 (4)	12.8 (5)	20.5 (8)	0.0 (0)	0.0 (0)	
【会社などの役員】 n=8	37.5 (3)	37.5 (3)	12.5 (1)	12.5 (1)	12.5 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	
【正規の社員・職員】 n=255	71.4 (182)	24.7 (63)	12.9 (33)	11.4 (29)	9.4 (24)	5.1 (13)	6.3 (16)	7.1 (18)	0.8 (2)	0.8 (2)	
【パート・アルバイト・ 臨時雇い・派遣社員】 n=158	64.6 (102)	26.6 (42)	15.2 (24)	11.4 (18)	7.6 (12)	8.2 (13)	8.9 (14)	10.8 (17)	1.9 (3)	2.5 (4)	
【内職・在宅ワーク】 n=5	80.0 (4)	20.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	

※問19 項目集計表（従業員数別） [構成比(%)／人数(人)]

	育児・介護休業制度を整備しやすい職場環境を	育児・介護休業中の資金や手当などの経済的支援を充実する	保育サービスを充実させる	介護サービスを充実させる	在宅勤務やフレックスタイム制度などの柔軟な勤務制度を導入する	残業時間を短縮する	子育てや介護などの職責を再雇用する	家庭など周囲の理解と協力がある	その他	無回答
【全体】 N=769	67.2 (517)	22.2 (171)	13.0 (100)	11.6 (89)	8.3 (64)	6.6 (51)	8.7 (67)	8.8 (68)	1.3 (10)	4.6 (35)
【29人以下】 n=130	66.9 (87)	18.5 (24)	11.5 (15)	7.7 (10)	8.5 (11)	5.4 (7)	6.9 (9)	6.2 (8)	0.8 (1)	3.8 (5)
【30～49人】 n=41	78.0 (32)	26.8 (11)	12.2 (5)	14.6 (6)	7.3 (3)	9.8 (4)	4.9 (2)	9.8 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～99人】 n=54	63.0 (34)	35.2 (19)	9.3 (5)	5.6 (3)	3.7 (2)	3.7 (2)	5.6 (3)	3.7 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【100～299人】 n=70	65.7 (46)	22.9 (16)	11.4 (8)	7.1 (5)	10.0 (7)	0.0 (0)	7.1 (5)	12.9 (9)	1.4 (1)	2.9 (2)
【300～499人】 n=33	81.8 (27)	30.3 (10)	21.2 (7)	27.3 (9)	18.2 (6)	18.2 (6)	15.2 (5)	12.1 (4)	0.0 (0)	3.0 (1)
【500人以上】 n=128	71.1 (91)	20.3 (26)	14.1 (18)	11.7 (15)	9.4 (12)	5.5 (7)	8.6 (11)	9.4 (12)	2.3 (3)	0.0 (0)
【分からない】 n=33	60.6 (20)	27.3 (9)	21.2 (7)	12.1 (4)	9.1 (3)	15.2 (5)	6.1 (2)	12.1 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)

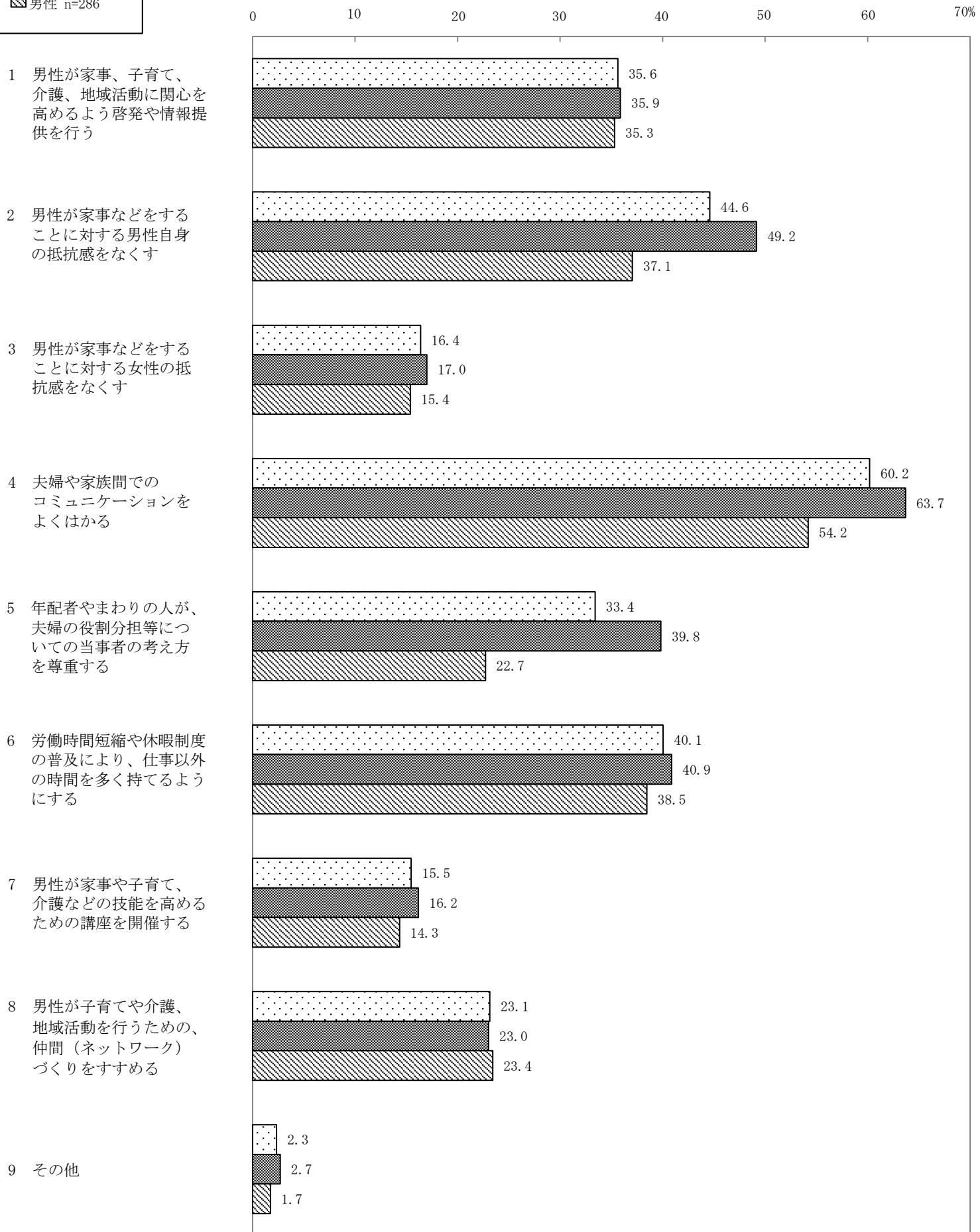
女性が職業を持つことに対する考え方別にみると、「女性は職業を持たない方がよい」と考えるグループは「育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備する」「育児・介護休業中の資金や手当などの経済的支援を充実する」（25.0%）が同率となっている。他のグループでは「育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備する」が最も多くなっている。

配偶関係別、末子の子どもの年代別、職業別、従業員数別のいずれのグループも「育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備する」が最も多くなっている。

□ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてお尋ねします

問 2 0

あなたは、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか（○は当てはまるもの全て）。



男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくために必要なことについて性別にみると、男女ともに「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」（女性63.7%、男性54.2%）が最も多くなっている。次いで女性は「男性が家事などをする事に対する男性自身の抵抗感をなくす」（49.2%）が多く、男性は「労働時間短縮や休暇制度の普及により、仕事以外の時間を多く持てるようにする」（38.5%）が多くなっている。

※問20 項目集計表(性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	啓地域男性が活動や情報提供を行う	対する男性が家事などを拒否すること	対する男性が家事などを拒否すること	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる	年の役割や分担等について、夫婦の考え方を尊重する	多及労働時間短縮や休業制度の普及により、仕事以外の時間を多く持つようにする	男性が家事や子育て、介護などの技能を高めるための講座を開催する	ト動男性が行うための、仲間(地域ネットワーク)づくりをすすめる	その他	無回答
【全体】 N=769	35.6 (274)	44.6 (343)	16.4 (126)	60.2 (463)	33.4 (257)	40.1 (308)	15.5 (119)	23.1 (178)	2.3 (18)	4.6 (35)
【女性】 n=482	35.9 (173)	49.2 (237)	17.0 (82)	63.7 (307)	39.8 (192)	40.9 (197)	16.2 (78)	23.0 (111)	2.7 (13)	4.1 (20)
【男性】 n=286	35.3 (101)	37.1 (106)	15.4 (44)	54.2 (155)	22.7 (65)	38.5 (110)	14.3 (41)	23.4 (67)	1.7 (5)	5.2 (15)
女性【20~29歳】 n=47	36.2 (17)	38.3 (18)	21.3 (10)	68.1 (32)	40.4 (19)	59.6 (28)	21.3 (10)	27.7 (13)	2.1 (1)	4.3 (2)
【30~39歳】 n=77	36.4 (28)	55.8 (43)	19.5 (15)	70.1 (54)	40.3 (31)	54.5 (42)	19.5 (15)	31.2 (24)	3.9 (3)	1.3 (1)
【40~49歳】 n=94	25.5 (24)	55.3 (52)	19.1 (18)	64.9 (61)	40.4 (38)	53.2 (50)	8.5 (8)	19.1 (18)	4.3 (4)	0.0 (0)
【50~59歳】 n=90	38.9 (35)	46.7 (42)	14.4 (13)	50.0 (45)	35.6 (32)	26.7 (24)	10.0 (9)	22.2 (20)	2.2 (2)	3.3 (3)
【60~69歳】 n=124	44.4 (55)	46.0 (57)	15.3 (19)	70.2 (87)	45.2 (56)	32.3 (40)	21.0 (26)	24.2 (30)	1.6 (2)	4.8 (6)
【70歳以上】 n=50	28.0 (14)	50.0 (25)	14.0 (7)	56.0 (28)	32.0 (16)	26.0 (13)	20.0 (10)	12.0 (6)	2.0 (1)	16.0 (8)
男性【20~29歳】 n=22	40.9 (9)	36.4 (8)	18.2 (4)	63.6 (14)	9.1 (2)	50.0 (11)	0.0 (0)	9.1 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30~39歳】 n=35	22.9 (8)	34.3 (12)	8.6 (3)	57.1 (20)	20.0 (7)	48.6 (17)	5.7 (2)	14.3 (5)	2.9 (1)	2.9 (1)
【40~49歳】 n=53	30.2 (16)	41.5 (22)	20.8 (11)	58.5 (31)	32.1 (17)	35.8 (19)	18.9 (10)	24.5 (13)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50~59歳】 n=61	32.8 (20)	37.7 (23)	11.5 (7)	44.3 (27)	11.5 (7)	31.1 (19)	9.8 (6)	27.9 (17)	0.0 (0)	4.9 (3)
【60~69歳】 n=74	43.2 (32)	39.2 (29)	13.5 (10)	58.1 (43)	27.0 (20)	39.2 (29)	18.9 (14)	23.0 (17)	4.1 (3)	4.1 (3)
【70歳以上】 n=41	39.0 (16)	29.3 (12)	22.0 (9)	48.8 (20)	29.3 (12)	36.6 (15)	22.0 (9)	31.7 (13)	2.4 (1)	19.5 (8)

※問20 項目集計表(職業別) [構成比(%) / 人数(人)]

	啓地域男性が活動や情報提供を行う	対する男性が家事などを拒否すること	対する男性が家事などを拒否すること	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる	年の役割や分担等について、夫婦の考え方を尊重する	多及労働時間短縮や休業制度の普及により、仕事以外の時間を多く持つようにする	男性が家事や子育て、介護などの技能を高めるための講座を開催する	ト動男性が行うための、仲間(地域ネットワーク)づくりをすすめる	その他	無回答
【全体】 N=769	35.6 (274)	44.6 (343)	16.4 (126)	60.2 (463)	33.4 (257)	40.1 (308)	15.5 (119)	23.1 (178)	2.3 (18)	4.6 (35)
【自営業主・家族従事者】 n=41	39.0 (16)	29.3 (12)	14.6 (6)	56.1 (23)	36.6 (15)	24.4 (10)	24.4 (10)	19.5 (8)	4.9 (2)	9.8 (4)
【専門職・技術職】 n=39	41.0 (16)	51.3 (20)	20.5 (8)	64.1 (25)	25.6 (10)	38.5 (15)	20.5 (8)	17.9 (7)	7.7 (3)	0.0 (0)
【会社などの役員】 n=8	25.0 (2)	50.0 (4)	0.0 (0)	37.5 (3)	0.0 (0)	37.5 (3)	0.0 (0)	25.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【正規の社員・職員】 n=255	32.5 (83)	43.9 (112)	14.5 (37)	60.8 (155)	32.5 (83)	45.9 (117)	13.3 (34)	26.7 (68)	0.0 (0)	0.8 (2)
【パート・アルバイト・ 臨時雇い・派遣社員】 n=158	36.1 (57)	48.7 (77)	15.8 (25)	62.0 (98)	29.7 (47)	38.6 (61)	10.1 (16)	21.5 (34)	3.8 (6)	3.2 (5)
【内職・在宅ワーク】 n=5	20.0 (1)	60.0 (3)	40.0 (2)	40.0 (2)	60.0 (3)	60.0 (3)	20.0 (1)	40.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)

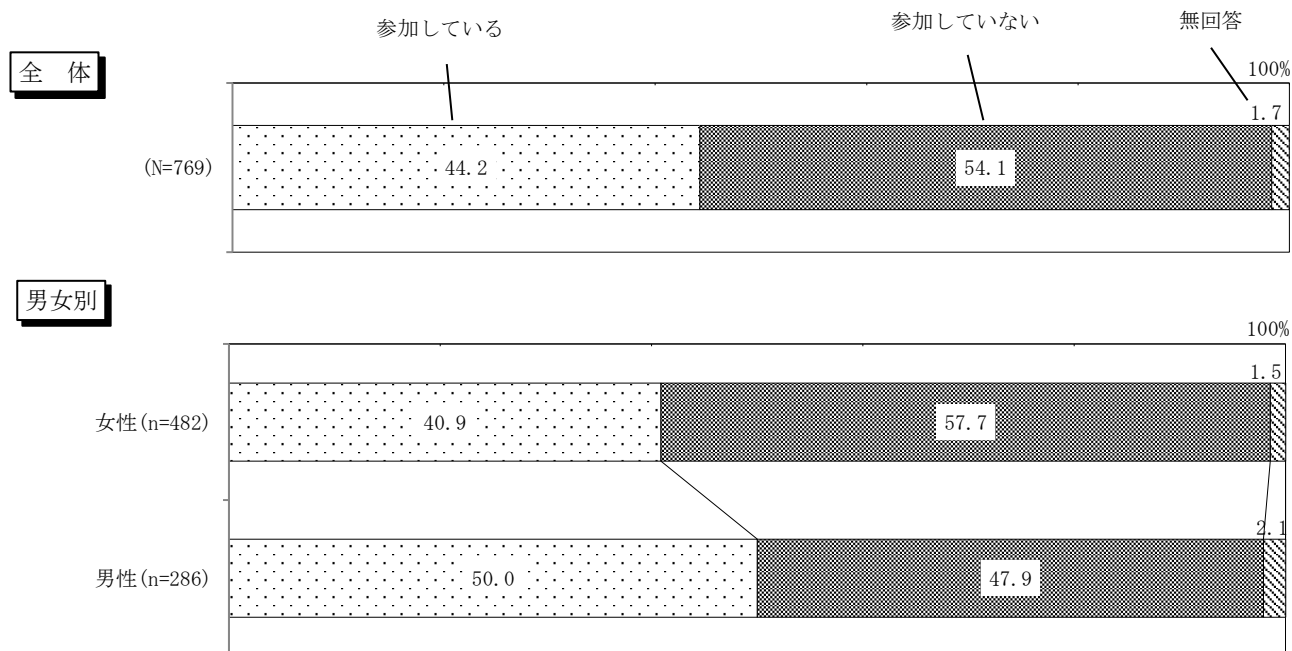
年代別にみると、男女ともにいずれの年代も「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」が最も多くなっている。

職業別にみると、内職・在宅ワークでは「男性が家事などをするに対する男性自身の抵抗感をなくす」「労働時間短縮や休暇制度の普及により、仕事以外の時間を多く持てるようにする」（60.0%）が同率で最も多くなっている。会社などの役員では、「男性が家事などをするに対する男性自身の抵抗感をなくす」（50.0%）、それ以外の職業は「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる」が最も多くなっている。

□ 地域活動・社会参画についてお尋ねします

問 2 1

あなたは現在、町内会やボランティアなどの地域活動に参加していますか（○は1つだけ）。



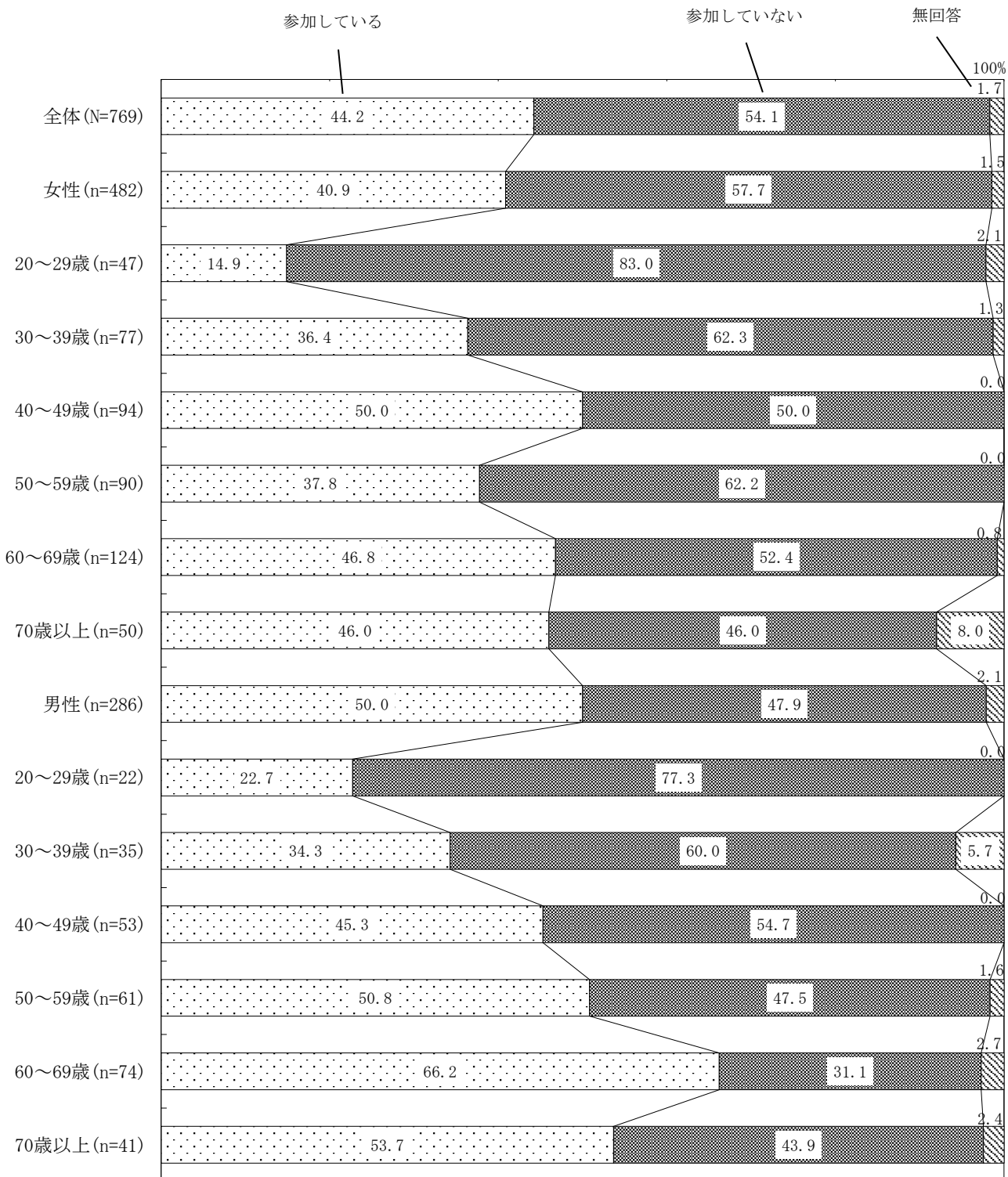
地域活動の参加についてみると、「参加している」は女性（40.9%）、男性（50.0%）で男性が女性を9.1ポイント上回っている。

□ 地域活動・社会参画についておたずねします

問 2 1

あなたは現在、町内会やボランティアなどの地域活動に参加していますか（○は1つだけ）。

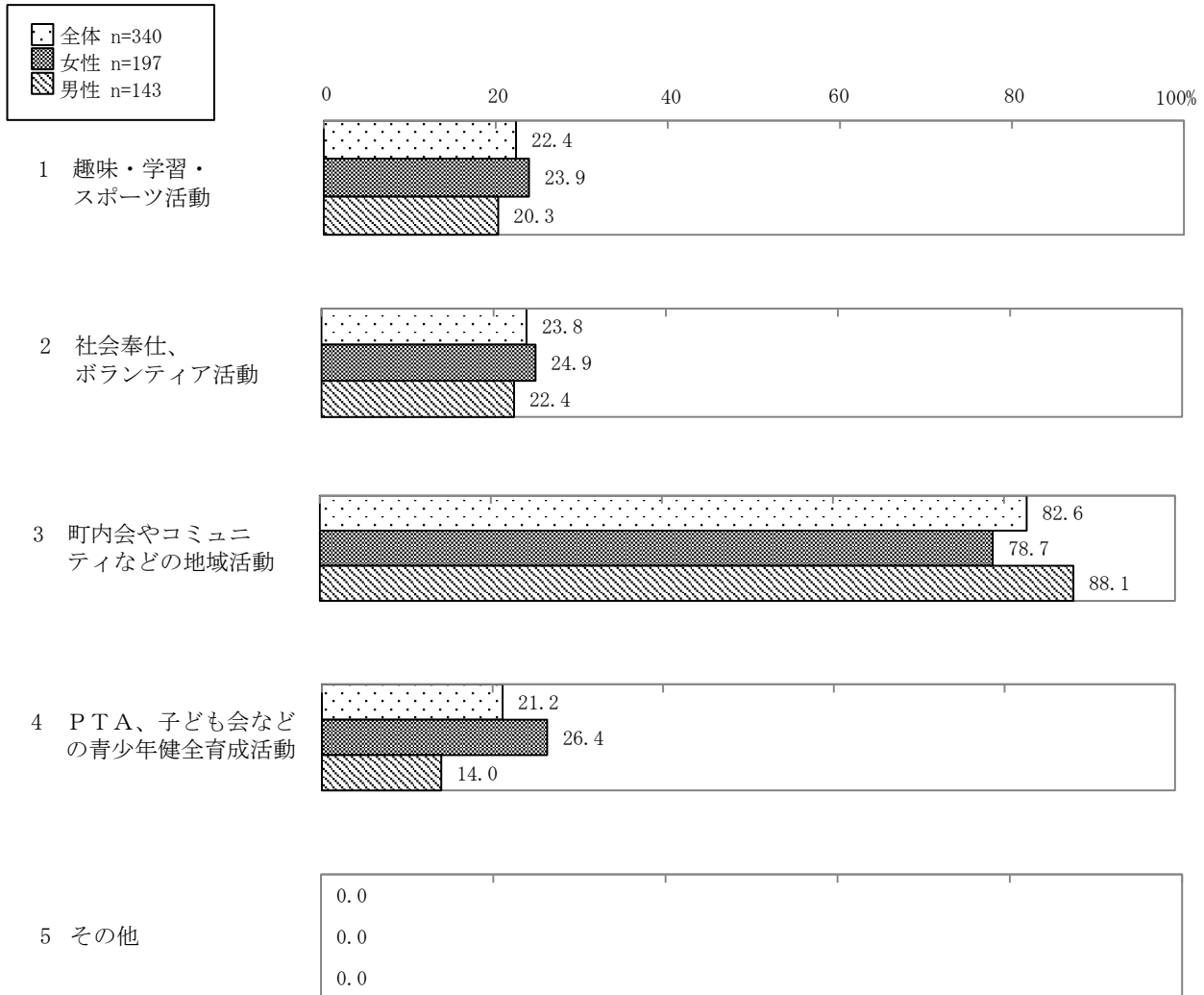
性・年代別



年代別にみると、「参加していない」は、男女とも20代が最も高く、次いで30代が高くなっている。

□ 地域活動・社会参画についてお尋ねします

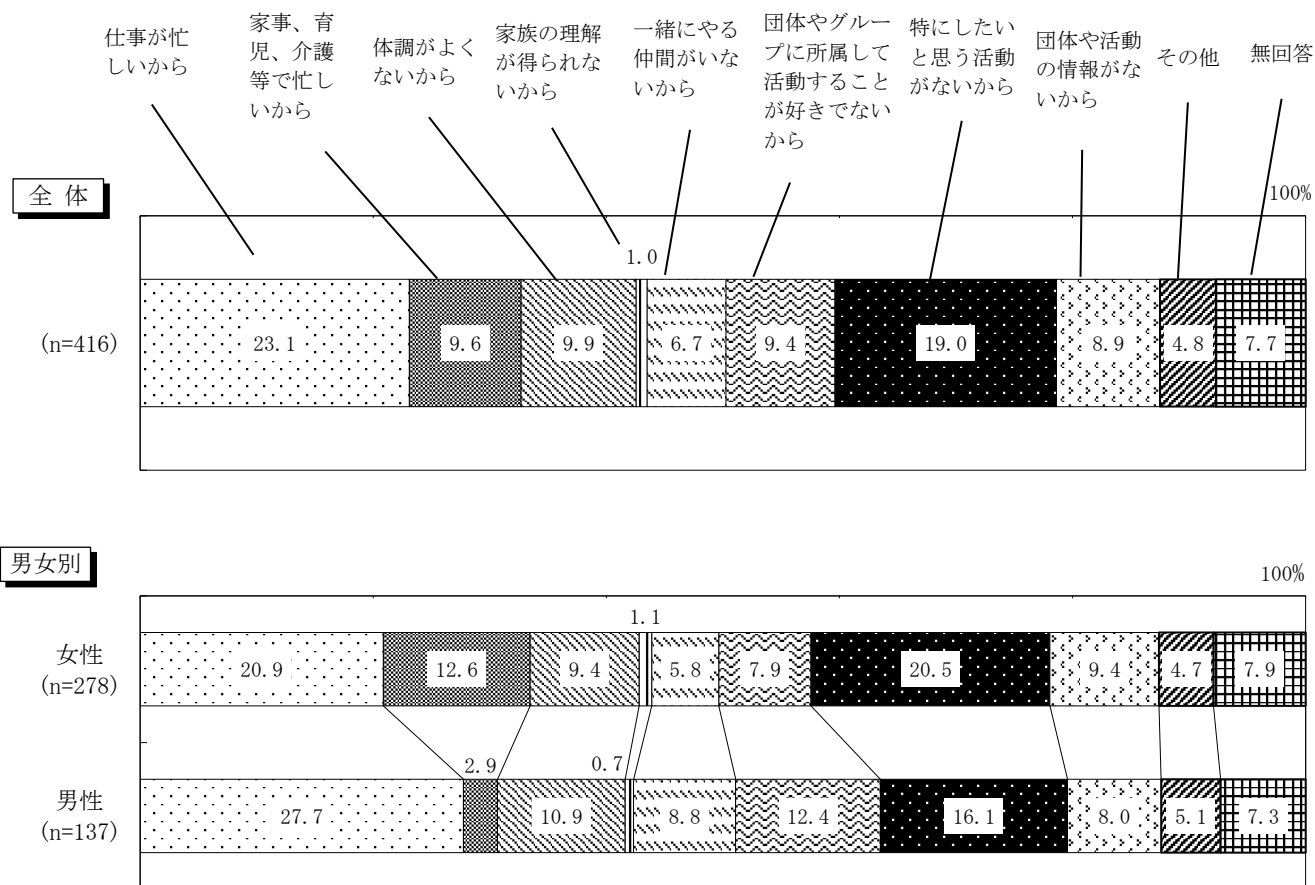
問22 【問21で「1 参加している」と回答した方にお伺いします。】
それはどのような活動ですか。参加しているものを全て選んでください（○は当てはまるもの全て）。



活動内容をみると、男女ともに「町内会やコミュニティなどの地域活動」が最も多くなっており、男性（88.1%）が女性（78.7%）を9.4ポイント上回っている。「PTA、子ども会などの青少年健全育成活動」は女性（26.4%）が男性（14.0%）を12.4ポイント上回っており、男女で差がみられる。

□ 地域活動・社会参画についてお尋ねします

問23【問21で「2 参加していない」と回答した方にお伺いします。】
それはなぜですか。主なものを1つ選んでください（○は1つだけ）。



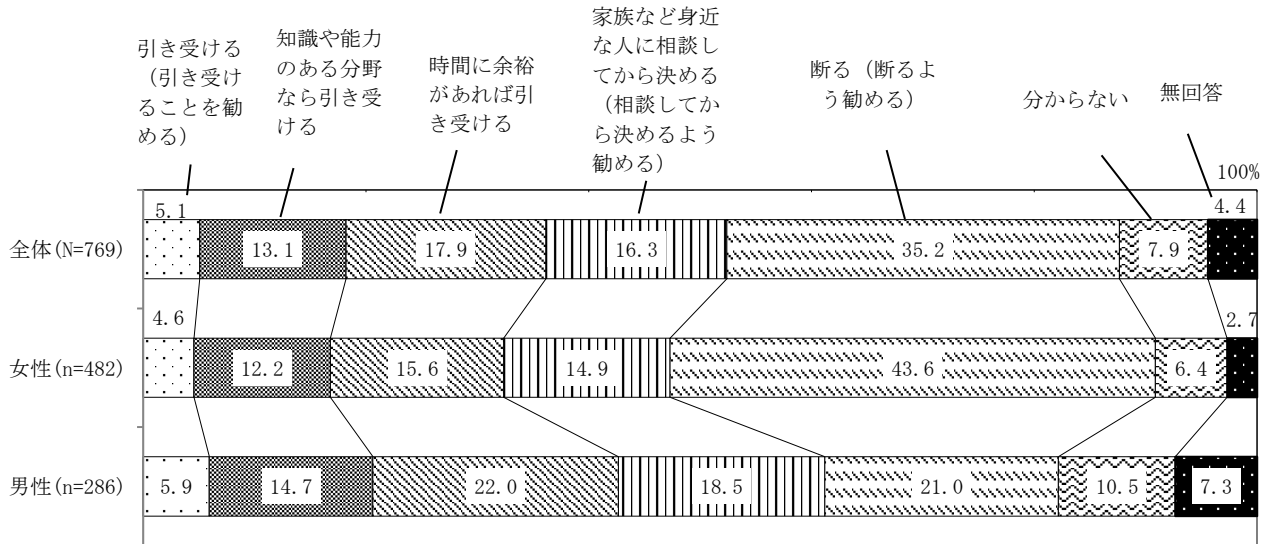
参加していない理由について性別にみると、男女ともに「仕事忙しいから」（女性20.9%、男性27.7%）が最も高く、次いで「特にしたいと思う活動がないから」（女性20.5%、男性16.1%）となっている。なお、「家事、育児、介護等で忙しいから」は女性（12.6%）が男性（2.9%）を9.7ポイント上回っており、男女で差がみられる。

□ 地域活動・社会参画についてお尋ねします

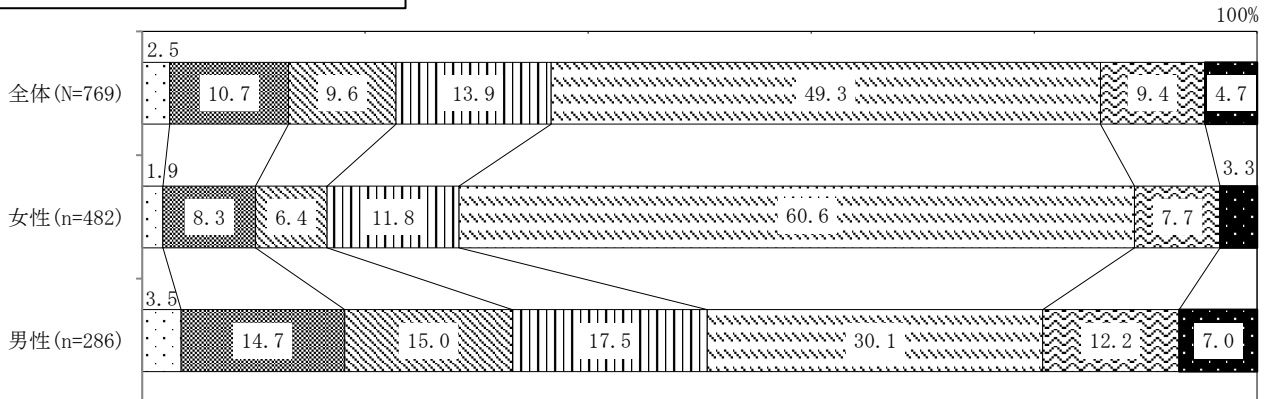
問 2 4

あなたが女性の場合はあなたが、あなたが男性の場合は妻・母親など身近な女性が、もし次のような役職を依頼された場合、どうしますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つつ）。

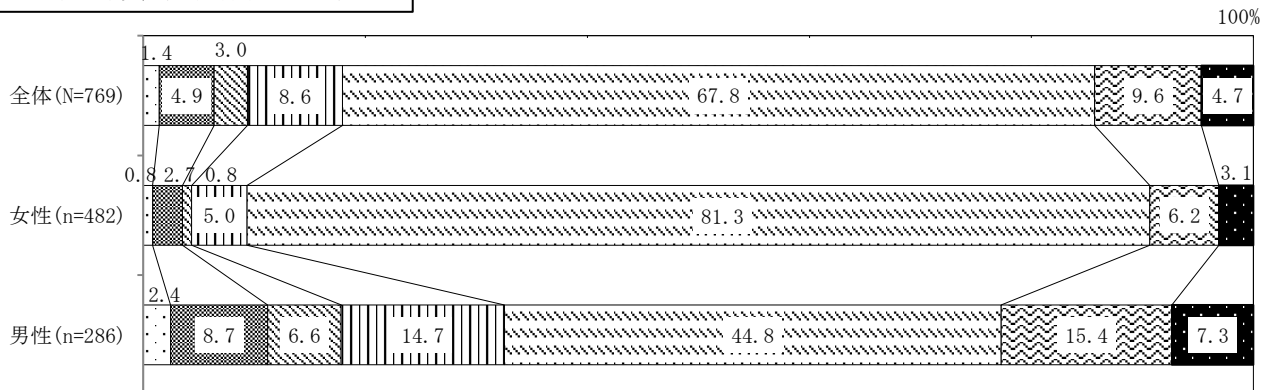
1 PTA、町内会などの代表



2 市の審議会等の委員



3 市議会議員 (立候補すること)



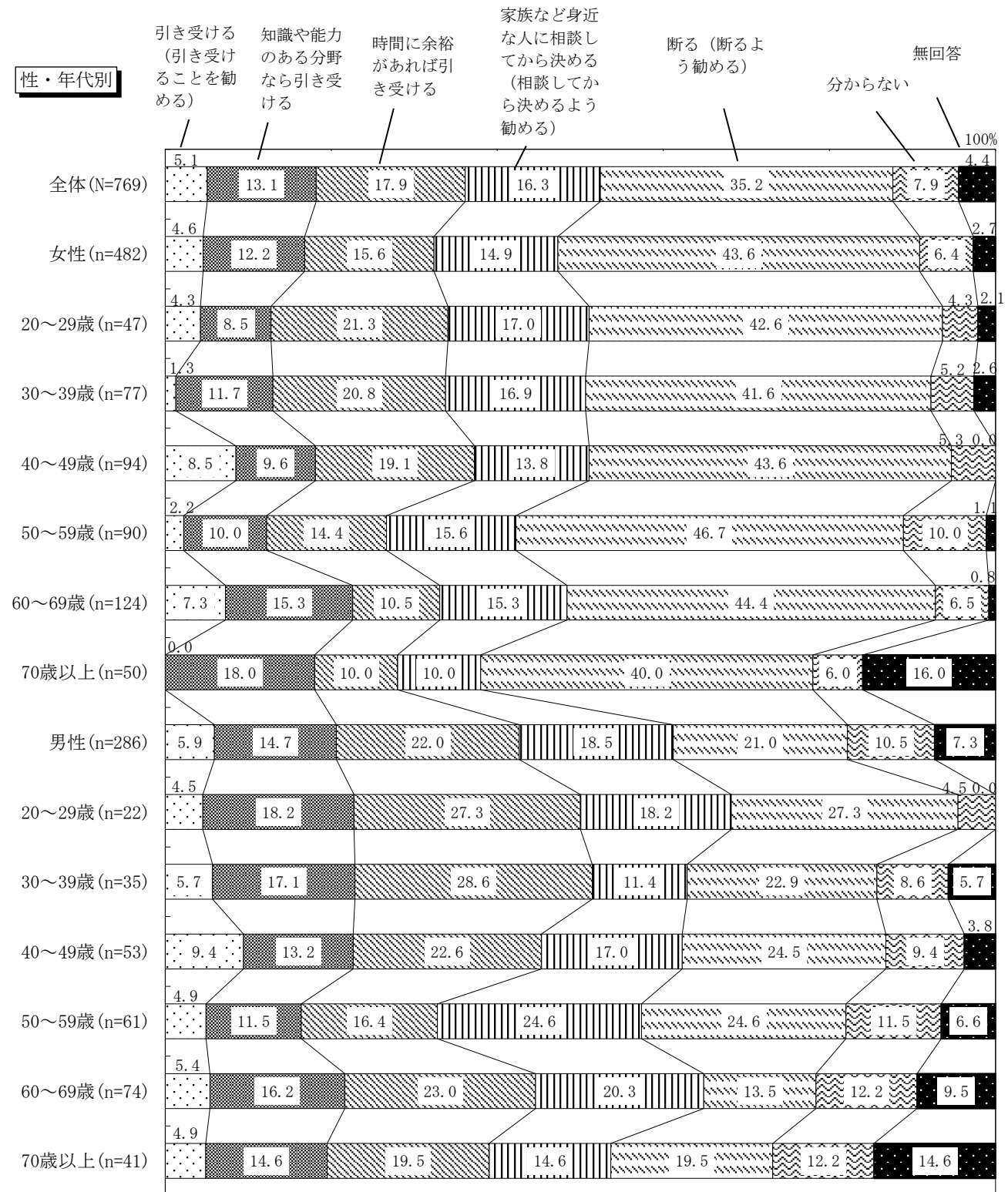
女性の社会参画についてみると、女性はいずれの役職も「断る」が『引き受ける』（「引き受ける（引き受けることを勧める）」＋「知識や能力のある分野なら引き受ける」＋「時間に余裕があれば引き受ける」）を大幅に上回っている。一方、男性はPTA、町内会などの代表では『引き受ける』が42.6%となっており、女性（32.4%）を10.2ポイント上回っている。また、市の審議会等の委員では『引き受ける』が33.2%と、女性（16.6%）を16.6ポイント上回っている。

□ 地域活動・社会参画についてお尋ねします

問 2 4

あなたが女性の場合はあなたが、あなたが男性の場合は妻・母親など身近な女性が、もし次のような役職を依頼された場合、どうしますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つずつ）。

1 PTA、町内会などの代表



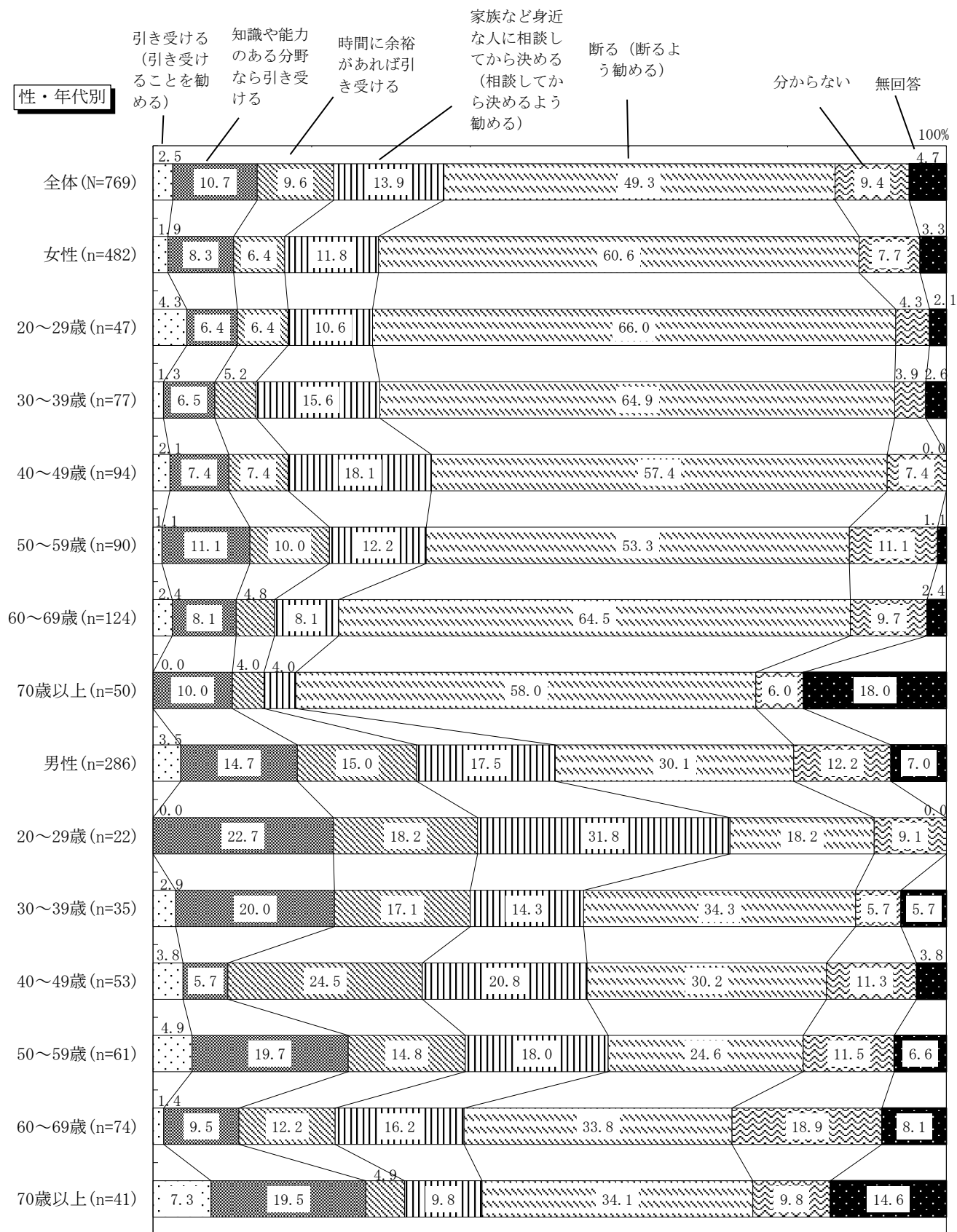
PTA、町内会などの代表について年代別にみると、『引き受ける』は女性では40代（37.2%）が最も高くなっている。一方、男性では30代（51.4%）が最も高くなっている。

□ 地域活動・社会参画についてお尋ねします

問 2 4

あなたが女性の場合はあなたが、あなたが男性の場合は妻・母親など身近な女性が、もし次のような役職を依頼された場合、どうしますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つつ）。

2 市の審議会等の委員



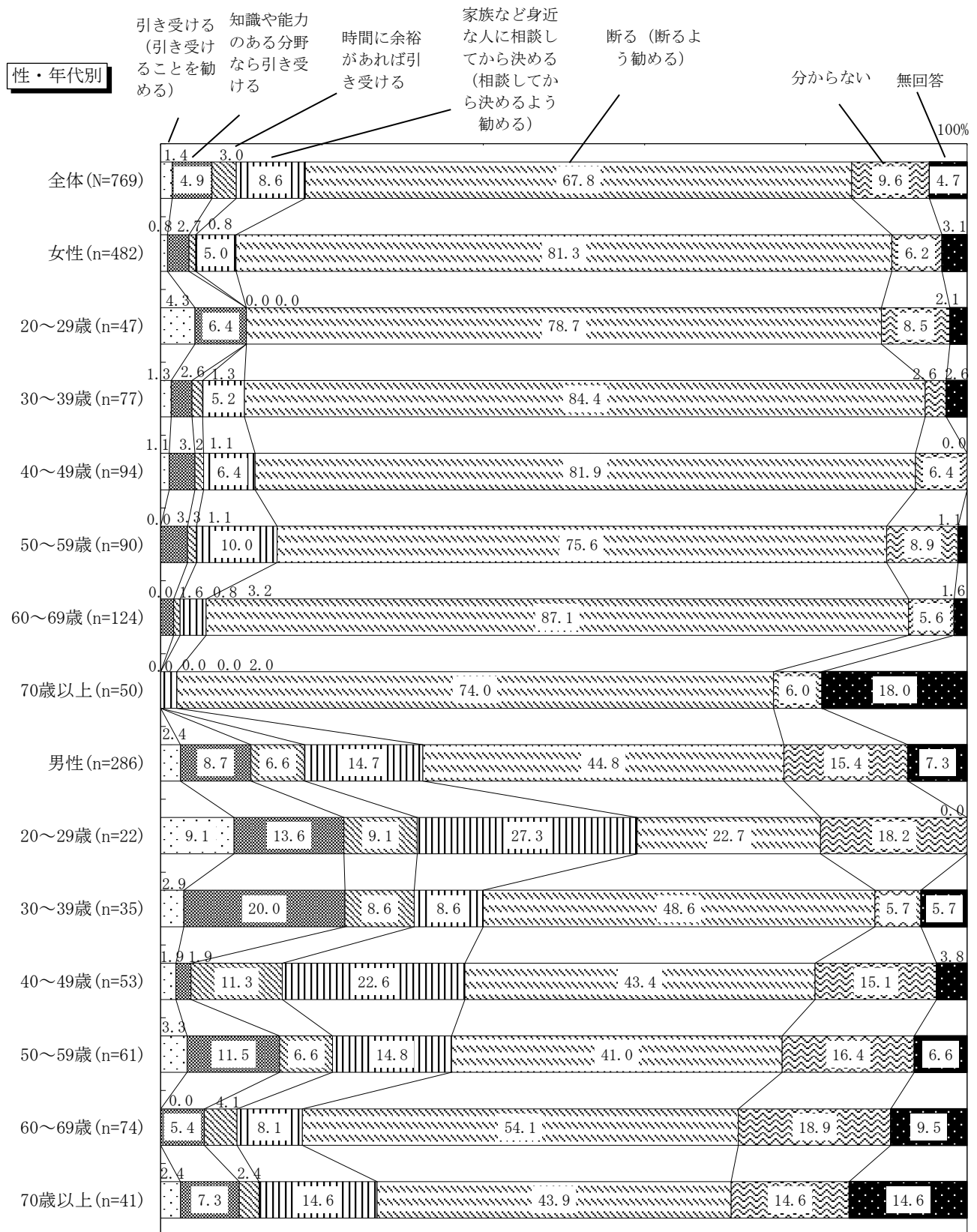
市の審議会等の委員について年代別にみると、女性は『引き受ける』が最も高いのは50代(22.2%)である。一方、男性は『引き受ける』が最も高いのは20代(40.9%)である。いずれの年代も『引き受ける』は男性が女性よりも高くなっている。

□ 地域活動・社会参画についてお尋ねします

問 2 4

あなたが女性の場合はあなたが、あなたが男性の場合は妻・母親など身近な女性が、もし次のような役職を依頼された場合、どうしますか。1～3それぞれの項目について、あなたのお気持ちに最も近いものを選んでください（○はそれぞれ1つつ）。

3 市議会議員（立候補すること）

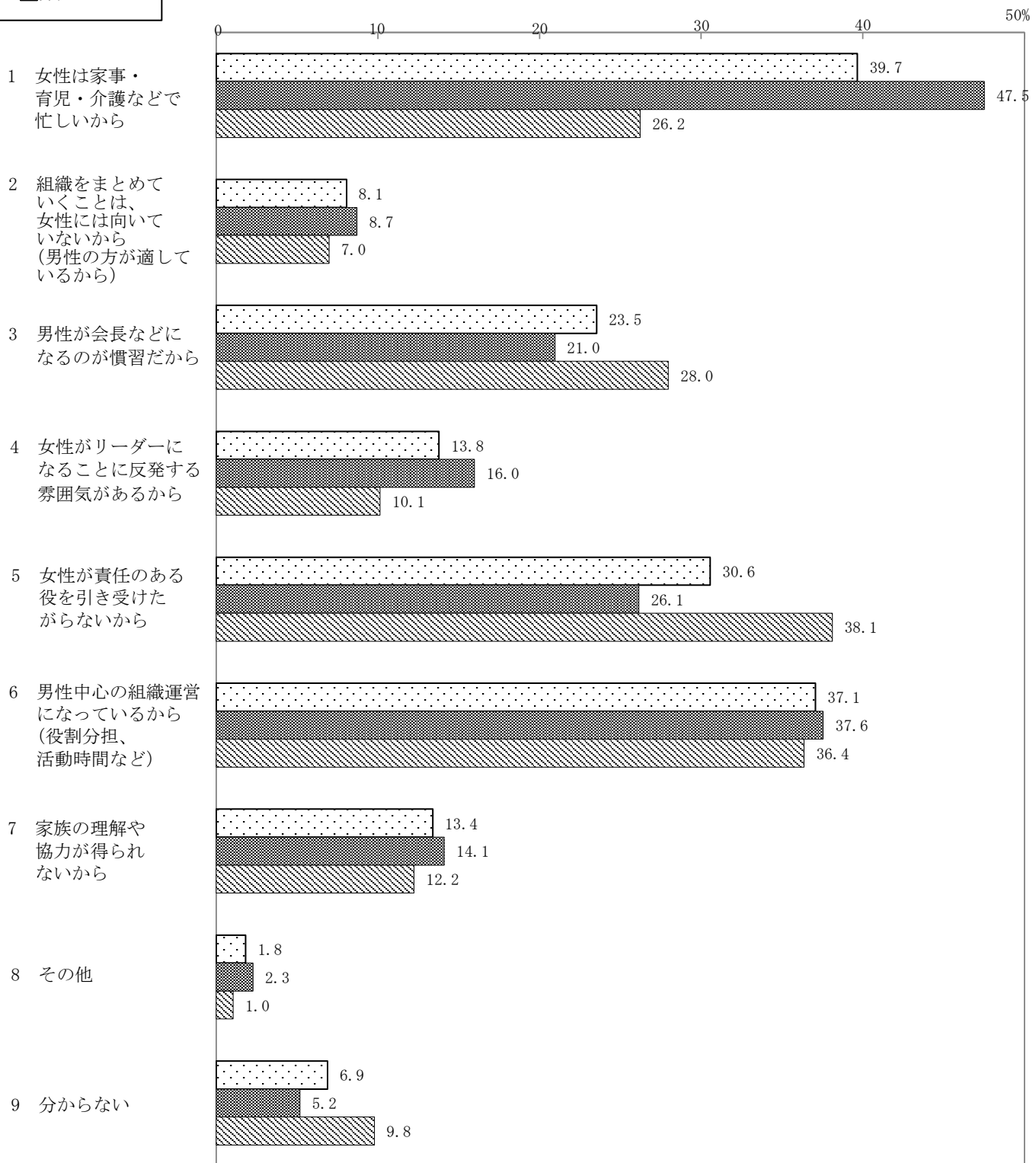
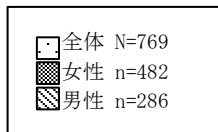


市議会議員に立候補することについて年代別にみると、女性は『引き受ける』が最も高いのは20代（10.7%）で、他の年代はいずれも1割未満である。70歳以上は『引き受ける』と回答した人はいなかった。一方、男性は『引き受ける』は20代（31.8%）が最も高くなっている。

□ 地域活動・社会参画についてお尋ねします

問 2 5

現在柏崎市では、町内会などの地域団体において、会長などの役員に女性が少ないのが現状です。あなたは、地域における活動に女性のリーダーが少ない理由はなぜだと思いますか。あなたのお考えに近いものを2つまで選んでください（○は2つまで）。



女性のリーダーが少ない理由についてみると、全体では「女性は家事・育児・介護などで忙しいから」（39.7%）が最も多く、次いで「男性中心の組織運営になっているから」（37.1%）、「女性が責任のある役を引き受けたがらないから」（30.6%）となっている。

性別にみると、女性は「女性は家事・育児・介護などで忙しいから」（47.5%）が最も多く、次いで「男性中心の組織運営になっているから」（37.6%）となっている。一方、男性は「女性が責任のある役を引き受けたがらないから」（38.1%）が最も多く、次いで「男性中心の組織運営になっているから」（36.4%）となっている。

※問25 項目集計表(性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

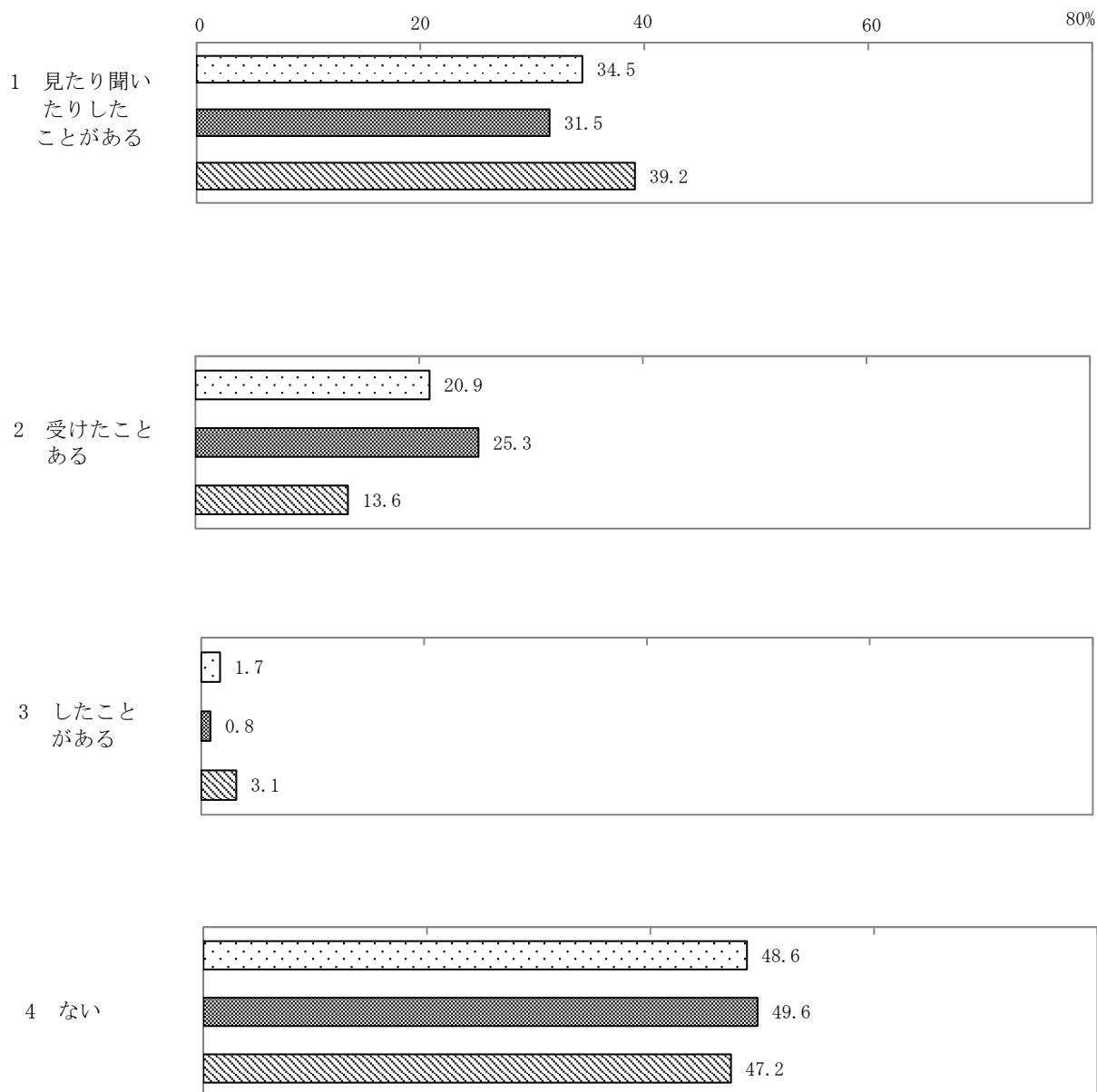
	女性が家事・育児・介護などで忙しいから	組織をまとめるか(男性向け)	男性が会長などになる	女性がリーダーになる	女性が責任のある役を引き受けたがらないから	男性中心の組織運営に活動時間(役割)を分けて	家族の理解や協力が得られないから	その他	分からない	無回答
【全体】 N=769	39.7 (305)	8.1 (62)	23.5 (181)	13.8 (106)	30.6 (235)	37.1 (285)	13.4 (103)	1.8 (14)	6.9 (53)	2.3 (18)
【女性】 n=482	47.5 (229)	8.7 (42)	21.0 (101)	16.0 (77)	26.1 (126)	37.6 (181)	14.1 (68)	2.3 (11)	5.2 (25)	1.9 (9)
【男性】 n=286	26.2 (75)	7.0 (20)	28.0 (80)	10.1 (29)	38.1 (109)	36.4 (104)	12.2 (35)	1.0 (3)	9.8 (28)	3.1 (9)
女性【20～29歳】 n=47	51.1 (24)	2.1 (1)	25.5 (12)	19.1 (9)	17.0 (8)	29.8 (14)	10.6 (5)	2.1 (1)	4.3 (2)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	57.1 (44)	9.1 (7)	19.5 (15)	18.2 (14)	20.8 (16)	49.4 (38)	16.9 (13)	2.6 (2)	1.3 (1)	1.3 (1)
【40～49歳】 n=94	58.5 (55)	9.6 (9)	23.4 (22)	8.5 (8)	28.7 (27)	36.2 (34)	10.6 (10)	5.3 (5)	2.1 (2)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=90	41.1 (37)	7.8 (7)	16.7 (15)	20.0 (18)	34.4 (31)	32.2 (29)	18.9 (17)	1.1 (1)	5.6 (5)	1.1 (1)
【60～69歳】 n=124	37.1 (46)	8.9 (11)	21.0 (26)	17.7 (22)	25.0 (31)	46.8 (58)	14.5 (18)	0.0 (0)	8.1 (10)	1.6 (2)
【70歳以上】 n=50	46.0 (23)	14.0 (7)	22.0 (11)	12.0 (6)	26.0 (13)	16.0 (8)	10.0 (5)	4.0 (2)	10.0 (5)	8.0 (4)
男性【20～29歳】 n=22	22.7 (5)	4.5 (1)	40.9 (9)	13.6 (3)	22.7 (5)	54.5 (12)	9.1 (2)	0.0 (0)	4.5 (1)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	31.4 (11)	2.9 (1)	22.9 (8)	11.4 (4)	28.6 (10)	37.1 (13)	5.7 (2)	2.9 (1)	20.0 (7)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	22.6 (12)	9.4 (5)	34.0 (18)	7.5 (4)	47.2 (25)	30.2 (16)	9.4 (5)	0.0 (0)	9.4 (5)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=61	23.0 (14)	4.9 (3)	27.9 (17)	11.5 (7)	36.1 (22)	41.0 (25)	11.5 (7)	1.6 (1)	11.5 (7)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	28.4 (21)	8.1 (6)	28.4 (21)	10.8 (8)	43.2 (32)	35.1 (26)	17.6 (13)	1.4 (1)	4.1 (3)	4.1 (3)
【70歳以上】 n=41	29.3 (12)	9.8 (4)	17.1 (7)	7.3 (3)	36.6 (15)	29.3 (12)	14.6 (6)	0.0 (0)	12.2 (5)	2.4 (1)

年代別にみると、女性は20代～50代、70歳以上で「女性は家事・育児・介護などで忙しいから」最も多く、60代は「男性中心の組織運営になっているから」が最も多くなっている。一方、男性は20代、30代、50代で「男性中心の組織運営になっているから」、40代、60代以上で「女性が責任のある役を引き受けたがらないから」が最も多くなっている。

□ 男女の人権についてお尋ねします

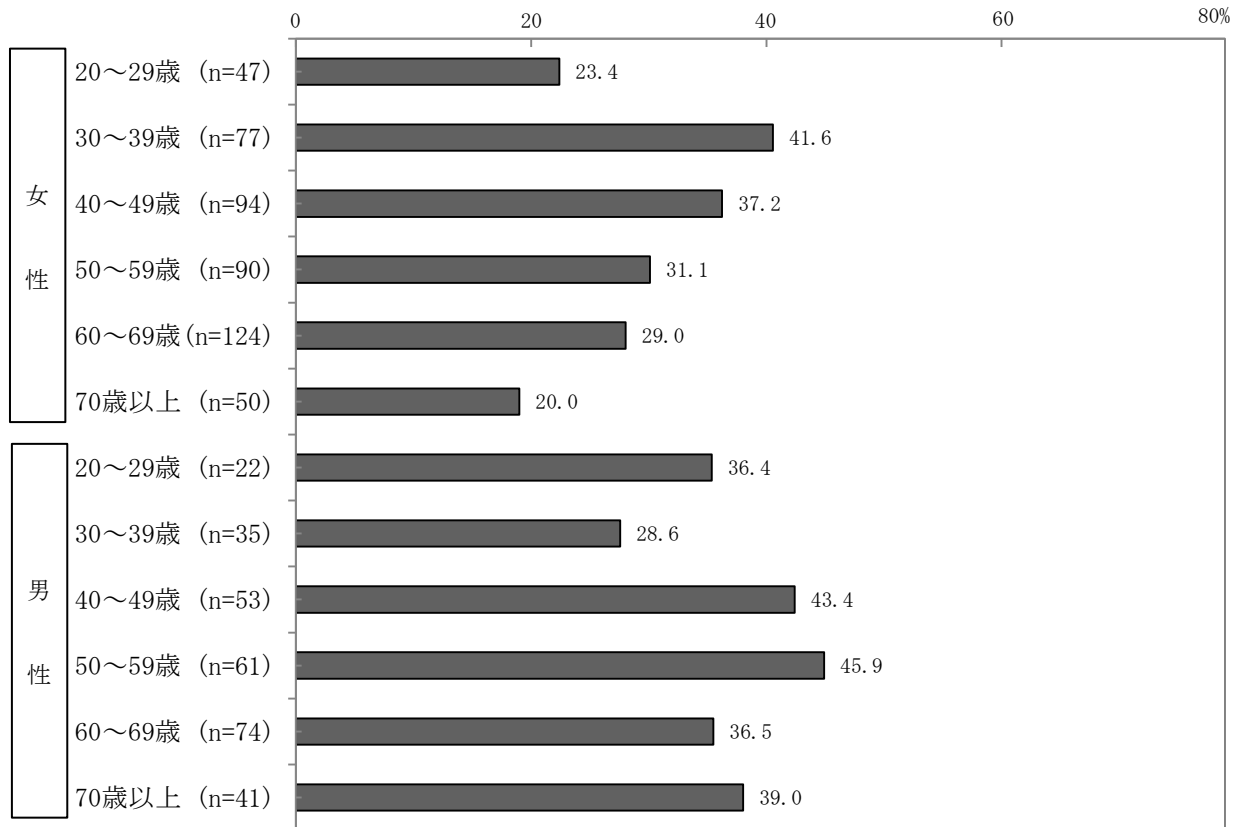
問 2 6

あなたは、身近でセクシュアルハラスメント（性的嫌がらせ）やパワーハラスメント（権力や地位を利用した嫌がらせ）などのハラスメントを見たり聞いたりしたこと、あるいは自分自身が受けたことやしたことがありますか（○は当てはまるもの全て）。

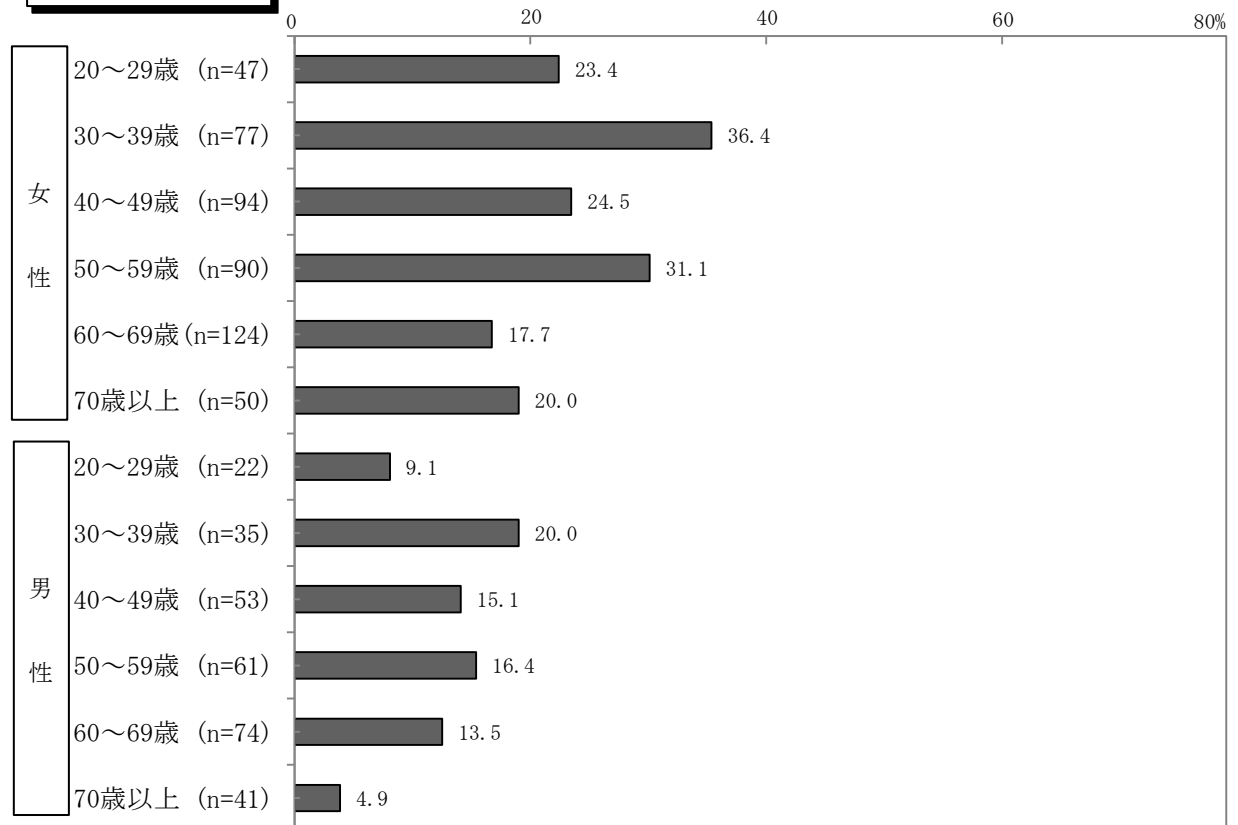


ハラスメントの経験について性別にみると、男女ともに「ない」（女性49.6%、男性47.2%）が最も多くなっているが、「見たり聞いたりしたことがある」人が女性は31.5%、男性では39.2%となっている。また、女性は「受けたことがある」人が25.3%となっている。

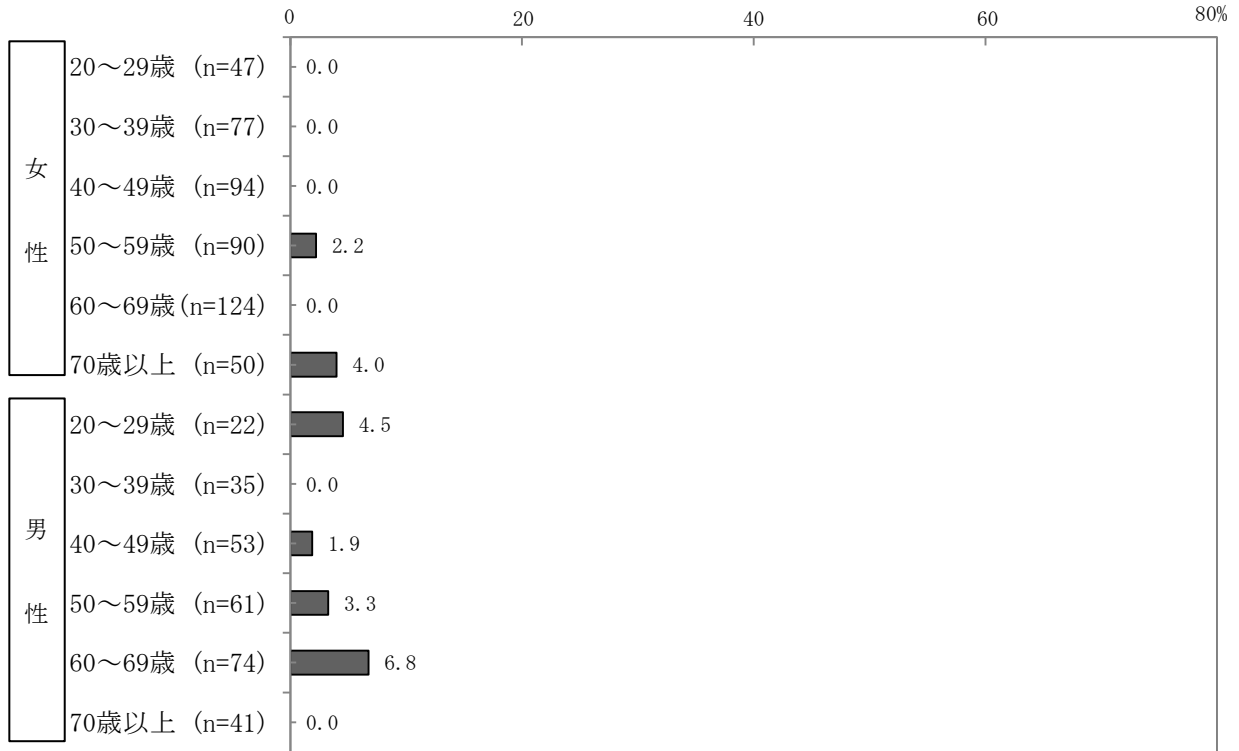
1 見たり聞いたりしたことがある



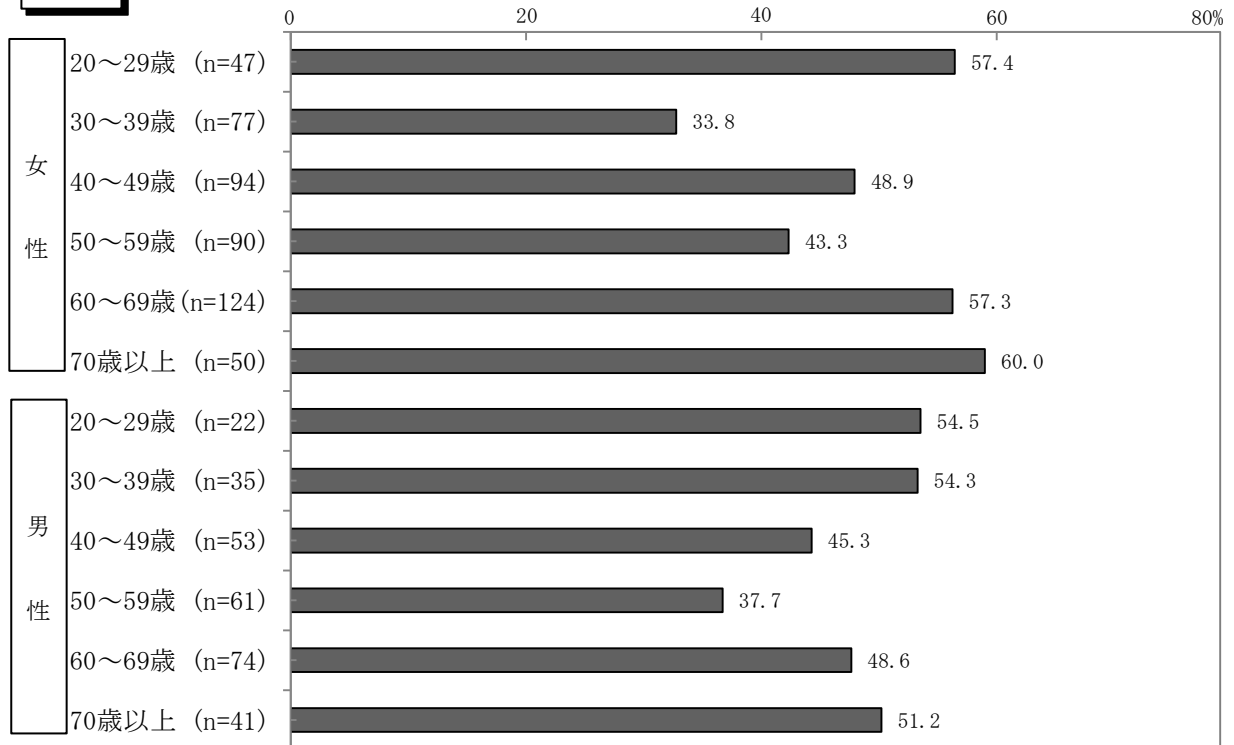
2 受けたことがある



3 したことがある



4 ない

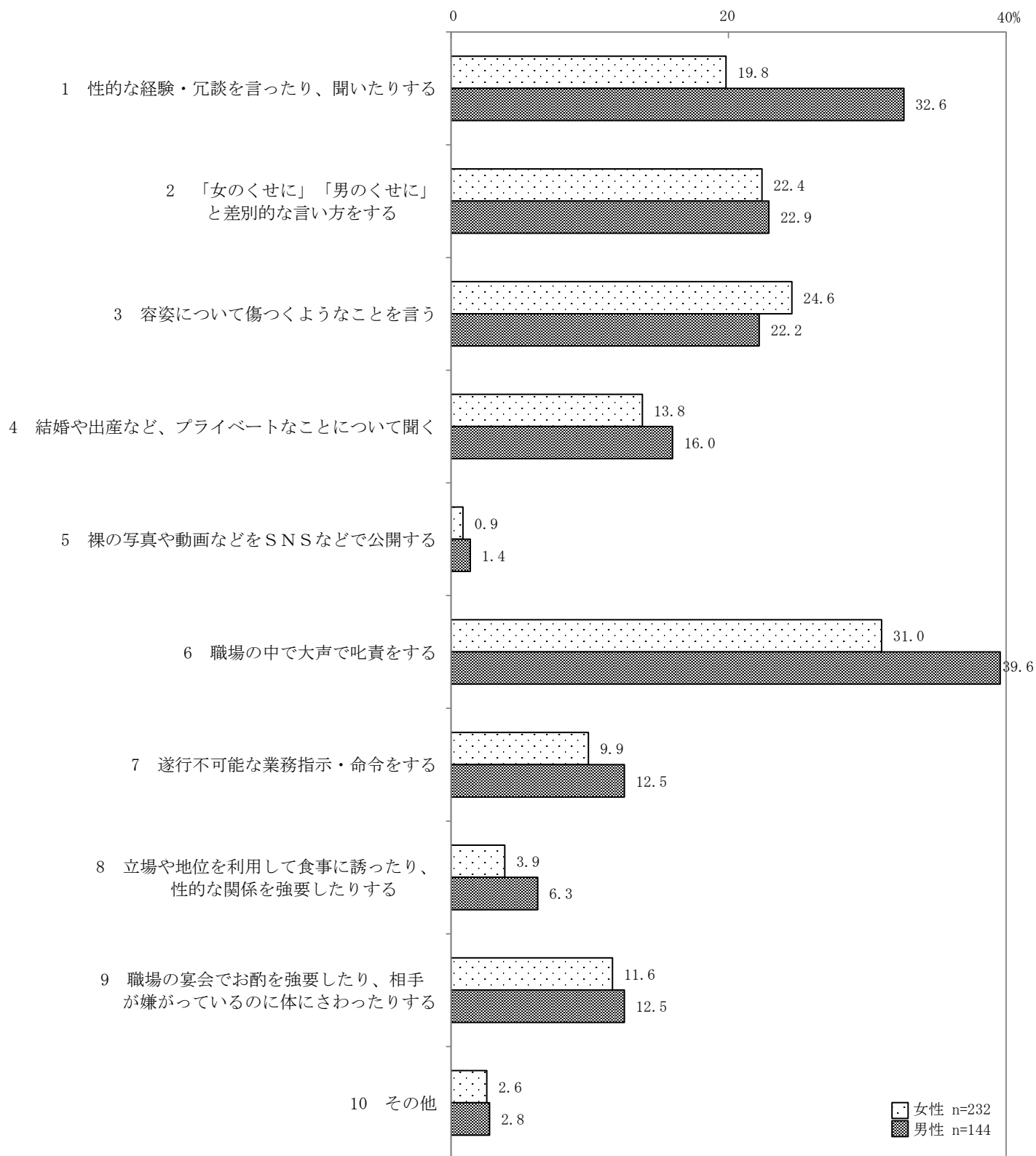


年代別にみると、女性は「見たり聞いたりしたことがある」人（41.6%）、「受けたことがある」人（36.4%）が30代で最も多くなっている。一方、男性は「見たり聞いたりしたことがある」人が50代（45.9%）で最も多く、「受けたことがある」人は30代（20.0%）で最も多くなっている。

□ 男女の人権についてお尋ねします

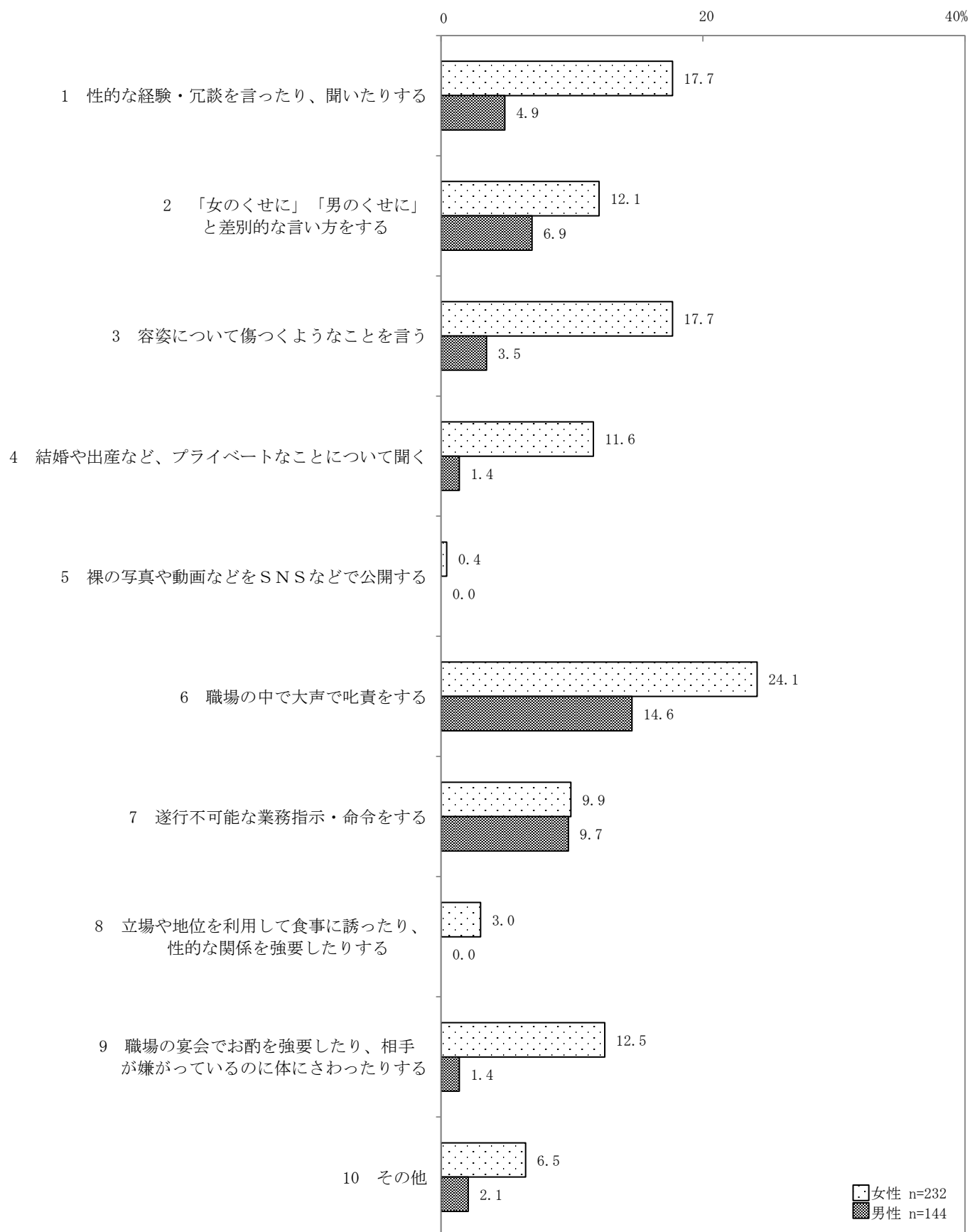
問27 【問26で「1 見たり聞いたりしたことがある」「2 受けたことがある」「3 したことがある」と回答した方にお伺いします。】
 それはどのような内容でしたか（○は当てはまるもの全て）。

見たり聞いたりしたことがあるハラスメント



見聞きしたハラスメントの内容についてみると、男女ともに「職場の中で大声で叱責をする」（女性31.0%、男性39.6%）が最も多く、次いで女性は「容姿について傷つくようなことを言う」（24.6%）、男性は「性的な経験・冗談を言ったり、聞いたりする」（32.6%）となっている。

受けたことがあるハラスメント



受けたハラスメントの内容についてみると、男女ともに「職場の中で大声で叱責をする」（女性24.1%、男性14.6%）が最も多く、次いで女性は「性的な経験・冗談を言ったり、聞いたりする」「容姿について傷つくようなことを言う」が同率で17.7%、男性は「遂行不可能な業務指示・命令をする」（9.7%）となっている。

したことがあるハラスメント

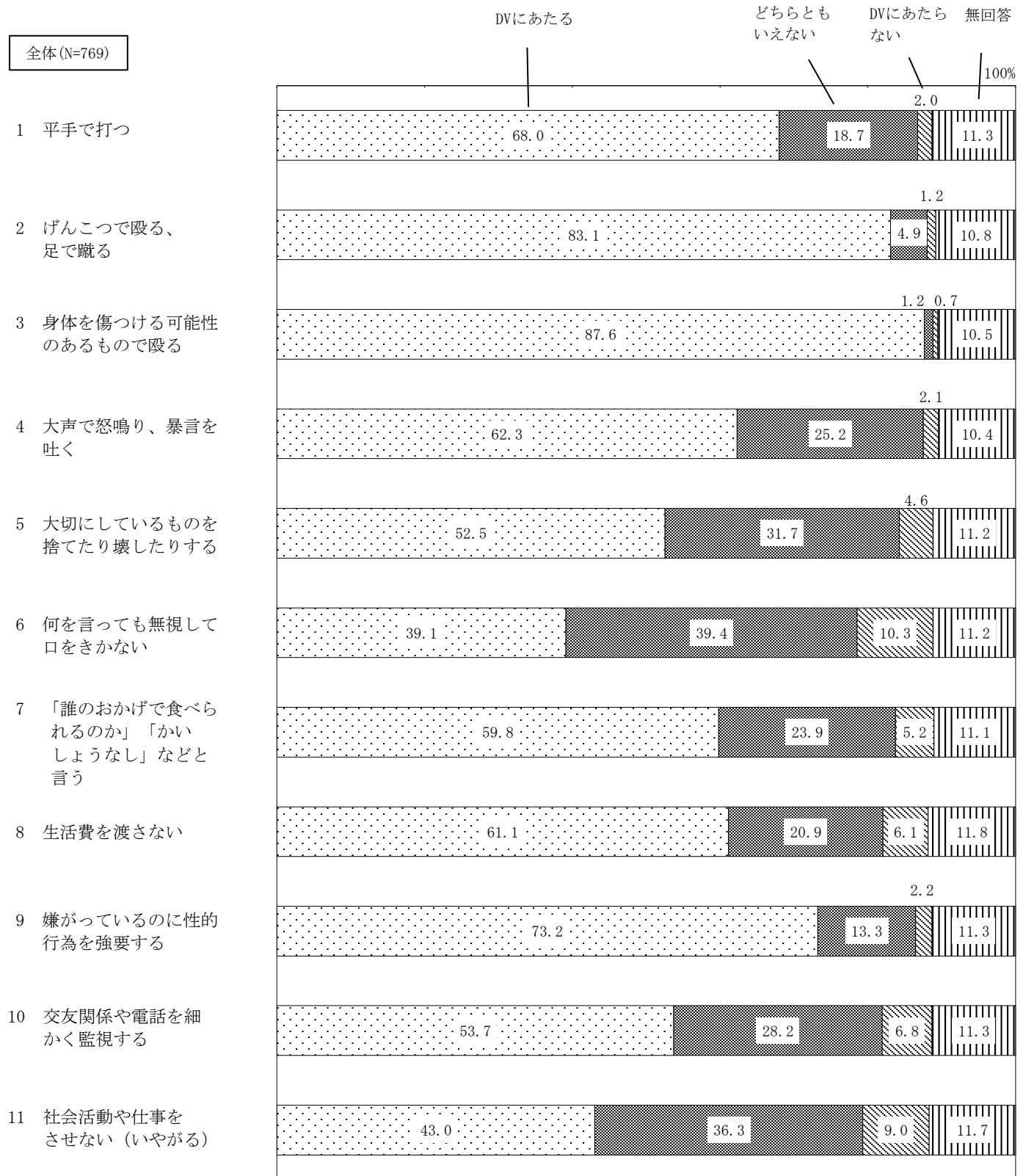


したハラスメントの内容についてみると、女性はすべての項目で1%未満であるが、男性は「職場の中で大声で叱責をする」（4.2%）、「性的な経験・冗談を言ったり、聞いたりする」（3.5%）となっている。

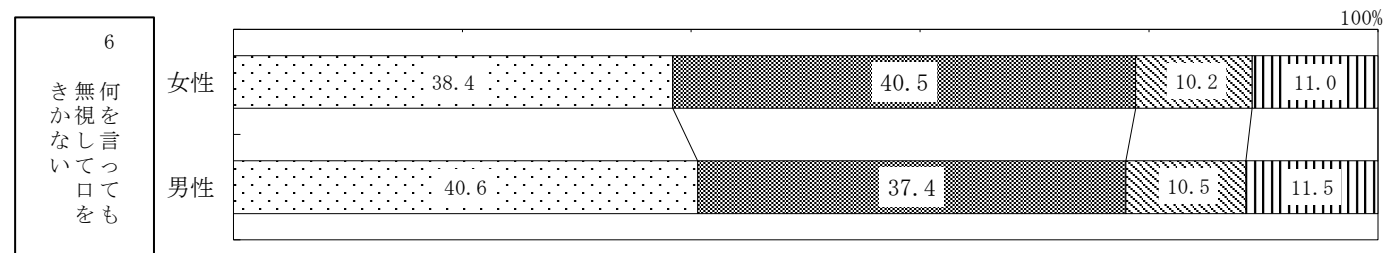
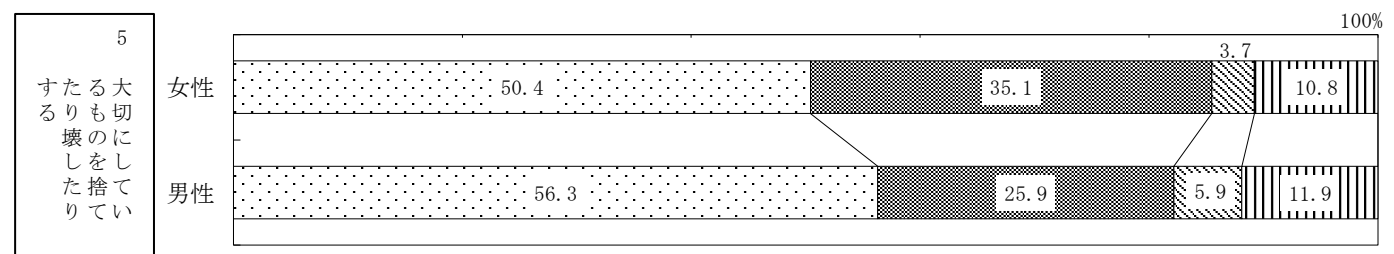
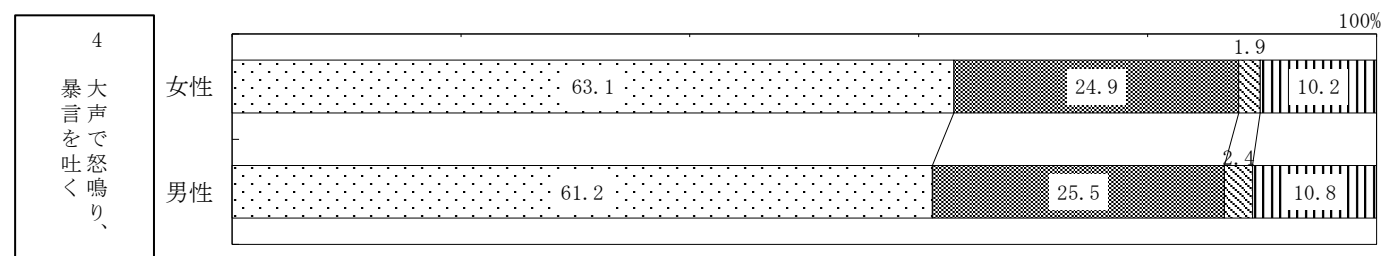
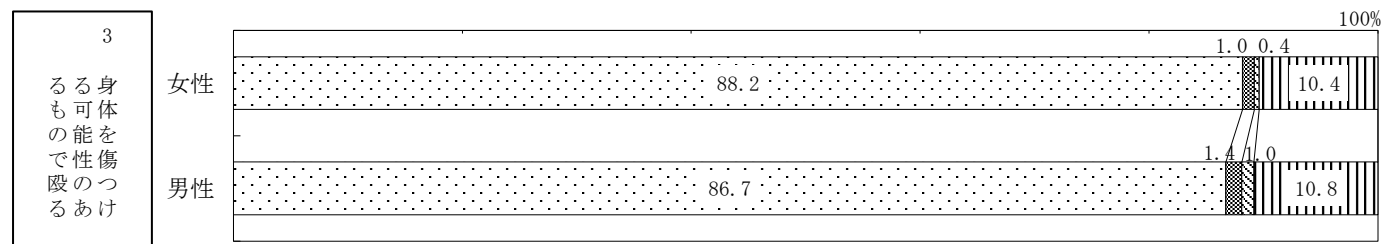
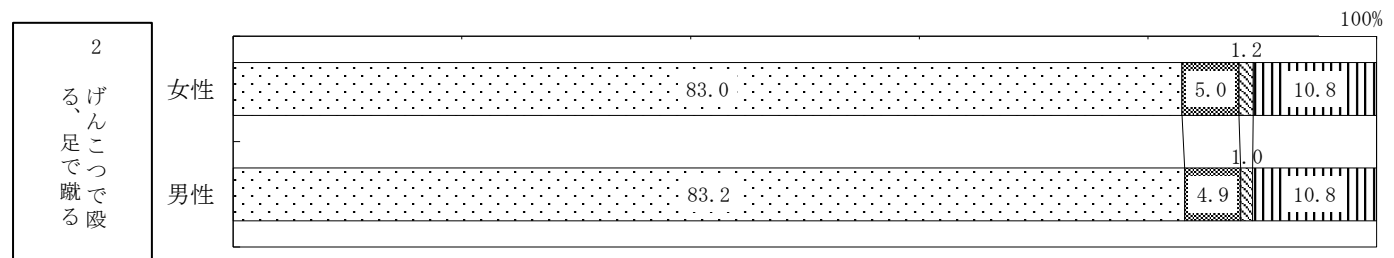
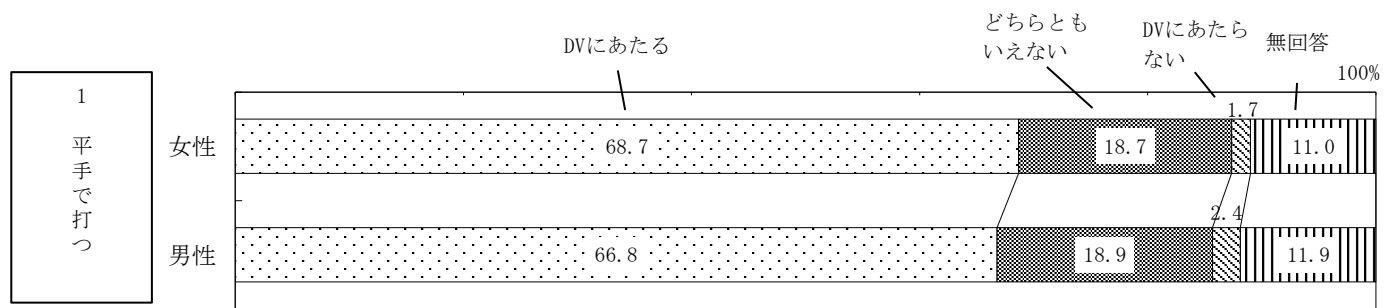
□男女の人権についてお尋ねします

問28

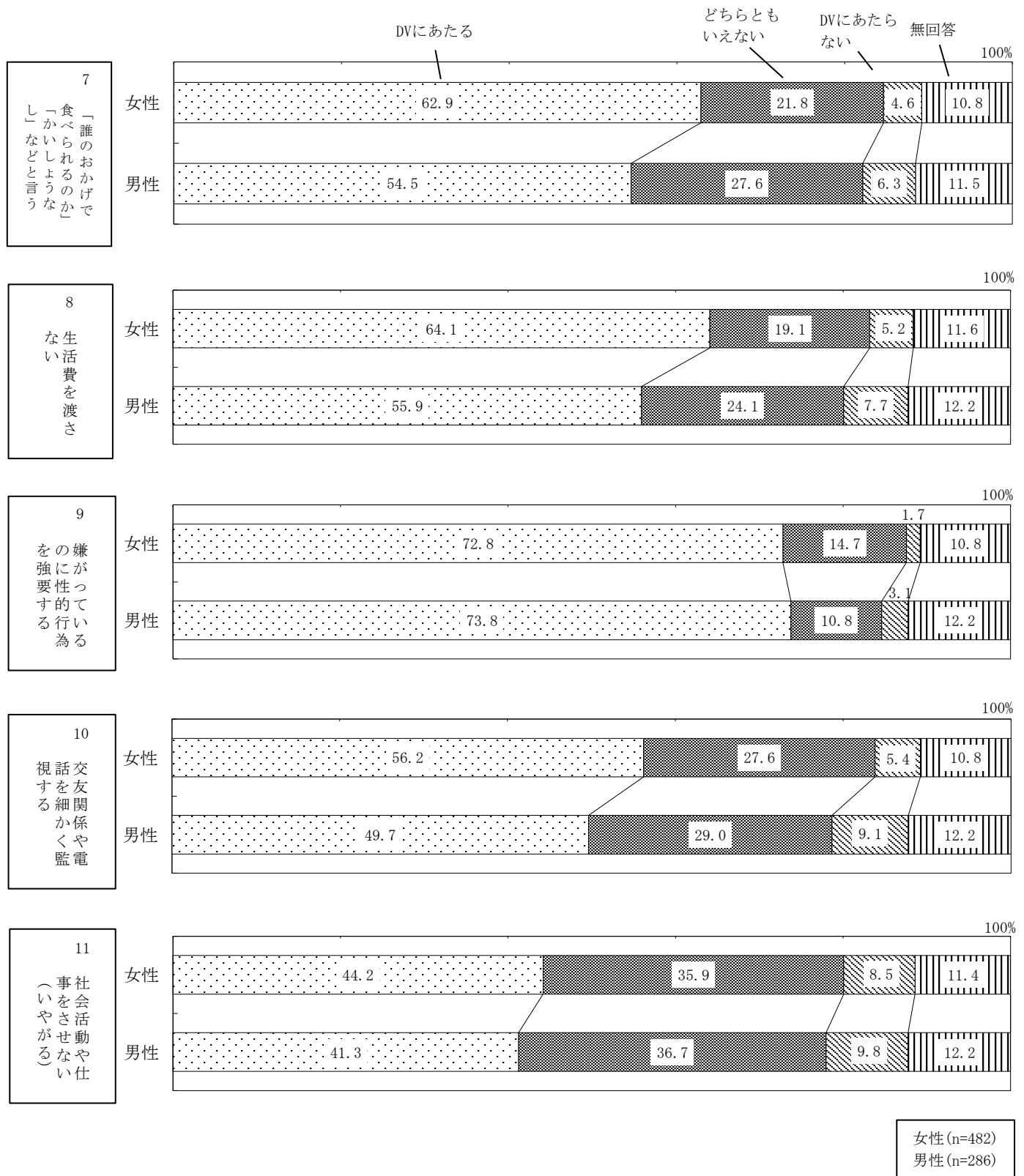
配偶者（事実婚や元配偶者を含む。）や恋人などから受ける暴力をドメスティック・バイオレンス（DV）といいます。配偶者や恋人との間で1～11のようなことが行われた場合、それをDVだと思いますか。また、あなたの配偶者や恋人から次のようなことをされた経験がありますか。
 ・DVだと思いますか



配偶者や恋人との間の行為でのDVの認識についてみると、「DVにあたる」と思う割合は「身体を傷つける可能性のあるもので殴る」（87.6%）が最も高く、次いで「げんこつで殴る、足で蹴る」（83.1%）、「嫌がっているのに性的行為を強要する」（73.2%）となっている。一方、「DVにあたらぬ」と思う割合は、「何を言っても無視して口をきかない」（10.3%）が最も高く、次いで「社会活動や仕事をさせない」（9.0%）となっている。



女性 (n=482)
男性 (n=286)



性別にみると、「DVにあたる」と思う割合は「げんこつで殴る、足で蹴る」（女性83.0%、男性83.2%）、「大切にしているものを捨てたり壊したりする」（女性50.4%、男性56.3%）、「何を言っても無視して口をきかない」（女性38.4%、男性40.6%）、「嫌がっているのに性的行為を強要する」（女性72.8%、男性73.8%）で男性が女性を上回っており、その他の項目では、女性が男性を上回っている。一方、「DVにあたらぬ」と思う割合は、「げんこつで殴る、足で蹴る」（女性1.2%、男性1.0%）は女性の方が男性を上回っているが、その他の項目では男性が女性を上回っている。

・DVだと思いますか

※表は全て性・年代別で集計し、構成比(%) / 人数(人)で表示

※(1) 平手で打つ

	たD るV にあ	いもど い えら なと	たD らV ない あ	無 回 答
【全体】 N=769	68.0 (523)	18.7 (144)	2.0 (15)	11.3 (87)
【女性】 n=482	68.7 (331)	18.7 (90)	1.7 (8)	11.0 (53)
【男性】 n=286	66.8 (191)	18.9 (54)	2.4 (7)	11.9 (34)
女性【20～29歳】 n=47	85.1 (40)	12.8 (6)	0.0 (0)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	68.8 (53)	24.7 (19)	1.3 (1)	5.2 (4)
【40～49歳】 n=94	85.1 (80)	10.6 (10)	0.0 (0)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	61.1 (55)	23.3 (21)	2.2 (2)	13.3 (12)
【60～69歳】 n=124	66.9 (83)	20.2 (25)	2.4 (3)	10.5 (13)
【70歳以上】 n=50	40.0 (20)	18.0 (9)	4.0 (2)	38.0 (19)
男性【20～29歳】 n=22	86.4 (19)	13.6 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	71.4 (25)	20.0 (7)	0.0 (0)	8.6 (3)
【40～49歳】 n=53	79.2 (42)	13.2 (7)	3.8 (2)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	62.3 (38)	32.8 (20)	1.6 (1)	3.3 (2)
【60～69歳】 n=74	63.5 (47)	14.9 (11)	1.4 (1)	20.3 (15)
【70歳以上】 n=41	48.8 (20)	14.6 (6)	7.3 (3)	29.3 (12)

※(2) げんこつで殴る、足で蹴る

	たD るV にあ	いもど い えら なと	たD らV ない あ	無 回 答
【全体】 N=769	83.1 (639)	4.9 (38)	1.2 (9)	10.8 (83)
【女性】 n=482	83.0 (400)	5.0 (24)	1.2 (6)	10.8 (52)
【男性】 n=286	83.2 (238)	4.9 (14)	1.0 (3)	10.8 (31)
女性【20～29歳】 n=47	89.4 (42)	4.3 (2)	4.3 (2)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	89.6 (69)	5.2 (4)	0.0 (0)	5.2 (4)
【40～49歳】 n=94	89.4 (84)	6.4 (6)	0.0 (0)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	83.3 (75)	4.4 (4)	2.2 (2)	10.0 (9)
【60～69歳】 n=124	81.5 (101)	5.6 (7)	1.6 (2)	11.3 (14)
【70歳以上】 n=50	58.0 (29)	2.0 (1)	0.0 (0)	40.0 (20)
男性【20～29歳】 n=22	90.9 (20)	9.1 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	88.6 (31)	5.7 (2)	0.0 (0)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	94.3 (50)	0.0 (0)	1.9 (1)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	91.8 (56)	4.9 (3)	0.0 (0)	3.3 (2)
【60～69歳】 n=74	78.4 (58)	4.1 (3)	0.0 (0)	17.6 (13)
【70歳以上】 n=41	56.1 (23)	9.8 (4)	4.9 (2)	29.3 (12)

※(3) 身体を傷つける可能性のあるもので殴る

	たD るV にあ	いもど い えら なと	たD らV ない あ	無 回 答
【全体】 N=769	87.6 (674)	1.2 (9)	0.7 (5)	10.5 (81)
【女性】 n=482	88.2 (425)	1.0 (5)	0.4 (2)	10.4 (50)
【男性】 n=286	86.7 (248)	1.4 (4)	1.0 (3)	10.8 (31)
女性【20～29歳】 n=47	95.7 (45)	2.1 (1)	0.0 (0)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	92.2 (71)	2.6 (2)	0.0 (0)	5.2 (4)
【40～49歳】 n=94	95.7 (90)	0.0 (0)	0.0 (0)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	88.9 (80)	1.1 (1)	2.2 (2)	7.8 (7)
【60～69歳】 n=124	87.1 (108)	0.8 (1)	0.0 (0)	12.1 (15)
【70歳以上】 n=50	62.0 (31)	0.0 (0)	0.0 (0)	38.0 (19)
男性【20～29歳】 n=22	95.5 (21)	4.5 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	94.3 (33)	0.0 (0)	0.0 (0)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	94.3 (50)	0.0 (0)	1.9 (1)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	95.1 (58)	1.6 (1)	0.0 (0)	3.3 (2)
【60～69歳】 n=74	82.4 (61)	0.0 (0)	0.0 (0)	17.6 (13)
【70歳以上】 n=41	61.0 (25)	4.9 (2)	4.9 (2)	29.3 (12)

※(4) 大声で怒鳴り、暴言を吐く

	たD るV にあ	いもど い えら なと	たD らV ない あ	無 回 答
【全体】 N=769	62.3 (479)	25.2 (194)	2.1 (16)	10.4 (80)
【女性】 n=482	63.1 (304)	24.9 (120)	1.9 (9)	10.2 (49)
【男性】 n=286	61.2 (175)	25.5 (73)	2.4 (7)	10.8 (31)
女性【20～29歳】 n=47	63.8 (30)	31.9 (15)	2.1 (1)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	59.7 (46)	33.8 (26)	1.3 (1)	5.2 (4)
【40～49歳】 n=94	77.7 (73)	18.1 (17)	1.1 (1)	3.2 (3)
【50～59歳】 n=90	62.2 (56)	25.6 (23)	3.3 (3)	8.9 (8)
【60～69歳】 n=124	62.9 (78)	25.0 (31)	0.0 (0)	12.1 (15)
【70歳以上】 n=50	42.0 (21)	16.0 (8)	6.0 (3)	36.0 (18)
男性【20～29歳】 n=22	90.9 (20)	9.1 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	57.1 (20)	37.1 (13)	0.0 (0)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	62.3 (33)	30.2 (16)	3.8 (2)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	68.9 (42)	24.6 (15)	3.3 (2)	3.3 (2)
【60～69歳】 n=74	60.8 (45)	18.9 (14)	1.4 (1)	18.9 (14)
【70歳以上】 n=41	36.6 (15)	31.7 (13)	4.9 (2)	26.8 (11)

※ (5) 大切にしているものを捨てたり壊したりする

	た る V に あ	い も ど い ち え ら な と	た ら V な い あ	無 回 答
【全体】 N=769	52.5 (404)	31.7 (244)	4.6 (35)	11.2 (86)
【女性】 n=482	50.4 (243)	35.1 (169)	3.7 (18)	10.8 (52)
【男性】 n=286	56.3 (161)	25.9 (74)	5.9 (17)	11.9 (34)
女性【20～29歳】 n=47	53.2 (25)	40.4 (19)	4.3 (2)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	53.2 (41)	40.3 (31)	1.3 (1)	5.2 (4)
【40～49歳】 n=94	64.9 (61)	29.8 (28)	1.1 (1)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	47.8 (43)	37.8 (34)	6.7 (6)	7.8 (7)
【60～69歳】 n=124	47.6 (59)	37.9 (47)	2.4 (3)	12.1 (15)
【70歳以上】 n=50	28.0 (14)	20.0 (10)	10.0 (5)	42.0 (21)
男性【20～29歳】 n=22	72.7 (16)	27.3 (6)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	62.9 (22)	25.7 (9)	5.7 (2)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	60.4 (32)	30.2 (16)	5.7 (3)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	65.6 (40)	26.2 (16)	4.9 (3)	3.3 (2)
【60～69歳】 n=74	52.7 (39)	21.6 (16)	5.4 (4)	20.3 (15)
【70歳以上】 n=41	29.3 (12)	26.8 (11)	12.2 (5)	31.7 (13)

※ (7) 「誰のおかげで食べられるのか」「かいしょうなし」などと言う

	た る V に あ	い も ど い ち え ら な と	た ら V な い あ	無 回 答
【全体】 N=769	59.8 (460)	23.9 (184)	5.2 (40)	11.1 (85)
【女性】 n=482	62.9 (303)	21.8 (105)	4.6 (22)	10.8 (52)
【男性】 n=286	54.5 (156)	27.6 (79)	6.3 (18)	11.5 (33)
女性【20～29歳】 n=47	63.8 (30)	31.9 (15)	2.1 (1)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	72.7 (56)	18.2 (14)	3.9 (3)	5.2 (4)
【40～49歳】 n=94	74.5 (70)	19.1 (18)	2.1 (2)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	58.9 (53)	21.1 (19)	11.1 (10)	8.9 (8)
【60～69歳】 n=124	58.9 (73)	26.6 (33)	3.2 (4)	11.3 (14)
【70歳以上】 n=50	42.0 (21)	12.0 (6)	4.0 (2)	42.0 (21)
男性【20～29歳】 n=22	81.8 (18)	18.2 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	54.3 (19)	34.3 (12)	5.7 (2)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	58.5 (31)	32.1 (17)	5.7 (3)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	54.1 (33)	32.8 (20)	9.8 (6)	3.3 (2)
【60～69歳】 n=74	58.1 (43)	18.9 (14)	4.1 (3)	18.9 (14)
【70歳以上】 n=41	29.3 (12)	29.3 (12)	9.8 (4)	31.7 (13)

※ (6) 何を言っても無視して口をきかない

	た る V に あ	い も ど い ち え ら な と	た ら V な い あ	無 回 答
【全体】 N=769	39.1 (301)	39.4 (303)	10.3 (79)	11.2 (86)
【女性】 n=482	38.4 (185)	40.5 (195)	10.2 (49)	11.0 (53)
【男性】 n=286	40.6 (116)	37.4 (107)	10.5 (30)	11.5 (33)
女性【20～29歳】 n=47	36.2 (17)	46.8 (22)	14.9 (7)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	41.6 (32)	40.3 (31)	13.0 (10)	5.2 (4)
【40～49歳】 n=94	54.3 (51)	35.1 (33)	6.4 (6)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	43.3 (39)	34.4 (31)	12.2 (11)	10.0 (9)
【60～69歳】 n=124	29.8 (37)	50.0 (62)	8.1 (10)	12.1 (15)
【70歳以上】 n=50	18.0 (9)	32.0 (16)	10.0 (5)	40.0 (20)
男性【20～29歳】 n=22	59.1 (13)	40.9 (9)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	37.1 (13)	42.9 (15)	14.3 (5)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	41.5 (22)	45.3 (24)	9.4 (5)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	45.9 (28)	41.0 (25)	9.8 (6)	3.3 (2)
【60～69歳】 n=74	47.3 (35)	24.3 (18)	9.5 (7)	18.9 (14)
【70歳以上】 n=41	12.2 (5)	39.0 (16)	17.1 (7)	31.7 (13)

※ (8) 生活費を渡さない

	た る V に あ	い も ど い ち え ら な と	た ら V な い あ	無 回 答
【全体】 N=769	61.1 (470)	20.9 (161)	6.1 (47)	11.8 (91)
【女性】 n=482	64.1 (309)	19.1 (92)	5.2 (25)	11.6 (56)
【男性】 n=286	55.9 (160)	24.1 (69)	7.7 (22)	12.2 (35)
女性【20～29歳】 n=47	68.1 (32)	23.4 (11)	4.3 (2)	4.3 (2)
【30～39歳】 n=77	67.5 (52)	19.5 (15)	6.5 (5)	6.5 (5)
【40～49歳】 n=94	74.5 (70)	21.3 (20)	1.1 (1)	3.2 (3)
【50～59歳】 n=90	63.3 (57)	11.1 (10)	14.4 (13)	11.1 (10)
【60～69歳】 n=124	64.5 (80)	21.8 (27)	1.6 (2)	12.1 (15)
【70歳以上】 n=50	36.0 (18)	18.0 (9)	4.0 (2)	42.0 (21)
男性【20～29歳】 n=22	72.7 (16)	27.3 (6)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	60.0 (21)	25.7 (9)	8.6 (3)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	64.2 (34)	26.4 (14)	3.8 (2)	5.7 (3)
【50～59歳】 n=61	54.1 (33)	34.4 (21)	8.2 (5)	3.3 (2)
【60～69歳】 n=74	56.8 (42)	16.2 (12)	6.8 (5)	20.3 (15)
【70歳以上】 n=41	34.1 (14)	17.1 (7)	17.1 (7)	31.7 (13)

※（９）嫌がっているのに性的行為を強要する

	た る に あ	い も ど い ち え ら な と	た ら な い あ	無 回 答
【全体】 N=769	73.2 (563)	13.3 (102)	2.2 (17)	11.3 (87)
【女性】 n=482	72.8 (351)	14.7 (71)	1.7 (8)	10.8 (52)
【男性】 n=286	73.8 (211)	10.8 (31)	3.1 (9)	12.2 (35)
女性【20～29歳】 n=47	83.0 (39)	12.8 (6)	2.1 (1)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	87.0 (67)	6.5 (5)	1.3 (1)	5.2 (4)
【40～49歳】 n=94	83.0 (78)	12.8 (12)	0.0 (0)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	73.3 (66)	13.3 (12)	4.4 (4)	8.9 (8)
【60～69歳】 n=124	66.1 (82)	20.2 (25)	1.6 (2)	12.1 (15)
【70歳以上】 n=50	38.0 (19)	22.0 (11)	0.0 (0)	40.0 (20)
男性【20～29歳】 n=22	95.5 (21)	4.5 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	88.6 (31)	5.7 (2)	0.0 (0)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	81.1 (43)	11.3 (6)	1.9 (1)	5.7 (3)
【50～59歳】 n=61	77.0 (47)	16.4 (10)	3.3 (2)	3.3 (2)
【60～69歳】 n=74	68.9 (51)	5.4 (4)	5.4 (4)	20.3 (15)
【70歳以上】 n=41	43.9 (18)	19.5 (8)	4.9 (2)	31.7 (13)

※（１０）交友関係や電話を細かく監視する

	た る に あ	い も ど い ち え ら な と	た ら な い あ	無 回 答
【全体】 N=769	53.7 (413)	28.2 (217)	6.8 (52)	11.3 (87)
【女性】 n=482	56.2 (271)	27.6 (133)	5.4 (26)	10.8 (52)
【男性】 n=286	49.7 (142)	29.0 (83)	9.1 (26)	12.2 (35)
女性【20～29歳】 n=47	61.7 (29)	27.7 (13)	8.5 (4)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	61.0 (47)	32.5 (25)	1.3 (1)	5.2 (4)
【40～49歳】 n=94	64.9 (61)	27.7 (26)	3.2 (3)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	57.8 (52)	22.2 (20)	12.2 (11)	7.8 (7)
【60～69歳】 n=124	54.8 (68)	29.0 (36)	4.0 (5)	12.1 (15)
【70歳以上】 n=50	28.0 (14)	26.0 (13)	4.0 (2)	42.0 (21)
男性【20～29歳】 n=22	77.3 (17)	18.2 (4)	4.5 (1)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	54.3 (19)	25.7 (9)	14.3 (5)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	45.3 (24)	39.6 (21)	9.4 (5)	5.7 (3)
【50～59歳】 n=61	47.5 (29)	41.0 (25)	8.2 (5)	3.3 (2)
【60～69歳】 n=74	51.4 (38)	23.0 (17)	5.4 (4)	20.3 (15)
【70歳以上】 n=41	36.6 (15)	17.1 (7)	14.6 (6)	31.7 (13)

※（１１）社会活動や仕事をさせない（いやがる）

	た る に あ	い も ど い ち え ら な と	た ら な い あ	無 回 答
【全体】 N=769	43.0 (331)	36.3 (279)	9.0 (69)	11.7 (90)
【女性】 n=482	44.2 (213)	35.9 (173)	8.5 (41)	11.4 (55)
【男性】 n=286	41.3 (118)	36.7 (105)	9.8 (28)	12.2 (35)
女性【20～29歳】 n=47	61.7 (29)	29.8 (14)	6.4 (3)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	53.2 (41)	36.4 (28)	5.2 (4)	5.2 (4)
【40～49歳】 n=94	48.9 (46)	42.6 (40)	4.3 (4)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	41.1 (37)	34.4 (31)	13.3 (12)	11.1 (10)
【60～69歳】 n=124	38.7 (48)	39.5 (49)	9.7 (12)	12.1 (15)
【70歳以上】 n=50	24.0 (12)	22.0 (11)	12.0 (6)	42.0 (21)
男性【20～29歳】 n=22	72.7 (16)	27.3 (6)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	40.0 (14)	37.1 (13)	17.1 (6)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	37.7 (20)	45.3 (24)	11.3 (6)	5.7 (3)
【50～59歳】 n=61	39.3 (24)	45.9 (28)	11.5 (7)	3.3 (2)
【60～69歳】 n=74	44.6 (33)	29.7 (22)	5.4 (4)	20.3 (15)
【70歳以上】 n=41	26.8 (11)	29.3 (12)	12.2 (5)	31.7 (13)

年代別にみると、「平手で打つ」は、いずれの年代も「DVにあたる」と思う割合が最も高いが、男性50代では「どちらともいえない」が3割を超えている。

「げんこつで殴る、足で蹴る」、「身体を傷つける可能性のあるもので殴る」はいずれの年代も「DVにあたる」と思う割合が最も高くなっている。

「大声で怒鳴り、暴言を吐く」は、いずれの年代も「DVにあたる」と思う割合が最も高いが、女性20代、女性30代、男性30代、男性40代、男性70歳以上で「どちらともいえない」が3割を超えている。

「大切にしているものを捨てたり壊したりする」は、いずれの年代も「DVにあたる」と思う割合が最も高いが、女性20代、女性30代で「どちらともいえない」が約4割となっている。

「何を言っても無視して口をきかない」は、女性30代～50代、男性20代、男性50代、男性60代で「DVにあたる」と思う割合が最も高くなっており、それ以外の年代では「どちらともいえない」が最も高くなっている。男性70歳以上では「DVにあたらぬ」と思う割合が17.1%となっており、「DVにあたる」を上回っている。

「誰のおかげで食べられるのか」「かいしょうなし」などと言うは、男性70歳以上を除くいずれの年代も「DVにあたる」と思う割合が最も高くなっており、男性70歳以上は「DVにあたる」と「どちらともいえない」が同率（29.3%）となっている。女性20代、男性30代～50代では「どちらともいえない」が3割を超えている。

「生活費を渡さない」は、いずれの年代も「DVにあたる」と思う割合が最も高くなっているものの、男性70歳以上で「DVにあたらぬ」と思う割合が17.1%となっている。男性50代では「どちらともいえない」が34.4%となっている。

「嫌がっているのに性的行為を強要する」は、いずれの年代も「DVにあたる」と思う割合が最も高くなっている。

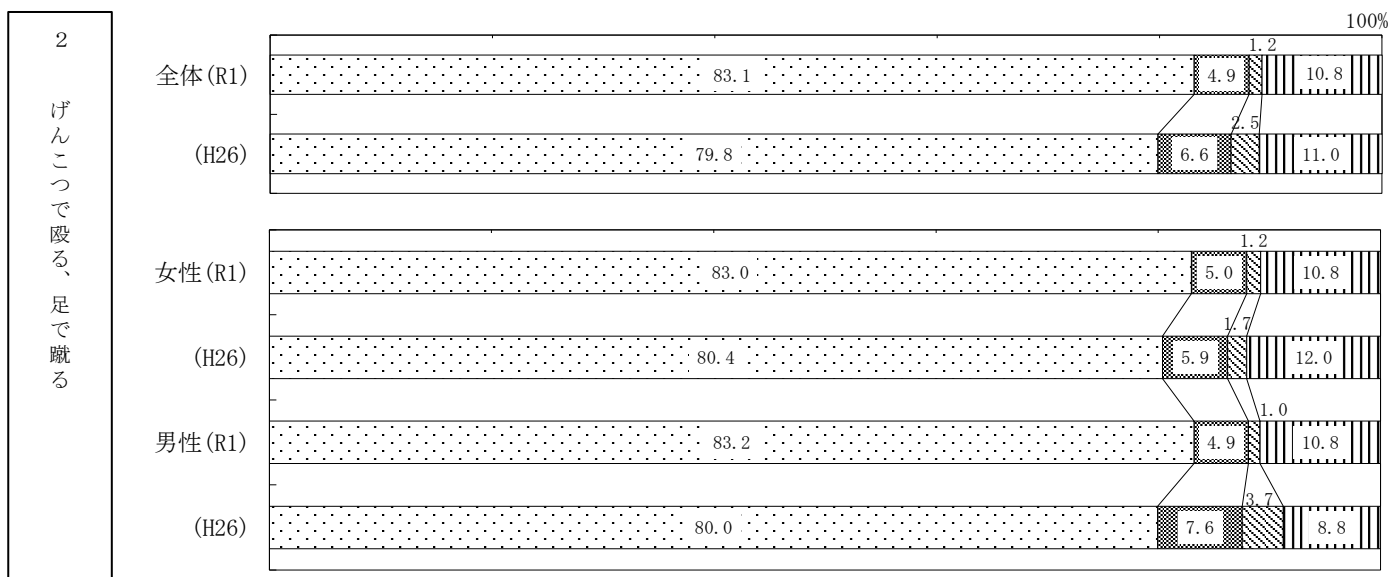
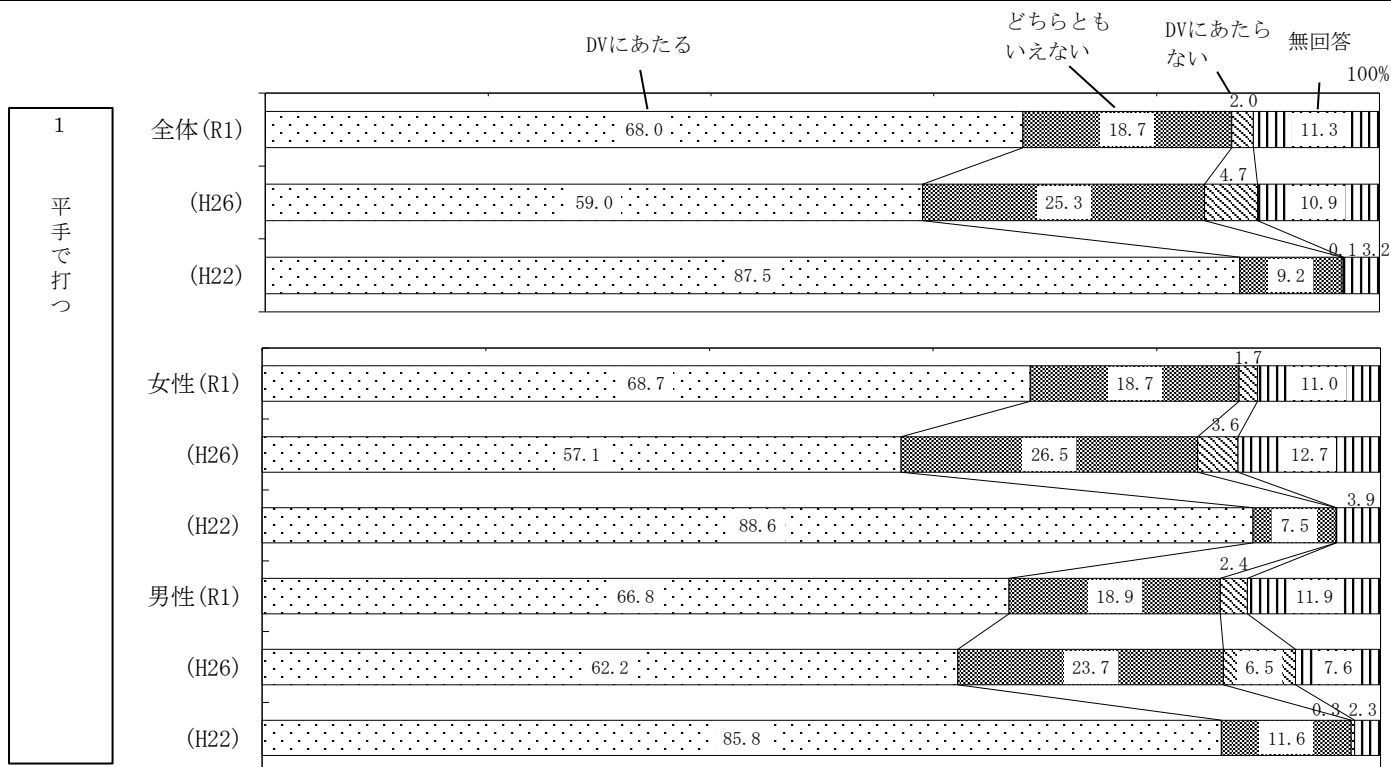
「交友関係や電話を細かく監視する」は、いずれの年代も「DVにあたる」と思う割合が最も高くなっているが、男性40代、男性50代で「どちらともいえない」が約4割みられる。

「社会活動や仕事をさせない」は、女性60代、男性40代、男性50代、男性70歳以上で「どちらともいえない」が最も高くなっており、それ以外の年代では「DVにあたる」と思う割合が最も高くなっている。

□ 男女の人権についてお尋ねします

問 2 8

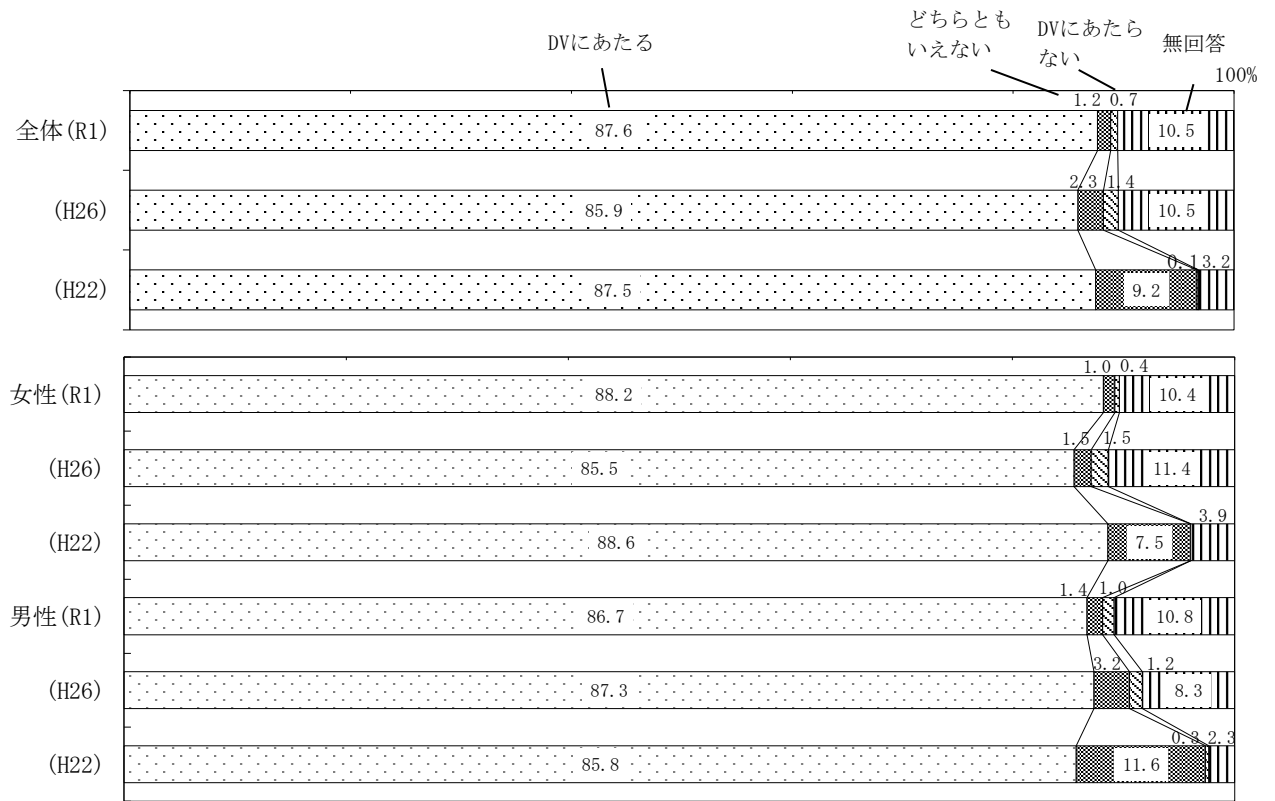
配偶者（事実婚や元配偶者を含む。）や恋人などから受ける暴力をドメスティック・バイオレンス（DV）といいます。配偶者や恋人との間で1～11のようなことが行われた場合、それをDVだと思いませんか。また、あなたの配偶者や恋人から次のようなことをされた経験がありますか。
 ・DVだと思いませんか



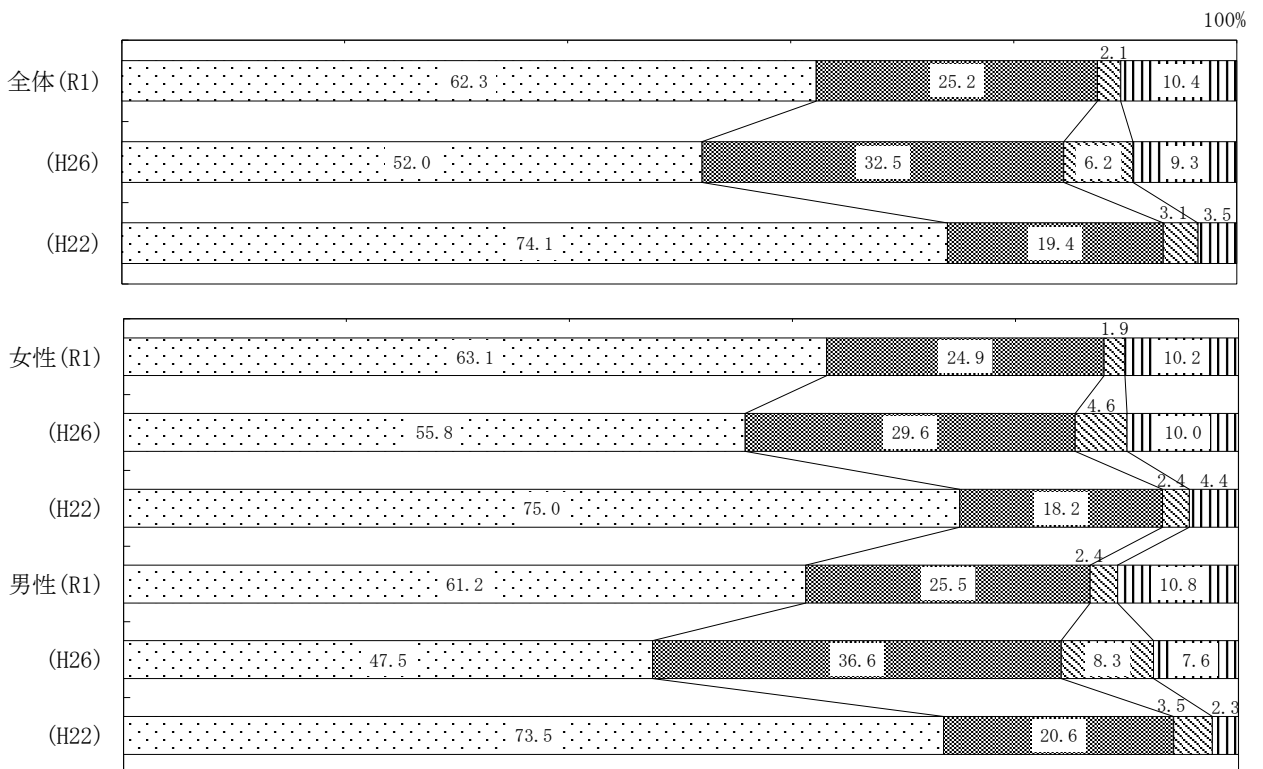
全体 R1 (N=769)
 H26 (N=1032)
 H22 (N=806)
 女性 R1 (n=482)
 H26 (n=581)
 H22 (n=456)
 男性 R1 (n=286)
 H26 (n=434)
 H22 (n=344)

※H22年は「2 げんこつで殴る、足で蹴る」、「8 生活費を渡さない」、「11 社会活動や仕事をさせない (いやがる)」は設問無し
 ※H22年の1、3については「1 平手で殴ったり、身体を傷つける可能性のあるもので殴る」を比較対象としている

3
身体を傷つける可能性のあるもので殴る

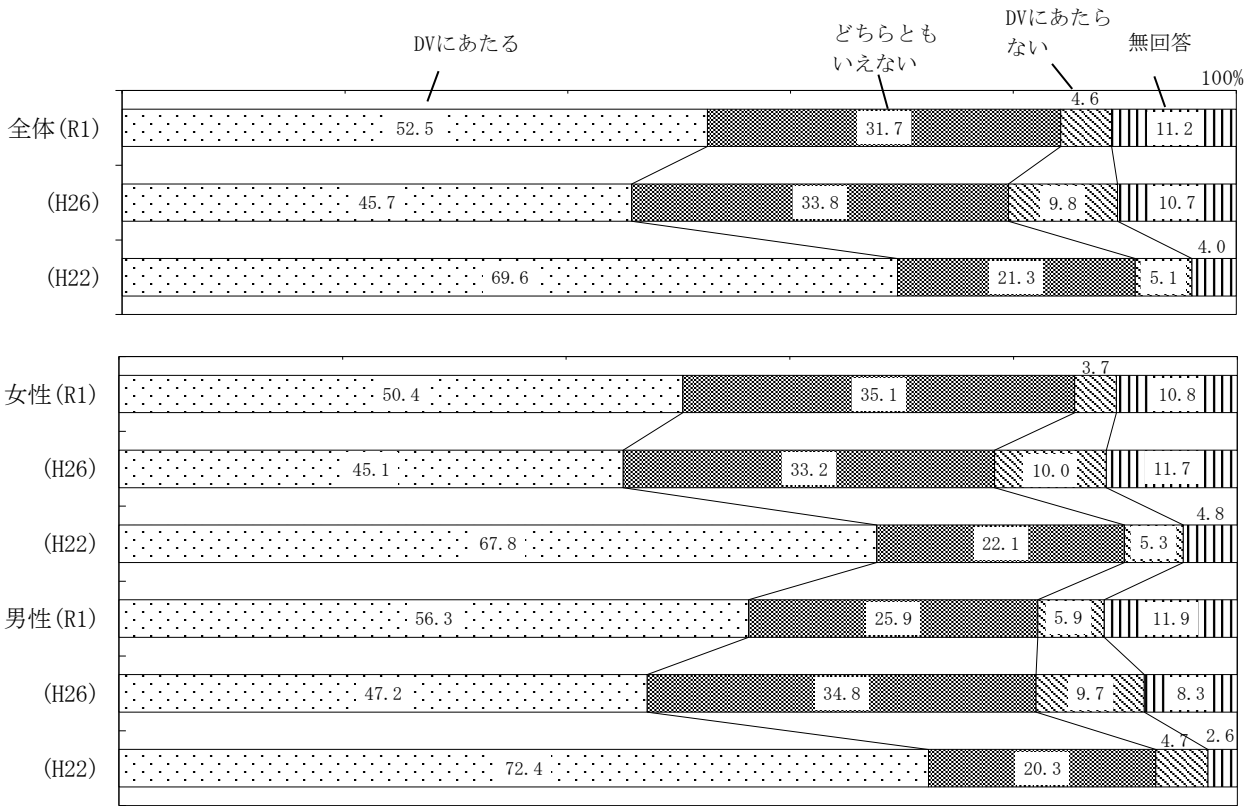


4
大声で怒鳴り、暴言を吐く

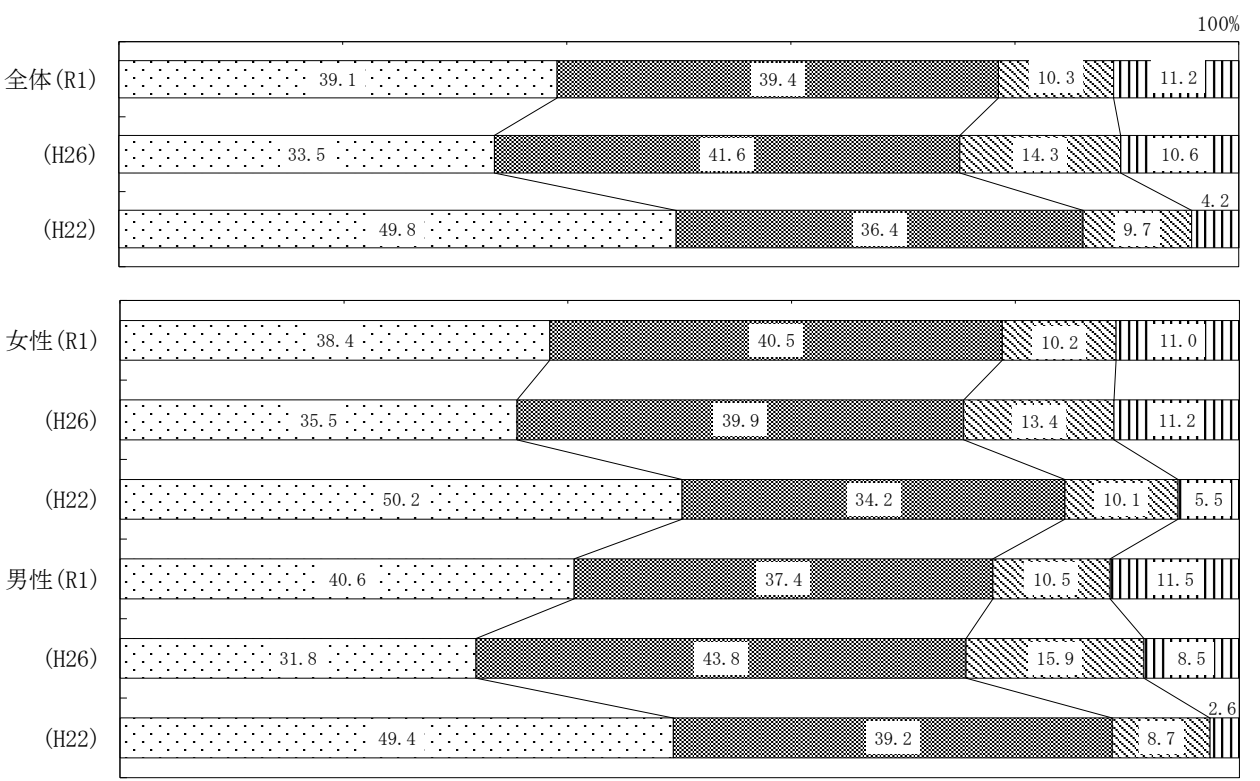


全体 R1 (N=769)
 H26 (N=1032)
 H22 (N=806)
 女性 R1 (n=482)
 H26 (n=581)
 H22 (n=456)
 男性 R1 (n=286)
 H26 (n=434)
 H22 (n=344)

5 大切にしているものを捨てたり、壊したりする

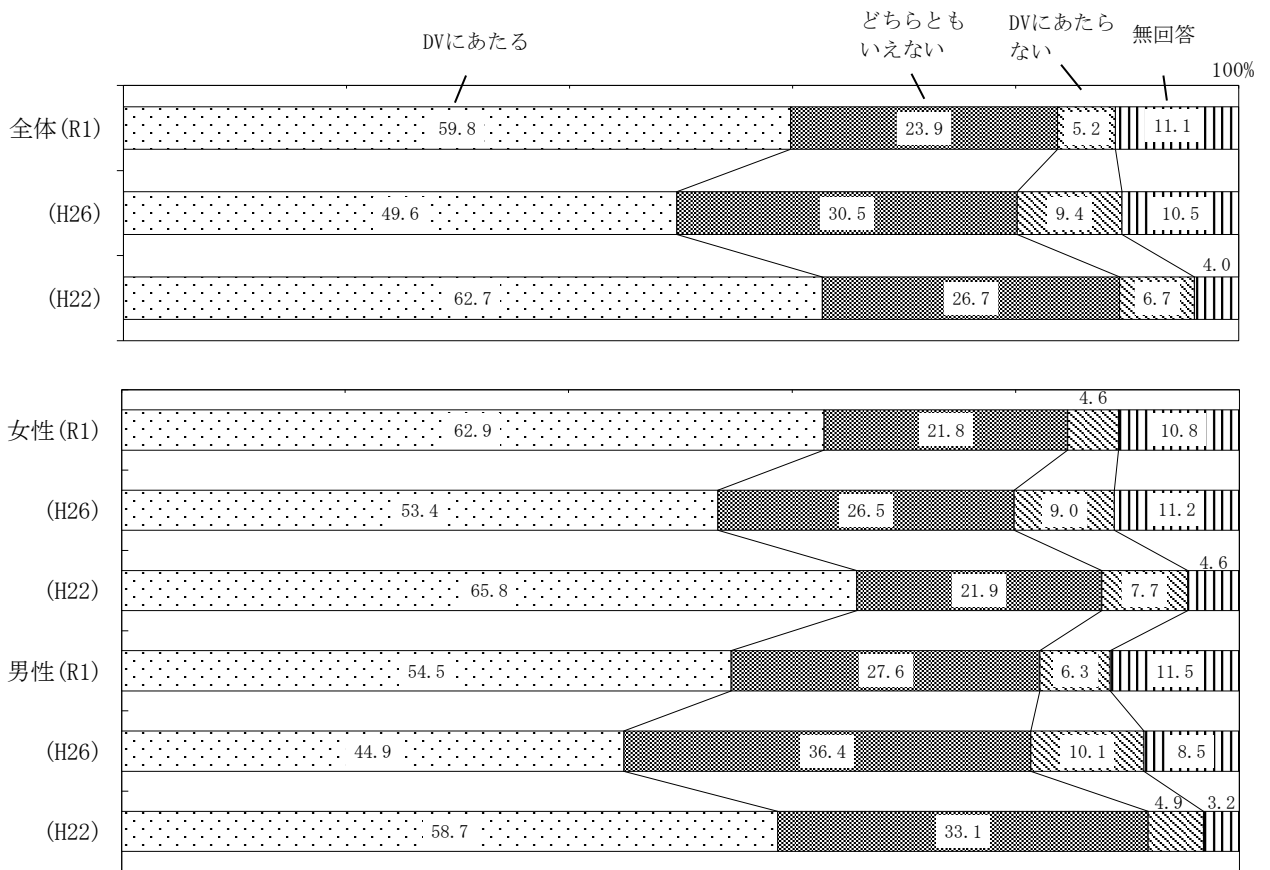


6 何を言っても無視をして口をきかない

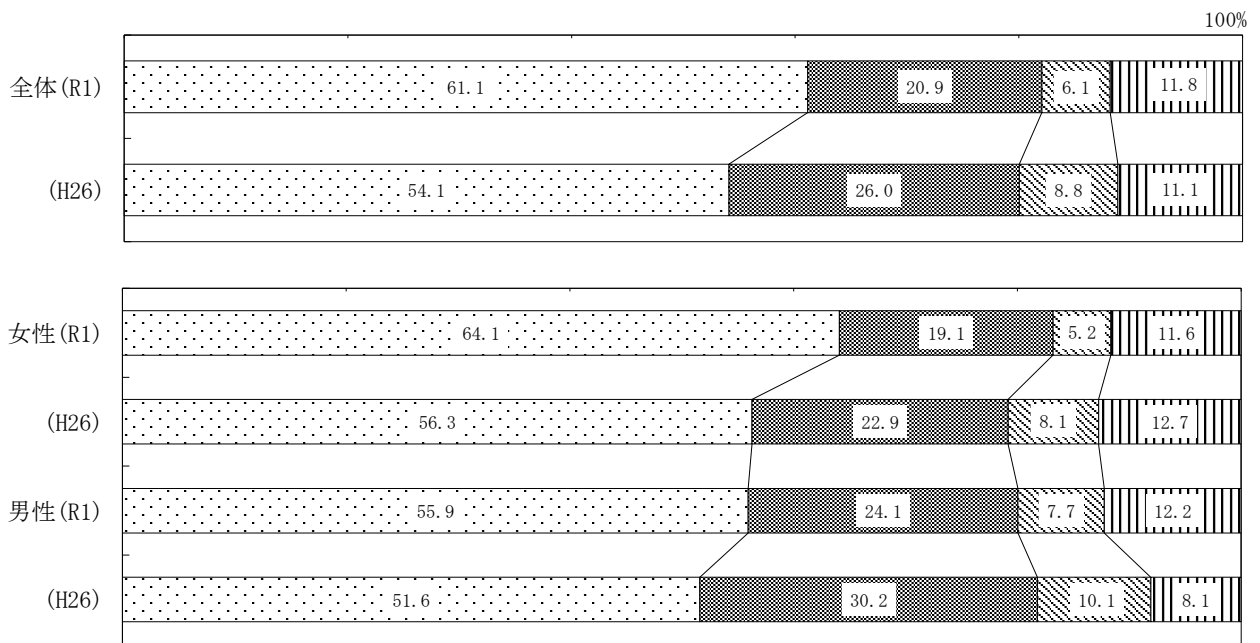


全体 R1 (N=769)
 H26 (N=1032)
 H22 (N=806)
 女性 R1 (n=482)
 H26 (n=581)
 H22 (n=456)
 男性 R1 (n=286)
 H26 (n=434)
 H22 (n=344)

7 「誰のおかげで食べられるのか」「かいしようなし」などと言う

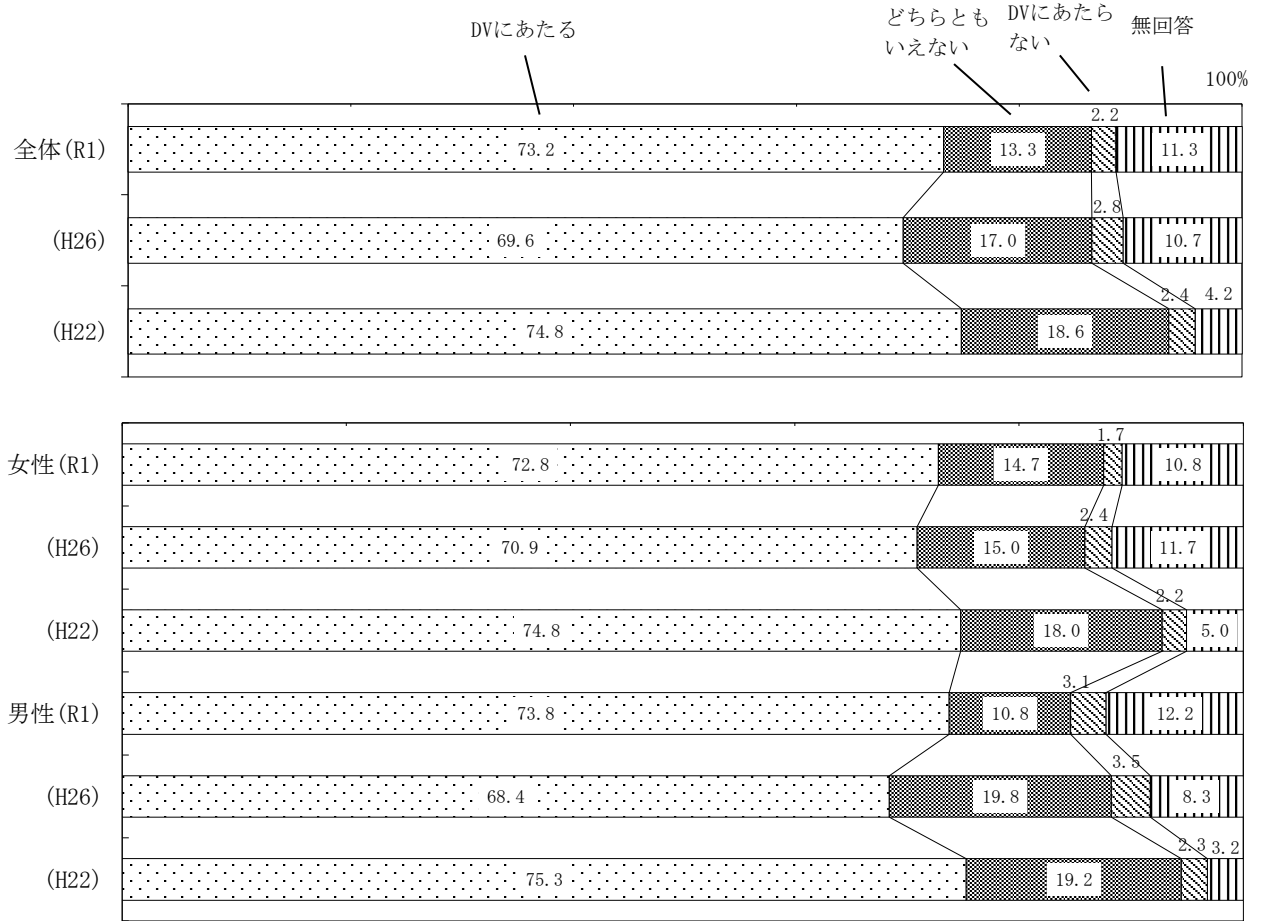


8 生活費を渡さない

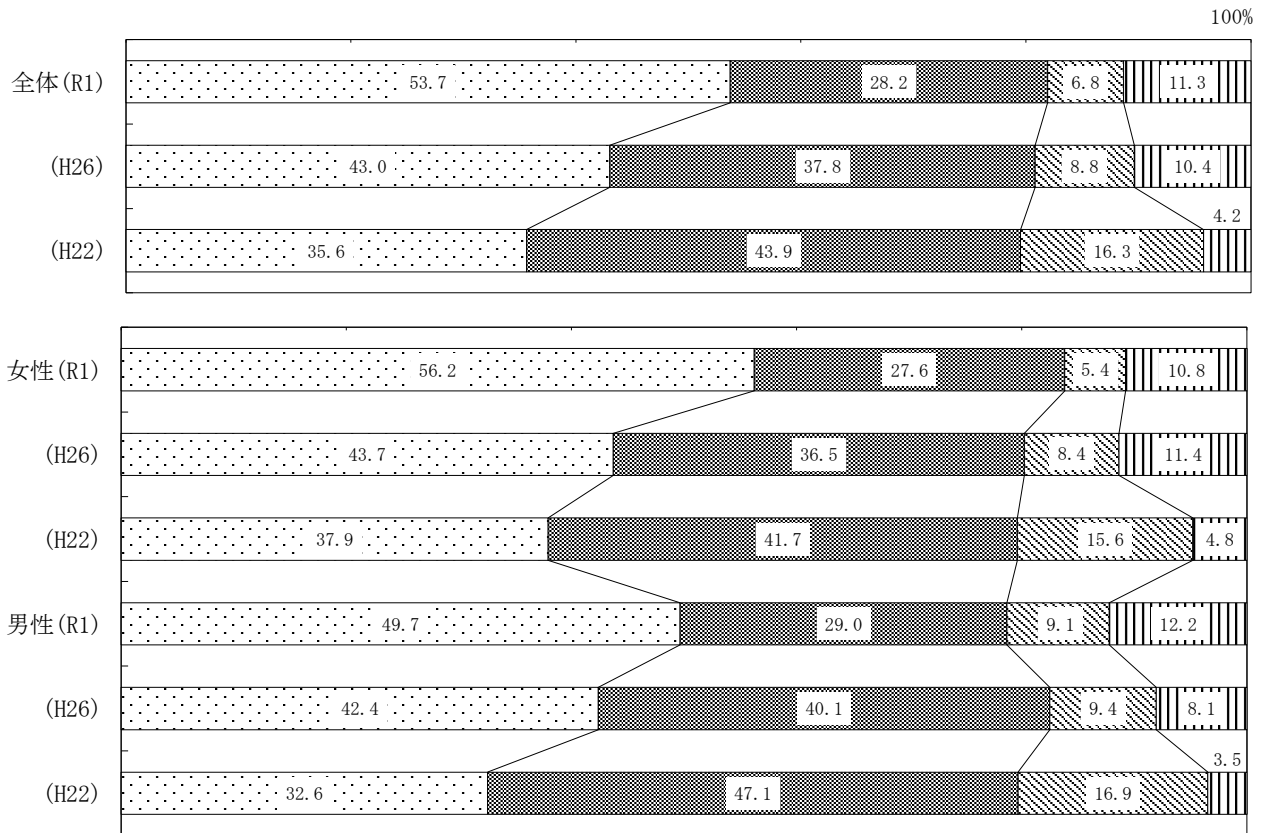


全体 R1 (N=769)
 H26 (N=1032)
 H22 (N=806)
 女性 R1 (n=482)
 H26 (n=581)
 H22 (n=456)
 男性 R1 (n=286)
 H26 (n=434)
 H22 (n=344)

9 嫌がっているのに性的行為を強要する



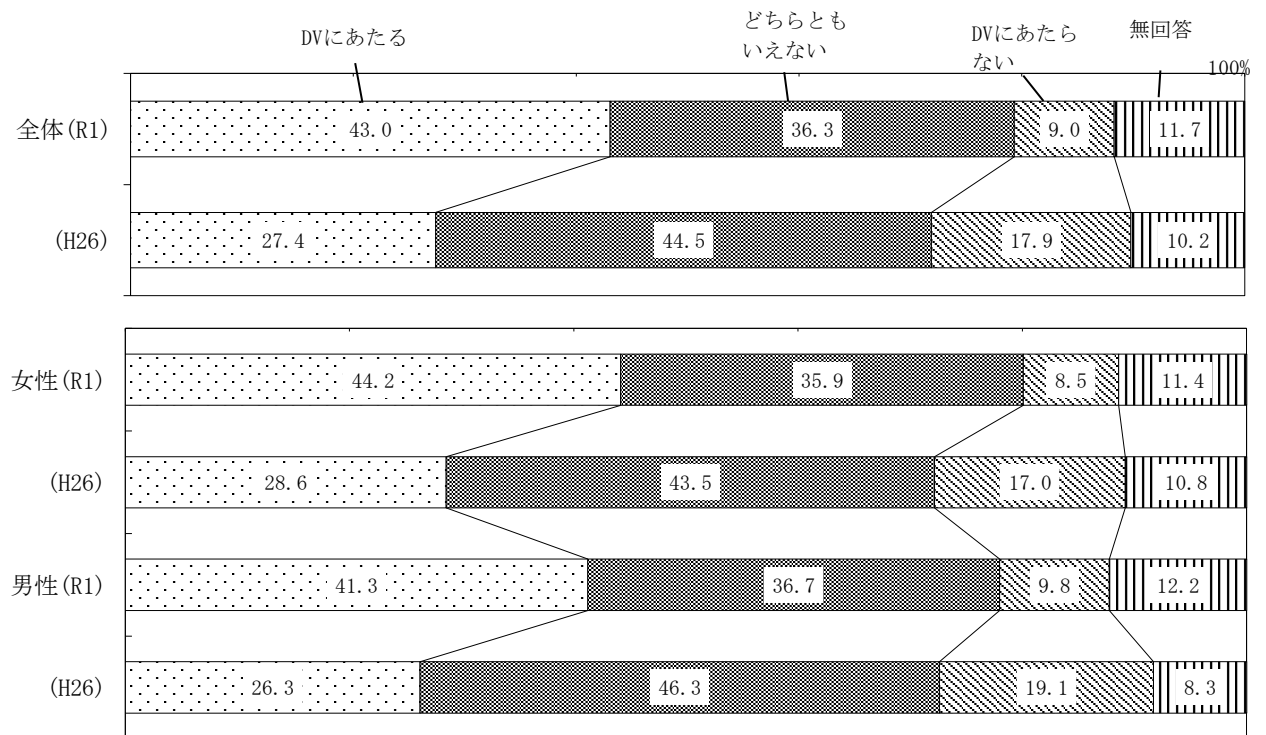
10 交友関係や電話を細かく監視する



全体 R1 (N=769)
 H26 (N=1032)
 H22 (N=806)
 女性 R1 (n=482)
 H26 (n=581)
 H22 (n=456)
 男性 R1 (n=286)
 H26 (n=434)
 H22 (n=344)

11

社会活動や仕事をさせない(いやがる)



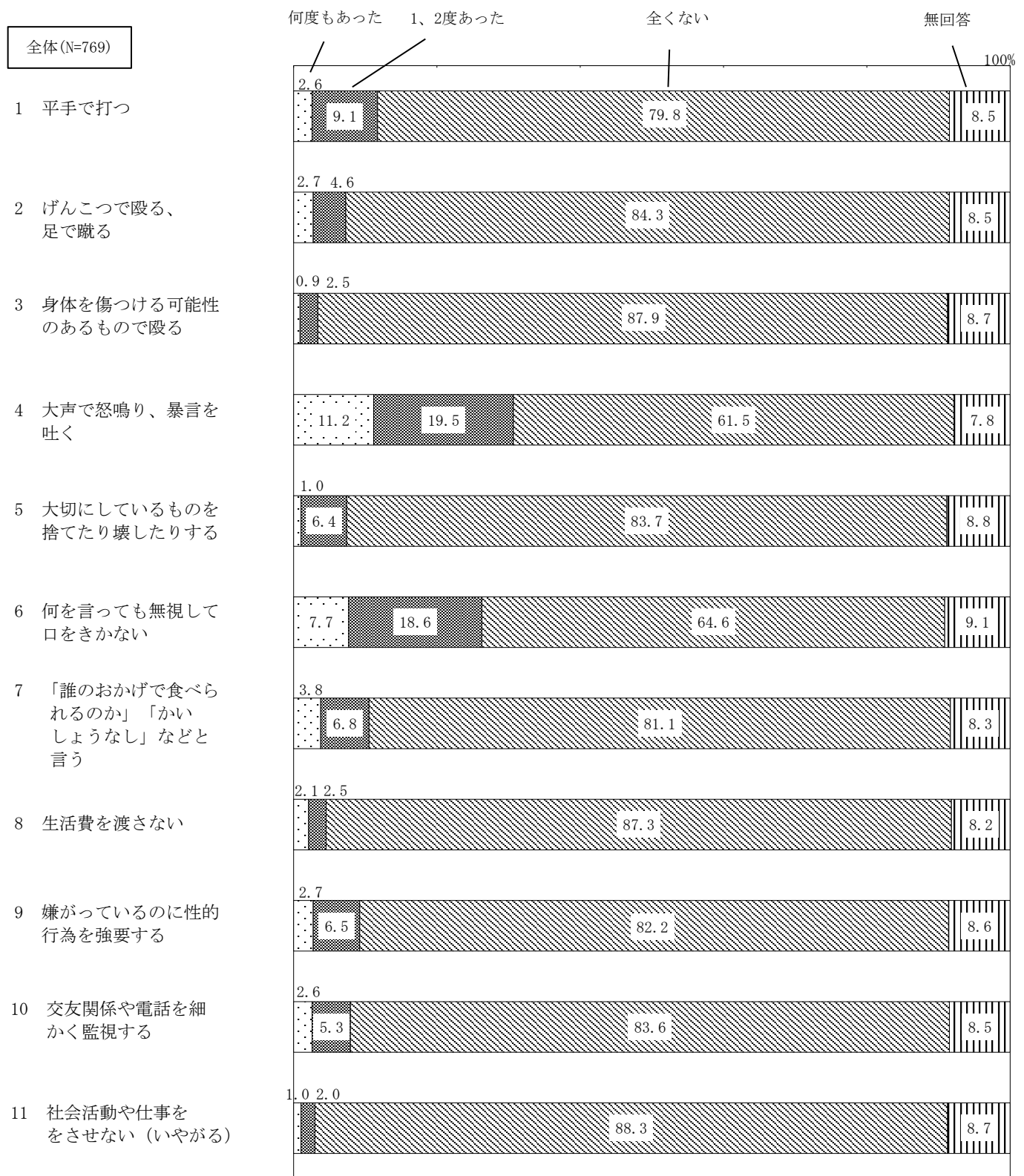
全体 R1 (N=769)
 H26 (N=1032)
 H22 (N=806)
 女性 R1 (n=482)
 H26 (n=581)
 H22 (n=456)
 男性 R1 (n=286)
 H26 (n=434)
 H22 (n=344)

前回の調査結果と比較すると、「DVにあたる」と思う人の割合はすべての項目で増加している。一方、「DVにあたらぬい」と思う人の割合はすべての項目で減少している。

□ 男女の人権についてお尋ねします

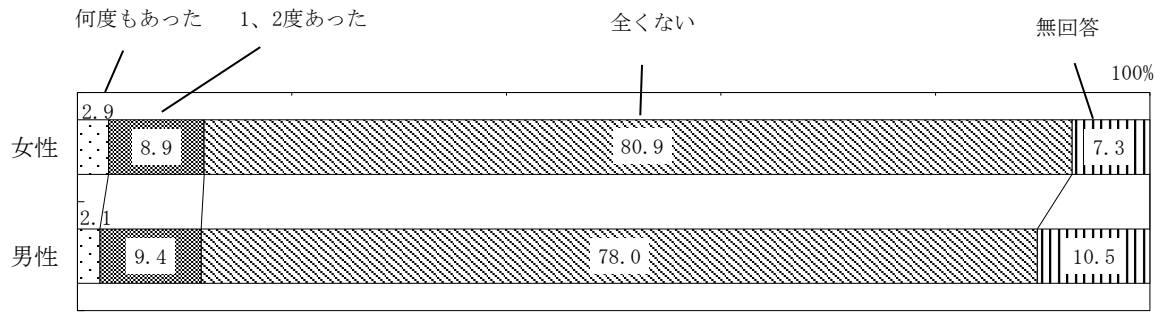
問 2 8

配偶者（事実婚や元配偶者を含む。）や恋人などから受ける暴力をドメスティック・バイオレンス（DV）といいます。配偶者や恋人との間で1～11のようなことが行われた場合、それをDVだと思いますか。また、あなたの配偶者や恋人から次のようなことをされた経験がありますか。
 ・経験がありますか

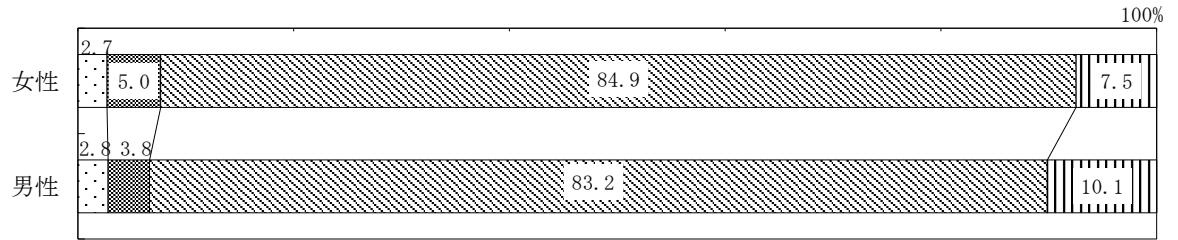


配偶者や恋人などから暴力を受けた経験についてみると、『経験がある』（「何度もあった」＋「1, 2度あった」）人の割合が最も高いのは「大声で怒鳴り、暴言を吐く」（30.7%）、次いで「何を言っても無視して口をきかない」（26.3%）、「平手で打つ」（11.7%）、「誰のおかげで食べられるのか」「かいしようなし」などと言う」（10.6%）となっている。

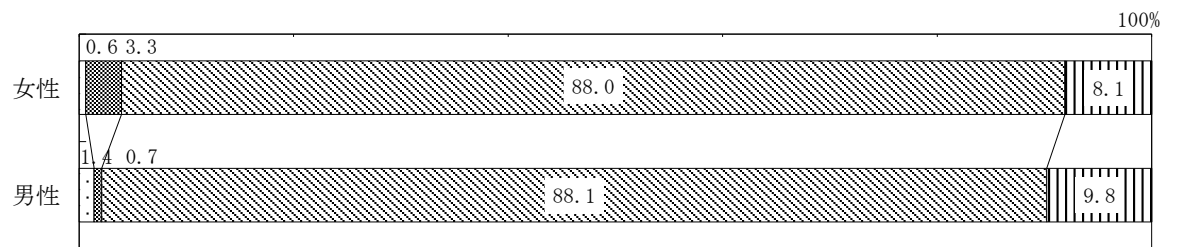
1
平手で打つ



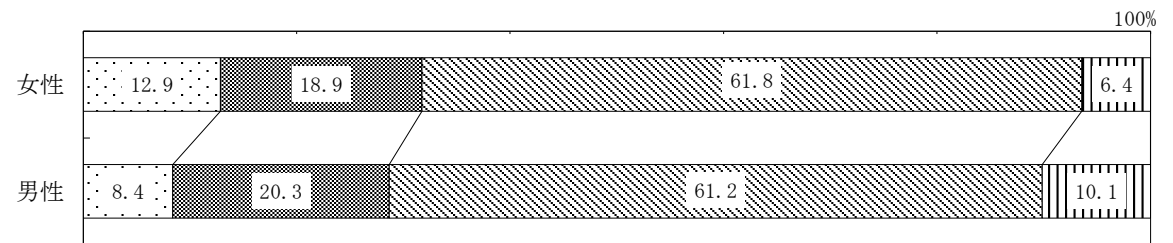
2
るげんこつで殴る、足で蹴る



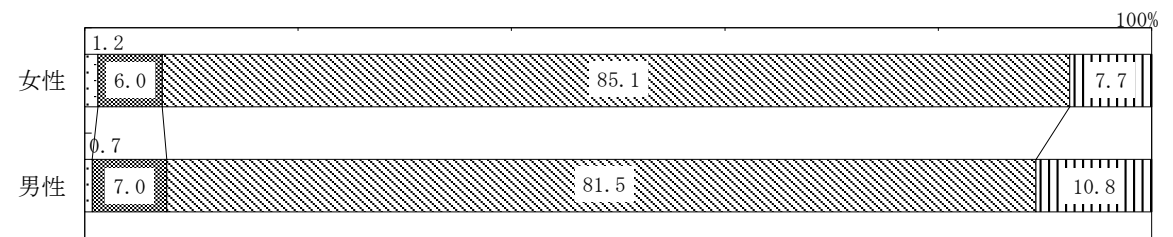
3
るる身体を傷つける可能性のある殴る



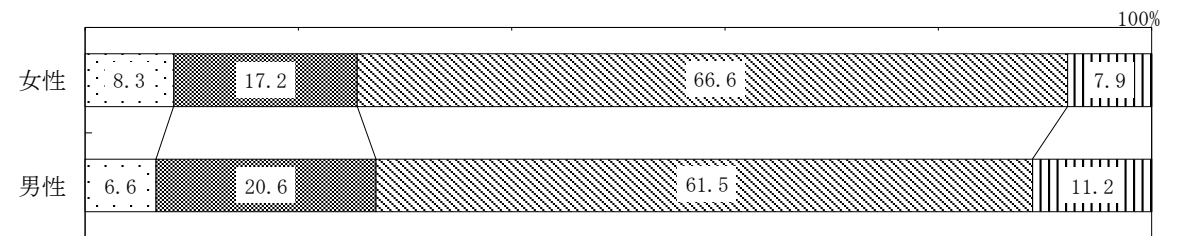
4
暴言を吐く、大声で怒鳴り、



5
すたりる大に切に壊した捨てたり

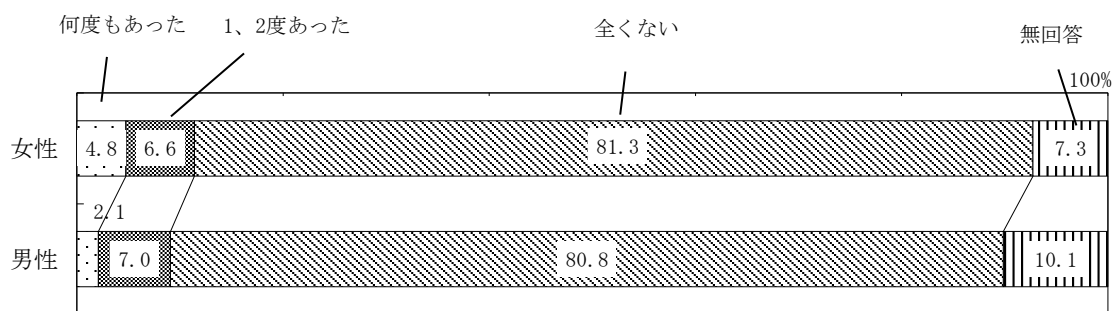


6
き無何を視を言かして口を

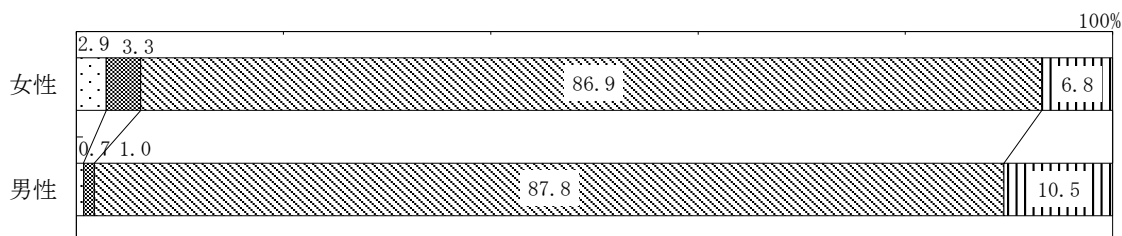


女性(n=482)
男性(n=286)

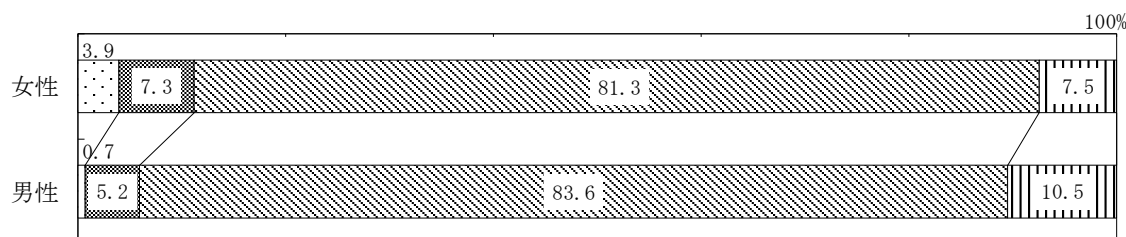
7
「誰のおかげで
食べられるのか」
「かいしような
し」などと言う



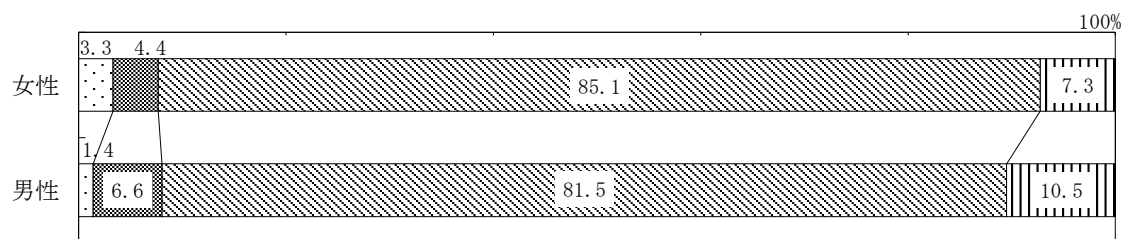
8
生活費を渡さ
ない



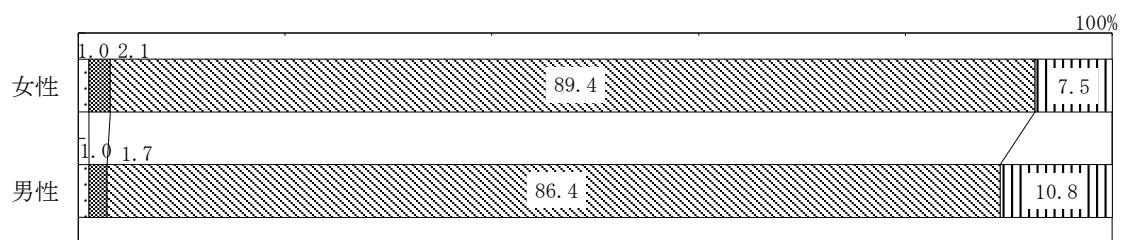
9
をの嫌が
強がつ
要性的
すって
する行
為いる



10
視話を交
すを友
する関
る細係
かくや
監視電



11
をさせない
（いやがる）
社会活動や仕事



女性(n=482)
男性(n=286)

性別にみると、『経験がある』人の割合は「大切にしているものを捨てたり壊したりする」（女性7.2%、男性7.7%）、「何を言っても無視して口をきかない」（女性25.5%、男性27.2%）、「交友関係や電話を細かく監視する」（女性7.7%、男性8.0%）以外は、女性が男性を上回っている。

・経験がありますか

※表は全て性・年代別で集計し、構成比(%)/人数(人)で表示

※(1) 平手で打つ

	あ 何 つ た も	あ 1、 つ た 2 度	全 く な い	無 回 答
【全体】 N=769	2.6 (20)	9.1 (70)	79.8 (614)	8.5 (65)
【女性】 n=482	2.9 (14)	8.9 (43)	80.9 (390)	7.3 (35)
【男性】 n=286	2.1 (6)	9.4 (27)	78.0 (223)	10.5 (30)
女性【20～29歳】 n=47	0.0 (0)	0.0 (0)	97.9 (46)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	2.6 (2)	10.4 (8)	83.1 (64)	3.9 (3)
【40～49歳】 n=94	3.2 (3)	5.3 (5)	86.2 (81)	5.3 (5)
【50～59歳】 n=90	6.7 (6)	3.3 (3)	82.2 (74)	7.8 (7)
【60～69歳】 n=124	0.8 (1)	17.7 (22)	75.0 (93)	6.5 (8)
【70歳以上】 n=50	4.0 (2)	10.0 (5)	64.0 (32)	22.0 (11)
男性【20～29歳】 n=22	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (22)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	2.9 (1)	2.9 (1)	91.4 (32)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=53	5.7 (3)	11.3 (6)	79.2 (42)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	1.6 (1)	13.1 (8)	78.7 (48)	6.6 (4)
【60～69歳】 n=74	0.0 (0)	9.5 (7)	74.3 (55)	16.2 (12)
【70歳以上】 n=41	2.4 (1)	12.2 (5)	58.5 (24)	26.8 (11)

※(2) げんこつで殴る、足で蹴る

	あ 何 つ た も	あ 1、 つ た 2 度	全 く な い	無 回 答
【全体】 N=769	2.7 (21)	4.6 (35)	84.3 (648)	8.5 (65)
【女性】 n=482	2.7 (13)	5.0 (24)	84.9 (409)	7.5 (36)
【男性】 n=286	2.8 (8)	3.8 (11)	83.2 (238)	10.1 (29)
女性【20～29歳】 n=47	0.0 (0)	2.1 (1)	95.7 (45)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	2.6 (2)	5.2 (4)	88.3 (68)	3.9 (3)
【40～49歳】 n=94	3.2 (3)	8.5 (8)	84.0 (79)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	4.4 (4)	5.6 (5)	82.2 (74)	7.8 (7)
【60～69歳】 n=124	1.6 (2)	4.0 (5)	87.9 (109)	6.5 (8)
【70歳以上】 n=50	4.0 (2)	2.0 (1)	68.0 (34)	26.0 (13)
男性【20～29歳】 n=22	4.5 (1)	0.0 (0)	95.5 (21)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	2.9 (1)	2.9 (1)	91.4 (32)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=53	3.8 (2)	5.7 (3)	86.8 (46)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	1.6 (1)	8.2 (5)	85.2 (52)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	1.4 (1)	2.7 (2)	78.4 (58)	17.6 (13)
【70歳以上】 n=41	4.9 (2)	0.0 (0)	70.7 (29)	24.4 (10)

※(3) 身体を傷つける可能性のあるもので殴る

	あ 何 つ た も	あ 1、 つ た 2 度	全 く な い	無 回 答
【全体】 N=769	0.9 (7)	2.5 (19)	87.9 (676)	8.7 (67)
【女性】 n=482	0.6 (3)	3.3 (16)	88.0 (424)	8.1 (39)
【男性】 n=286	1.4 (4)	0.7 (2)	88.1 (252)	9.8 (28)
女性【20～29歳】 n=47	0.0 (0)	2.1 (1)	95.7 (45)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	0.0 (0)	3.9 (3)	90.9 (70)	5.2 (4)
【40～49歳】 n=94	1.1 (1)	2.1 (2)	91.5 (86)	5.3 (5)
【50～59歳】 n=90	1.1 (1)	4.4 (4)	85.6 (77)	8.9 (8)
【60～69歳】 n=124	0.0 (0)	3.2 (4)	91.1 (113)	5.6 (7)
【70歳以上】 n=50	2.0 (1)	4.0 (2)	66.0 (33)	28.0 (14)
男性【20～29歳】 n=22	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (22)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	2.9 (1)	0.0 (0)	94.3 (33)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=53	1.9 (1)	1.9 (1)	92.5 (49)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	1.6 (1)	0.0 (0)	93.4 (57)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	0.0 (0)	1.4 (1)	83.8 (62)	14.9 (11)
【70歳以上】 n=41	2.4 (1)	0.0 (0)	70.7 (29)	26.8 (11)

※(4) 大声で怒鳴り、暴言を吐く

	あ 何 つ た も	あ 1、 つ た 2 度	全 く な い	無 回 答
【全体】 N=769	11.2 (86)	19.5 (150)	61.5 (473)	7.8 (60)
【女性】 n=482	12.9 (62)	18.9 (91)	61.8 (298)	6.4 (31)
【男性】 n=286	8.4 (24)	20.3 (58)	61.2 (175)	10.1 (29)
女性【20～29歳】 n=47	2.1 (1)	4.3 (2)	91.5 (43)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	14.3 (11)	19.5 (15)	62.3 (48)	3.9 (3)
【40～49歳】 n=94	16.0 (15)	16.0 (15)	63.8 (60)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	14.4 (13)	18.9 (17)	58.9 (53)	7.8 (7)
【60～69歳】 n=124	11.3 (14)	27.4 (34)	55.6 (69)	5.6 (7)
【70歳以上】 n=50	16.0 (8)	16.0 (8)	50.0 (25)	18.0 (9)
男性【20～29歳】 n=22	4.5 (1)	9.1 (2)	86.4 (19)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	11.4 (4)	17.1 (6)	68.6 (24)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=53	17.0 (9)	18.9 (10)	60.4 (32)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	8.2 (5)	26.2 (16)	60.7 (37)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	4.1 (3)	21.6 (16)	56.8 (42)	17.6 (13)
【70歳以上】 n=41	4.9 (2)	19.5 (8)	51.2 (21)	24.4 (10)

※ (5) 大切にしているものを捨てたり壊したりする

	あ 何 つ 度 た も	あ 1、 つ た 2 度	全 く な い	無 回 答
【全体】 N=769	1.0 (8)	6.4 (49)	83.7 (644)	8.8 (68)
【女性】 n=482	1.2 (6)	6.0 (29)	85.1 (410)	7.7 (37)
【男性】 n=286	0.7 (2)	7.0 (20)	81.5 (233)	10.8 (31)
女性【20～29歳】 n=47	0.0 (0)	2.1 (1)	95.7 (45)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	0.0 (0)	7.8 (6)	88.3 (68)	3.9 (3)
【40～49歳】 n=94	0.0 (0)	5.3 (5)	90.4 (85)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	2.2 (2)	4.4 (4)	84.4 (76)	8.9 (8)
【60～69歳】 n=124	1.6 (2)	7.3 (9)	84.7 (105)	6.5 (8)
【70歳以上】 n=50	4.0 (2)	8.0 (4)	62.0 (31)	26.0 (13)
男性【20～29歳】 n=22	0.0 (0)	0.0 (0)	95.5 (21)	4.5 (1)
【30～39歳】 n=35	0.0 (0)	8.6 (3)	88.6 (31)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=53	1.9 (1)	9.4 (5)	84.9 (45)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	1.6 (1)	9.8 (6)	83.6 (51)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	0.0 (0)	5.4 (4)	77.0 (57)	17.6 (13)
【70歳以上】 n=41	0.0 (0)	4.9 (2)	68.3 (28)	26.8 (11)

※ (6) 何を言っても無視して口をきかない

	あ 何 つ 度 た も	あ 1、 つ た 2 度	全 く な い	無 回 答
【全体】 N=769	7.7 (59)	18.6 (143)	64.6 (497)	9.1 (70)
【女性】 n=482	8.3 (40)	17.2 (83)	66.6 (321)	7.9 (38)
【男性】 n=286	6.6 (19)	20.6 (59)	61.5 (176)	11.2 (32)
女性【20～29歳】 n=47	0.0 (0)	10.6 (5)	87.2 (41)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	10.4 (8)	24.7 (19)	61.0 (47)	3.9 (3)
【40～49歳】 n=94	12.8 (12)	14.9 (14)	69.1 (65)	3.2 (3)
【50～59歳】 n=90	8.9 (8)	13.3 (12)	67.8 (61)	10.0 (9)
【60～69歳】 n=124	6.5 (8)	23.4 (29)	62.9 (78)	7.3 (9)
【70歳以上】 n=50	8.0 (4)	8.0 (4)	58.0 (29)	26.0 (13)
男性【20～29歳】 n=22	4.5 (1)	4.5 (1)	90.9 (20)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	5.7 (2)	14.3 (5)	77.1 (27)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=53	11.3 (6)	24.5 (13)	58.5 (31)	5.7 (3)
【50～59歳】 n=61	6.6 (4)	23.0 (14)	65.6 (40)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	4.1 (3)	28.4 (21)	50.0 (37)	17.6 (13)
【70歳以上】 n=41	7.3 (3)	12.2 (5)	51.2 (21)	29.3 (12)

※ (7) 「誰のおかげで食べられるのか」「かいしょうなし」などと言う

	あ 何 つ 度 た も	あ 1、 つ た 2 度	全 く な い	無 回 答
【全体】 N=769	3.8 (29)	6.8 (52)	81.1 (624)	8.3 (64)
【女性】 n=482	4.8 (23)	6.6 (32)	81.3 (392)	7.3 (35)
【男性】 n=286	2.1 (6)	7.0 (20)	80.8 (231)	10.1 (29)
女性【20～29歳】 n=47	0.0 (0)	0.0 (0)	97.9 (46)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	6.5 (5)	5.2 (4)	84.4 (65)	3.9 (3)
【40～49歳】 n=94	7.4 (7)	5.3 (5)	83.0 (78)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	3.3 (3)	6.7 (6)	80.0 (72)	10.0 (9)
【60～69歳】 n=124	4.8 (6)	12.1 (15)	78.2 (97)	4.8 (6)
【70歳以上】 n=50	4.0 (2)	4.0 (2)	68.0 (34)	24.0 (12)
男性【20～29歳】 n=22	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (22)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	2.9 (1)	8.6 (3)	85.7 (30)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=53	3.8 (2)	11.3 (6)	81.1 (43)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	1.6 (1)	4.9 (3)	88.5 (54)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	0.0 (0)	8.1 (6)	74.3 (55)	17.6 (13)
【70歳以上】 n=41	4.9 (2)	4.9 (2)	65.9 (27)	24.4 (10)

※ (8) 生活費を渡さない

	あ 何 つ 度 た も	あ 1、 つ た 2 度	全 く な い	無 回 答
【全体】 N=769	2.1 (16)	2.5 (19)	87.3 (671)	8.2 (63)
【女性】 n=482	2.9 (14)	3.3 (16)	86.9 (419)	6.8 (33)
【男性】 n=286	0.7 (2)	1.0 (3)	87.8 (251)	10.5 (30)
女性【20～29歳】 n=47	0.0 (0)	0.0 (0)	97.9 (46)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	1.3 (1)	5.2 (4)	89.6 (69)	3.9 (3)
【40～49歳】 n=94	5.3 (5)	4.3 (4)	86.2 (81)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	3.3 (3)	1.1 (1)	87.8 (79)	7.8 (7)
【60～69歳】 n=124	2.4 (3)	4.0 (5)	88.7 (110)	4.8 (6)
【70歳以上】 n=50	4.0 (2)	4.0 (2)	68.0 (34)	24.0 (12)
男性【20～29歳】 n=22	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (22)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	0.0 (0)	0.0 (0)	97.1 (34)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=53	0.0 (0)	0.0 (0)	96.2 (51)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	1.6 (1)	3.3 (2)	90.2 (55)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	0.0 (0)	1.4 (1)	81.1 (60)	17.6 (13)
【70歳以上】 n=41	2.4 (1)	0.0 (0)	70.7 (29)	26.8 (11)

※(9) 嫌がっているのに性的行為を強要する

	あ 何 つ 度 た も	あ 1、 つ た 2 度	全 く な い	無 回 答
【全体】 N=769	2.7 (21)	6.5 (50)	82.2 (632)	8.6 (66)
【女性】 n=482	3.9 (19)	7.3 (35)	81.3 (392)	7.5 (36)
【男性】 n=286	0.7 (2)	5.2 (15)	83.6 (239)	10.5 (30)
女性【20～29歳】 n=47	0.0 (0)	4.3 (2)	93.6 (44)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	1.3 (1)	6.5 (5)	88.3 (68)	3.9 (3)
【40～49歳】 n=94	4.3 (4)	5.3 (5)	85.1 (80)	5.3 (5)
【50～59歳】 n=90	5.6 (5)	4.4 (4)	80.0 (72)	10.0 (9)
【60～69歳】 n=124	4.0 (5)	13.7 (17)	77.4 (96)	4.8 (6)
【70歳以上】 n=50	8.0 (4)	4.0 (2)	64.0 (32)	24.0 (12)
男性【20～29歳】 n=22	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (22)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	0.0 (0)	5.7 (2)	91.4 (32)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=53	3.8 (2)	7.5 (4)	84.9 (45)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	0.0 (0)	3.3 (2)	91.8 (56)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	0.0 (0)	5.4 (4)	77.0 (57)	17.6 (13)
【70歳以上】 n=41	0.0 (0)	7.3 (3)	65.9 (27)	26.8 (11)

※(10) 交友関係や電話を細かく監視する

	あ 何 つ 度 た も	あ 1、 つ た 2 度	全 く な い	無 回 答
【全体】 N=769	2.6 (20)	5.3 (41)	83.6 (643)	8.5 (65)
【女性】 n=482	3.3 (16)	4.4 (21)	85.1 (410)	7.3 (35)
【男性】 n=286	1.4 (4)	6.6 (19)	81.5 (233)	10.5 (30)
女性【20～29歳】 n=47	2.1 (1)	2.1 (1)	93.6 (44)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	1.3 (1)	9.1 (7)	85.7 (66)	3.9 (3)
【40～49歳】 n=94	5.3 (5)	4.3 (4)	86.2 (81)	4.3 (4)
【50～59歳】 n=90	2.2 (2)	4.4 (4)	84.4 (76)	8.9 (8)
【60～69歳】 n=124	4.0 (5)	3.2 (4)	87.1 (108)	5.6 (7)
【70歳以上】 n=50	4.0 (2)	2.0 (1)	70.0 (35)	24.0 (12)
男性【20～29歳】 n=22	0.0 (0)	4.5 (1)	95.5 (21)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	5.7 (2)	5.7 (2)	85.7 (30)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=53	1.9 (1)	11.3 (6)	83.0 (44)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	1.6 (1)	6.6 (4)	86.9 (53)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	0.0 (0)	6.8 (5)	75.7 (56)	17.6 (13)
【70歳以上】 n=41	0.0 (0)	2.4 (1)	70.7 (29)	26.8 (11)

※(11) 社会活動や仕事をさせない(いやがる)

	あ 何 つ 度 た も	あ 1、 つ た 2 度	全 く な い	無 回 答
【全体】 N=769	1.0 (8)	2.0 (15)	88.3 (679)	8.7 (67)
【女性】 n=482	1.0 (5)	2.1 (10)	89.4 (431)	7.5 (36)
【男性】 n=286	1.0 (3)	1.7 (5)	86.4 (247)	10.8 (31)
女性【20～29歳】 n=47	0.0 (0)	0.0 (0)	97.9 (46)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	0.0 (0)	6.5 (5)	89.6 (69)	3.9 (3)
【40～49歳】 n=94	1.1 (1)	1.1 (1)	92.6 (87)	5.3 (5)
【50～59歳】 n=90	1.1 (1)	2.2 (2)	87.8 (79)	8.9 (8)
【60～69歳】 n=124	0.8 (1)	1.6 (2)	91.9 (114)	5.6 (7)
【70歳以上】 n=50	4.0 (2)	0.0 (0)	72.0 (36)	24.0 (12)
男性【20～29歳】 n=22	0.0 (0)	0.0 (0)	100.0 (22)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	5.7 (2)	0.0 (0)	91.4 (32)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=53	0.0 (0)	1.9 (1)	94.3 (50)	3.8 (2)
【50～59歳】 n=61	0.0 (0)	1.6 (1)	93.4 (57)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	1.4 (1)	1.4 (1)	78.4 (58)	18.9 (14)
【70歳以上】 n=41	0.0 (0)	4.9 (2)	68.3 (28)	26.8 (11)

年代別にみると、「平手で打つ」の『経験がある』人の割合は、女性60代（18.5%）が最も高く、次いで男性40代（17.0%）となっている。一方、20代は男女ともに『経験がある』と回答した人はいなかった。

「げんこつで殴る、足で蹴る」の『経験がある』人の割合は、女性40代（11.7%）が最も高く、次いで女性50代（10.0%）となっている。

「身体を傷つける可能性のあるもので殴る」の『経験がある』人の割合は、女性70代（6.0%）が最も高く、次いで女性50代（5.5%）となっている。一方、男性20代は『経験がある』と回答した人はいなかった。

「大声で怒鳴り、暴言を吐く」の『経験がある』人の割合は、女性30代以上、男性40代、男性50代で3割を超えている。

「大切にしているものを捨てたり壊したりする」の『経験がある』人の割合は、女性70歳以上（12.0%）が最も高く、次いで男性50代（11.4%）、男性40代（11.3%）となっている。一方、男性20代は『経験がある』と回答した人がいなかった。

「何を言っても無視して口をきかない」の『経験がある』人の割合は、男性40代（35.8%）、女性30代（35.1%）、男性60代（32.5%）で3割を超えている。

「誰のおかげで食べられるのか」「かいしょうなし」などと言うの『経験がある』人の割合は、女性60代（16.9%）が最も高く、次いで男性40代（15.1%）となっている。一方、20代は男女ともに『経験がある』と回答した人がいなかった。

「生活費を渡さない」の『経験がある』人の割合は、女性40代（9.6%）が最も高く、次いで女性70歳以上（8.0%）となっている、一方、女性20代、男性20代～40代は『経験がある』と回答した人がいなかった。

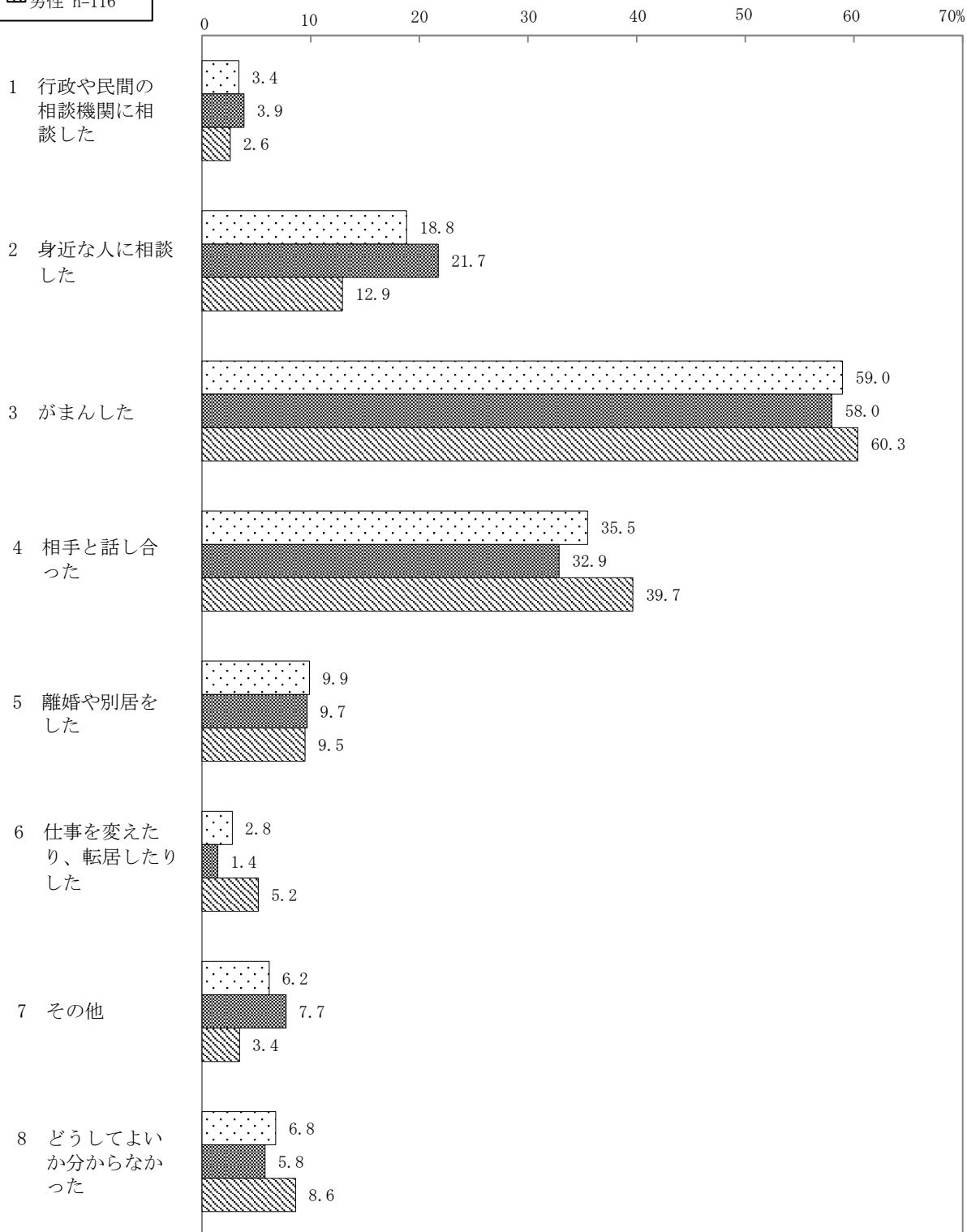
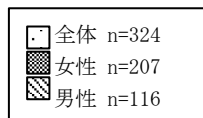
「嫌がっているのに性的行為を強要する」の『経験がある』人の割合は、女性60代（17.7%）が最も高く、次いで女性70歳以上（12.0%）となっている。一方、男性20代は『経験がある』と回答した人がいなかった。

「交友関係や電話を細かく監視する」の『経験がある』人の割合は、男性40代（13.2%）が最も高く、次いで男性30代（11.4%）となっている。

「社会活動や仕事をさせない」の『経験がある』人の割合は、女性30代（6.5%）が最も高く、次いで男性30代（5.7%）となっている。一方、20代は男女ともに『経験がある』と回答した人がいなかった。

□ 男女の人権についてお尋ねします

問29 【問28の「経験がありますか」で1つでも「何度もあった」「1、2度あった」と回答した方にお伺いします。】
あなたは、配偶者や恋人からそのような行為をされたとき、どのように行動しましたか（〇は当てはまるもの全て）。



配偶者や恋人などから暴力を受けたときの行動についてみると、男女ともに「がまんした」（女性58.0%、男性60.3%）が最も高く、次いで「相手と話し合った」（女性32.9%、男性39.7%）となっている。また、「身近な人に相談した」は女性21.7%に対して男性は12.9%となっており、男女の差がみられる。

※問29 項目集計表(性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	行政や民間の相談機	身近な人に相談した	がまんした	相手と話し合った	離婚や別居をした	仕事を变えたり、転居したりした	その他	なかつた	無回答
【全体】 n=324	3.4 (11)	18.8 (61)	59.0 (191)	35.5 (115)	9.9 (32)	2.8 (9)	6.2 (20)	6.8 (22)	5.6 (18)
【女性】 n=207	3.9 (8)	21.7 (45)	58.0 (120)	32.9 (68)	9.7 (20)	1.4 (3)	7.7 (16)	5.8 (12)	5.3 (11)
【男性】 n=116	2.6 (3)	12.9 (15)	60.3 (70)	39.7 (46)	9.5 (11)	5.2 (6)	3.4 (4)	8.6 (10)	6.0 (7)
女性【20～29歳】 n=7	0.0 (0)	28.6 (2)	42.9 (3)	71.4 (5)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	14.3 (1)
【30～39歳】 n=35	2.9 (1)	34.3 (12)	45.7 (16)	60.0 (21)	5.7 (2)	0.0 (0)	8.6 (3)	5.7 (2)	2.9 (1)
【40～49歳】 n=39	15.4 (6)	35.9 (14)	56.4 (22)	38.5 (15)	23.1 (9)	5.1 (2)	7.7 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=37	0.0 (0)	21.6 (8)	51.4 (19)	21.6 (8)	10.8 (4)	2.7 (1)	8.1 (3)	2.7 (1)	5.4 (2)
【60～69歳】 n=67	0.0 (0)	13.4 (9)	71.6 (48)	17.9 (12)	4.5 (3)	0.0 (0)	6.0 (4)	9.0 (6)	7.5 (5)
【70歳以上】 n=22	4.5 (1)	0.0 (0)	54.5 (12)	31.8 (7)	9.1 (2)	0.0 (0)	13.6 (3)	13.6 (3)	9.1 (2)
男性【20～29歳】 n=4	0.0 (0)	25.0 (1)	50.0 (2)	50.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=12	8.3 (1)	8.3 (1)	41.7 (5)	58.3 (7)	8.3 (1)	16.7 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	8.3 (1)
【40～49歳】 n=24	8.3 (2)	33.3 (8)	70.8 (17)	50.0 (12)	20.8 (5)	8.3 (2)	0.0 (0)	8.3 (2)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=27	0.0 (0)	3.7 (1)	59.3 (16)	40.7 (11)	7.4 (2)	0.0 (0)	7.4 (2)	7.4 (2)	7.4 (2)
【60～69歳】 n=33	0.0 (0)	9.1 (3)	63.6 (21)	24.2 (8)	6.1 (2)	0.0 (0)	6.1 (2)	12.1 (4)	6.1 (2)
【70歳以上】 n=16	0.0 (0)	6.3 (1)	56.3 (9)	37.5 (6)	6.3 (1)	12.5 (2)	0.0 (0)	12.5 (2)	12.5 (2)

※問29 項目集計表（既婚・未婚別） [構成比(%)／人数(人)]

	関行に政や民間の相談機	身近な人に相談した	がまんした	相手と話し合った	離婚や別居をした	居仕事を変えたり、転	その他	らなかつたよいか分か	無回答
【全体】 n=324	3.4 (11)	18.8 (61)	59.0 (191)	35.5 (115)	9.9 (32)	2.8 (9)	6.2 (20)	6.8 (22)	5.6 (18)
【既婚・共働きしている】 n=118	2.5 (3)	14.4 (17)	62.7 (74)	39.0 (46)	2.5 (3)	0.8 (1)	8.5 (10)	5.1 (6)	5.1 (6)
【既婚・夫だけが働いている】 n=40	0.0 (0)	22.5 (9)	65.0 (26)	25.0 (10)	5.0 (2)	0.0 (0)	2.5 (1)	12.5 (5)	2.5 (1)
【既婚・妻だけが働いている】 n=14	0.0 (0)	28.6 (4)	85.7 (12)	21.4 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	7.1 (1)
【既婚・夫婦とも無職である】 n=52	1.9 (1)	5.8 (3)	55.8 (29)	32.7 (17)	3.8 (2)	1.9 (1)	9.6 (5)	5.8 (3)	9.6 (5)
【離別】 n=43	11.6 (5)	37.2 (16)	48.8 (21)	34.9 (15)	53.5 (23)	9.3 (4)	7.0 (3)	4.7 (2)	2.3 (1)
【死別】 n=9	0.0 (0)	22.2 (2)	55.6 (5)	33.3 (3)	11.1 (1)	0.0 (0)	11.1 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【未婚】 n=48	4.2 (2)	20.8 (10)	50.0 (24)	43.8 (21)	2.1 (1)	6.3 (3)	0.0 (0)	12.5 (6)	8.3 (4)

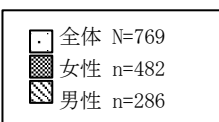
年代別にみると、40代以上は男女ともに「がまんした」が最も高く、女性20代、女性30代、男性30代は「相手と話し合った」が最も高くなっている。男性20代は「がまんした」と「相手と話し合った」が同率となっている。

配偶関係別にみると、いずれのグループも「がまんした」が最も高くなっており、特に既婚（妻のみ就労）が85.7%と他のグループに比べて高くなっている。

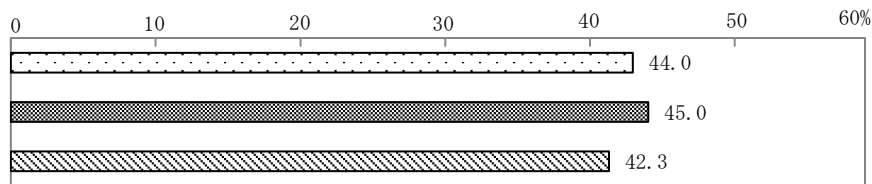
□ 男女の人権についてお尋ねします

問30

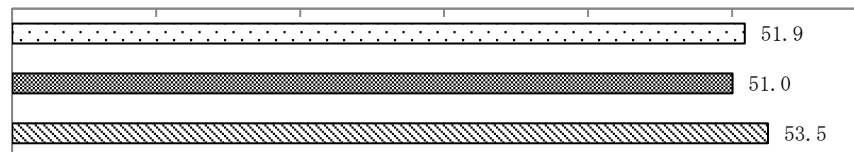
あなたは、配偶者や恋人からの暴力について、相談できる窓口としてどのようなところを知っていますか（〇は当てはまるもの全て）。



1 柏崎市役所
(福祉課)



2 柏崎警察署
(生活安全課)



3 新潟地方法務局
(柏崎支局)



4 新潟県女性福祉
相談所



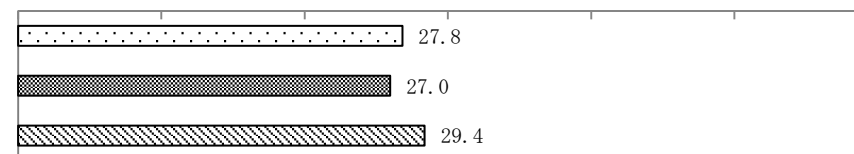
5 新潟県警察本部
(性犯罪被害相談
電話)



6 その他



7 相談できる窓口を
知らない

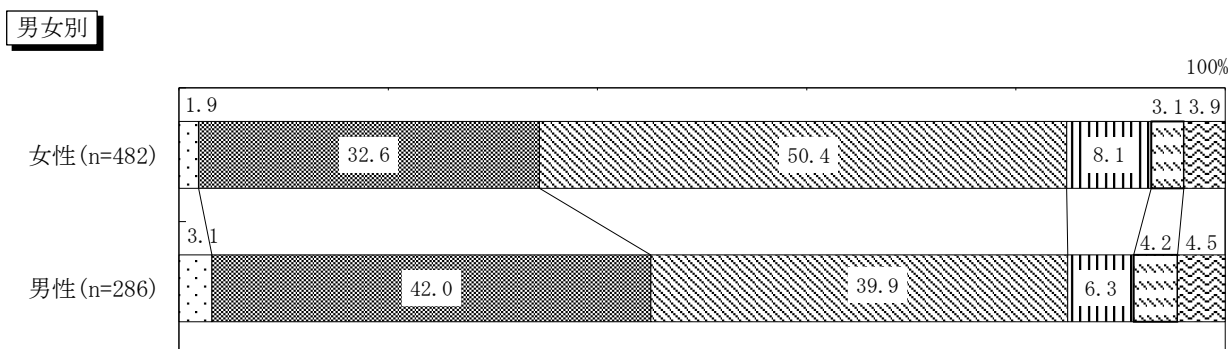
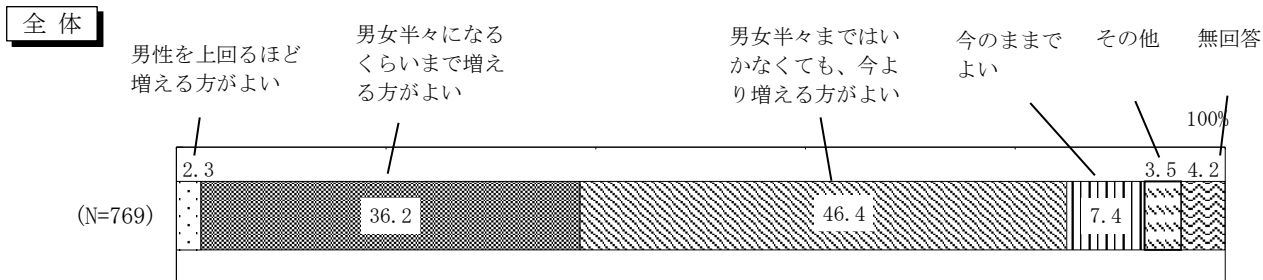


配偶者や恋人などからの暴力について相談できる窓口の認知についてみると、男女ともに「柏崎警察署（生活安全課）」（女性51.0%、男性53.5%）が最も多く、次いで「柏崎市役所（福祉課）」（女性45.0%、男性42.3%）となっている。

「相談できる窓口を知らない」は、女性27.0%、男性29.4%となっている。

男女共同参画に関する取組についてお尋ねします

問3 1
 審議会の委員など、政策・方針決定の場に女性が参画することについて、あなたはどのように思いますか（○は1つだけ）。
 ※柏崎市の審議会等の女性委員の割合は32.5%となっています。（令和元（2019）年6月1日現在）



政策・方針決定の場への女性の参画についてみると、「男女半々まではいかななくても、今より増える方がよい」（46.4%）が最も高く、次いで「男女半々になるくらいまで増える方がよい」（36.2%）となっている。

性別にみると、男性は「男女半々になるくらいまで増える方がよい」（42.0%）が最も高く、女性を9.4ポイント上回っている。

※問3 1 集計表(性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

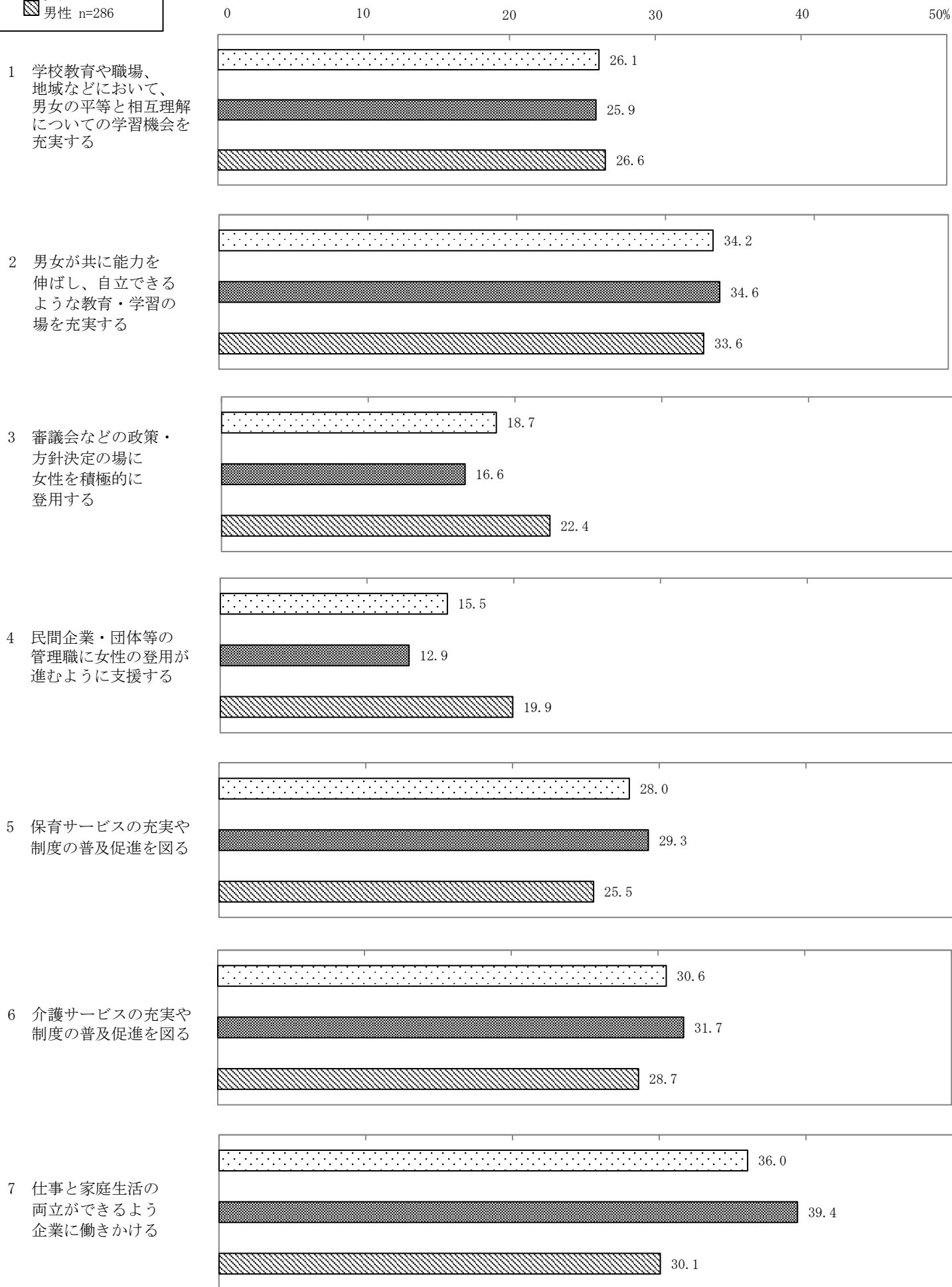
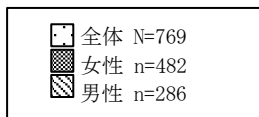
		男性 を増 える 方 が よ い ほ ど	男 女 半 々 に な る 方 が よ い	男 女 半 々 ま で は い か な く て も 、 今 よ り 増 え る 方 が よ い	今 の ま ま で よ い	そ の 他	無 回 答
【全体】	N=769	2.3 (18)	36.2 (278)	46.4 (357)	7.4 (57)	3.5 (27)	4.2 (32)
【女性】	n=482	1.9 (9)	32.6 (157)	50.4 (243)	8.1 (39)	3.1 (15)	3.9 (19)
【男性】	n=286	3.1 (9)	42.0 (120)	39.9 (114)	6.3 (18)	4.2 (12)	4.5 (13)
女性【20～29歳】	n=47	0.0 (0)	36.2 (17)	51.1 (24)	6.4 (3)	4.3 (2)	2.1 (1)
【30～39歳】	n=77	3.9 (3)	29.9 (23)	51.9 (40)	5.2 (4)	6.5 (5)	2.6 (2)
【40～49歳】	n=94	1.1 (1)	33.0 (31)	51.1 (48)	10.6 (10)	4.3 (4)	0.0 (0)
【50～59歳】	n=90	1.1 (1)	32.2 (29)	51.1 (46)	11.1 (10)	1.1 (1)	3.3 (3)
【60～69歳】	n=124	3.2 (4)	37.9 (47)	46.0 (57)	6.5 (8)	2.4 (3)	4.0 (5)
【70歳以上】	n=50	0.0 (0)	20.0 (10)	56.0 (28)	8.0 (4)	0.0 (0)	16.0 (8)
男性【20～29歳】	n=22	9.1 (2)	31.8 (7)	50.0 (11)	4.5 (1)	4.5 (1)	0.0 (0)
【30～39歳】	n=35	0.0 (0)	37.1 (13)	37.1 (13)	8.6 (3)	11.4 (4)	5.7 (2)
【40～49歳】	n=53	5.7 (3)	45.3 (24)	34.0 (18)	7.5 (4)	5.7 (3)	1.9 (1)
【50～59歳】	n=61	3.3 (2)	42.6 (26)	41.0 (25)	8.2 (5)	1.6 (1)	3.3 (2)
【60～69歳】	n=74	1.4 (1)	45.9 (34)	43.2 (32)	4.1 (3)	2.7 (2)	2.7 (2)
【70歳以上】	n=41	2.4 (1)	39.0 (16)	36.6 (15)	4.9 (2)	2.4 (1)	14.6 (6)

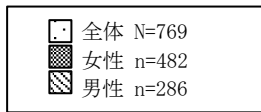
年代別にみると、女性はいずれの年代も「男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい」が最も高くなっている。一方、男性は40代以上で「男女半々になるくらいまで増える方がよい」が最も高く、30代は「男女半々になるくらいまで増える方がよい」と「男女半々まではいかなくても、今より増える方がよい」が同率となっている。

□ 男女共同参画に関する取組についてお尋ねします

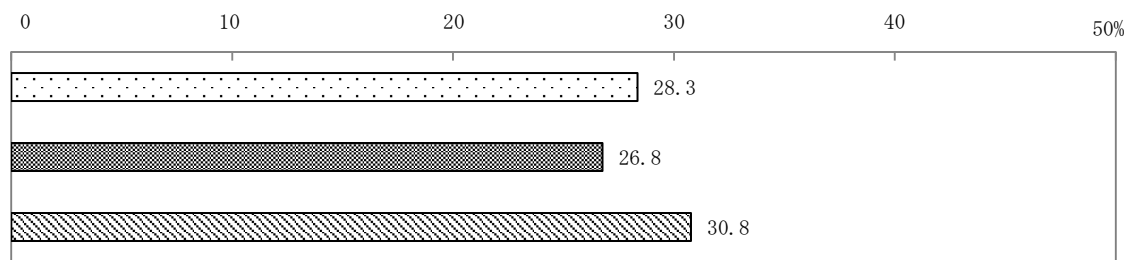
問32

あなたは、男女共同参画社会を実現するために、今後、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか（〇は3つまで）。





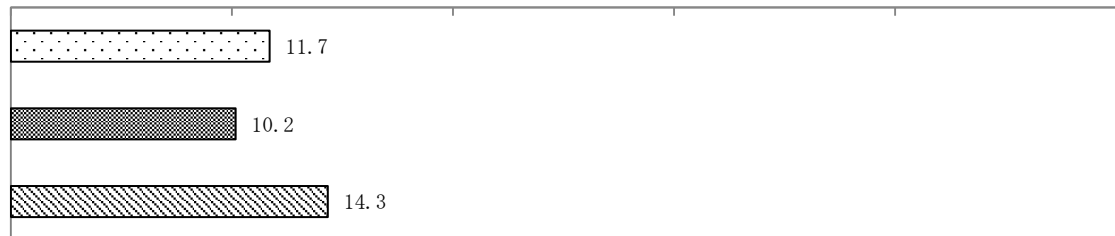
8 子育てや介護のために
いったん仕事を辞めた
人の再就職を支援する



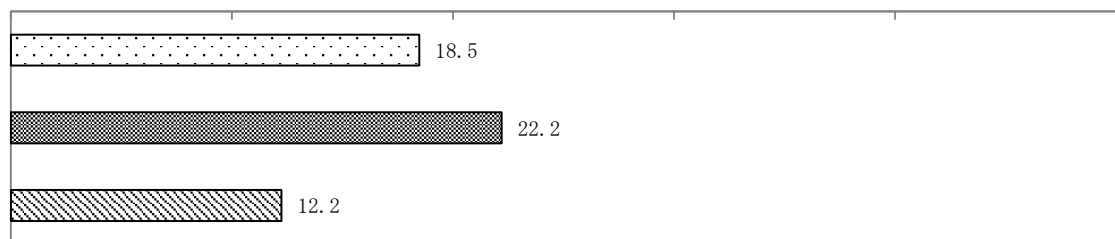
9 配偶者等からの
暴力被害の防止、
根絶や相談・支援体制
を充実する



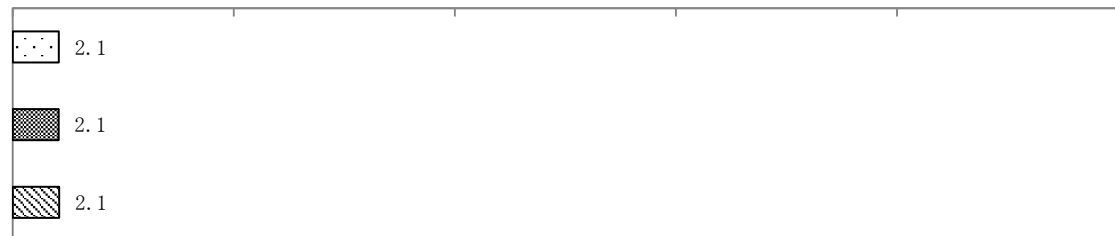
10 地域や団体で
活躍できる
女性リーダーを
養成する



11 男性が家事、
子育て、介護、
地域活動に関心を
高めるよう啓発や
情報提供を行う



12 その他



男女共同参画社会を実現するために、今後柏崎市が力を入れていくべきことについてみると、全体では「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が36.0%で最も多く、次いで「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」(34.2%)となっている。

性別にみると、女性は「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」(39.4%)が最も多く、次いで「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」(34.6%)となっている。一方、男性は「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」(33.6%)が最も多く、次いで「子育てや介護のためにいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」(30.8%)となっている。

※問3 2 項目集計表 (性・年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	てて学校 の学男女 習教育 機会や 等を職 と等場 と相と 互地 理域 解な につど おい	すき男 る女 ようが な共 教能 育力 ・を 学伸 習ば し、 自 立 充立 実で	に審 女議 性会 をな 積の 極政 的に策 登方 用針 する決 定の 場	の民 登間 用企 が業 進・ む団 よう体 に等 支の 援管 する理 職に 女女性	促保 進育 をサー 図ビ るス の充 実 や 制 度 の 普 及	促介 進護 をサー 図ビ るス の充 実 や 制 度 の 普 及	う仕 事と 企家 業庭 に生 働活 きかの ける両 立 が で き る よ	事子 を育 辞て めたや 人介 の護 再の 就ため 職に をい 支つ 援た するん 仕	根配 絶偶 や者 相等 談か ・ら 支の 援暴 体力 制被 を害 充の 実防 止、	地配 域偶 や者 団等 体か でら 活暴 躍力 で被 き害 るの 女防 性止 リ、	報活 提動 供に を行関 う心 を 高 め る よ う 啓 発 や 地 情 域	その 他	無 回 答
【全体】 N=769	26.1 (201)	34.2 (263)	18.7 (144)	15.5 (119)	28.0 (215)	30.6 (235)	36.0 (277)	28.3 (218)	6.1 (47)	11.7 (90)	18.5 (142)	2.1 (16)	4.6 (35)
【女性】 n=482	25.9 (125)	34.6 (167)	16.6 (80)	12.9 (62)	29.3 (141)	31.7 (153)	39.4 (190)	26.8 (129)	7.5 (36)	10.2 (49)	22.2 (107)	2.1 (10)	4.1 (20)
【男性】 n=286	26.6 (76)	33.6 (96)	22.4 (64)	19.9 (57)	25.5 (73)	28.7 (82)	30.1 (86)	30.8 (88)	3.8 (11)	14.3 (41)	12.2 (35)	2.1 (6)	5.2 (15)
女性【20～29歳】 n=47	21.3 (10)	42.6 (20)	12.8 (6)	10.6 (5)	36.2 (17)	23.4 (11)	55.3 (26)	31.9 (15)	2.1 (1)	4.3 (2)	23.4 (11)	4.3 (2)	2.1 (1)
【30～39歳】 n=77	24.7 (19)	23.4 (18)	15.6 (12)	16.9 (13)	53.2 (41)	40.3 (31)	63.6 (49)	26.0 (20)	7.8 (6)	6.5 (5)	22.1 (17)	1.3 (1)	2.6 (2)
【40～49歳】 n=94	30.9 (29)	35.1 (33)	16.0 (15)	8.5 (8)	26.6 (25)	29.8 (28)	41.5 (39)	27.7 (26)	11.7 (11)	7.4 (7)	27.7 (26)	2.1 (2)	0.0 (0)
【50～59歳】 n=90	20.0 (18)	37.8 (34)	17.8 (16)	14.4 (13)	24.4 (22)	35.6 (32)	24.4 (22)	26.7 (24)	6.7 (6)	13.3 (12)	20.0 (18)	2.2 (2)	5.6 (5)
【60～69歳】 n=124	32.3 (40)	38.7 (48)	13.7 (17)	12.1 (15)	23.4 (29)	29.0 (36)	36.3 (45)	25.8 (32)	5.6 (7)	13.7 (17)	21.0 (26)	0.8 (1)	4.8 (6)
【70歳以上】 n=50	18.0 (9)	28.0 (14)	28.0 (14)	16.0 (8)	14.0 (7)	30.0 (15)	18.0 (9)	24.0 (12)	10.0 (5)	12.0 (6)	18.0 (9)	4.0 (2)	12.0 (6)
男性【20～29歳】 n=22	36.4 (8)	54.5 (12)	4.5 (1)	22.7 (5)	31.8 (7)	13.6 (3)	40.9 (9)	27.3 (6)	9.1 (2)	4.5 (1)	9.1 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
【30～39歳】 n=35	5.7 (2)	37.1 (13)	5.7 (2)	11.4 (4)	34.3 (12)	31.4 (11)	57.1 (20)	37.1 (13)	2.9 (1)	8.6 (3)	11.4 (4)	2.9 (1)	5.7 (2)
【40～49歳】 n=53	13.2 (7)	26.4 (14)	32.1 (17)	22.6 (12)	34.0 (18)	30.2 (16)	35.8 (19)	20.8 (11)	1.9 (1)	11.3 (6)	17.0 (9)	1.9 (1)	1.9 (1)
【50～59歳】 n=61	19.7 (12)	26.2 (16)	27.9 (17)	23.0 (14)	19.7 (12)	31.1 (19)	24.6 (15)	39.3 (24)	4.9 (3)	18.0 (11)	9.8 (6)	6.6 (4)	4.9 (3)
【60～69歳】 n=74	45.9 (34)	33.8 (25)	24.3 (18)	20.3 (15)	21.6 (16)	28.4 (21)	20.3 (15)	28.4 (21)	1.4 (1)	17.6 (13)	13.5 (10)	0.0 (0)	4.1 (3)
【70歳以上】 n=41	31.7 (13)	39.0 (16)	22.0 (9)	17.1 (7)	19.5 (8)	29.3 (12)	19.5 (8)	31.7 (13)	7.3 (3)	17.1 (7)	9.8 (4)	0.0 (0)	14.6 (6)

※問3 2 項目集計表 (家族構成別) [構成比(%) / 人数(人)]

	てて学校 の学男女 習教育 機会や 等を職 と等場 と相と 互地 理域 解な につど おい	すき男 る女 ようが な共 教能 育力 ・を 学伸 習ば し、 自 立 充立 実で	に審 女議 性会 をな 積の 極政 的に策 登方 用針 する決 定の 場	の民 登間 用企 が業 進・ む団 よう体 に等 支の 援管 する理 職に 女女性	促保 進育 をサー 図ビ るス の充 実 や 制 度 の 普 及	促介 進護 をサー 図ビ るス の充 実 や 制 度 の 普 及	う仕 事と 企家 業庭 に生 働活 きかの ける両 立 が で き る よ	事子 を育 辞て めたや 人介 の護 再の 就ため 職に をい 支つ 援た するん 仕	根配 絶偶 や者 相等 談か ・ら 支の 援暴 体力 制被 を害 充の 実防 止、	地配 域偶 や者 団等 体か でら 活暴 躍力 で被 き害 るの 女防 性止 リ、	報活 提動 供に を行関 う心 を 高 め る よ う 啓 発 や 地 情 域	その 他	無 回 答
【全体】 N=769	26.1 (201)	34.2 (263)	18.7 (144)	15.5 (119)	28.0 (215)	30.6 (235)	36.0 (277)	28.3 (218)	6.1 (47)	11.7 (90)	18.5 (142)	2.1 (16)	4.6 (35)
【一人暮らし】 n=146	26.0 (38)	28.8 (42)	24.0 (35)	16.4 (24)	26.7 (39)	30.8 (45)	28.8 (42)	28.8 (42)	7.5 (11)	16.4 (24)	11.0 (16)	4.1 (6)	6.2 (9)
【夫婦のみ】 n=198	29.8 (59)	37.9 (75)	19.7 (39)	15.2 (30)	23.2 (46)	31.3 (62)	30.8 (61)	29.8 (59)	5.6 (11)	10.6 (21)	17.7 (35)	0.5 (1)	4.0 (8)
【二世帯世帯】 n=320	25.3 (81)	34.4 (110)	17.5 (56)	16.9 (54)	30.6 (98)	30.9 (99)	40.6 (130)	27.2 (87)	6.6 (21)	10.6 (34)	21.9 (70)	1.3 (4)	4.4 (14)
【三世帯世帯】 n=92	21.7 (20)	35.9 (33)	14.1 (13)	9.8 (9)	33.7 (31)	29.3 (27)	43.5 (40)	28.3 (26)	3.3 (3)	12.0 (11)	20.7 (19)	3.3 (3)	2.2 (2)
【その他】 n=11	18.2 (2)	18.2 (2)	0.0 (0)	18.2 (2)	9.1 (1)	18.2 (2)	36.4 (4)	27.3 (3)	9.1 (1)	0.0 (0)	18.2 (2)	18.2 (2)	18.2 (2)

※問3 2 項目集計表 (既婚・未婚別) [構成比(%) / 人数(人)]

	てて学校 の男女 学習 機会 を等 と充 実す る	すき男 る女 が共 に能 力 を伸 ばし 、自 立 で	に審 議 会 な ど の 政 策 ・ 方 針 決 定 の 場	の民 間 企 業 ・ 団 体 等 の 管 理 職 に 女 性	促保 進育 サー ビス の 充 実 や 制 度 の 普 及	促介 進護 サー ビス の 充 実 や 制 度 の 普 及	う仕 事と 家 庭 生 活 の 両 立 が で き る よ	事子 育を 辞め た 人 の 再 就 職 を 支 援 す る	根配 絶偶 者等 から の暴 力被 害の 防 止、 支 援 体 制 を 充 実 す る	地 域 や 団 体 で 活 躍 で き る 女 性 リ ー ダ ー を 養 成 す る	報活 提動 供に 関心 を 高 め る よ う 啓 発 や 地 域	その 他	無 回 答
【全体】 N=769	26.1 (201)	34.2 (263)	18.7 (144)	15.5 (119)	28.0 (215)	30.6 (235)	36.0 (277)	28.3 (218)	6.1 (47)	11.7 (90)	18.5 (142)	2.1 (16)	4.6 (35)
【既婚・共働きしている】 n=254	24.8 (63)	34.6 (88)	20.9 (53)	17.3 (44)	30.3 (77)	28.3 (72)	44.1 (112)	22.8 (58)	5.9 (15)	7.9 (20)	19.3 (49)	2.0 (5)	2.4 (6)
【既婚・夫だけが働いている】 n=103	29.1 (30)	36.9 (38)	20.4 (21)	12.6 (13)	32.0 (33)	26.2 (27)	28.2 (29)	35.0 (36)	5.8 (6)	11.7 (12)	19.4 (20)	1.0 (1)	3.9 (4)
【既婚・妻だけが働いている】 n=25	44.0 (11)	36.0 (9)	16.0 (4)	20.0 (5)	20.0 (5)	36.0 (9)	24.0 (6)	40.0 (10)	0.0 (0)	36.0 (9)	12.0 (3)	4.0 (1)	4.0 (1)
【既婚・夫婦とも無職である】 n=88	33.0 (29)	38.6 (34)	18.2 (16)	15.9 (14)	17.0 (15)	34.1 (30)	26.1 (23)	26.1 (23)	5.7 (5)	12.5 (11)	21.6 (19)	0.0 (0)	4.5 (4)
【離別】 n=68	19.1 (13)	30.9 (21)	16.2 (11)	7.4 (5)	29.4 (20)	29.4 (20)	35.3 (24)	32.4 (22)	8.8 (6)	14.7 (10)	14.7 (10)	4.4 (3)	5.9 (4)
【死別】 n=23	26.1 (6)	30.4 (7)	8.7 (2)	8.7 (2)	34.8 (8)	43.5 (10)	30.4 (7)	21.7 (5)	17.4 (4)	13.0 (3)	17.4 (4)	0.0 (0)	13.0 (3)
【未婚】 n=204	24.0 (49)	31.9 (65)	17.6 (36)	17.2 (35)	27.5 (56)	32.4 (66)	36.8 (75)	30.9 (63)	5.4 (11)	12.3 (25)	18.1 (37)	2.5 (5)	5.9 (12)

※問3 2 項目集計表 (末子の子どもの年代別) [構成比(%) / 人数(人)]

	てて学校 の男女 学習 機会 を等 と充 実す る	すき男 る女 が共 に能 力 を伸 ばし 、自 立 で	に審 議 会 な ど の 政 策 ・ 方 針 決 定 の 場	の民 間 企 業 ・ 団 体 等 の 管 理 職 に 女 性	促保 進育 サー ビス の 充 実 や 制 度 の 普 及	促介 進護 サー ビス の 充 実 や 制 度 の 普 及	う仕 事と 家 庭 生 活 の 両 立 が で き る よ	事子 育を 辞め た 人 の 再 就 職 を 支 援 す る	根配 絶偶 者等 から の暴 力被 害の 防 止、 支 援 体 制 を 充 実 す る	地 域 や 団 体 で 活 躍 で き る 女 性 リ ー ダ ー を 養 成 す る	報活 提動 供に 関心 を 高 め る よ う 啓 発 や 地 域	その 他	無 回 答
【全体】 N=769	26.1 (201)	34.2 (263)	18.7 (144)	15.5 (119)	28.0 (215)	30.6 (235)	36.0 (277)	28.3 (218)	6.1 (47)	11.7 (90)	18.5 (142)	2.1 (16)	4.6 (35)
【1歳未満】 n=13	23.1 (3)	46.2 (6)	15.4 (2)	38.5 (5)	76.9 (10)	38.5 (5)	61.5 (8)	38.5 (5)	7.7 (1)	0.0 (0)	7.7 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
【1歳以上3歳未満】 n=35	25.7 (9)	40.0 (14)	14.3 (5)	17.1 (6)	48.6 (17)	28.6 (10)	51.4 (18)	28.6 (10)	8.6 (3)	8.6 (3)	34.3 (12)	0.0 (0)	0.0 (0)
【3歳以上小学校入学前】 n=33	21.2 (7)	27.3 (9)	15.2 (5)	12.1 (4)	42.4 (14)	24.2 (8)	63.6 (21)	21.2 (7)	9.1 (3)	6.1 (2)	27.3 (9)	0.0 (0)	6.1 (2)
【小学生】 n=57	22.8 (13)	31.6 (18)	17.5 (10)	8.8 (5)	26.3 (15)	28.1 (16)	49.1 (28)	24.6 (14)	5.3 (3)	8.8 (5)	21.1 (12)	5.3 (3)	0.0 (0)
【中学生】 n=37	13.5 (5)	18.9 (7)	27.0 (10)	8.1 (3)	21.6 (8)	18.9 (7)	48.6 (18)	18.9 (7)	10.8 (4)	24.3 (9)	27.0 (10)	5.4 (2)	2.7 (1)
【高校・大学・大学院 生】 n=45	22.2 (10)	42.2 (19)	22.2 (10)	20.0 (9)	33.3 (15)	42.2 (19)	31.1 (14)	17.8 (8)	6.7 (3)	11.1 (5)	11.1 (5)	2.2 (1)	2.2 (1)
【学校を終えた未婚の 子ども】 n=84	26.2 (22)	35.7 (30)	26.2 (22)	13.1 (11)	35.7 (30)	38.1 (32)	19.0 (16)	28.6 (24)	3.6 (3)	13.1 (11)	17.9 (15)	1.2 (1)	4.8 (4)
【結婚した子ども】 n=188	30.3 (57)	38.8 (73)	15.4 (29)	15.4 (29)	17.6 (33)	27.7 (52)	28.7 (54)	31.4 (59)	4.3 (8)	12.2 (23)	17.0 (32)	1.1 (2)	6.9 (13)
【いない】 n=233	28.3 (66)	32.2 (75)	16.7 (39)	19.7 (46)	26.6 (62)	29.6 (69)	37.3 (87)	31.3 (73)	7.3 (17)	10.7 (25)	15.5 (36)	2.6 (6)	3.4 (8)

※問3 2 項目集計表（職業別） [構成比(%) / 人数(人)]

	学校教育や職場、地域の平等と相互理解について	男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する	審議会などの政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する	民間企業・団体等の管理職に女性登用が進むように支援する	保育サービスの充実や制度の普及促進を図る	介護サービスの充実や制度の普及促進を図る	仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける	子育てや介護のためにいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	配偶者等からの暴力被害の防止、根絶や相談・支援体制を充実する	地域や団体で活躍できる女性リーダーを養成する	活動に関心を高めるよう啓発や地域情報提供を行う	その他	無回答
【全体】 N=769	26.1 (201)	34.2 (263)	18.7 (144)	15.5 (119)	28.0 (215)	30.6 (235)	36.0 (277)	28.3 (218)	6.1 (47)	11.7 (90)	18.5 (142)	2.1 (16)	4.6 (35)
【自営業主・家族従事者】 n=41	29.3 (12)	31.7 (13)	19.5 (8)	22.0 (9)	17.1 (7)	22.0 (9)	22.0 (9)	31.7 (13)	7.3 (3)	14.6 (6)	12.2 (5)	2.4 (1)	4.9 (2)
【専門職・技術職】 n=39	28.2 (11)	38.5 (15)	17.9 (7)	17.9 (7)	15.4 (6)	20.5 (8)	46.2 (18)	35.9 (14)	2.6 (1)	10.3 (4)	25.6 (10)	0.0 (0)	2.6 (1)
【会社などの役員】 n=8	37.5 (3)	50.0 (4)	50.0 (4)	0.0 (0)	25.0 (2)	37.5 (3)	12.5 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	25.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
【正規の社員・職員】 n=255	21.2 (54)	32.9 (84)	20.8 (53)	18.4 (47)	32.9 (84)	30.6 (78)	42.4 (108)	28.6 (73)	5.5 (14)	9.8 (25)	17.3 (44)	2.7 (7)	2.4 (6)
【パート・アルバイト・臨時雇い・派遣社員】 n=158	28.5 (45)	36.7 (58)	15.8 (25)	12.0 (19)	32.3 (51)	34.8 (55)	42.4 (67)	26.6 (42)	5.7 (9)	11.4 (18)	20.3 (32)	1.9 (3)	0.6 (1)
【内職・在宅ワーク】 n=5	20.0 (1)	40.0 (2)	0.0 (0)	20.0 (1)	80.0 (4)	60.0 (3)	0.0 (0)	40.0 (2)	0.0 (0)	20.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)

年代別にみると、女性20代～40代、男性30代、男性40代で「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が最も多く、女性50代、女性60代、男性20代、男性70歳以上は「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」が最も多くなっている。女性70歳以上は「介護サービスの充実や制度の普及促進を図る」、男性50代は「子育てや介護のためにいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」、男性60代は「学校教育や職場、地域などにおいて、男女の平等と相互理解についての学習機会を充実する」が最も多くなっている。

家族構成別にみると、一人暮らしは「介護サービスの充実や制度の普及促進を図る」が最も多く、夫婦のみは「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」が最も多くなっている。二世帯世帯と三世帯世帯は「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が最も多くなっている。

配偶関係別にみると、既婚（共働き）、離別、未婚は「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が最も多く、既婚（夫のみ就労）、既婚（夫婦とも無職）は「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」が最も多くなっている。既婚（妻のみ就労）は「学校教育や職場、地域などにおいて、男女の平等と相互理解についての学習機会を充実する」、死別は「介護サービスの充実や制度の普及促進を図る」が最も多くなっている。

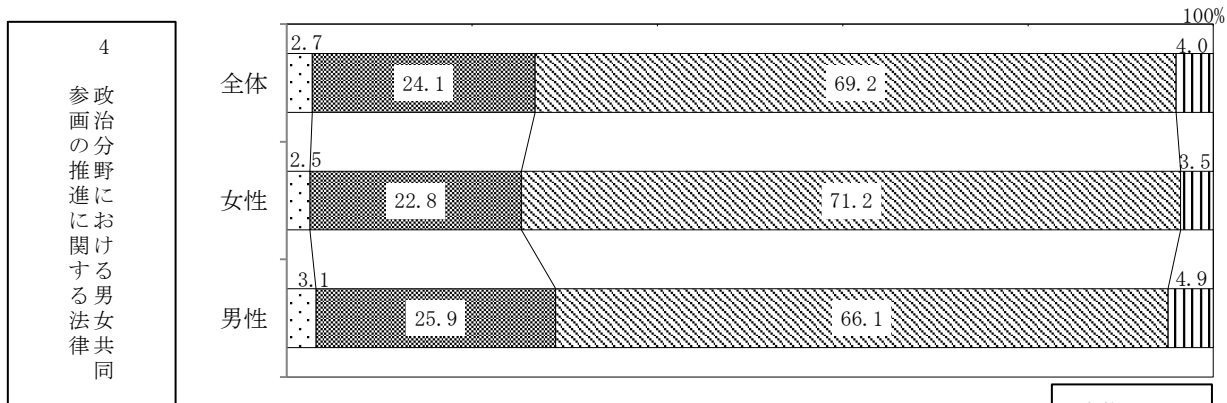
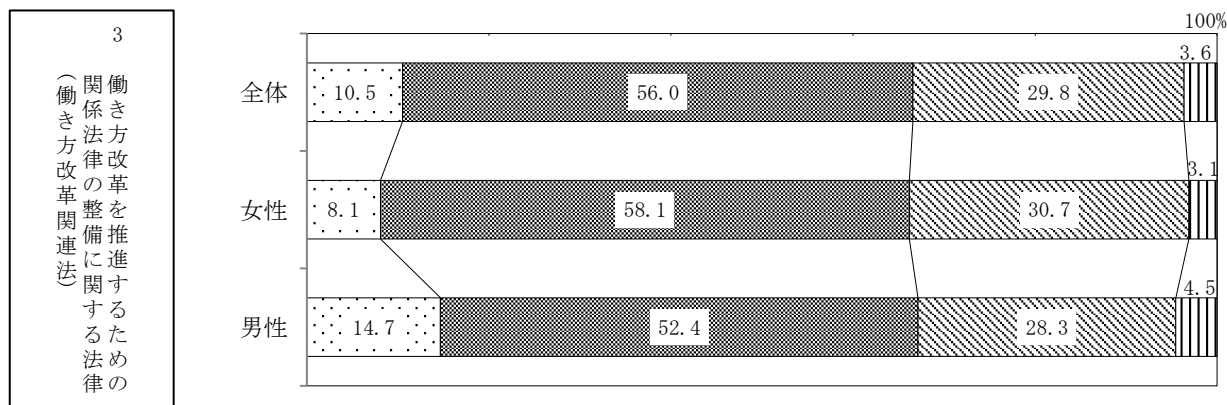
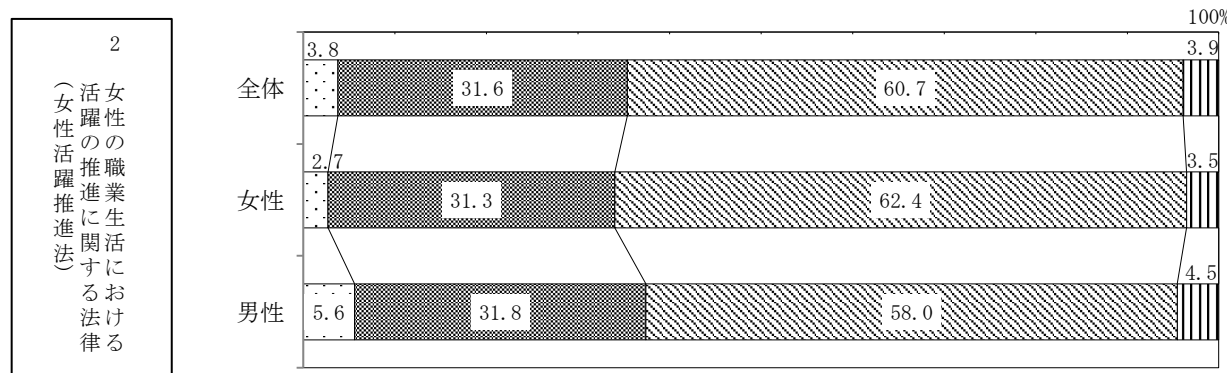
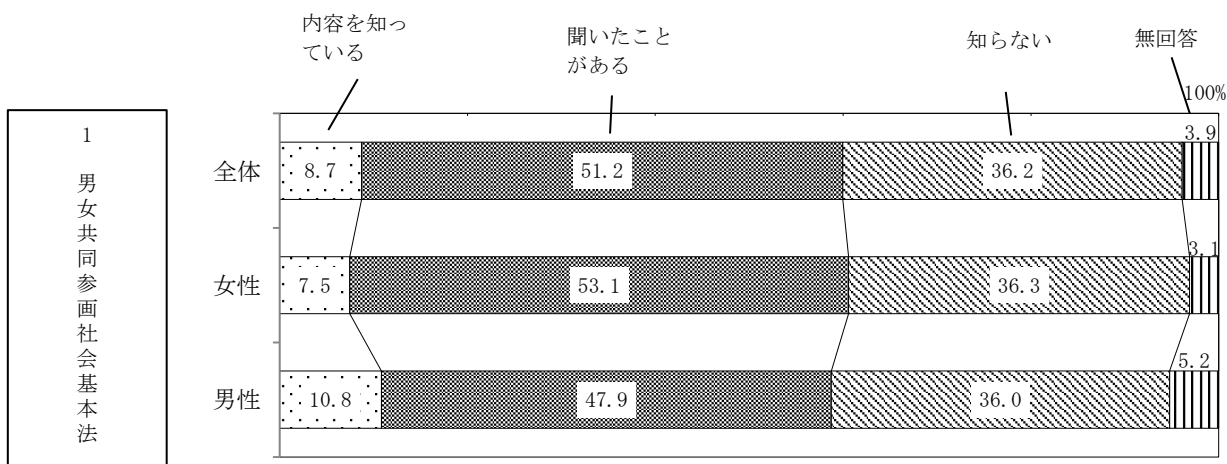
末子の子どもの年代別にみると、1歳以上3歳未満、3歳以上小学校入学前、小学生、中学生、子どもがいない人は「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が最も多くなっている。高校・大学・大学院生は「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」と「介護サービスの充実や制度の普及促進を図る」が同率となっている。1歳未満は「保育サービスの充実や制度の普及促進を図る」、学校を終えた未婚の子どもは「介護サービスの充実や制度の普及促進を図る」、結婚した子どもは「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」が最も多くなっている。

職業別にみると、専門職・技術職、正規の社員・職員、パート・アルバイト・臨時雇い・派遣社員は「仕事と家庭生活の両立ができるよう企業に働きかける」が最も多くなっている。自営業主・家族従業者は「子育てや介護のためにいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」、内職・在宅ワークは「保育サービスの充実や制度の普及促進を図る」が最も多くなっている。会社などの役員は「男女が共に能力を伸ばし、自立できるような教育・学習の場を充実する」と「審議会などの政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する」が同率となっている。

男女共同参画に関する取組についてお尋ねします

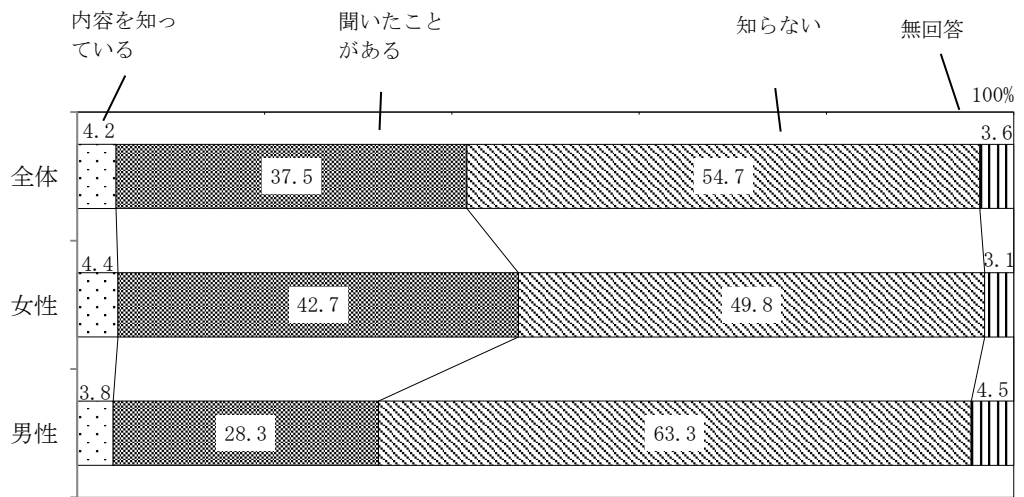
問33

あなたは、次に挙げる法律や用語などについて知っていますか（〇はそれぞれ1つずつ）。

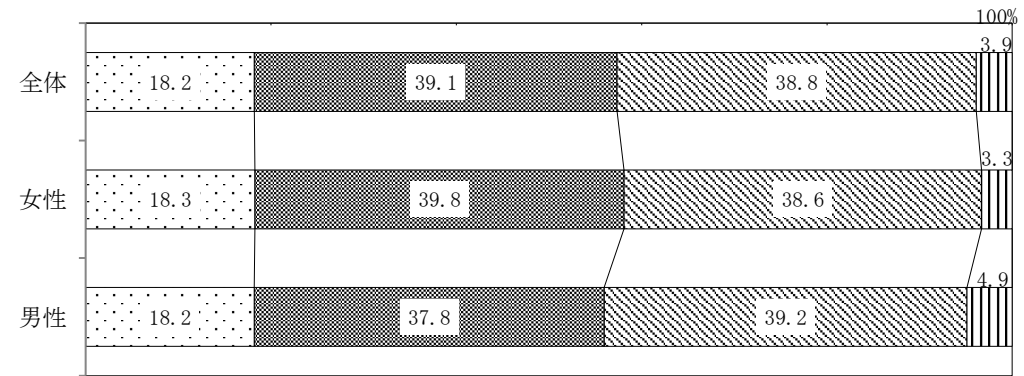


全体 N=769
女性 n=482
男性 n=286

5
柏崎市男女共同参画基本計画
(かしわざき男女共同参画
プラン)



6
ワーク・ライフ・バランス
(仕事と生活の調和)



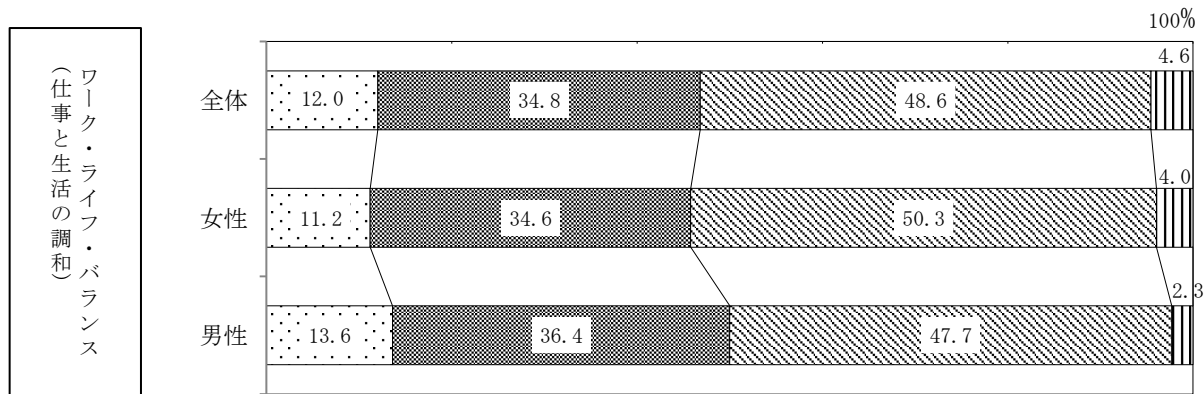
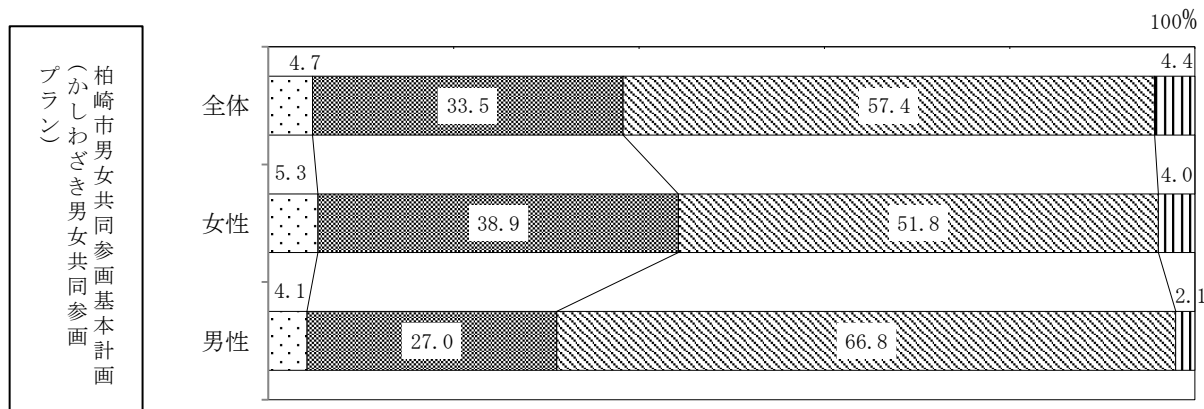
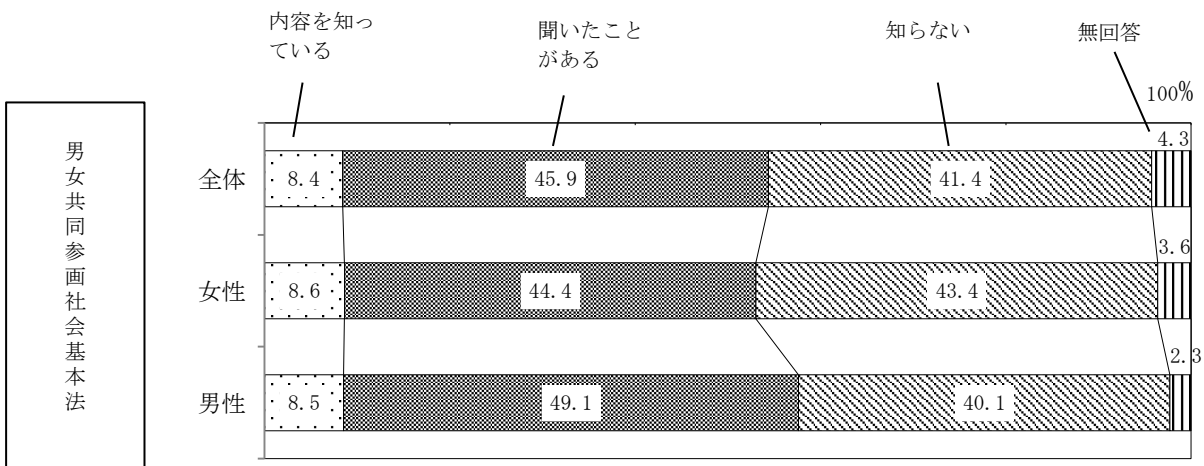
全体 N=769
女性 n=482
男性 n=286

法律や用語の認知についてみると、「内容を知っている」人は「ワーク・ライフ・バランス」(18.2%)、「働き方改革関連法」(10.5%)となっており、他の法律は1割に満たない。前回の調査結果と比較すると、「男女共同参画社会基本法」の「内容を知っている」人の割合は全体ではやや増加しているが、女性はやや減少している。「柏崎市男女共同参画基本計画」の「内容を知っている」人の割合は、男女ともにやや減少している。「ワーク・ライフ・バランス」の「内容を知っている」人の割合は、男女ともに増加している。

男女共同参画に関する取組についてお尋ねします

問33

あなたは、次に挙げる法律や用語などについて知っていますか（〇はそれぞれ1つずつ）。
（平成26年度値）



全体 N=1032
女性 n=581
男性 n=434

□ 男女共同参画に関する取組についてお尋ねします

問34

男女共同参画社会を進めていくに当たって、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。

住みよいまちづくりの実現

- ▶ 若い世代が働きやすく、生活しやすい環境を作る事で柏崎市に移住、実家に戻る事ができると思います。努力を期待します。(女性60代)

男女共同参画社会の実現

- ▶ 現状では、まだまだ社会、職場では、時間がかかると思っている。(男性60代)
- ▶ 日本でもクォーター法を用いるべき。〇人以上の参加に資格条件がない集団は、一方の性が1/4以下になってはいけないというもの。〇は20人くらいがいいだろう。(男性50代)
- ▶ 一人の人間として認め合う事が自然になれば、難しい事ではないような気がします。(男性50代)
- ▶ 自分も含め全ての人が考え方をフラットにし、固定概念をなくし、広い心で物事を考えなければならぬと思います。(男性30代)
- ▶ ダメでもやる、案内する。(男性60代)
- ▶ 日本の将来を見据えたら、必ず進めていかなければならぬ。(男性60代)
- ▶ 早期実現を希望します。(女性50代)
- ▶ 日常の中で、あまり意識していない事柄であるが、生活していく上で必要なことであることを認識させていただきました。貴重な体験でした。(男性40代)
- ▶ 女性、男性が本来持っている特性を理解し、認め合える社会の実現に向けて活動をしていただきたいと思います。(女性60代)
- ▶ 男女共同参画社会の「男女」という言葉に抵抗を感じる人もいるのではないかと感じる近ごろです。心と体が違って苦しい人にも優しい参画社会になるといいです。(女性50代)
- ▶ 男女共に人権を尊重し、考え方などをいつでも表現出来るようになれば世の中が変わってくるだろう。(男性70代以上)
- ▶ 女性にいたわりを持つには、どうすればいいのか。共働きなので、女性は家の中の仕事が多々あります。男女共同参画社会を進めるのは、女性に余裕がないとなかなかできません。細かい家の中の仕事を少しずつ、互いに出来るようになる話合いが必要です。(女性60代)
- ▶ 身体的な問題、体力の差などでの男女差、区別はあるにしても、家事、社会での地位は平等であるべき。(男性30代)
- ▶ 男女は脳も体力も違う。人の心が男女対等だと言える社会は、男女の違う部分を認め理解したうえで社会や家庭の中で対等でいられたらと思います。(女性50代)
- ▶ 性別にかかわらず人間として生きていける世の中が良い。(女性70代以上)
- ▶ 地域活動をするにあたり、会長が年配者であることが多く、昔ながらの考え方であるため、女性の負担が多い気がします。(昔は専業主婦が多くそのなごりだと思います)。現在、企業でもそういったことを打破するため、女性活躍を進めたり、社会のスピード感に対応するために若年層を登用するなどしています。新しい柏崎を作るには、新しい風を取り入れて検討していくことは、重要だと思います。(女性50代)
- ▶ 以前に比べて、男女共同参画社会が進んでいることを実感しています。ただ、残念ながら民間企業の中には、進んでいない所もあるようです。行政によって、地域全体の男女共同参画社会がより進むことを望んでいます。(女性50代)

- ▶ 例えば子育てについてだと、子供が泣いてしまった時に、子供の泣き声を煩わしく感じてしまうのは男の人の方が多いと思う。職場でミーティングなどの機会を持って、男の人は淡々と話を進めていくが、女の方は小田原評定になってしまう場面が多いと思う。頭の構造が違うから仕方ないかも知れないけれど、“性”と、“ジェンダー”を考える良いきっかけになりました。(女性40代)
- ▶ 女性の市長や議会議長などが出て初めて議論が出来ます。もっと、もっと、女性が選挙に出馬出来る整備を。改革はそれから!!男ばかりで議論っておかしいでしょう?!最低でも市議会議員の半分以上が女性である。(男性60代)
- ▶ 柏崎市議会議員は、他の市町村と比べると、多く喜ばしい事です。(女性50代)

男女平等の考え方

- ▶ 男女で分けるのではなく、能力の有無で判断すべきものだと思う。男女でなく、行政が、各団体(町内会含め)の役員等に女性・男性(能力のある人)が役職に就けるよう促す。賃金差をなくす(女だからこれくらいで…というのをなくす。)(女性60代)
- ▶ 全ての物を男女平等にするという事にはそもそも無理があり、それぞれ適材適所があると思う。男に向いている仕事や役割、女性に向いている活動等、行政の方でその見極め、方向づけをしてもらえれば、もっと住みやすい社会になるのではないのでしょうか。(男性50代)
- ▶ 出産・子育てがある以上男女共同参画の対等は難しい。(男性70代以上)
- ▶ かかあ天下の方が世の中がうまくいくと思います。(男性60代)
- ▶ 男女は平等であり、対等である。男女の差別はないと子どもの頃から、学校で教えられている今の若者(20才位)は、考え方に抵抗はないかもしれませんが…が、30才以上は、考え方にひらきがあると思います。どうしても結婚すると、男・女の差は、あきらかに違いとなって夫婦間や社会(仕事上)からの保守的なことになっている気がします。結婚して子供ができれば、子どもを中心に育児も家事も二人で小学・中学と、PTAや地域とつながりながら参加することもあるでしょうが、独身の方が多い社会というのは、個人のつながりは限られてしまう。…やっばり、皆が結婚して子どもを産んでもらわなければ地域経済は回らないと思います。「結婚」を中心とした考え方も必要かと思います。(女性50代)
- ▶ 「女性」を特別扱いすることは、差別だと思う。あくまでも平等であり、能力などで評価されるべき。ただし、出産などで女性の負担が大きい事については、特別に配慮されるべき。女性が活躍できるようになることは良いと思うが、結果として未婚者増加、少子化が加速していく。結婚や出産、育児に対してもっと国を上げて優遇すべき。(男性40代)
- ▶ 学歴が高い女性にとっては十分に男女平等になっていると思う。私の妻や友人の妻等もそうだが、学歴の高い女性は「男女平等だから」という立前をふりかざし、家事・育児をやらないことが多くなっていると感じる。徐々に男性差別も起きてきている。(男性30代)
- ▶ 私は、男女という考え方をしてる限り、その差別的な考えはなくならないと思います。男は男、女は女ができることが違うと思います。何でも男女平等みたいな考えの方が無理があると思う。互いに相手の事を考えれば、男も女もない私は思っています。(男性60代)
- ▶ 「女性も社会に出るべき」というようにうたっている人もいるが、家庭でも外でも女性も男性もその人自身の役割があると思う。男女平等のために「〇〇%は女性にしなくては」とされると女性の能力が評価されにくくなるのでは。男性も女性も本人の意志が尊重され、人と違う意見も認められるようになれば良いと思う。(女性20代)
- ▶ まずは、男が女の弱さにあわせてものごとを考え、次に、女は、ありがたく行動できるように考える。(女性40代)
- ▶ 一番大切な事は男は女ではない、女は男ではないというところから始める事ですね。自分の役割を理解しなければ、端で何を言ってもやってもだめだと思います。(男性50代)
- ▶ 男性しか出来ないこと、女性しかできないこと互いに話し合い進めていくべきだと思う。女性だけでもうまくいかないバランスが大切。(女性60代)
- ▶ 女性が活躍しやすい職業もあるし、全ての職種を同一に考える事はどうかと思う。(男性50代)

- ▶ 女性には母性(の資質)があり、子どもに愛情を注ぐ力は、男たちは遠く及ばないものと思います。このため、女性を軸にした子育てが理にかなっており、男はそれをサポートし、しっかりと働いて経済的な基盤を守るのが、務めだと思います。女性の社会進出は大いに結構なことです。まずは各人の家庭を夫婦で協力して、営み、子供に手をかけ、愛情を注ぎ、育てあげることが一番大切なことだと思います。(男性40代)
- ▶ 男女関係なく意欲ある人が活躍出来る環境整備を進めていただきたいと思います。女性の数が少ない事は理解出来るが、女性を活躍というより、男女どちらでもいいのではないかな、と感じます(男性50代)
- ▶ 女性が社会で活躍することは賛成ですが、少子化の現状を見るに付け、まず若い女性が早く結婚して、子供を生み育てることの方が一番大切で、女性にとっても幸せなことと思われる(これを学校教育で若い女性に教えてほしい。)。その後、社会に出ても遅くないと思います。それまでの経済的支えがあって欲しいと思います。そして子育てが終ってからでも充分働ける環境があるのが理想です。(女性60代)
- ▶ 年をとった男の人の中には女性を見下している人もいて、そういう人は女性のリーダーの下では働きたくないと思っている人もまだまだいます。かと言って、人数だけ女性を増やせばいいとも思っていません。女性でも、能力のある人がその分野で活躍できる時代、子育て中でも預ってくれるところがあり、そのことに理解を示す親と夫であることが条件です。働きたい人が働ける時代がいいと思います。(女性50代)
- ▶ ご年配の方はまだまだ男性が女性よりも何事でも“上”という考えが表面にはなくても心の中では思っているようです。新潟県の離婚率の低さが全国一(?)だったと思いますが、決して喜事ではありません。女性が“がまんしている”という事なのですから。とにかく男性、女性両方の考え方を変えていく事から始めなければいけないと思います。(女性50代)
- ▶ 年をとればとるほど、固定観念を変えることは難しい。古い習慣を変えたい時に、憚るのが年配者。年配者は地位もあり、説得できづらい。その労力を考えると、諦めが生まれ、前に進めない。上に立つ人間に若者も必要。男女平等にするには、年齢を問わない、実力社会が必要だと思います。(女性30代)

性別役割分担意識の解消

- ▶ 男だから、女だからではなく、“個人の考え”を尊重してほしい。他人の考えをおしつけてはいけないと思う。(男性30代)
- ▶ 男性自身→家事・育児を自分がすることは当たり前と思う。女性自身→自立し、仕事を持つことは当たり前と思う。無理なく、自然体でそう思えるように、導いて行かれる取組を期待します(特に男性に向けて「1日家事デー」など)。(女性60代)
- ▶ 家は守れる人がやる事です。男、女は関係ないです。ただ国が男女の差別をしています。うちは私が家の事は全部しています。でも世帯の主にはなりません。おかしいですね。(女性60代)

風潮の見直しが必要

- ▶ 男女共に働くなら、男の家事進出or家政婦をやとっても「女性として手抜きしている」と思われたい風潮が大事だと思います。制度より、日本に根づいた「男(女)がやってあたり前」「周りと同じにすべき」を変えていかないとまくいかならないと思います。(女性30代)
- ▶ 女性の社会進出が少しずつ進んでいますが、政治の社会天皇継承順位等は、まだまだ男性優位が現実……。日本の国、社会全体が変わらないと男女共同参画社会は進んでいかないのではないかと思います。(女性60代)
- ▶ 女性を役職に登用したり、仕事のリーダーにすることで男女共同参画の外見の形を整えたように見せているところがまだまだ多いと感じる。女性に登用した例をマスコミ等で、取り上げて話題にするなどのことはまだ意識が低いのではないか。同じ能力を持った人間がいた場合、時代の流れから女性を選ぶという風潮を感じる。逆な性差別では?(女性60代)

風習の見直しが必要

- ▶ 東京で育って(生まれて)、柏崎に嫁ぎました。東京では結婚式、法事などの行事は全て夫婦揃って出席するのに、こちらでは男性だけが出席する事にびっくりしました。全てにおいて東京より男性が中心の地域性を感じます。町内会の役員になった時、思ったことをズバズバ言いましたら、面白かったのか大変かわいがっていただきまして、この地でも女性をもっと思っていることを言っても大丈夫なんだと実感しました。(女性60代)

意識改革が必要

- ▶ まだまだ古い考えで亭主関白な人が多いのでは。それでいて自分1人では何も出来ない男の人。(女性70代以上)
- ▶ 年配の男性の方において、「女だから」とか「昔は…」とか古いお考えをお持ちの方が多いように思えます(国会議員などの議員の方々の多く)。そういうお考えが変わらない限り無理だと思います。(女性50代)
- ▶ 子連れで、参加できる様な環境づくり。子供が少ないので、少しでも騒いだりすると目立つため気にしないといけない雰囲気がある。もっと、子供が子供らしくいられる、大人の寛容な態度があると、女性も参加しやすくなると思う。(女性30代)

ドメスティック・バイオレンス、ハラスメントの根絶

- ▶ 暴力さえないが夫の理屈、へ理屈の精神的暴力に毎日、おびえながら生きている。死にたいが小さな子供が3人いるのでまだ死ねない。子供たちを育てあげたら、死にたいと思っています。配偶者からのモラハラは根絶すべき!(女性40代)
- ▶ DVを経験しましたが、相談や話をした人の何人かは他人事であり、その相手を選んだ私が悪いと言う方もいました。もっと理解が進むといいなと思います。福祉課の方には相談にのっていただき感謝しています。男、女関係なくお互いの役割もあると思います。人間として幸せに生きること成長するのが大切だと思います。DV家庭の子どもは心に傷が残ると思うので救ってほしいです。(女性40代)
- ▶ 女性=「事務職」という考えが、男性陣の固定概念としてあります。理系の技術職としては、事務作業を女性にばかりさせるのはやめてほしいです。また、セクハラがない企業なんてあるのでしょうか?1番理解できないのは、セクハラされている女性社員の様子を見ていながら、その場でほったらかしにする男性陣です。パワハラも同じく。(女性20代)

教育の充実が必要

- ▶ 男女共同参画社会はとても良い事だと思います。何と言っても男女にかかわらず、同一賃金は必要です。そして、これからの子供達には教育が最重要。貧富の差なく教育の平等化を是非押し進めて行ってもらいたい。切に願います。老人には多額の年金はいらない。子供に回して下さい。(女性70代)
- ▶ 男女どちらも平等にチャンスがあり活躍できる社会というのを教育の場でもしっかりやってほしいと思う。自分の子供が行っている園では、行事など目立つ役割(メイン)を毎年男児が務めるのがあたり前になっているのに違和感を感じる。うちは女の子もいるので、そういう状況が残念だし、まずは大人(特に年長者の方)が変わるべきなのではないかと思います。男性だから、女性だからという差別がなくなり、一個人として評価されて生活できるようになってほしいと思います。(女性30代)
- ▶ 子供達や若い世代は男女平等、共同参画の意識が高いと感じる。それは学校教育の移り変わりだと思う。年配の方ほど男性優位な考え方が強いと思う。時間がかかるかもだが、教育や広報などに力を入れ少しずつ拡大して行く事が大切だと思う。(男性40代)
- ▶ 私が働いていた若い時代は、仕事が第一優先の責任社会だったように思います。今は進歩して、守られる制度が充実していて良いと思いますが、「責任を持つことの大切さ」や、「権利だけでなく、義務を果す重要性」などの教育が徹底されるべきだと思います。本当の地域の助け合いや、豊かな気持、優しさが持てる社会となり、安心して皆が声をかけあえる町であってほしいものです。(女性70代以上)
- ▶ 関心を高めるよう啓発や情報提供を地域別に行う。子供の頃からの教育が大切だと思うので、学校での取り組みについて検討。子供が自然に考えられ、自ら行動できるようにしないと、大人になってからでは難しい面があると思います。(女性60代)
- ▶ もっと低辺から共同参画社会が根付くよう小学生から指導、教育してほしい。良い事と分かっているけど、人前で話す事が苦手の人が多くいます。そんな人たちが、気軽に参加できる講座が多くあると良いと思う。(女性60代)
- ▶ 男女共同参画社会においても男女平等には成り得ないと思う。お互いに理解を重ね納得する(させる)方向が一番の良い方法ではないだろうか?大人になってからでは遅い。幼保からの教育が一番理解し合えるチャンスだと私は思う!!(男性60代)

- ▶ 柏崎は子供が少なく老人ホームばかりが増えていきます。介護や家事を女性にばかり押しつけてやらせる時代は終わりました。これからは男性も進んで介護をしたり家事ができる制度が必要です。あと公務員で長を務める市長や教育長なども女性がやってみてほしいです。それには幼稚園や学校生活の中で、子供たちに男性の方が上(偉い)という雰囲気を与えない(持たせない)事が大事だと思います。(女性40代)
- ▶ まず感じるのは、男女共同参画は、今さら、ことさら、問題視することは、この世知辛く無感心すぎる若者たち、忙しすぎる若夫婦たち、そして引き込みりの人たち、人としていかほど真剣に考えて取り組んでいけるでしょうか。私の時代、物心がつく頃からずっとずっと人との触れ合いを通して善悪のみならず、人間道を仕込み学んでいました。今世は大進化をなおも続け、パソコン、スマホ等、指一本で悪態ついて、人を蔑む人々、何もかも法の規制で済ませてしまう。道徳心の欠落でしょうか。人と人との触れ合いを断つ老いも若きも車社会のどこでもドアからドア、そして序々に不便を強いられる老人たち。安心、安全を口約、軽々しく述べる議員たち。考えましょう。この市や町は生活に不可欠なシステムが欠け過ぎているのではないのでしょうか。(女性70代以上)

育児・介護への支援の充実

- ▶ 経済的な理由から共働きとなる場合が多いと思う。柏崎は子供の支援が刈羽村と比べると違う所が多くあり、金銭的な援助についても差がある。同じとまではいかないと思うが、もう少し考えて欲しい。(男性40代)
- ▶ 育児の支援を充実させる。子供を育てながら働きやすい社会にならなければ女性は働けない。(女性20代)
- ▶ 女性も働けるよう保育園の充実を望みます。保育士が足りないとの事ですが、正職員を増やすことはできないのでしょうか?(公立の正職員だったら応募もあるのでは?)民間保育士はなかなか手もおらず、安易に民営化して保育士不足の責任を民間に押し付ける事のないようにしていただきたいです。未満児持ちで入園できず、職場復帰できないお母さんたちを何人も知っているので書かせていただきました。(女性20代)
- ▶ 休日や夜間も安心して子供を預けられる施設や環境があると、女性も参加しやすくなると思います。(女性30代)
- ▶ 病気のある子供を持った場合でも、女性だけでなく男性も育児に協力できるような経済的、社会的支援があるとうれしい(看病や入院のためどちらか一方がつきっきりの状態になるしかないのだ)。(女性30代)
- ▶ 実家が近くないし、里帰り出産ができない人のためにも男性(夫)の育児休暇は必要だと思っています。今まで育休を取った人がいないからとれないのは大きいと思うので、希望した人には必ずとれるような制度にしてほしい。女性も出産金を会社からもらう前に契約解除になってお金をもらえなかったの、仕事をしている・してない関係なく出産手当、育休手当をもらいたい!!!!(女性30代)
- ▶ 一時保育や病児保育の受け入れを増やしてほしいです。夫は自分が休みを取れば病院や用事に行けますが、私はすぐに1人で出掛ける事ができません。予約を取るのに1か月以上かかる一時保育は急用・急病の時に全くあてにならず、自分の健康や用事は全て後回しになってとても辛いです。育児の為に長く休むのはどうしても女性が多いと思いますが、男女共に自分の体や必要な用事、リフレッシュのための時間が取りやすくなると良いと思います。よろしくお願いします。(女性30代)

職場環境の整備

- ▶ 現在、子供がいない立場でフルタイムで共働きをしています。なんとかなるとは思っていたものの、社会の風潮で男性は残業をしがちで、毎日の食事作りも結局全てを私がしています。仕事でのストレスと1人ですることへの負担で、よく爆発します。残業代がないと、旦那の給料は激減してしまうので仕方ないかもしれないが、柏崎市内の企業さんには、残業代がなくても生活できるような賃金にベースアップをしてもらえるようになってほしいと思うばかりです。(女性20代)
- ▶ サービス充実の前にそこで働く人の給料を上げるなど待遇を改善し、働きやすく、長く働ける環境をつくるべき。順番が納得いかない(保育について特に)。(女性20代)

- ▶ 保育関係の仕事をしているのですが、今日では、お父さんが毎朝お子さんを送りにくるケースも増え、男性の育児参加や女性の社会進出を肌を感じています。子供がまだ小さいうちから働ける環境が整いつつあると思うのですが、まだまだ小さいうちは子供も体調を崩しやすく、迎えにきてもらう機会も多く、その度に仕事を休んだり早退するとなると大変だろうな、嫌がる職場も多いだろうなと感じます。（女性20代）
- ▶ 女性の仕事と家庭生活に余裕を持てるように企業に働きかけをして欲しい。TVだと都会しか改善してなくて、田舎は遅すぎるため。（女性40代）
- ▶ 男性看護師ですが、周囲に女性が多く、あまり男女不平等を感じることはありません。職場環境で違う意見もありますが、個人の能力もあり一概にはいえませんが、もっと「働き方」を見直していただければ、家庭や個人の生活の充実にはなりません。生きていく上で働くことは、避けられません。このままの労働体制や賃金では若い世代では、貯金もあまり出来ず、結婚離れなどのリスクにつながりかねないと考えています。より良い社会づくりを期待しています。（男性20代）
- ▶ 女性をもっと多く働きやすいよう支援する。（女性60代）
- ▶ 障害者が安心して働く場所をもっと増やしてください。（女性20代）

雇用分野の男女の均等な機会の確保と待遇の確保

- ▶ 男女とも非正規雇用を減らし、正規雇用者を増やすことによって、働く人の生活を安定させることが、社会全体の安定につながると思う。また、男女分け隔てなく採用していくことが、女性の働くこと、社会参加への自信へもつながり、社会全体の活性化を生むと考える。（女性60代）
- ▶ 男女の差別がないのはもちろん、働いているいないの差もなくなると良いと思います。働く気はあっても、働けない人はいます。専業主婦でも出来る=役立てる、短期の仕事 気軽に出来るボランティアなどがあればと思います。（女性40代）
- ▶ ハローワークで仕事を探していると男性だと分かると、応募の段階で採用を渋る、不採用をにおわせる企業が多々あります。男女の垣根のない求人徹底させるか、最初から女性のみまたは男性のみなど明確にすべきだと思います(法律上後者は困難でも形だけ守っているのは良くないと思います。)。 （男性30代）

再就職しやすい社会づくり

- ▶ 男性の育休が話題になっていますが、現在、夫の収入だけで生活しているため、男性の育休取得中に収入が減ると生活できなくなってしまうので、義務化には反対です。私が仕事をやめたのは、不妊治療と仕事との両立ができなかったためです。今は子供を1人授かり、出産することができましたが、できればもう1人産んでから仕事をまた始めたいと思っていますが、小さい子どもが2人いる状況で、仕事が見つかるのか心配です。もっと再就職しやすい社会になればと願っています。ちなみに少し話がずれてしまうのですが、柏崎市は他の市ではない不妊治療への補助金がいただけるので、とても助かります。（女性30代）

男女共同参画の啓発が必要

- ▶ 市は情報の発信をするべきだと思います。（男性50代）
- ▶ 「人権教育」等を学習してきた若年層は、職場でも日常生活でも理解を得やすいように思う。高齢の方々・人権意識の低い方々は、日常会話のなかでも残念な?発言を耳にすることがある。該当の内容について、学習する場、内容を広めていくパンフレットの活用等があるとよいのではないか。（女性60代）
- ▶ 世代的に、生きてきた時代によって、慣習も違うし、捉え方も違うので、マスコミ、行政、教育機関、さまざまな分野で相互を尊重し、分け合い、分担するという精神を教え、伝えていく。（女性60代）
- ▶ 小、中、高校からの教育、大人は講座(父親講座など)で意識改革、広報などで時々PRする。（女性60代）

- ▶ 問29の質問で、こんなに多くの相談窓口があることを初めて知りました。もっと多くの人に知ってもらうための活動をしていくとよいかと思えます。自分も、もっと早く知っていればと思いました。柏崎市では、離婚に関する相談窓口が少なすぎると思いました。長岡、上越まで行くには、1日休みを取って出向くことになり、収入が低い、休んだら仕事なくなるといった不安を抱えて行動している人がたくさんいることを知ってほしいです。（女性40代）

市の施策について

- ▶ 市長・議員の方々には、深い考えを持って活発に討論をしてほしい。また、市政に一貫性が乏しいと思う（目先の政治で将来性が乏しい。）。このままのやり方(市政)では、近県から見放されかねない。（男性60代）
- ▶ 結局のところお金が必要なので何かしらの助成金などを受けられるサービスを市や国が増やしていくべきである。（男性30代）
- ▶ 笑顔の柏崎、ふれあいの柏崎。若い人を中心に、柏崎マップを制作したらどうでしょう。（女性60代）
- ▶ 市民に優しい政治。コミセンを破壊しようとする今の市長の方針は、このアンケートに逆行していませんか？（男性50代）

アンケート調査に対する意見

- ▶ アンケートは今現在働いている人たちに行った方が良いのではないのでしょうか。高齢者では現実的ではありません。（女性70代以上）
- ▶ 問13の質問がとても気になりました。私は一生働ける仕事を選び努力をし就きました。そのように考える人は性別関係なくたくさんいると思えます。では、なぜ女性だけがこのような質問の対象になるのでしょうか。まだまだ男女共同の途上なのですね。生まれ育った柏崎が、男女とも住みよい市になるよう願っています。（女性30代）
- ▶ アンケートにあたって、現在の柏崎市職員の状況がどうなっていて、なぜそうなっているか説明すべきでは？質問の設定が「男性が女性とともに…」とあるのは、市の現状として、男性と女性を平等に扱っていないことなのよりのあらわれでないか。アンケート結果がいつ、どのように発表されるのか大変興味がある。（男性50代）
- ▶ 色々考えて下さりありがとうございます。男女に差があることを改めて理解しました。問24、28は今まで表現したことがありませんでした。良い機会を頂きありがとうございます。（女性60代）
- ▶ 問11と問13を、なぜ今さら質問してくるのか不思議。そもそもこのアンケートは何のためか？ずいぶん時間がかかりました。(30分以上)2000人の人の、この時間がムダにならないことを願います。（女性40代）
- ▶ 年代的にネットだと更に回答しやすいです(集計もしやすいのでは)。（女性30代）
- ▶ 私の年齢にはあまり関係のない様であまり解答しにくかったです。（女性60代）

その他

- ▶ 女性のリーダー的な方に講演をしていただきたいです。（女性60代）
- ▶ 最近近所の方でなく通りすがりの方ですが「こんにちは、おはようございます」とか全然言いません。学校や仕事に忙しいでしょうが、心の豊かさがなくなっていると思う。（女性60代）